



# オンラインユーザーズガイド

**HL-L5210DN**

**HL-L5210DW**

**HL-L6310DW**

## 目次

<b>本ガイドの使い方</b> .....	<b>1</b>
注意事項の定義 .....	2
商標 .....	3
オープンソースライセンスについて .....	4
著作権とライセンスについて .....	5
重要事項 .....	6
本製品を廃棄するときは .....	7
<b>本製品のご案内</b> .....	<b>8</b>
本製品をご使用になる前に .....	9
前面と背面 .....	10
操作パネルの概要 .....	13
タッチパネル画面の操作方法 .....	18
本製品にテキストを入力するには .....	19
Brother ユーティリティへのアクセス (Windows) .....	21
ソフトウェアとドライバーをアンインストールする (Windows) .....	23
本製品の入出力ポートの場所 .....	24
製品の換気を良くする .....	25
<b>紙の取り扱い</b> .....	<b>26</b>
用紙のセット .....	27
用紙トレイに用紙をセットして印刷する .....	28
多目的トレイ (MP トレイ) に用紙をセットして印刷する .....	34
用紙設定 .....	42
用紙サイズと用紙タイプを変更する .....	43
トレイ確認の設定を変更する .....	44
印刷できない領域 .....	45
特殊用紙を使用する .....	46
<b>印刷</b> .....	<b>47</b>
パソコンから印刷する (Windows) .....	48
文書を印刷する (Windows) .....	49
印刷設定 (Windows) .....	51
セキュリティ印刷 (Windows) .....	55
初期値の印刷設定を変更する (Windows) .....	57
BR-Script3 プリンタードライバー (PostScript® 3™ 言語エミュレーション) を使用して文書を印刷する (Windows) .....	59
お使いのパソコンから本製品の状態を監視する (Windows) .....	60
パソコンから印刷する (Mac) .....	61
AirPrint を使用して印刷する .....	62
Eメールの添付ファイルを印刷する .....	63
USB フラッシュメモリーを使用したセキュリティ印刷 .....	64
副本を印刷する .....	66
操作パネルを使用し印刷の設定を変更する .....	68
印刷ジョブをキャンセルする .....	69
テスト印刷 .....	70
ユニバーサルプリント .....	71
ユニバーサルプリントの概要 .....	72

Web Based Management を使用してユニバーサルプリントに本製品を登録する.....	73
Microsoft Azure portal 経由でユニバーサルプリントユーザーを割り当てる.....	74
パソコンにユニバーサルプリント対応プリンターを追加する.....	75
ユニバーサルプリントを使用して印刷する.....	76
ユニバーサルプリントから本製品の登録を解除する.....	77
<b>ネットワーク.....</b>	<b>78</b>
対応している基本ネットワーク機能について.....	79
ネットワークを設定する.....	80
操作パネルを使用してネットワークの詳細を設定する.....	81
無線ネットワーク設定.....	82
無線ネットワークを使用する.....	83
Wi-Fi Direct®を使用する.....	101
無線 LAN を有効/無効にする.....	106
WLAN レポートを印刷する.....	107
ネットワーク機能.....	111
操作パネルから Web Based Management を有効/無効にする.....	112
Web Based Management を使用してプロキシサーバーを設定する.....	113
ネットワーク設定レポートを印刷する.....	114
Web Based Management を使用して SNTP サーバーと時刻を同期する.....	115
ギガビットイーサネット（有線 LAN のみ）.....	118
ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする.....	120
<b>セキュリティ.....</b>	<b>121</b>
ネットワークセキュリティ機能をご使用になる前に.....	122
不要なプロトコルを無効にする.....	123
デバイスセキュリティの証明書を設定する.....	124
サポートされているセキュリティ証明書機能.....	125
証明書の作成とインストールの手順.....	126
自己署名証明書を作成する.....	127
CSR を作成して認証局（CA）からの証明書をインストールする.....	128
証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて.....	132
CA 証明書のインポートとエクスポートについて.....	135
複数の証明書を管理する.....	138
SSL/TLS を使用する.....	139
SSL/TLS について.....	140
SSL/TLS を使用した安全なネットワーク製品の管理.....	143
SSL/TLS を使用して文書を安全に印刷する.....	147
SNMPv3 を使用する.....	149
SNMPv3 を使用した安全なネットワーク製品の管理.....	150
IPsec を使用する.....	151
IPsec について.....	152
Web Based Management を使用して IPsec を設定する.....	153
Web Based Management を使用して IPsec アドレステンプレートを設定する.....	154
Web Based Management を使用して IPsec テンプレートを設定する.....	156
IEEE 802.1x 認証（有線または無線ネットワーク用）を使用する.....	164
IEEE 802.1x 認証について.....	165
Web Based Management を使用して有線または無線 LAN の IEEE 802.1x 認証を設定する.....	166
IEEE 802.1x 認証方式.....	168

Active Directory 認証を使用する .....	169
Active Directory 認証について .....	170
Web Based Management を使用して Active Directory 認証を設定する .....	171
本製品にログインし、操作パネルを使用して設定値を変更する (Active Directory 認証) .....	172
LDAP 認証を使用する .....	173
LDAP 認証について .....	174
Web Based Management を使用して LDAP 認証を設定する .....	175
本製品にログインし、操作パネルを使用して設定値を変更する (LDAP 認証) .....	176
セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する .....	177
セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する前に .....	178
Web Based Management を使用してセキュリティ機能ロック 3.0 を設定する .....	179
セキュリティ機能ロック 3.0 のパブリックモードを設定する .....	180
セキュリティ機能ロック 3.0 その他の機能について .....	181
本製品の操作パネルを使用して新しい ID カードを登録する .....	182
E メールを安全に送信する .....	183
Web Based Management を使用して E メール送信の設定を行う .....	184
ユーザー認証を使用して E メールを送信する .....	185
SSL/TLS を使用して安全な E-mail 送信を行う .....	186
印刷ログ機能 .....	187
印刷ログ機能の概要 .....	188
Web Based Management を使用して印刷ログ機能の設定値を設定する .....	189
印刷ログ機能のエラー検出設定を使用する .....	191
操作パネルから製品の設定をロックする .....	192
設定ロックの概要 .....	193
グローバルネットワーク検出機能を使う .....	197
グローバル IP アドレス検出を有効にする .....	198
グローバルネットワークからの通信をブロックする .....	199
<b>管理者 .....</b>	<b>200</b>
ネットワーク機能 .....	201
セキュリティ機能 .....	202
ネットワークセキュリティ .....	203
ユーザー認証 .....	205
ブラザー管理ツール .....	206
<b>モバイルクラウド接続 .....</b>	<b>207</b>
クラウド接続機能 .....	208
クラウド接続機能の概要 .....	209
クラウド接続機能を使用してアクセスできるオンラインサービス .....	211
クラウド接続機能の設定 .....	213
写真や文書をダウンロードして印刷する .....	221
AirPrint .....	223
AirPrint の概要 .....	224
AirPrint を使用する前に (macOS) .....	225
AirPrint を使用して印刷する .....	226
Mopria™ Print Service .....	229
Brother Mobile Connect .....	230
外付け IC カードリーダーを登録する .....	231
<b>Brother iPrint&amp;Scan .....</b>	<b>232</b>

Brother iPrint&Scan へのアクセス (Windows/Mac) .....	233
<b>トラブルシューティング .....</b>	<b>234</b>
エラーメッセージとメンテナンスメッセージ .....	235
クラウド接続機能のエラーメッセージ .....	244
紙詰まり .....	246
紙詰まりの解消 .....	247
多目的トレイで紙が詰まっている .....	248
用紙トレイで紙が詰まっている .....	249
製品の背面で紙が詰まっている .....	251
製品の内部で紙が詰まっている .....	253
両面トレイの内部で紙が詰まっている .....	255
メールボックスユニットの内部で用紙が詰まっている .....	258
印刷の問題 .....	260
印刷品質の改善 .....	263
ネットワークの問題 .....	268
エラーメッセージ .....	269
ネットワーク診断修復ツールを使用する (Windows) .....	272
本製品のネットワーク設定を確認する .....	273
本製品のネットワークに問題がある場合 .....	274
AirPrint の問題 .....	280
その他の問題 .....	281
本製品の情報を確認する .....	283
リセット機能 .....	284
機能設定リセット .....	285
ネットワーク設定のリセット .....	286
出荷状態リセット .....	287
<b>日常のお手入れ .....</b>	<b>288</b>
消耗品を交換する .....	289
トナーカートリッジを交換する .....	291
ドラムユニットを交換する .....	294
本製品を清掃する .....	296
画面を清掃する .....	298
コロナワイヤーを清掃する .....	299
ドラムユニットを清掃する .....	301
給紙ローラーを清掃する .....	307
部品の残りの寿命を確認する .....	309
製品とトナーカートリッジをまとめて梱包する .....	310
定期メンテナンス部品を交換する .....	312
<b>製品の設定 .....</b>	<b>313</b>
操作パネルから製品の設定を変更する .....	314
基本設定 .....	315
設定と機能一覧 .....	326
Web Based Management を使用して製品の設定を変更する .....	348
Web Based Management とは .....	349
Web Based Management にアクセスする .....	350
Web Based Management へのログインパスワードを設定または変更する .....	352
<b>付録 .....</b>	<b>353</b>

---

■ ホーム > 目次

仕様.....	354
消耗品 .....	360
アクセサリ.....	361
メールボックスユニット.....	362
消耗品の購入方法 .....	368
アフターサービスのご案内.....	369

## 本ガイドの使い方

- [注意事項の定義](#)
- [商標](#)
- [オープンソースライセンスについて](#)
- [著作権とライセンスについて](#)
- [重要事項](#)
- [本製品を廃棄するときは](#)

## 注意事項の定義

本ガイドでは、以下の記号が使用されます。

 <b>警告</b>	警告は、この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 <b>注意</b>	注意は、この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容を示しています。
<b>重要</b>	重要は、この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の可能性がある内容を示しています。
<b>お願い</b>	お願いは、ご使用していただく上での注意事項、制限事項などの内容を示しています。
	有益なヒントや補足情報を示しています。
	「感電の危険があること」を示しています。
	「火災の危険があること」を示しています。
	「やけどの危険があること」を示しています。
	「してはいけないこと」を示しています。
<b>太字</b>	本製品の操作パネルやパソコン画面に表示されるボタンを示しています。
[#####]	括弧で囲まれたテキストは、本製品の画面に表示されるメッセージを示しています。

### ✓ 関連情報

- [本ガイドの使い方](#)

## 商標

Apple、App Store、AirPrint、Mac、macOS、iPadOS、iPad、iPhone、iPod touch および Safari は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

Adobe®、Reader®、PostScript、および PostScript 3 は、米国および/またはその他の国におけるアドビシステムズ社の登録商標または商標です。

Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、および Wi-Fi Direct®は、Wi-Fi Alliance®の登録商標です。

WPA™、WPA2™、WPA3™、Wi-Fi CERTIFIED、および Wi-Fi Protected Setup は、Wi-Fi Alliance®の登録商標です。

Android、Google Drive および Google Play は、Google LLC の商標です。

Mopria™ および Mopria™ のロゴは、米国およびその他の国における Mopria Alliance, Inc.の登録商標および/または未登録商標およびサービスマークです。不正使用は固く禁じられています。

EVERNOTE は、Evernote Corporation の登録商標であり、使用許諾を得て使用しています。

Bluetooth® ワードマークは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。ブラザー工業株式会社は使用許諾の下でこれらのマークを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

本ガイドに記載されているソフトウェアの各社は、各プログラムに固有のソフトウェアライセンス契約を有しています。

### ソフトウェアの商標

FlashFX® is a registered trademark of Datalight, Inc.

FlashFX® Pro™ is a trademark of Datalight, Inc.

FlashFX® Tera™ is a trademark of Datalight, Inc.

Reliance™ is a trademark of Datalight, Inc.

Reliance Nitro™ is a trademark of Datalight, Inc.

Datalight® is a registered trademark of Datalight, Inc.

ブラザー製品および関連資料等に記載されている社名及び商品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

### ✓ 関連情報

- [本ガイドの使い方](#)

## オープンソースライセンスについて

この製品にはオープンソースソフトウェアが含まれています。

オープンソースライセンスに関する記述と著作権情報を参照するには、[support.brother.com/manuals](https://support.brother.com/manuals) でお使いのモデルの**製品マニュアル**ページにアクセスしてください。

### ✓ 関連情報

- [本ガイドの使い方](#)

## 著作権とライセンスについて

©2023 Brother Industries, Ltd. All rights reserved.

This product includes software developed by the following vendors:

This product includes the “KASAGO TCP/IP” software developed by ZUKEN ELMIC, Inc.

Copyright 1989-2020 Datalight, Inc., All Rights Reserved.

FlashFX® Copyright 1998-2020 Datalight, Inc.



### 関連情報

- [本ガイドの使い方](#)

## 重要事項

- ブラザードライバーとソフトウェアの更新情報については、[support.brother.com/downloads](https://support.brother.com/downloads) を確認してください。
- 本製品の性能を最新の状態に保つため、最新のファームウェアの更新がないか、[support.brother.com/downloads](https://support.brother.com/downloads) をご確認ください。ファームウェアが最新でないと、製品の機能の一部がご利用になれない場合があります。
- 購入された国以外で本製品を使用しないでください。海外各国における無線通信および電力規制に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品で適切に使用できない恐れがあります。
- 本製品を他の人に譲渡したり、交換または廃棄するときは、お買い上げ時の設定にリセットして個人情報をすべて削除することを強くお勧めします。
- 本文中の Windows 10 は、Windows 10 Home、Windows 10 Pro、Windows 10 Education、および Windows 10 Enterprise を指します。
- 本文中の Windows 11 は、Windows 11 Home、Windows 11 Pro、Windows 11 Education、および Windows 11 Enterprise を指します。
- macOS v13 ユーザーの場合：  
本製品は macOS v13 に対応しています。  
本製品のセットアップおよびソフトウェアのインストールについては、同梱されている「かんたん設置ガイド」をご覧ください。  
macOS v11 と macOS v12 のすべての機能は、macOS v13 の環境でも利用可能で、同様の動作をします。
- 本ガイドでは、主に HL-L6310DW の画面メッセージが使用されています。
- 本ガイドでは、主に HL-L6310DW のイラストが使用されています。
- 本ガイド内の画面またはイラストはイメージであるため、実際の形状とは異なる場合があります。
- 特に指定のない限り、本書は Windows10 の画面を使用しています。実際のパソコンの画面はお使いの OS によって異なる可能性があります。
- 本ガイドならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。

## ✓ 関連情報

- [本ガイドの使い方](#)

## 本製品を廃棄するときは

本製品を廃棄する場合は、使用される環境により処理方法が異なります。

- 事業所  
産業廃棄物処理業者に委託してください。またはブラザーホームページを参照してください。
- 一般家庭  
小型家電リサイクル法に基づいて収集を実施している市町村にお住まいの方は、「小型家電回収市町村マーク」を表示している市町村の窓口や、「小型家電認定事業者マーク」を表示している事業者に引き渡してください。また、市町村の小型家電リサイクルの対象となっていない家電製品については、従来どおり、お住まいの市町村の廃棄方法に従って廃棄してください。

対象品目や回収方法に関する詳しい情報は、お住まいの市町村におたずねください。

### ✓ 関連情報

- [本ガイドの使い方](#)

## 本製品のご案内

- 本製品をご使用になる前に
- 前面と背面
- 操作パネルの概要
- タッチパネル画面の操作方法
- 本製品にテキストを入力するには
- Brother ユーティリティへのアクセス (Windows)
- 本製品の入出力ポートの場所
- 製品の換気を良くする

## 本製品をご使用になる前に

印刷操作を行う前に以下の内容を確認してください。

- 本製品に適切なソフトウェアおよびドライバーがインストールされていることを確認します。
- USB ユーザーまたはネットワークケーブルユーザーの場合：インターフェイスケーブルが安全に接続されていることを確認します。

### ファイアウォール (Windows)

お使いのパソコンがファイアウォールによって保護されており、ネットワーク印刷が使えない場合は、ファイアウォールの設定を変更する必要があります。Windows ファイアウォールを使用し、インストーラーからドライバーをインストールした場合、必要なファイアウォールはすでに設定されています。別のファイアウォールを使用している場合は、お使いのファイアウォールのユーザーズガイドを参照するかメーカーにお問い合わせください。

#### ✓ 関連情報

- [本製品のご案内](#)

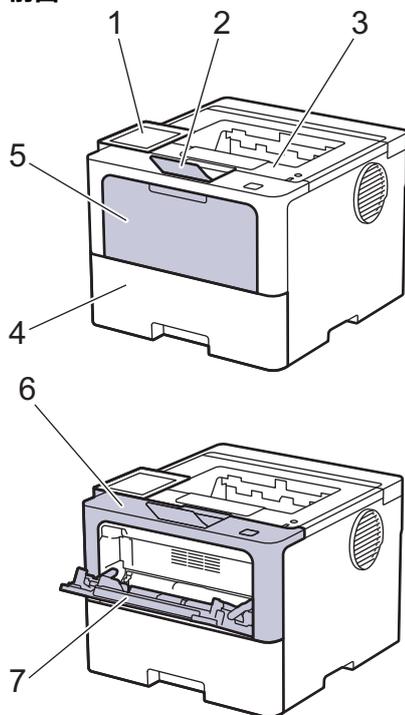
## 前面と背面

>> HL-L5210DN/HL-L5210DW

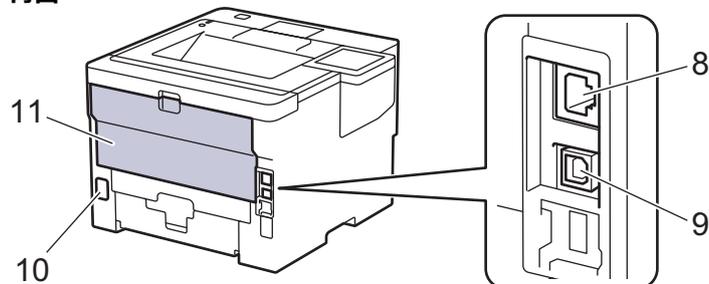
>> HL-L6310DW

### HL-L5210DN/HL-L5210DW

#### 前面



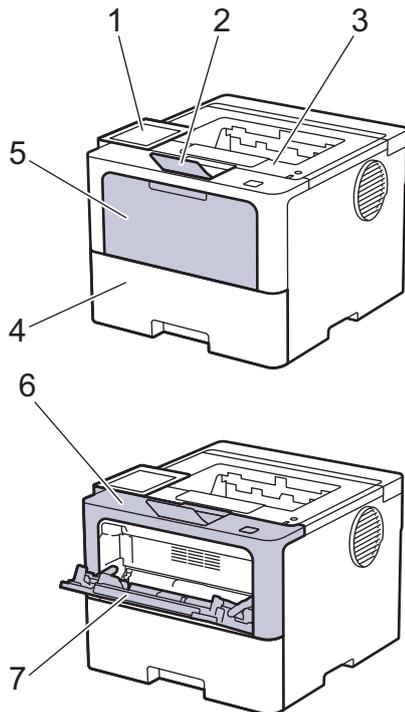
#### 背面



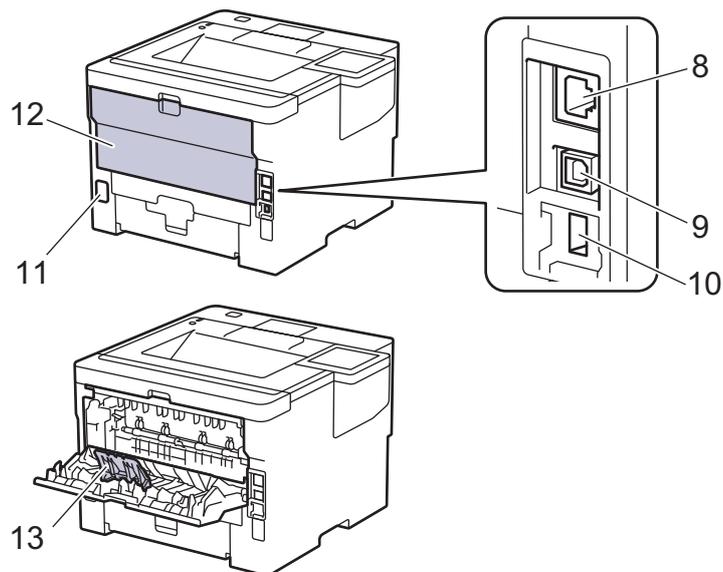
1. 液晶ディスプレイ（LCD）付き操作パネル
2. 上面排紙トレイの排紙ストッパー
3. 上面排紙トレイ
4. 用紙トレイ
5. 多目的トレイのカバー
6. フロントカバー
7. 多目的トレイ
8. （有線 LAN モデル用）  
10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ポート
9. USB ポート
10. AC 電源コネクタ
11. バックカバー（背面排紙トレイ）

## HL-L6310DW

### 前面



### 背面



1. タッチパネル液晶ディスプレイ
2. 上面排紙トレイの排紙ストッパー
3. 上面排紙トレイ
4. 用紙トレイ
5. 多目的トレイのカバー
6. フロントカバー
7. 多目的トレイ
8. 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ポート
9. USB ポート
10. USB アクセサリーポート (背面) (HL-L6310DW)
11. AC 電源コネクタ
12. バックカバー (背面排紙トレイ)

---

### 13. 排紙ストッパー

#### 関連情報

- [本製品のご案内](#)
-

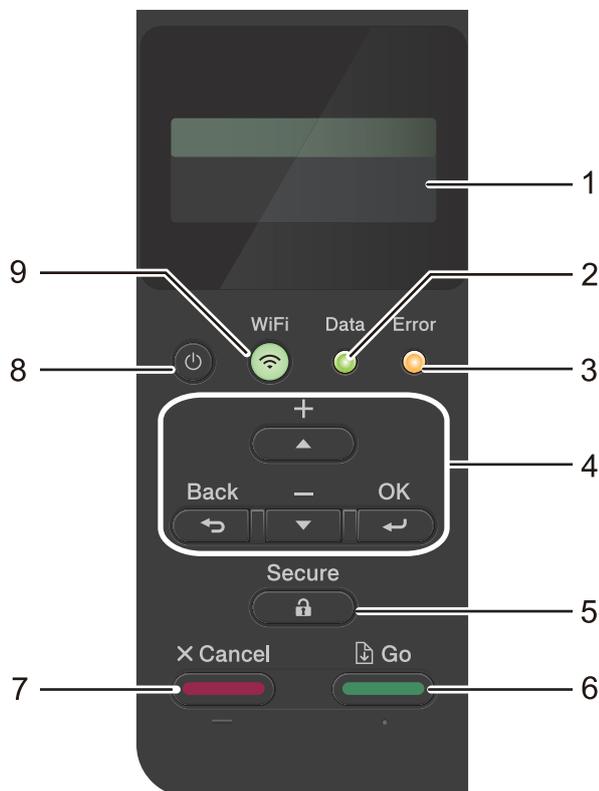
## 操作パネルの概要

操作パネルはお使いのモデルによって異なることがあります。

>> HL-L5210DN/HL-L5210DW

>> HL-L6310DW

### HL-L5210DN/HL-L5210DW



#### 1. 液晶ディスプレイ (LCD)

本製品の設定や使用時に役立つメッセージが表示されます。

無線ネットワークモデル

無線接続をご使用の場合、4段階の表示で無線信号の強度を表します。



#### 2. Data LED

本製品の状態に応じて **Data LED** が点滅します。

**Data LED** が点灯している場合は、本製品のメモリーにデータがあります。**Data LED** が点滅している場合は、本製品がデータを受信中または処理中です。

#### 3. Error LED

画面にエラーまたは重要なステータスメッセージが表示されると、**Error LED** が点滅します。

#### 4. メニューボタン

##### OK

本製品の設定を保存するときに押します。設定を変更した後、本製品は1つ前のメニュー階層に戻ります。

##### Back

- メニューの1つ前の階層に戻るときに押します。
- 数字の入力時に、1つ前の桁を選択するときに押します。

- 文字または数字の入力時に、1つ前の桁を選択するときに押します。

#### ▲または▼ (+ または -)

- メニューやオプションをスクロールするときに押します。
- 数字を入力したり、数字を増減するときに押します。▲または▼を長押しすると、スクロールの速度が上がります。希望の数字を表示して、**OK**を押します。

#### 5. Secure

製品のメモリーに保存されているジョブのいずれかを印刷するときに押します。4桁のパスワードの入力が必要になる場合があります。

#### 6. Go

- 特定のエラーメッセージを消去するときに押します。他のエラーメッセージを消去する場合は、画面の指示に従ってください。
- 本製品のメモリーに残っているデータをすべて印刷するときに押します。
- 表示されたオプションを選択するときに押します。オプションを選択した後、本製品は待機モードに戻ります。

#### 7. Cancel

- 現在の設定をキャンセルするときに押します。
- 印刷ジョブをキャンセルし、本製品のメモリーから消去するときに押します。複数の印刷ジョブをキャンセルするには、画面に「印刷を全て中止します」と表示されるまで **Cancel** を長押しします。

#### 8. 電源オン/オフ

-  を押して本製品の電源を入れます。
-  を長押しして本製品の電源を切ります。

#### 9. WiFi ボタンまたは ネットワークボタン (お使いのモデルによって異なります)

- 有線 LAN モデル :

##### Network

**Network** ボタンを押して有線 LAN 設定を設定します。

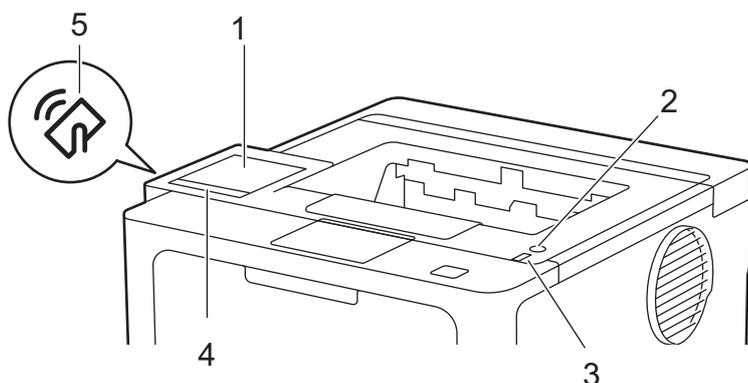
- 無線ネットワークモデル :

##### WiFi

パソコンで無線 LAN インストーラーを起動し、**WiFi** ボタンを押します。画面の指示に従って本製品とネットワーク間の無線接続を設定します。

**WiFi** ランプが点灯している場合は、本製品が無線 LAN アクセスポイントに接続されています。**WiFi** ランプが点滅している場合は、無線接続が切れているか、本製品が無線 LAN アクセスポイントに接続中です。

## HL-L6310DW

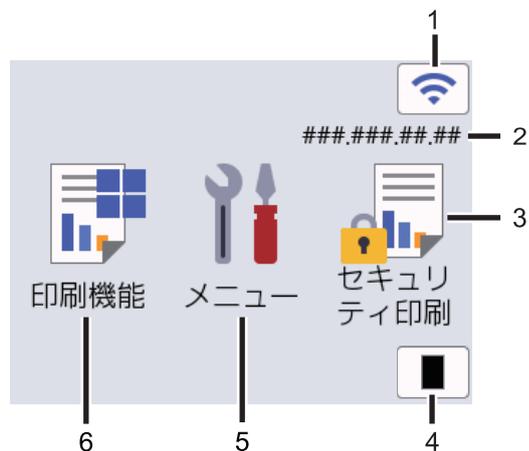


#### 1. タッチパネル液晶ディスプレイ (LCD)

画面に直接タッチして各設定を行います。

ホーム画面から、WiFi セットアップ、トナーレベル、設定、機能、セキュアプリントの各画面にアクセスできます。

本製品のアイドルリング中、ホーム画面には本製品の状態が表示されます。



#### 1. (無線 LAN 状態)

無線 LAN を設定するときを押します。

無線接続をご使用の場合、ホーム画面に 4 段階の表示で現在の無線信号の強度が示されます。



 が無線 LAN 状態として表示されている場合、これを押して無線接続方法を選択するか、既存の無線接続を設定します。

#### 2. IP アドレス

[画面設定]メニューで[IP アドレス]設定がオンになっている場合、本製品の IP アドレスがホーム画面に表示されます。

#### 3. [セキュリ ティ印刷]

セキュアプリントオプションにアクセスするときを押します。

#### 4. [トナー]

トナーの残量を表示します。押すと[トナー]メニューにアクセスすることができます。

#### 5. [メニュー]

押すと[メニュー]メニューにアクセスすることができます。

設定メニューから、本製品のすべての設定にアクセスできます。

設定ロックがオンに設定されている場合、ロックアイコン  が画面に表示されます。設定を変更するには、本製品のロック解除が必要です。

#### 6. [印刷機能]

機能画面にアクセスするときを押します。

#### [クラウド]

本製品をウェブサービスに接続するときを押します。

## 印刷機能



クラウド

### ⚠ (警告) アイコン



エラーまたはメンテナンスメッセージがあるときに、警告アイコン  が表示されます。  を押して表示し、問題に対処してから、  を押して待機モードに戻ります。

### 2. 電源ボタン

-  を押して本製品の電源を入れます。
-  を長押しして本製品の電源を切ります。

### 3. LED 電源ランプ

本製品の電源のオン・オフ状態を表示します。

### 4. タッチパネル

#### (戻る)

前のメニューに戻るときに押します。

#### (ホーム)

押してホーム画面に戻ります。

#### (キャンセル)

操作をキャンセルしたり印刷ジョブをキャンセルして、本製品のメモリーから消去するときに押します。

### 5. 近距離無線通信 (NFC)

該当する場合は、集積回路カード (IC カード) を本製品の NFC タッチ部分にタッチすることで、カード認証を使用します。



## 関連情報

- 本製品のご案内

## タッチパネル画面の操作方法

関連モデル: HL-L6310DW

画面を指で押して操作します。すべてのオプションを表示してアクセスするには、左右フリックするか、画面の▲または▼を押してスクロールします。

### 重要

ペンや針等のとがったもので液晶ディスプレイを触らないでください。製品が損傷するおそれがあります。

### お願い

電源コードを差し込んだ直後、または電源を入れた直後は、すぐには液晶ディスプレイに触らないでください。エラーを起こすおそれがあります。



本製品は、ARPHIC TECHNOLOGY CO., LTD.が所有するフォントを使用しています。



### 関連情報

- [本製品のご案内](#)

## 本製品にテキストを入力するには

>> HL-L5210DN/HL-L5210DW

>> HL-L6310DW

### HL-L5210DN/HL-L5210DW

テキストを入力する必要がある場合、本製品に文字を入力します。使用できる文字は、操作内容によって異なる場合があります。

- ▲ または ▼ を長押しするか、繰り返し押し、このリストから文字を選択します。  
0123456789abcdefghijklmnopqrstuvwxyzABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ(space)!"#\$%&'()\*+,-./:;<=>?  
@[¥]^\_`{|}~
- 使用したい文字や記号が表示されたら、**OK** を押し、次の文字を入力します。
- **Back** を押すと、間違えて入力した文字を削除することができます。

### HL-L6310DW

- 本製品にテキストを入力する必要がある場合、液晶ディスプレイにキーボードが表示されます。
- 使用できる文字は、国によって異なる場合があります。
- キーボードのレイアウトは、操作によって異なる場合があります。



- **A 1 @** を押して文字、数字、特殊記号を切り替えます。
- **⇧aA** を押して小文字と大文字を選択します。
- カーソルを左右に動かすには、◀ または ▶ を押します。

#### スペースを挿入する

- スペースを入力するには、[スペース] を押します。

#### 訂正する

- 間違えて文字を入力し、これを変更したい場合、◀ または ▶ を押して、カーソルを間違えた文字のところまで移動し、**✕** を押します。正しい文字を入力します。
- 文字を挿入するには、◀ または ▶ を押し、カーソルを正しい場所まで移動してから文字を入力します。
- 1文字削除する場合は **✕** を押します。すべての文字を削除する場合は **✕** を長押しします。

### ✓ 関連情報

- [本製品のご案内](#)

---

**関連トピック：**

- 本製品の操作パネルからセットアップウィザードを使用して無線ネットワークを設定する
  - SSID が隠ぺいされている場合に、本製品に無線ネットワークを設定する
  - 設定ロックパスワードを設定する
  - 本製品にクラウド接続機能を使用するためのアカウントを登録する
  - Web サービスを使用してダウンロードや印刷を行う
-

## Brother ユーティリティへのアクセス (Windows)

**Brother Utilities** は、お使いのパソコンにインストールされたブラウザアプリケーションに簡単にアクセスできるアプリケーションランチャーです。

1. 以下のいずれかを行ってください：

- (Windows 11)

 > **すべてのアプリ** > **Brother** > **Brother Utilities** をクリックします。

- (Windows 10、Windows Server 2016、Windows Server 2019、および Windows Server 2022)

 > **Brother** > **Brother Utilities** をクリックします。

- (Windows Server 2012 R2)

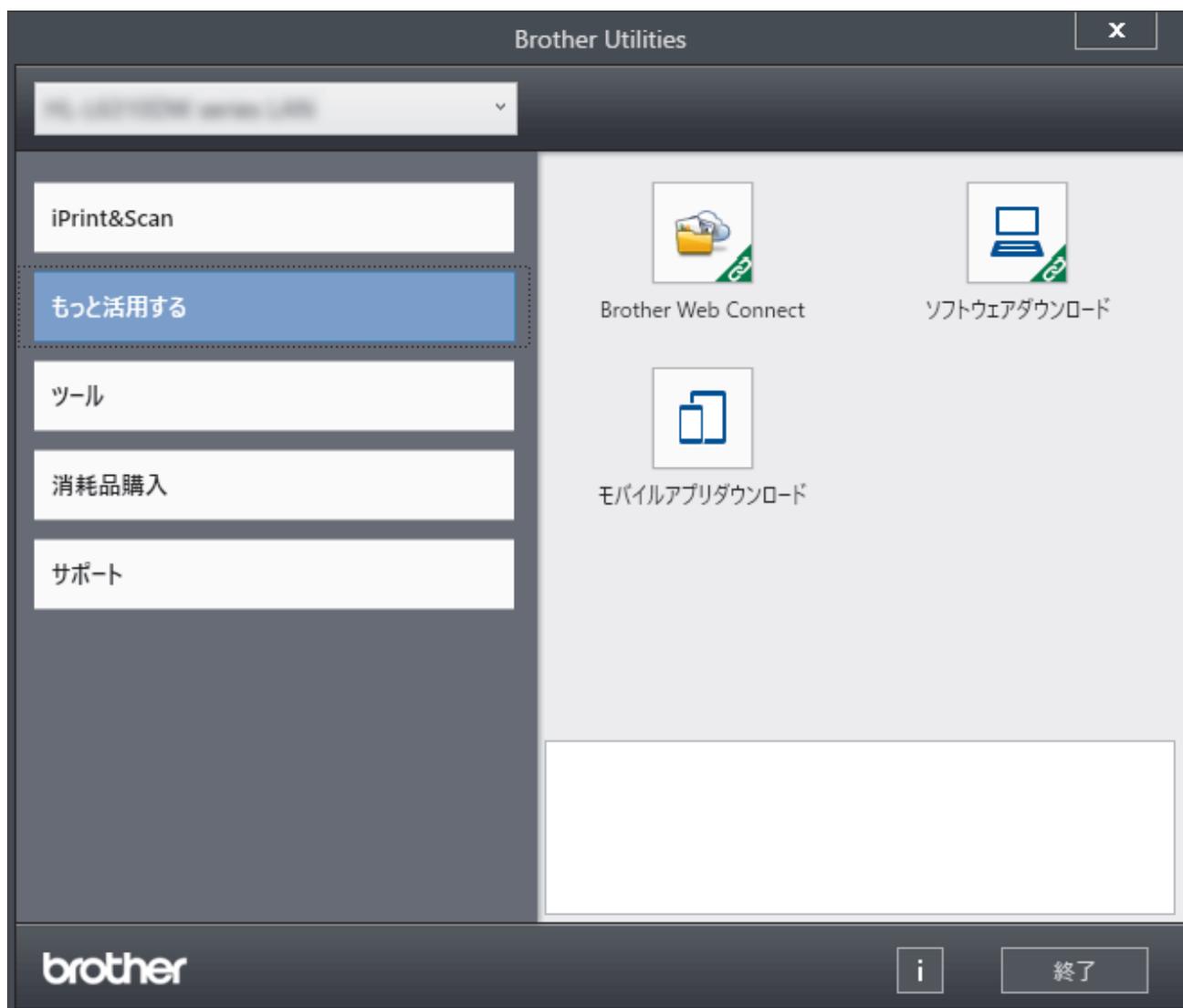
スタート画面の左下にマウスを移動し、 をクリックします (タッチ型の機器の場合は、スタート画面を下から上にフリックし、**アプリ**画面を表示します)。

**アプリ** が表示されたら、 (**Brother Utilities**) をタップまたはクリックします。

- (Windows Server 2012)

スタート画面またはデスクトップ上で  (**Brother Utilities**) をタップまたはクリックします。

2. 本製品を選択します。



3. セットしたいオプションを選択します。



## 関連情報

- 本製品のご案内
  - ソフトウェアとドライバーをアンインストールする (Windows)

## ソフトウェアとドライバーをアンインストールする (Windows)

1. 以下のいずれかを行ってください：

- Windows 11



> **すべてのアプリ** > **Brother** > **Brother Utilities** をクリックします。

- Windows 10、Windows Server 2016、Windows Server 2019 および Windows Server 2022



> **Brother** > **Brother Utilities** をクリックします。

- Windows Server 2012 R2

スタート画面の左下にマウスを移動し、 をクリックします (タッチ型の機器の場合は、スタート画面を下から上にフリックし、**アプリ**画面を表示します)。

**アプリ** が表示されたら、 (**Brother Utilities**) をタップまたはクリックします。

- Windows Server 2012

スタート画面またはデスクトップ上で  (**Brother Utilities**) をタップまたはクリックします。

2. 使用モデルが選択されていない場合、ドロップダウンリストから選択します。

3. 左側にあるナビゲーションバーの**ツール**をクリックします。

- **ソフトウェア更新通知**アイコンが表示されている場合は、それを選択して、**今すぐ確認する** > **ソフトウェア更新確認** > **アップデート** をクリックします。画面の指示に従います。
- **ソフトウェア更新通知**アイコンが表示されていない場合は、次のステップへ進みます。

4. **Brother Utilities** の**ツール**セクションの**アンインストール**をクリックします。

ダイアログボックスの指示に従い、ソフトウェアやドライバーをアンインストールします。

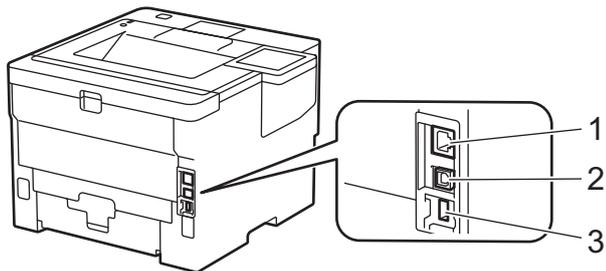


### 関連情報

- [Brother ユーティリティへのアクセス \(Windows\)](#)

## 本製品の入出力ポートの場所

入出力ポートは本製品の前面と背面にあります。



1. 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ポート（ネットワークモデル用）
2. USB ポート
3. USB アクセサリーポート（背面）

HL-L6310DW

USB ケーブルまたはネットワークケーブルを接続する場合は、ソフトウェアドライバーインストーラーに表示される指示に従ってください。

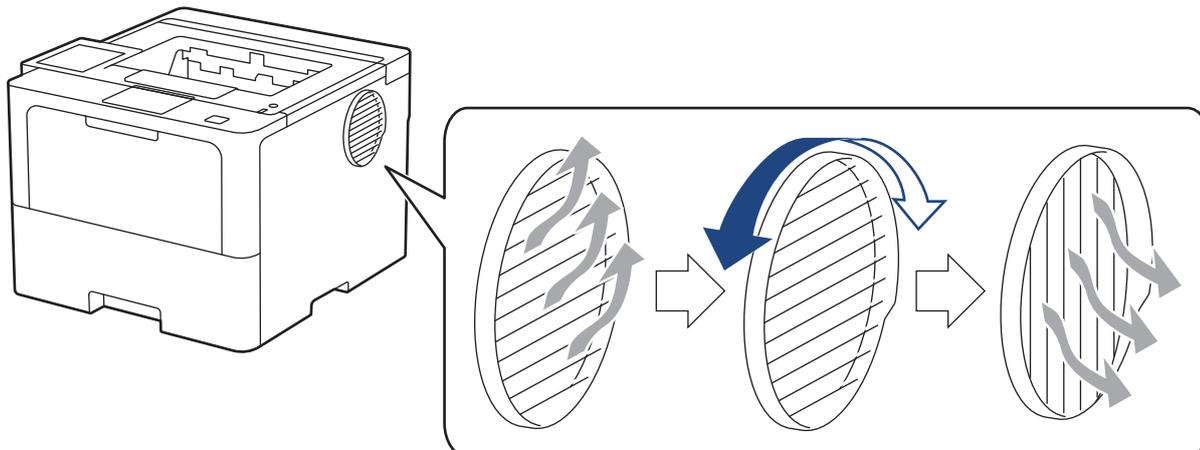
本製品の操作に必要なドライバーとソフトウェアをインストールするには、[support.brother.com/downloads](http://support.brother.com/downloads) で、お使いのモデルのソフトウェアダウンロードページをご覧ください。

### ✓ 関連情報

- [本製品のご案内](#)

## 製品の換気を良くする

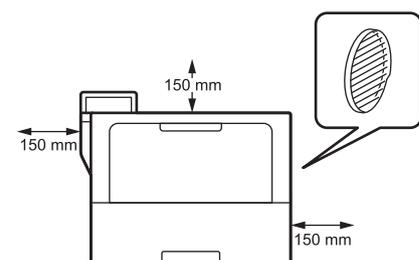
メインの排気口カバーを回転して、製品の内部からの空気の流れを変えます。



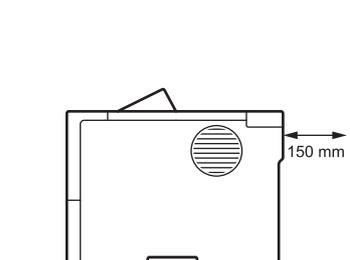
### ⚠ 注意

- 排気口を回転する際は、やけどをしないように注意してください。加熱していることがあります。
- イラストに示すように製品の周りには最小限の隙間を確保してください。

前面



側面



### お願い

製品のスロットや開口部を塞いだり、遮る場所に製品を置かないでください。スロットや開口部は換気のために取り付けられています。

### ✓ 関連情報

- [本製品のご案内](#)

## 紙の取り扱い

- 用紙のセット
- 用紙設定
- 印刷できない領域
- 特殊用紙を使用する

## 用紙のセット

- 用紙トレイに用紙をセットして印刷する
- 多目的トレイ（MPトレイ）に用紙をセットして印刷する
- 紙詰まりの解消

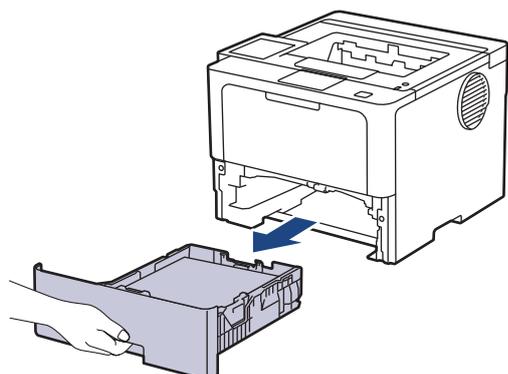
## 用紙トレイに用紙をセットして印刷する

- 用紙トレイに用紙をセットする
- 用紙トレイを使用し厚紙をセットして印刷する
- 印刷の問題

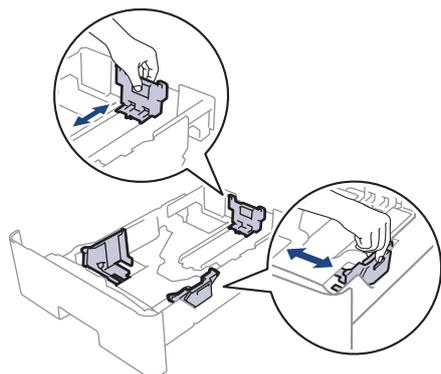
## 用紙トレイに用紙をセットする

- 用紙確認設定がオンに設定されているときに、製品から用紙トレイを引き出すと、画面に用紙タイプと用紙サイズ設定を変更するか尋ねるメッセージが表示されます。必要であれば用紙サイズと用紙タイプの設定を変更し、画面の指示に従ってください。
- サイズとタイプの異なる用紙をトレイにセットした場合、本製品かお持ちのパソコンでも用紙サイズと用紙タイプの設定を変更する必要があります。

1. 用紙トレイを本製品から完全に引き出します。



2. 緑色のレバーを押して用紙ガイドをスライドさせ、用紙に合わせます。



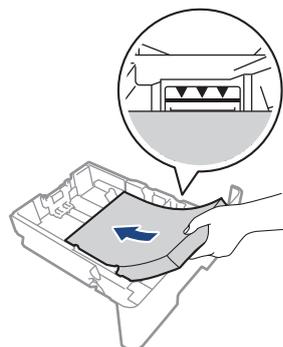
3. 用紙をよくさばきます。

4. 用紙の印刷面を下にして、用紙トレイにセットします。

 レターヘッド紙や印刷済み用紙を使用する場合、用紙を正しい向きにセットします。「関連情報」をご覧ください：用紙トレイを使用してレターヘッドや印刷済み用紙を印刷できるように、本製品の設定を変更する

5. 用紙の束が最大用紙容量マーク(▼▼▼)よりも下になっていることを確認します。

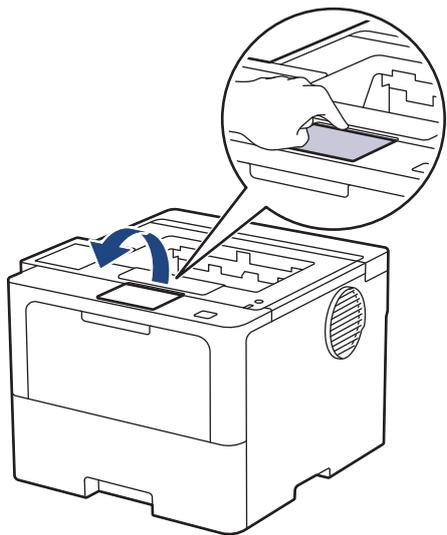
用紙トレイに用紙を入れすぎると、紙詰まりの原因となる場合があります。



6. 用紙トレイをゆっくと押して、本製品に確実に取り付けます。

---

7. 排紙ストッパーを持ち上げて、用紙が排紙トレイから滑り落ちないようにします。



#### ✓ 関連情報

- 用紙トレイに用紙をセットして印刷する
    - 用紙トレイを使用してレターヘッドや印刷済み用紙を印刷できるように、本製品の設定を変更する
-

▲ホーム > 紙の取り扱い > 用紙のセット > 用紙トレイに用紙をセットして印刷する > 用紙トレイに用紙をセットする > 用紙トレイを使用してレターヘッドや印刷済み用紙を印刷できるよう、本製品の設定を変更する

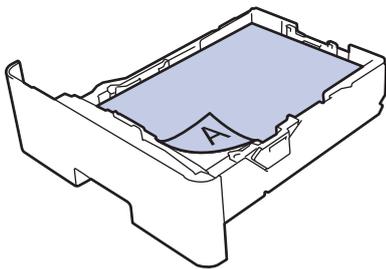
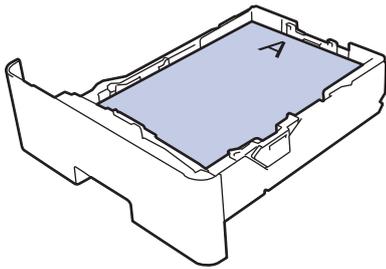
## 用紙トレイを使用してレターヘッドや印刷済み用紙を印刷できるよう、本製品の設定を変更する

レターヘッドまたは印刷済み用紙を両面印刷に使用するとき、本製品の設定を変更します。



- サイズやタイプの異なる用紙を同時に用紙トレイにセットしないでください。紙詰まりや紙送り異常の原因となる場合があります。
- 印刷位置がレターヘッドや事前に印刷されている用紙とずれている場合、用紙トレイの印刷位置設定で印刷位置を調整することができます。
- 印刷済み用紙は、印刷方法やインクの種類によっては、印刷汚れが発生する場合があります。

### 向き

	片面印刷の場合 • 下向き • 上端を用紙トレイの手前方向へ
	自動両面印刷（長辺とじ）の場合 • 上向き • 下端を用紙トレイの手前方向へ

>> HL-L5210DN/HL-L5210DW

>> HL-L6310DW

### HL-L5210DN/HL-L5210DW

- ▲または▼を押して以下を選択します。
  - [プリンター]を選択します。OKを押します。
  - [両面印刷]を選択します。OKを押します。
  - [片面ゲージ搬送方式]を選択します。OKを押します。
- ▲または▼を押して、[両面搬送経路]を選択し、Goを押します。

### HL-L6310DW

-  [メニュー] > [全てのメニュー] > [プリンター] > [両面印刷] > [片面ゲージ搬送方式] > [両面搬送経路]を押します。
-  を押します。

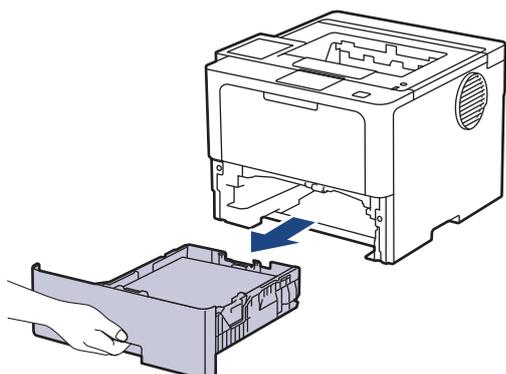
### ✓ 関連情報

- [用紙トレイに用紙をセットする](#)

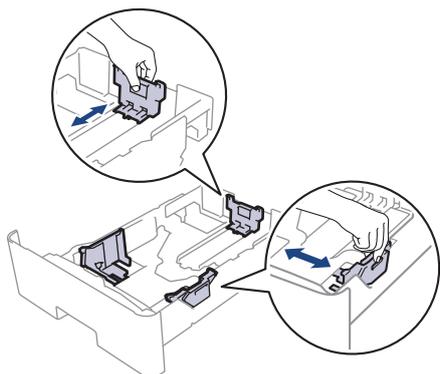
## 用紙トレイを使用し厚紙をセットして印刷する

- 用紙確認設定がオンに設定されているときに、製品から用紙トレイを引き出すと、画面に用紙タイプと用紙サイズ設定を変更するか尋ねるメッセージが表示されます。必要であれば用紙サイズと用紙タイプの設定を変更し、画面の指示に従ってください。
- サイズとタイプの異なる用紙をトレイにセットした場合、本製品かお持ちのパソコンでも用紙サイズと用紙タイプの設定を変更する必要があります。

1. 用紙トレイを本製品から完全に引き出します。



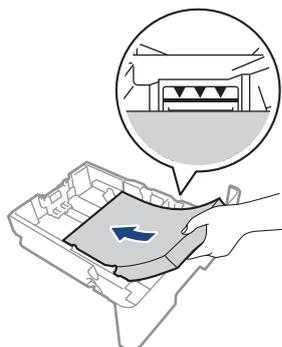
2. 緑色のレバーを押して用紙ガイドをスライドさせ、用紙に合わせます。



3. 用紙をよくさばきます。
4. 用紙の印刷面を下にして、用紙トレイにセットします。

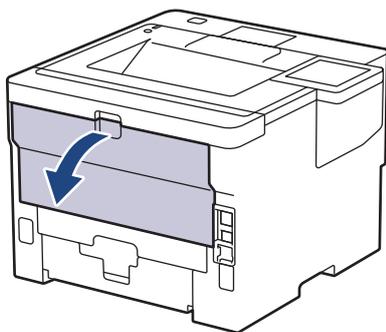
 サイズやタイプの異なる用紙を同時に用紙トレイにセットしないでください。紙詰まりや紙送り異常の原因となる場合があります。

5. 用紙の束が最大用紙容量マーク(▼▼▼)よりも下になっていることを確認します。  
用紙トレイに用紙を入れすぎると、紙詰まりの原因となる場合があります。

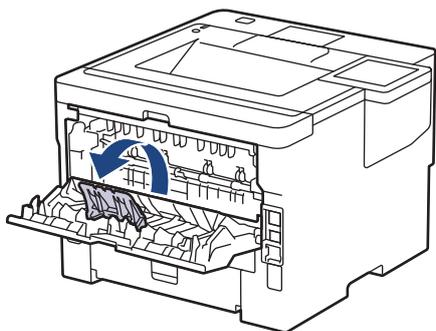


6. 用紙トレイをゆっくりと押して、本製品に確実に取り付けます。

7. 本製品のバックカバー（背面排紙トレイ）を開けます。



8. 用紙ストッパーを開けます。（HL-L6310DW）



9. 印刷ジョブを本製品に送信します。



印刷ダイアログボックスでお好みの設定を変更します。

10. 用紙ストッパーを閉じます。（HL-L6310DW）

11. 完了したら、本製品のバックカバー（背面排紙トレイ）が閉位置に固定されるまで完全に閉じます。

## ✓ 関連情報

- [用紙トレイに用紙をセットして印刷する](#)

## 多目的トレイ (MP トレイ) に用紙をセットして印刷する

- 多目的トレイ (MP トレイ) に用紙をセットする
- 多目的トレイにラベルをセットして印刷する
- 多目的トレイに封筒をセットして印刷する
- 印刷の問題

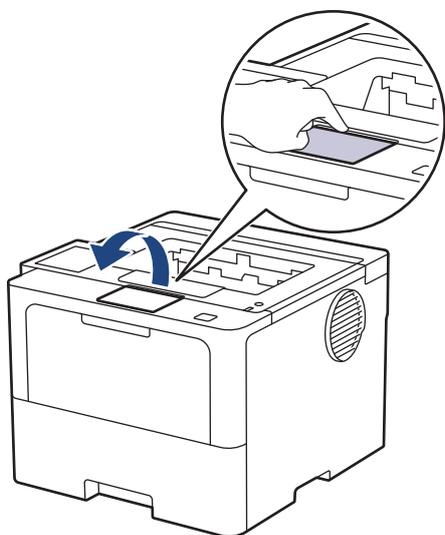
▲ホーム > 紙の取り扱い > 用紙のセット > 多目的トレイ (MPトレイ) に用紙をセットして印刷する > 多目的トレイ (MPトレイ) に用紙をセットする

## 多目的トレイ (MPトレイ) に用紙をセットする

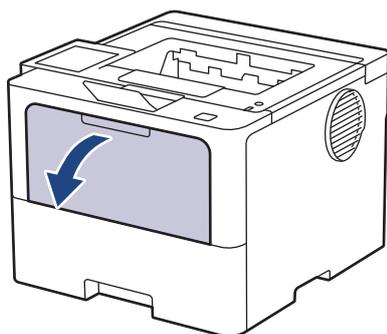
サイズとタイプの異なる用紙をトレイにセットした場合、本製品かお持ちのパソコンでも用紙サイズと用紙タイプの設定を変更する必要があります。

- 普通紙
- 薄紙
- 厚紙
- 再生紙
- レターヘッド
- カラー用紙

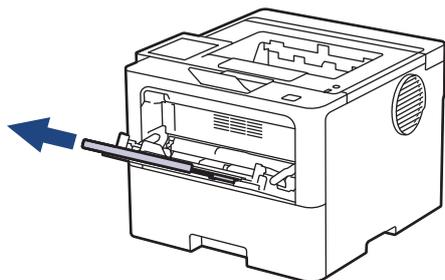
1. 排紙ストッパーを持ち上げて、用紙が上面排紙トレイから滑り落ちないようにします。



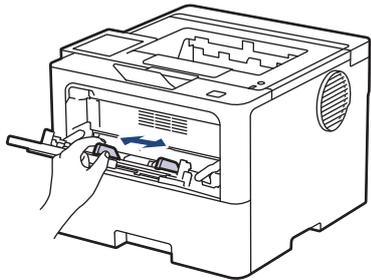
2. 多目的トレイを開き、静かに下げます。



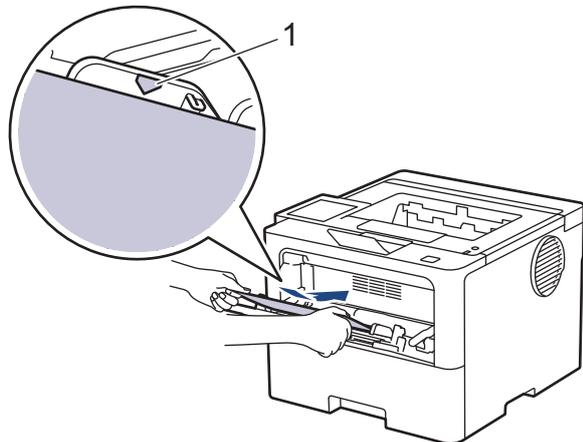
3. 多目的トレイサポートを引き出します。



4. 使用する用紙サイズの幅に合わせて、多目的トレイの用紙ガイドを調整します。



5. 用紙の印刷面を上にして、多目的トレイにセットします。



- 用紙が最大積載枚数のマーク（1）を超えていないことを確認します。
- レターヘッド紙や印刷済み用紙を使用する場合、用紙を正しい向きにセットします。「関連情報」をご覧ください：多目的トレイを使用してレターヘッドや印刷済み用紙を印刷できるように、本製品の設定を変更する

### ✓ 関連情報

- 多目的トレイ（MPトレイ）に用紙をセットして印刷する
  - 多目的トレイを使用してレターヘッドや印刷済み用紙を印刷できるように、本製品の設定を変更する

▲ホーム > 紙の取り扱い > 用紙のセット > 多目的トレイ (MPトレイ) に用紙をセットして印刷する > 多目的トレイ (MPトレイ) に用紙をセットする > 多目的トレイを使用してレターヘッドや印刷済み用紙を印刷できるように、本製品の設定を変更する

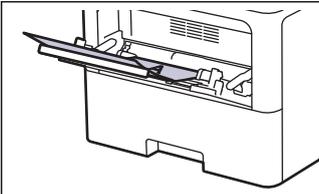
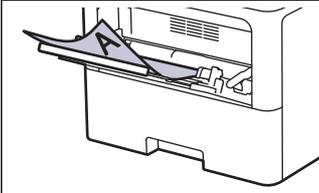
## 多目的トレイを使用してレターヘッドや印刷済み用紙を印刷できるように、本製品の設定を変更する

レターヘッドまたは印刷済み用紙を両面印刷に使用するとき、本製品の設定を変更します。



- サイズやタイプの異なる用紙を同時に用紙トレイにセットしないでください。紙詰まりや紙送り異常の原因となる場合があります。
- 印刷位置がレターヘッドや事前に印刷されている用紙とずれている場合、多目的トレイの印刷位置設定で印刷位置を調整することができます。
- 印刷済み用紙は、印刷方法やインクの種類によっては、印刷汚れが発生する場合があります。

### 向き

	片面印刷の場合 • 上向き • 上端を合わせる
	自動両面印刷 (長辺とじ) の場合 • 下向き • 下端を合わせる

>> HL-L5210DN/HL-L5210DW

>> HL-L6310DW

### HL-L5210DN/HL-L5210DW

1. ▲または▼を押して以下を選択します。
  - a. [プリンター]を選択します。**OK**を押します。
  - b. [両面印刷]を選択します。**OK**を押します。
  - c. [片面データ搬送方式]を選択します。**OK**を押します。
2. ▲または▼を押して、[両面搬送経路]を選択し、**Go**を押します。

### HL-L6310DW

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [プリンター] > [両面印刷] > [片面データ搬送方式] > [両面搬送経路]を押します。
2.  を押します。

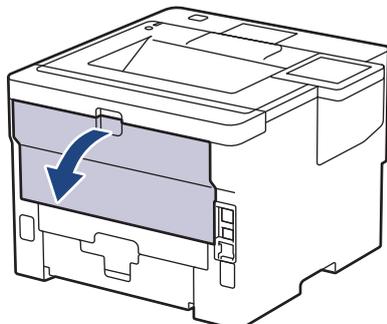
### ✓ 関連情報

- [多目的トレイ \(MPトレイ\) に用紙をセットする](#)

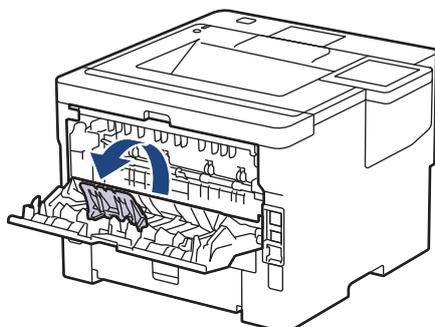
## 多目的トレイにラベルをセットして印刷する

ラベルに印刷する場合は、バックカバー (背面排紙トレイ) を開け、多目的トレイを使用します。  
サイズとタイプの異なる用紙をトレイにセットした場合、本製品かお持ちのパソコンでも用紙サイズと用紙タイプの設定を変更する必要があります。

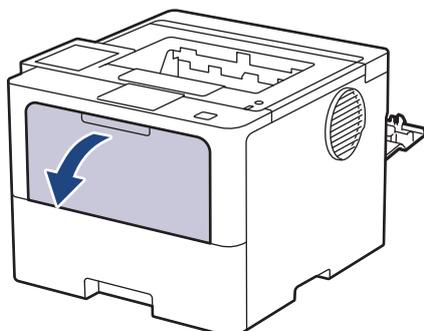
1. 本製品のバックカバー (背面排紙トレイ) を開けます。



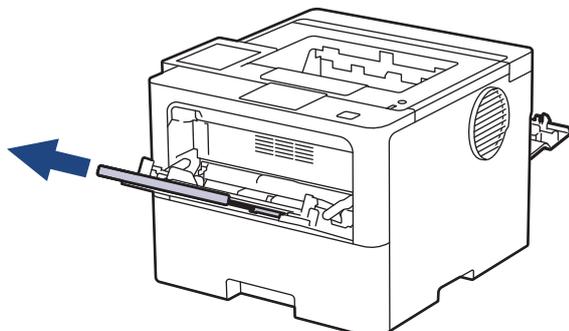
2. 用紙ストッパーを開けます。 (HL-L6310DW)



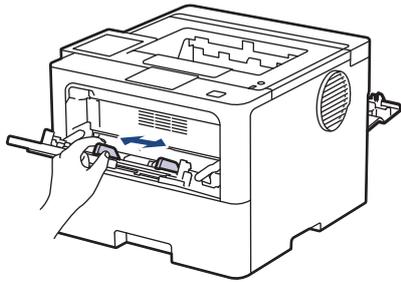
3. 本製品の前面にある多目的トレイを開け、静かに下げます。



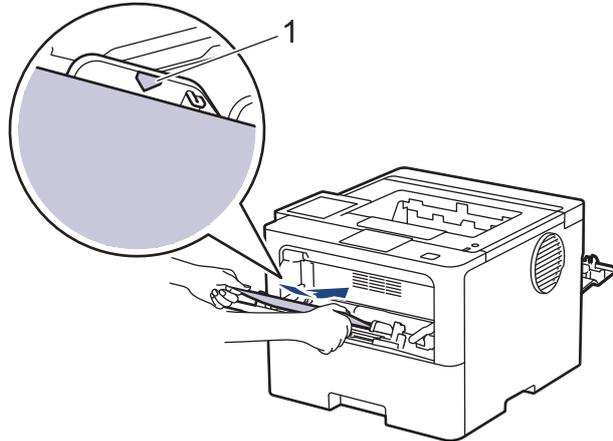
4. 多目的トレイサポートを引き出します。



5. 使用するラベルの幅に合わせて、多目的トレイの用紙ガイドを調整します。



6. ラベルの印刷面を上にして、多目的トレイにセットします。



ラベルが最大積載枚数のマーク（1）を超えていないことを確認します。

7. 印刷画面で印刷設定を変更します。
8. 印刷ジョブを本製品に送信します。
9. 用紙ストッパーを閉じます。（HL-L6310DW）
10. 完了したら、本製品のバックカバー（背面排紙トレイ）が閉位置に固定されるまで完全に閉じます。

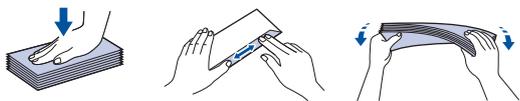


#### 関連情報

- 多目的トレイ（MPトレイ）に用紙をセットして印刷する

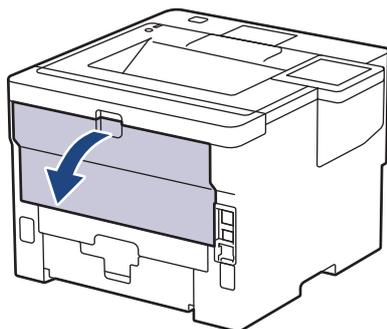
## 多目的トレイに封筒をセットして印刷する

封筒の角や側面を押して平らにしてからセットします。

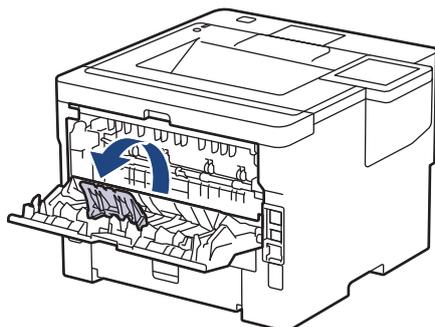


サイズとタイプの異なる用紙をトレイにセットした場合、本製品かお持ちのパソコンでも用紙サイズと用紙タイプの設定を変更する必要があります。

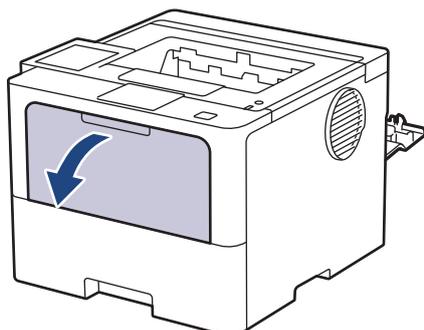
1. 本製品のバックカバー (背面排紙トレイ) を開けます。



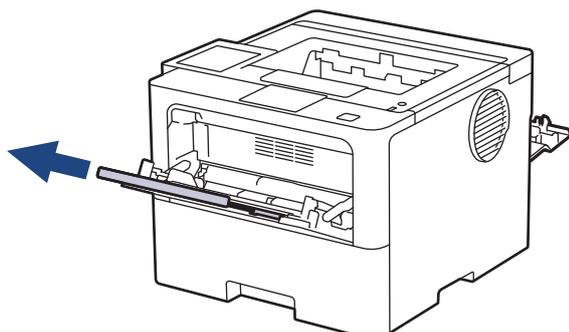
2. 用紙ストッパーを開けます。 (HL-L6310DW)



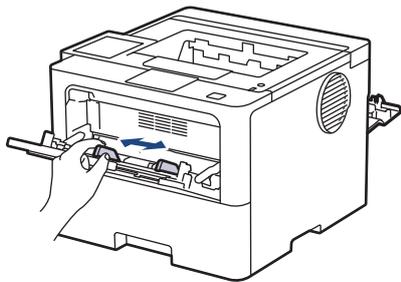
3. 本製品の前面にある多目的トレイを開け、静かに下げます。



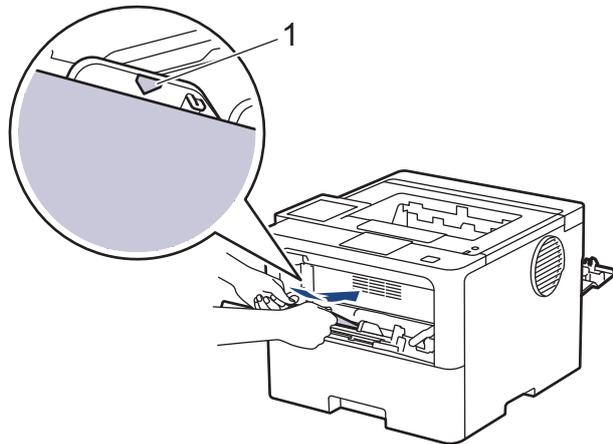
4. 多目的トレイサポートを引き出します。



5. 使用する封筒の幅に合わせて、多目的トレイの用紙ガイドを調整します。



6. 封筒の印刷面を上にして、多目的トレイにセットします。



 印刷面を上にして、封筒を多目的トレイにセットします。封筒が最大積載枚数のマーク（1）を超えていないことを確認します。

7. 印刷ダイアログボックスでお好みの設定を変更します。

設定	封筒に使用するオプション
用紙サイズ	Com-10 DL C5 モナーク 長形 3 号 封筒 長形 4 号 封筒 洋形 4 号 封筒
用紙種類	封筒 封筒 (厚め) 封筒 (薄め)

8. 印刷ジョブを本製品に送信します。

9. 完了したら、本製品のバックカバー（背面排紙トレイ）が閉位置に固定されるまで完全に閉じます。

 (HL-L6310DW)  
用紙ストッパーを閉じ、バックカバーを閉じます。

### 関連情報

- 多目的トレイ（MPトレイ）に用紙をセットして印刷する

## 用紙設定

- 用紙サイズと用紙タイプを変更する
- トレイ確認の設定を変更する
- 紙詰まりの解消

## 用紙サイズと用紙タイプを変更する

トレイにセットする用紙のサイズと用紙タイプを変更した場合、画面でも用紙サイズと用紙タイプの設定を変更する必要があります。

>> [HL-L5210DN/HL-L5210DW](#)

>> [HL-L6310DW](#)

### HL-L5210DN/HL-L5210DW

- ▲ または ▼ を押して以下を選択します。
  - [基本設定] を選択します。OK を押します。
  - [トイ設定] を選択します。OK を押します。
  - [用紙タイプ] を選択します。OK を押します。
- ▲ または ▼ を押して変更したい用紙トレイを表示させ、OK を押します。
- ▲ または ▼ を押して使用したい用紙タイプを表示させ、OK を押します。
- Back を押します。
- ▲ または ▼ を押して、[用紙サイズ] オプションを表示し、OK を押します。
- ▲ または ▼ を押して変更したい用紙トレイを表示させ、OK を押します。
- ▲ または ▼ を押して使用したい用紙タイプを表示させ、OK を押します。
- ▲ または ▼ を押して使用したい用紙サイズを表示させ、Go を押します。

### HL-L6310DW

-  [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [用紙トレイ設定] > [用紙タイプ] を押します。
- セットしたい用紙トレイオプションを押します。
- ▲ または ▼ を押して用紙タイプオプションを表示させ、使用したいオプションを押します。
-  を押します。
- ▲ または ▼ を押して、[用紙サイズ] を表示し、[用紙サイズ] を押します。
- ▲ または ▼ を押して用紙トレイオプションを表示させ、使用したいオプションを押します。
- ▲ または ▼ を押して用紙サイズオプションを表示させ、使用したいオプションを押します。
-  を押します。

### ✓ 関連情報

- [用紙設定](#)

## トレイ確認の設定を変更する

用紙確認設定がオンになっている場合、用紙トレイを外すか、多目的トレイに用紙をセットすると、用紙サイズや用紙の種類を変更したかどうかを確認するメッセージがディスプレイに表示されます。

お買い上げ時の設定はオンです。

>> [HL-L5210DN/HL-L5210DW](#)

>> [HL-L6310DW](#)

### HL-L5210DN/HL-L5210DW

- ▲ または ▼ を押して以下を選択します。
  - [基本設定] を選択します。OK を押します。
  - [トレイ設定] を選択します。OK を押します。
  - [トレイ確認] を選択します。OK を押します。
- ▲ または ▼ を押して、[⌘] または [⌘] を選択してから、Go を押します。

### HL-L6310DW

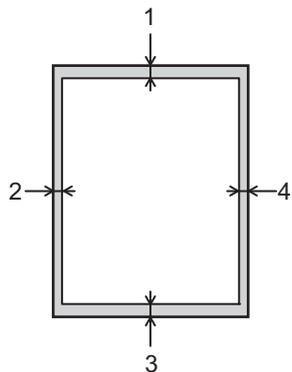
-  [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [用紙トレイ設定] > [トレイ確認] を押します。
- [オン] または [オフ] を押します。
-  を押します。

### ✓ 関連情報

- [用紙設定](#)

## 印刷できない領域

下表の数値は、一般的に使用される用紙サイズの端からの最大印刷不可領域を表したものです。この数値は、ご使用の用紙サイズや設定により異なる場合があります。



これらの領域に印刷しようとししないでください。これらの領域には出力されません。

用途	原稿サイズ	上部 (1) 下部 (3)	左 (2) 右 (4)
印刷	レター	4.2 mm	4.2 mm
	A4	4.2 mm	4.2 mm
	はがき	4.2 mm	4.2 mm



### 関連情報

- 紙の取り扱い

## 特殊用紙を使用する

用紙を購入する前に、サンプル用紙を使用して正しく印刷できるかを確認してください。

- 紙詰まりや製品損傷の原因となりますので、インクジェット紙は使用しないでください。
- 粗面紙、しわのある/しわ加工紙を使用すると、印字品質が低下することがあります。

印刷用紙は購入時のパッケージに封をして保管してください。平らな場所に置いて、多湿、直射日光、高温を避けてください。

### 重要

一部の用紙は印字品質を低下させ、製品損傷の原因となる場合があります。

次に該当する用紙は使用しないでください:

- 表面が極めてざらついている
- 表面が極めてつるつるしている、または光沢がある
- 丸まっている、または反っている
- コーティング加工または化学薬品で仕上げされている
- 破損、しわ、または折り曲げがある
- 本ガイドで指定する推奨重量を超えている
- タブやホチキスが留められている
- 低温染料使用またはサーモグラフィ加工されたレターヘッド
- マルチパートまたはノーカーボン紙
- インクジェット専用紙

上記いずれかに該当する用紙をご使用になった場合、製品損傷の原因となる場合があります。これが起因の損傷は、保証またはサービス契約の対象外となります。

### ✓ 関連情報

- [紙の取り扱い](#)

#### 関連トピック:

- [紙詰まりの解消](#)

## 印刷

- パソコンから印刷する (Windows)
- パソコンから印刷する (Mac)
- Eメールの添付ファイルを印刷する
- USBフラッシュメモリーを使用したセキュリティ印刷
- 副本を印刷する
- 操作パネルを使用し印刷の設定を変更する
- 印刷ジョブをキャンセルする
- テスト印刷
- ユニバーサルプリント

## パソコンから印刷する (Windows)

- [文書を印刷する \(Windows\)](#)
- [印刷設定 \(Windows\)](#)
- [セキュリティ印刷 \(Windows\)](#)
- [初期値の印刷設定を変更する \(Windows\)](#)
- [BR-Script3 プリンタードライバー \(PostScript® 3™ 言語エミュレーション\) を使用して文書を印刷する \(Windows\)](#)
- [お使いのパソコンから本製品の状態を監視する \(Windows\)](#)

## 文書を印刷する (Windows)

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. お使いのモデル名を選択し、プリンターのプロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。  
プリンタードライバーの設定画面が表示されます。



3. 用紙トレイに正しいサイズの用紙がセットされているかを確認します。
4. **用紙サイズ**のドロップダウンリストから用紙サイズを選択します。
5. **印刷の向き**欄で**縦**または**横**オプションを選択し、印刷物の向きを設定します。



お使いのアプリケーションに同様の設定が備わっている場合は、アプリケーションを使用して印刷物の向きを設定することを推奨します。

6. **部数**欄に、印刷したい部数（1～999 部）を入力します。
7. **用紙種類**のドロップダウンリストからお使いになる用紙の種類を選択します。
8. 複数ページの内容を 1 枚に印刷したいとき、または 1 ページの内容を複数枚にわたって印刷したいときは、**レイアウト**のドロップダウンリストからお好みの設定を選択します。
9. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
10. **OK** をクリックします。
11. 印刷操作を完了します。

### ✓ 関連情報

- [パソコンから印刷する \(Windows\)](#)

#### 関連トピック：

- [紙詰まりの解消](#)

- 
- 印刷設定 (Windows)
-

## 印刷設定 (Windows)

>> 基本設定タブ

>> 拡張機能タブ

### 基本設定タブ

#### 1. 用紙サイズ

使用する用紙サイズを選択します。標準の用紙サイズから選択するか、カスタム用紙サイズを作成するか選択します。

#### 2. 印刷の向き

印刷の向き（縦または横）を選択します。

お使いのアプリケーションに同様の設定が備わっている場合は、アプリケーションを使用して印刷物の向きを設定することを推奨します。

#### 3. 部数

印刷する部数（1～999）を入力します。

##### 部単位

複数ページの文書を元のページの順序に合わせて印刷する場合に、選択します。選択した場合は、文書一式を一部印刷し、設定した部数に応じて残りの部数分だけ同様に印刷が繰り返されます。選択しない場合は、各ページが設定された部数だけ印刷されてから、次のページが印刷されます。

#### 4. 用紙種類

使用する用紙の種類を選択します。印刷品質保持のため、選択された用紙の種類に合った印刷設定を本製品が自動的に設定します。

#### 5. 解像度

印刷の解像度を選択します。印刷品質と印刷速度は関連しているため、解像度が高くなるにつれて、文書の印刷により多くの時間がかかります。

## 6. 印刷設定

印刷する文書の種類を選択します。

### 手動設定...

明るさ、コントラスト、その他の設定などの詳細設定を指定します。

### グラフィックス

#### プリンターのハーフトーンを使う

プリンタードライバーを使用してハーフトーンを表現する場合は、このオプションを選択します。

#### 明るさ

明るさを調整します。

#### コントラスト

コントラストを調整します。

#### ディザリング

印刷する文書の種類に合わせてグラフィックまたはテキストを選択し、最良の品質で印刷します。

#### 階調印刷を改善する

影付きの部分の画像品質を高める場合は、このオプションを選択します。

#### パターン印刷を改善する

コンピューター画面に表示される塗りつぶしやパターンと異なる印刷がされる場合にパターン印刷を改善するには、このオプションを選択します。

#### 細線の印刷を改善する

細線の画像品質を高める場合は、このオプションを選択します。

#### システムのハーフトーンを使う

このオプションを選択し、Windows を使用してハーフトーンを表現します。

### TrueType 設定（特定のモデルのみ対応）

#### モード

印刷に使用するフォントの処理方法を選択します。

#### プリンターのアウトライン フォントを使う

フォント処理時に内蔵フォントを使用するかどうかを選択します。

## 7. レイアウト

複数ページの内容を 1 枚に印刷したいとき、または 1 ページの内容を複数枚にわたって印刷したいときに選択します。

### ページの順序

複数ページの内容を 1 枚に印刷するときのページの順序を選択します。

### 仕切り線

複数ページの内容を 1 枚に印刷するときの仕切り線の種類を選択します。

## 8. 両面印刷/小冊子印刷

両面印刷または小冊子印刷をする場合に選択します。

### 両面印刷設定

綴じ方を選択するときはこのボタンを押します。それぞれの向きごとに 4 タイプの綴じ方があります。

## 9. 給紙方法

印刷条件や目的に合った給紙方法を選択します。

### 1 ページ目

1 ページ目を印刷するとき使用する給紙方法を選択します。

## 2 ページ目以降

2 ページ目以降を印刷するとき使用する給紙方法を選択します。

### 拡張機能タブ



#### 1. 拡大縮小

印刷したい文書の内容を拡大、または縮小するときを選択します。

##### 印刷用紙サイズに合わせます

印刷に使用する用紙サイズに合わせて文書のサイズを拡大、縮小するときを選択します。選択した場合は、ドロップダウンリストから用紙サイズを選択します。

##### 任意倍率 [ 25 - 400 % ]

文書のページを手動で拡大または縮小する場合は、このオプションを選択します。このオプションを選択した場合は、入力欄に値を入力します。

#### 2. 上下反転

上下を 180 度回転して印刷できます。

#### 3. 透かし印刷を使う

ロゴや文字を透かしとして文書に印刷するときを選択します。あらかじめ設定されている透かしから 1 つを選択するか、新しい透かしを追加するか、または自分で作成した画像ファイルを使用します。

#### 4. 現在の日付・時間・ID を印刷する

日時およびログインユーザー名を文書に印刷する場合に選択します。

#### 5. トナー節約モード

この機能を選択すると、通常より少ない量のトナーで印刷するためトナーを節約できます。印字は薄くなりますが、読むのに問題はありません。

#### 6. セキュリティ印刷（特定のモデルのみ対応）

この機能は、本製品の操作パネルでパスワードを入力するまで機密文書や取り扱い注意の文書が印刷されないようにします。

## 7. 設定保護管理機能

この機能を使用すると、管理者パスワードを変更したり、さまざまな印刷機能を制限できます。

## 8. ユーザー認証（特定のモデルのみ対応）

この機能を使用すると、各ユーザーに対する制限を確認できます。

## 9. 排紙トレイ設定（特定のモデルのみ対応）

印刷済みページ用の出カトレイを選択します。

### スタッカモード

用紙は標準トレイに排出されます。標準出カトレイが満杯になると、プリンターは次に利用可能なビンを自動的に選択します。

### ソーターモード

複数枚印刷する場合、各ページが1から4の異なるビンに排出されます。

### 標準排紙トレイ使用（指定ビンの満載時）

メールボックスビンが満杯の場合でも、この項目を選択すると印刷が続行されます。この項目を選択すると、本製品は印刷ジョブを続行し、メールボックスビンが満杯の場合は、本製品の出カトレイに残りのページを排出します。

## 10. その他特殊機能

### スリープまでの時間

印刷後すぐにスリープモードに移行するよう設定する場合は、このオプションを選択します。

### マクロ設定（特定のモデルのみ対応）

この機能を選択すると、本製品のメモリーに印刷ジョブのオーバーレイとして保存した電子フォーム（マクロ）が印刷されます。

### 濃度調整

印刷濃度を指定します。

### 印刷結果の改善

紙の反りを抑えたり、トナーの定着を改善したりする場合に、このオプションを選択します。

### 白紙ページの節約

プリンタードライバーが自動的に空白ページを検出し、印刷しないようにする場合は、このオプションを選択します。

### 黒文字印刷

カラーの文字を黒色で印刷する場合は、このオプションを選択します。

### プリント アーカイブ

印刷データを PDF 形式でパソコンに保存するときに選択します。

### エコ設定

この項目を選択すると印刷時の音が軽減されます。



## 関連情報

- ・ [パソコンから印刷する（Windows）](#)

### 関連トピック：

- ・ [メールボックスユニット](#)
- ・ [文書を印刷する（Windows）](#)

## セキュリティ印刷 (Windows)

セキュリティ印刷を使用して、本製品の操作パネルでパスワードを入力するまで機密文書や取り扱い注意の文書が印刷されないようにします。

本製品の電源を切ると、セキュリティデータは本製品から削除されます。

>> [HL-L5210DN/HL-L5210DW](#)

>> [HL-L6310DW](#)

### HL-L5210DN/HL-L5210DW

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. お使いのモデル名を選択し、プリンターのプロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。  
プリンタードライバの設定画面が表示されます。
3. **拡張機能**タブをクリックします。
4. **セキュリティ印刷**欄の**設定**ボタンをクリックします。
5. **セキュリティ印刷**チェックボックスを選択します。
6. **パスワード**欄で4桁のパスワードを入力します。
7. 必要に応じて **ユーザー名**および **印刷ジョブ名**をテキスト欄に入力します。
8. **OK** をクリックし、**セキュリティ印刷設定**画面を閉じます。
9. **OK** をクリックします。
10. 印刷操作を完了します。
11. 本製品の操作パネルで、**Secure** を押します。
12. ▲または▼を押してユーザー名を表示し、**OK** を押します。
13. 4桁のパスワードを入力します。  
各数字を入力するには、▲または▼を押して数字を選択し、**OK** を押します。
14. ▲または▼を押してジョブを表示し、**OK** を押します。
15. ▲または▼を押して、[プリンター]を選択し、**OK** を押します。
16. ▲または▼を押して、印刷枚数を入力します。
17. **OK** を押します。  
データが印刷されます。

セキュリティデータは印刷後、本製品のメモリーから削除されます。

### HL-L6310DW

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. お使いのモデル名を選択し、プリンターのプロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。  
プリンタードライバの設定画面が表示されます。
3. **拡張機能**タブをクリックします。
4. **セキュリティ印刷**欄の**設定**ボタンをクリックします。
5. **セキュリティ印刷**チェックボックスを選択します。
6. **パスワード**欄で4桁のパスワードを入力します。
7. 必要に応じて **ユーザー名**および **印刷ジョブ名**をテキスト欄に入力します。
8. **OK** をクリックし、**セキュリティ印刷設定**画面を閉じます。
9. **OK** をクリックします。
10. 印刷操作を完了します。

- 
11. 本製品の操作パネルで、[セキュリティ印刷]を押します。
  12. ▲または▼を押して、ユーザー名を表示し、お使いのユーザー名を押して選択します。
  13. 4桁のパスワードを入力し、[OK]を押します。
  14. ▲または▼を押して印刷ジョブを表示し、表示した印刷ジョブを押します。
  15. 枚数を入力します。
  16. [スタート]を押します。

セキュリティデータは印刷後、本製品のメモリーから削除されます。

#### 関連情報

- [パソコンから印刷する \(Windows\)](#)
-

## 初期値の印刷設定を変更する (Windows)

アプリケーションの印刷設定を変更した場合、その変更はそのアプリケーションで印刷される文書にのみ適用されます。すべての Windows アプリケーションの印刷設定を変更するには、プリンタードライバーのプロパティを設定する必要があります。

1. 以下のいずれかを行ってください：

- Windows 11 の場合

 > **すべてのアプリ** > **Windows ツール** > **コントロール パネル** をクリックします。ハードウェアとサウンドグループで、**デバイスとプリンターの表示** をクリックします。

- Windows 10、Windows Server 2016、Windows Server 2019、および Windows Server 2022 の場合

 > **Windows システム ツール** > **コントロール パネル** をクリックします。ハードウェアとサウンド(ハードウェア)グループで、**デバイスとプリンターの表示** をクリックします。

- Windows Server 2012 R2 の場合

スタート画面で**コントロール パネル** をクリックします。ハードウェアグループで、**デバイスとプリンターの表示** をクリックします。

- Windows Server 2012 の場合：

マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定** をクリックして、**コントロール パネル** をクリックします。ハードウェアグループで、**デバイスとプリンターの表示** をクリックします。

2. お使いのモデルのアイコンを右クリックし、**プリンターのプロパティ** を選択します。(プリンタードライバーのオプションが表示された場合は、お使いのドライバーを選択します。)

プリンターのプロパティのダイアログボックスが表示されます。

3. **全般** タブをクリックし、**印刷設定** または **基本設定** ボタンをクリックします。

プリンタードライバーのダイアログボックスが表示されます。



- トレイ設定を行うには、**デバイスの設定** タブをクリックします (特定モデルのみ対応)。
- プリンターポートを変更するには、**ポート** タブをクリックします。

4. すべての Windows プログラムでデフォルトとして使いたい印刷設定を選択します。

5. **OK** をクリックします。

6. プリンタープロパティダイアログボックスを閉じます。

### ✓ 関連情報

- [パソコンから印刷する \(Windows\)](#)
  - [増設トレイを設定する \(Windows\)](#)

## 増設トレイを設定する (Windows)

本製品のプロパティにアクセスして、増設トレイを自動検出し、シリアル番号を確認します。

プリンタードライバーのインストール中に、増設トレイがプリンタードライバーにより自動的に検出されます。ドライバーのインストール後に増設トレイを追加する場合は、この手順に従います：

- 以下のいずれかを行ってください：
  - Windows 11 の場合  
 > **すべてのアプリ** > **Windows ツール** > **コントロール パネル** をクリックします。ハードウェアとサウンドグループで、**デバイスとプリンターの表示** をクリックします。
  - Windows 10、Windows Server 2016、Windows Server 2019、および Windows Server 2022 の場合  
 > **Windows システム ツール** > **コントロール パネル** をクリックします。ハードウェアとサウンド(ハードウェア)グループで、**デバイスとプリンターの表示** をクリックします。
  - Windows Server 2012 R2 の場合  
スタート画面で**コントロール パネル** をクリックします。ハードウェアグループで、**デバイスとプリンターの表示** をクリックします。
  - Windows Server 2012 の場合：  
マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定** をクリックして、**コントロール パネル** をクリックします。ハードウェアグループで、**デバイスとプリンターの表示** をクリックします。
- お使いのモデルのアイコンを右クリックし、**プリンターのプロパティ** を選択します。(プリンタードライバーのオプションが表示された場合は、お使いのドライバーを選択します。)  
プリンターのプロパティのダイアログボックスが表示されます。
- デバイスの設定** タブをクリックします。
- 自動検知** ボタンをクリックします。  
増設トレイと本製品のシリアル番号は、自動的に検出されます。
- 適用** ボタンをクリックします。
- プリンタープロパティダイアログボックスを閉じます。

本製品が以下の状態の場合は、**自動検知**機能は利用できません。

- 本製品の電源がオフになっています。
- プリントサーバーで本製品が共有されています
- 本製品とお使いのパソコンが接続されていません。

### ✓ 関連情報

- [初期値の印刷設定を変更する \(Windows\)](#)

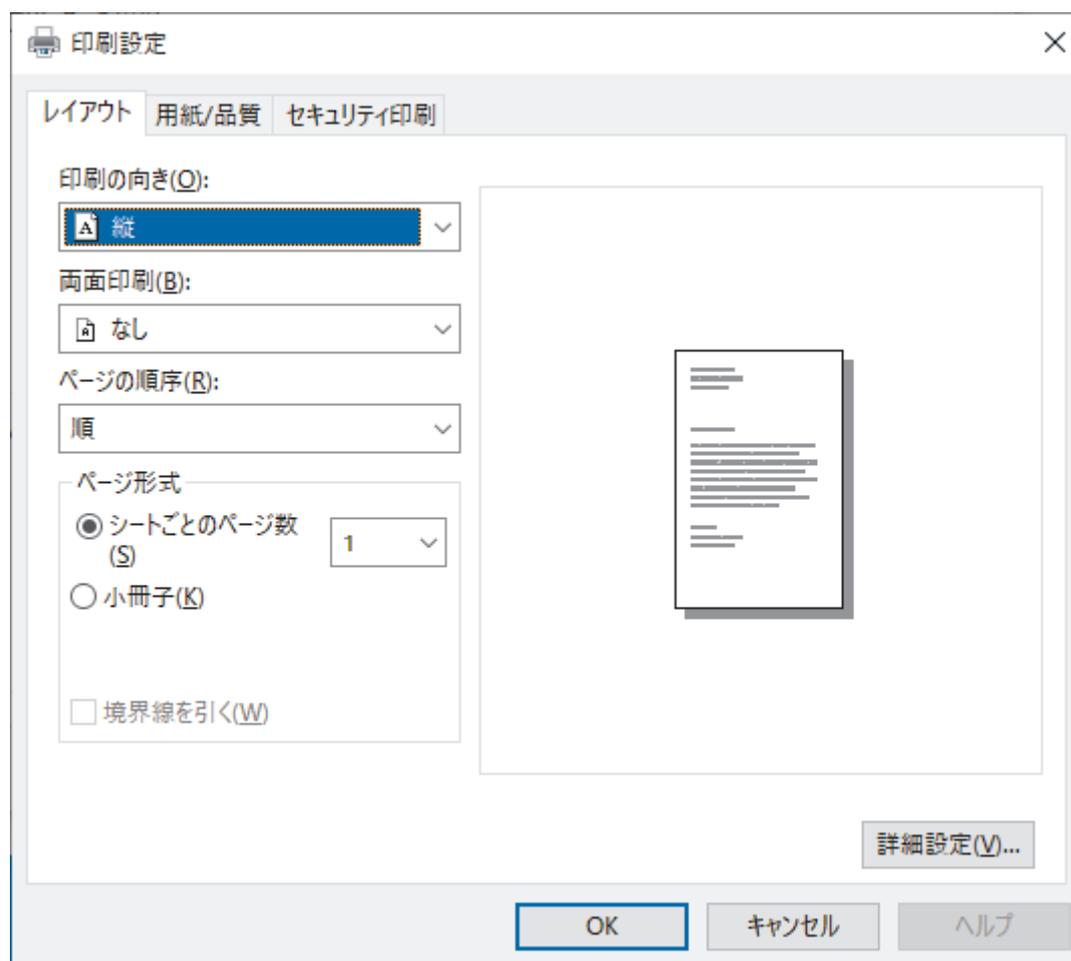
## BR-Script3 プリンタードライバー (PostScript® 3™ 言語エミュレーション) を使用して文書を印刷する (Windows)

BR-Script3 プリンタードライバーを使用すると、PostScript®データをより鮮明に印刷できます。

[support.brother.com/downloads](http://support.brother.com/downloads) で、お使いのモデルのソフトウェアダウンロードページに移動し、PS ドライバー (BR-Script3 プリンタードライバー) をインストールします。

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **BR-Script3** を含むお使いのモデルを選択し、プリンターのプロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。

プリンタードライバーの設定画面が表示されます。



3. **レイアウト**、**用紙/品質**、または **セキュリティ印刷** タブをクリックして、基本的な印刷設定を変更します。(特定のモデルのみ対応)

**レイアウト** または **用紙/品質** タブをクリックし、**詳細設定** ボタンをクリックして、詳細な印刷設定を変更します。**OK** をクリックします。

4. **OK** をクリックします。
5. 印刷操作を完了します。

### ✓ 関連情報

- [パソコンから印刷する \(Windows\)](#)

## お使いのパソコンから本製品の状態を監視する (Windows)

ステータスマニターは、1 台または複数台の製品の状態をモニターするための設定可能なツールで、エラー発生時には即座にお知らせします。

以下のいずれかを行ってください：

- タスクトレイの  アイコンをダブルクリックします。
-  (**Brother Utilities**) を起動し、ドロップダウンリストをクリックし、お使いの機器のモデル名を選択します (未選択の場合)。左ナビゲーションバーの **ツール** をクリックして、**ステータスマニター** をクリックします。

### ウェブ Q & A

**ウェブ Q & A** ボタンをクリックして、サポートのウェブサイトへアクセスします。

### ブラザー純正消耗品サイトのご案内

ブラザー純正の消耗品については、**ブラザー純正消耗品サイトのご案内** ボタンをクリックして参照してください。

### 関連情報

- [パソコンから印刷する \(Windows\)](#)

#### 関連トピック：

- [印刷の問題](#)

## パソコンから印刷する (Mac)

- [AirPrint](#) を使用して印刷する

## AirPrint を使用して印刷する

- iPad、iPhone、または iPod touch から印刷する
- AirPrint を使用して印刷を行う (macOS)
- 紙詰まりの解消

## Eメールの添付ファイルを印刷する

Eメールで本製品にファイルを送信して印刷できます。

- Web Based Management がオンに設定されていることを確認してください。詳細については、「関連情報」をご覧ください。
- 最大 10 個、計 20MB の文書をメールに添付できます。
- この機能は、次の形式に対応しています。
  - 文書ファイル：PDF、TXT、Microsoft Office ファイル
  - 画像ファイル：JPEG、BMP、GIF、PNG、TIFF
- 本製品は Eメールの文章と添付ファイルの両方を印刷します。Eメールの添付ファイルのみ印刷するには、必要に応じて設定を変更します。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「PwD」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**オンライン機能 > オンライン機能設定**をクリックします。



- 画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。
- この機能がロックされている場合は、ネットワーク管理者に連絡してアクセスできるように依頼してください。

5. **同意してオンライン機能を有効にする**ボタンをクリックします。
6. お使いの製品の画面で、指示に従って設定を有効にします。
7. パソコンで、**基本設定**をクリックします。  
**Eメールプリント：基本設定**画面が表示されます。
8. **オンにする**ボタンをクリックします。  
説明シートが印刷されます。
9. シートに記載されているメールアドレスに Eメールを送信します。メールの添付ファイルが印刷されます。



- Eメールアドレスや印刷設定などの設定を変更するには、**オンライン機能の設定**ボタンをクリックします。
- (HL-L6310DW)  
本製品から設定することもできます。[印刷機能] > [クラウド] > [オンライン機能]を押して、画面の指示に従います。



### 関連情報

- [印刷](#)

#### 関連トピック：

- [操作パネルから Web Based Management を有効/無効にする](#)

## USB フラッシュメモリーを使用したセキュリティ印刷

関連モデル: HL-L6310DW

USB ストレージプリントは、本製品の操作パネルでパスワードを入力することで、USB フラッシュメモリーにセキュリティで保護されたプリントデータを保存し、後からプリントすることができる機能です。

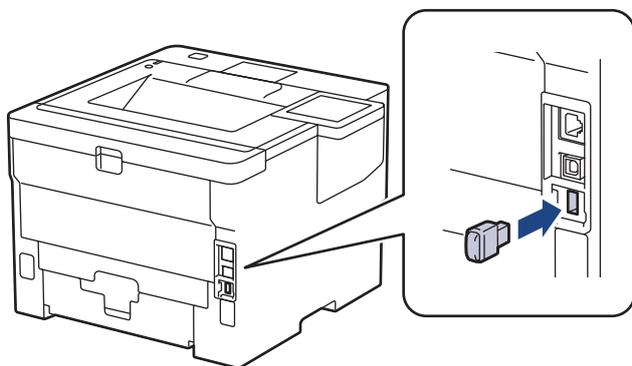
### お願い

USB フラッシュメモリーの要件：

- ストレージサイズ：1 GB 以上（16 GB 以上を推奨）
- フォーマット：FAT32/exFAT
- USB フラッシュメモリーに保存したデータは暗号化されますが、あらゆる状況で不正なアクセスから保護される訳ではありません。データと USB フラッシュメモリーは、安全に管理および保管してください。
- USB フラッシュメモリーのデータは、そのデータを保存した製品でのみ読み取り可能です。別の製品、機器またはパソコンではデータを読み取ることはできません。
- 本製品からデータを保存するために USB フラッシュメモリーが不要となり、別の目的で USB フラッシュメモリーを使用する場合は、すべての保存されたデータを削除し、パソコンで USB フラッシュメモリーを初期化してください。USB フラッシュメモリーを初期化または空にするには、そのユーザーマニュアルを参照してください。

プリンタードライバーの設定については、「関連情報」をご覧ください。

1. USB フラッシュメモリーを背面の USB ポートに差し込みます。



2.  を押します。
3. 本製品の操作パネルで、 [メニュー] > [全てのメニュー] > [プリンター] > [印刷ジョブ 保存先] を押します。
4. [USB メモリ (後部ポート)] を押します。  
USB フラッシュメモリーを初期化するメッセージが表示されます。
5. [OK] を 2 秒間長押しし、初期化します。  
本製品が再起動し、USB ストレージプリント機能が有効になります。

### お願い

- 本製品が再起動し、USB ストレージプリント機能が有効になると、保存されているすべてのジョブ、マクロ、ストリーム、フォントのデータが本製品のメモリーから削除されます。
  - 本製品が再起動し、USB ストレージプリント機能が有効になると、マクロ、ストリーム、フォントのデータが USB フラッシュメモリーから削除されます。
6. プリンタードライバーで、セキュリティ印刷オプションの設定を完了し、アプリケーションで印刷コマンドを実行します。

7. 本製品の操作パネルで、[セキュリティ印刷]を押します。
8. ▲または▼を押して、ユーザー名を表示し、お使いのユーザー名を押して選択します。
9. 4桁のパスワードを入力し、[OK]を押します。
10. ▲または▼を押して印刷ジョブを表示し、表示した印刷ジョブを押します。
11. 枚数を入力します。
12. [スタート]を押します。

本製品がデータを印刷し、USBフラッシュメモリーから印刷ジョブを削除します。

## 重要

印刷が終わるまで、背面のUSBポートからUSBフラッシュメモリーを取り外さないでください。

## ✓ 関連情報

- [印刷](#)

### 関連トピック：

- [エラーメッセージとメンテナンスメッセージ](#)

## 副本を印刷する

カーボンコピー機能を使用して、カーボン紙に印刷するかのように、同一の印刷データを複数枚印刷します。異なる種類または色の用紙をセットした各用紙トレイにデータを送信します。

例えば、青色用紙をセットしたトレイ 1 へ印刷データを送信した後、テキストの印刷された黄色用紙をセットした多目的トレイの用紙に、同じデータを再度印刷するように本製品を設定します。

トレイ 1 に青色の用紙を、多目的トレイに黄色の用紙をセットした場合、トレイ 1 からはシート 1 が、多目的トレイからはシート 2 が自動的に送られます。

カーボンコピー機能を有効にすると、本製品は常に自動的にコピーを作成します。



(Windows)

カーボンコピー機能を使用すると、ページごとに異なる印刷マクロまたはストリームを選択できます。

>> [HL-L5210DN/HL-L5210DW](#)

>> [HL-L6310DW](#)

### HL-L5210DN/HL-L5210DW

1. ▲または▼を押して、[プリンター]を表示し、**OK**を押します。
2. ▲または▼を押して、[カーボン メニュー]を表示し、**OK**を押します。
3. ▲または▼を押して、[カーボン コピー]を表示し、**OK**を押します。
4. ▲または▼を押して、[枚]を表示し、**OK**を押します。
5. ▲または▼を押して、[部数]を表示し、**OK**を押します。
6. ▲または▼を押して、印刷枚数を入力し、**OK**を押します。
7. ▲または▼を押して、[コピー 1 トレイ]を表示し、**OK**を押します。
8. ▲または▼を押して、[コピー 1 トレイ]として設定する用紙トレイを表示し、**OK**を押します。



(Windows)

- a. ▲または▼を押して、[コピー 1 マクロ]を表示し、**OK**を押します。
- b. ▲または▼を押して使用するマクロの ID 番号を表示し、**OK**を押します。

9. 各コピーに対してトレイの設定値をすべて選択し終わるまで、この手順を繰り返します。
10. 印刷ジョブを本製品に送信します。

### HL-L6310DW

1.  [メニュー] > [全ての メニュー] > [プリンター] > [カーボン メニュー] > [カーボン コピー] > [オン]を押します。
2. ▲または▼を押して[部数]を表示して、[部数]を押します。
3. 印刷枚数を入力し、[確定]を押します。
4. ▲または▼を押して[コピー 1 トレイ]を表示して、[コピー 1 トレイ]を押します。
5. ▲または▼を押して、[コピー 1 トレイ]オプションを設定する用紙トレイを表示し、表示された用紙トレイの名前を押して選択します。



(Windows)

- a. ▲または▼を押して[コピー 1 マクロ]を表示して、[コピー 1 マクロ]を押します。
- b. ▲または▼を押して使用するマクロの ID を表示し、表示された ID を押します。

6. 各コピーに対してトレイの設定値をすべて選択し終わるまで、この手順を繰り返します。

- 
7. を押します。
  8. 印刷ジョブを本製品に送信します。

---

## 関連情報

- [印刷](#)
-

## 操作パネルを使用し印刷の設定を変更する

印刷する文書の種類を選択します。

>> HL-L5210DN/HL-L5210DW

>> HL-L6310DW

### HL-L5210DN/HL-L5210DW

1. ▲ または ▼ を押して、[プリンター] を表示し、**OK** を押します。
2. ▲ または ▼ を押して、[プリンター設定リスト] を表示し、**OK** を押します。
3. ▲ または ▼ を押して、[グラフィックス] または [テキスト] を表示させ、使用したいオプションを押します。
4. **OK** を押します。

### HL-L6310DW

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [プリンター] > [テンプレート設定] を押します。
2. [テキスト] または [グラフィックス] を押します。
3.  を押します。

### 関連情報

- [印刷](#)

## 印刷ジョブをキャンセルする

>> [HL-L5210DN/HL-L5210DW](#)

>> [HL-L6310DW](#)

### HL-L5210DN/HL-L5210DW

**Cancel** を押します。



複数の印刷ジョブをキャンセルするには、**Cancel** を 4 秒間押します。

### HL-L6310DW



を押します。



複数の印刷ジョブをキャンセルするには、 を 4 秒間押します。



### 関連情報

- [印刷](#)

関連トピック：

- [印刷の問題](#)

## テスト印刷

印刷品質に問題がある場合は、以下の指示に従ってテスト印刷を行います。

>> [HL-L5210DN/HL-L5210DW](#)

>> [HL-L6310DW](#)

### HL-L5210DN/HL-L5210DW

1. ▲ または ▼ を押して、[プリンター] を表示し、**OK** を押します。
2. (HL-L5210DN/HL-L5210DW) ▲ または ▼ を押して、[プリンター オプション] オプションを表示し、**OK** を押します。
3. ▲ または ▼ を押して、[テストプリント] を表示し、**OK** を押します。
4. **Go** を押します。

本製品でテストページが印刷されます。

### HL-L6310DW

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [プリンター] > [プリンター オプション] > [テストプリント] を押します。
2. [はい] を押します。
3.  を押します。

### ✓ 関連情報

- [印刷](#)

関連トピック：

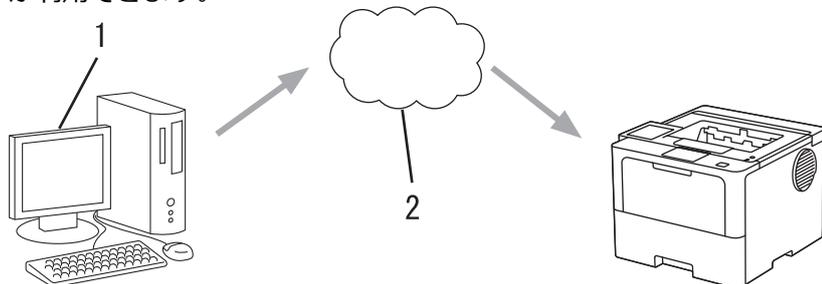
- [印刷品質の改善](#)

## ユニバーサルプリント

- ユニバーサルプリントの概要
- Web Based Management を使用してユニバーサルプリントに本製品を登録する
- Microsoft Azure portal 経由でユニバーサルプリントユーザーを割り当てる
- パソコンにユニバーサルプリント対応プリンターを追加する
- ユニバーサルプリントを使用して印刷する
- ユニバーサルプリントから本製品の登録を解除する

## ユニバーサルプリントの概要

ユニバーサルプリントは、マイクロソフトが提供するクラウドベースのプリントサービスです。プリンタードライバーをインストールすることなく、インターネット上のどこからでも、文書を印刷することができます。ユニバーサルプリントは、Microsoft 365 のサブスクリプションを持つ Azure Active Directory (Azure AD) ユーザーが利用できます。



1. Windows 10 20H1 以降が動作しているパソコン
2. クラウドサーバー

### ✓ 関連情報

- [ユニバーサルプリント](#)

## Web Based Management を使用してユニバーサルプリントに本製品を登録する

- タイムゾーンに合った正しい日付と時刻を設定してください。
- ネットワークでプロキシサーバーを使用している場合は、プロキシサーバーの設定を行ってください。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > ネットワーク > プロトコル**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **ユニバーサル印刷**チェックボックスを選択し、**詳細設定**をクリックします。
6. 必要に応じて、**デバイス名**欄の製品名を変更します。



？、/、\、"、:、<、>、|、\*等の文字を使用すると、送信エラーが起こることがあります。

7. **登録**をクリックします。



エラーが発生した場合は、画面に表示される指示に従ってください。

8. ユニバーサルプリントのユーザーコードが表示されます。**サインイン**ボタンをクリックし、ユーザーコードを入力します。
9. 画面の指示に従って登録を完了します。



### 関連情報

- [ユニバーサルプリント](#)

#### 関連トピック：

- [Web Based Management を使用して日時を設定する](#)
- [Web Based Management を使用してプロキシサーバーを設定する](#)

## Microsoft Azure portal 経由でユニバーサルプリントユーザーを割り当てる

Microsoft Azure portal に本製品が登録されている場合のみ、ユニバーサルプリントサービスにユーザーを割り当てることができます。

1. Microsoft Azure portal にアクセスします。  
URL : [portal.azure.com](https://portal.azure.com)
2. プリンター管理者としてログインします。
3. **ユニバーサルプリント**サービスを選択します。
4. **プリンターオプション**を選択し、一覧から本製品を選択します。
5. **共有**を選択します。
6. ユニバーサルプリントサービスに割り当てるユーザーを選択し、**プリンタの共有**をクリックします。

### ✓ 関連情報

- [ユニバーサルプリント](#)

## パソコンにユニバーサルプリント対応プリンターを追加する

1.  >  > デバイス > プリンターとスキャナー > プリンターまたはスキャナーを追加しませんをクリックします。
2. 一覧からユニバーサルプリント対応プリンターとして登録した製品を選択し、**デバイスの追加**をクリックします。

### ✓ 関連情報

- [ユニバーサルプリント](#)

## ユニバーサルプリントを使用して印刷する

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. ユニバーサルプリント対応プリンターとして登録した製品を選択し、プリンターのプロパティまたは環境設定ボタンをクリックします。
3. 必要に応じてプリンターの設定を変更します。
4. 印刷操作を完了します。

### ✓ 関連情報

- [ユニバーサルプリント](#)

## ユニバーサルプリントから本製品の登録を解除する

本製品の登録を解除するには、Web Based Management から本製品を削除してから、Microsoft Azure portal 上で本製品を削除する必要があります。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「PwD」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > ネットワーク > プロトコル**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **ユニバーサル印刷**チェックボックスの横にある**詳細設定**をクリックします。
6. **登録情報削除**をクリックして、画面の指示に従います。
7. Microsoft Azure portal にアクセスします。  
URL : [portal.azure.com](https://portal.azure.com)
8. プリンター管理者としてログインします。
9. **ユニバーサルプリント**サービスを選択します。
10. **プリンターオプション**を選択し、一覧から本製品を選択します。
11. **プリンター共有の削除** をクリックします。
12. **登録解除** をクリックします。



### 関連情報

- [ユニバーサルプリント](#)

## ネットワーク

- 対応している基本ネットワーク機能について
- ネットワークを設定する
- 無線ネットワーク設定
- ネットワーク機能

## 対応している基本ネットワーク機能について

本製品は、使用される OS に合わせて、さまざまな機能をサポートしています。この表で、各 OS でサポートされるネットワーク機能と接続を確認してください。

オペレーティングシステム	Windows	Windows Server	macOS
印刷	○	○	○
Web Based Management <sup>1</sup>	○	○	○
ステータスマニター	○		
オートマチックドライバーストローラー	○	○	

<sup>1</sup> 本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と表示されています。本製品への不正なアクセスを防ぐために、お買い上げ時のパスワードをすぐに変更することをお勧めします。



- 本製品の有線・無線 LAN インターフェースは、電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダー等）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルーター等を経由し接続してください。
- 本製品がグローバルネットワークに接続された場合、警告が表示されます。この警告が表示された場合は、ネットワークの設定を確認し、安全なネットワークに再接続することを強くお勧めします。
- 本製品のグローバルネットワーク通信のフィルタリング機能を有効にすると、グローバルネットワークからのアクセスが遮断されます。グローバルネットワーク通信のフィルタリング機能を有効にすると、グローバル IP アドレスを使用しているパソコンやモバイル端末から、特定の印刷やスキャンのジョブを受信できない場合があります。



### 関連情報

- ネットワーク

## ネットワークを設定する

- 操作パネルを使用してネットワークの詳細を設定する
- Web Based Management を使用して製品の設定を変更する

## 操作パネルを使用してネットワークの詳細を設定する

本製品のネットワークの設定をするには、操作パネルの[ネットワーク]メニューの項目を使用します。



- 操作パネルの「関連情報」をご覧ください：設定一覧を使って設定できるネットワーク設定について
- Web Based Management を使用して、本製品のネットワークの設定や変更を行うこともできます。

>> [HL-L5210DN/HL-L5210DW](#)

>> [HL-L6310DW](#)

### HL-L5210DN/HL-L5210DW

1. ▲または▼を押して、[ネットワーク]を選択し、**OK**を押します。
2. ▲または▼を押して使用したいネットワークオプションを選択し、**OK**を押します。この手順を繰り返して設定したいメニューにアクセスし、画面の指示に従ってください。

### HL-L6310DW

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク]を押します。
2. ▲または▼を押して使用したいネットワークオプションを表示し、これを押します。この手順を繰り返して設定したいメニューにアクセスし、画面の指示に従ってください。

### ✓ 関連情報

- [ネットワークを設定する](#)

#### 関連トピック：

- [設定一覧 \(HL-L5210DN/HL-L5210DW\)](#)
- [設定一覧 \(HL-L6310DW\)](#)
- [機能一覧 \(HL-L6310DW\)](#)
- [対応している基本ネットワーク機能について](#)

## 無線ネットワーク設定

関連モデル: HL-L5210DW/HL-L6310DW

- [無線ネットワークを使用する](#)
- [Wi-Fi Direct®を使用する](#)
- [無線 LAN を有効/無効にする](#)
- [WLAN レポートを印刷する](#)

## 無線ネットワークを使用する

関連モデル: HL-L5210DW/HL-L6310DW

- 無線ネットワークに本製品を設定する前に
- パソコンからセットアップウィザードを使用して本製品に無線ネットワークを設定する
- 本製品の操作パネルからセットアップウィザードを使用して無線ネットワークを設定する
- Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) のワンプッシュ方式を使用して本製品に無線ネットワークを設定する
- Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) の PIN 方式を使用して本製品に無線ネットワークを設定する
- SSID が隠ぺいされている場合に、本製品に無線ネットワークを設定する
- エンタープライズ無線ネットワーク用に本製品を設定する

## 無線ネットワークに本製品を設定する前に

関連モデル: HL-L5210DW/HL-L6310DW

無線 LAN ネットワークを設定する前に、以下の点を確認してください。

- エンタープライズ無線ネットワークを使用している場合、ユーザー ID とパスワードを知っておく必要があります。
- 常に文書を快適に印刷するために、本製品を無線 LAN アクセスポイントルーターの近くに設置し、無線通信に支障のないようにしてください。本製品と無線 LAN アクセスポイントまたはルーターとの間に大きな障害物や壁があったり、他の電子機器からの電磁干渉があると、印刷する文書のデータ転送速度に影響を与える可能性があります。

無線 LAN 接続は必ずしもすべてのタイプの文書やアプリケーションに最適な接続方法とは限りません。複雑で文字数の多い文書や写真などの大きいサイズのデータを印刷する場合は、データ転送速度のより速い有線 LAN 接続（サポート対象モデルのみ）、または最速で処理可能な USB 接続で印刷することをお勧めします。

- 本製品は有線 LAN と無線 LAN のいずれのネットワークでも使用できますが（サポート対象モデルのみ）、両方のネットワークを同時に使用することはできません。ただし、無線 LAN 接続と Wi-Fi Direct 接続、または有線 LAN 接続（サポート対象モデルのみ）と Wi-Fi Direct 接続は同時に使用できます。
- 電波の届く範囲であれば、自由に無線 LAN 接続が可能になります。ただし、セキュリティ設定を正しく行わないと、悪意のある第三者によって電波が傍受され、次のような結果を招く可能性があります。
  - 個人情報または機密情報の盗用
  - 特定の個人になりすました者への不適切な情報送信
  - 傍受され、改ざんされた通信内容の拡散



無線 LAN ルーター/アクセスポイントのネットワーク名（SSID）とネットワークキー（パスワード）を確認してください。この情報が見つからない場合は、無線 LAN ルーター/アクセスポイントの製造元、システム管理者、またはインターネットプロバイダーにお問い合わせください。弊社がこの情報を提供することはありません。

### ✓ 関連情報

- [無線ネットワークを使用する](#)

▲ホーム > ネットワーク > 無線ネットワーク設定 > 無線ネットワークを使用する > パソコンからセットアップウィザードを使用して本製品に無線ネットワークを設定する

## パソコンからセットアップウィザードを使用して本製品に無線ネットワークを設定する

関連モデル: HL-L5210DW/HL-L6310DW

1. [support.brother.com/downloads](http://support.brother.com/downloads) で、お使いのモデルのソフトウェアダウンロードページからインストーラーをダウンロードします。
2. インストーラーを起動し、画面の指示に従います。
3. **無線 LAN (Wi-Fi)**を選択してから**次の項目へ**をクリックします。
4. 画面の指示に従います。

無線ネットワークのセットアップが完了しました。



### 関連情報

- [無線ネットワークを使用する](#)

## 本製品の操作パネルからセットアップウィザードを使用して無線ネットワークを設定する

関連モデル: HL-L5210DW/HL-L6310DW

>> HL-L5210DW

>> HL-L6310DW

### HL-L5210DW

本製品を設定する前に、無線ネットワークの設定を書き留めておくことをお勧めします。設定を行う前に、この情報が必要になります。

1. 現在接続しているパソコンの無線ネットワーク設定を確認して記録します。

ネットワーク名 (SSID)

ネットワークキー

例：

ネットワーク名 (SSID)
HELLO

ネットワークキー
12345



- ご使用の無線 LAN アクセスポイントルーターが複数の WEP キーに対応している場合でも、本製品で使用できるのは 1 番目の WEP キーのみです。
- セットアップできないなど、ブラザーコールセンターにお問い合わせいただく場合は、あらかじめ SSID (ネットワーク名) とネットワークキー (パスワード) を調べ、お手元にご用意ください。弊社がこの情報を提供することはできません。
- SSID (ネットワーク名) およびネットワークキーがわからない場合、無線ネットワークのセットアップを行うことはできません。

#### SSID(ネットワーク名) およびネットワークキーの見つけ方

- お使いの無線 LAN アクセスポイントルーターの取扱説明書を調べてください。
- 初期 SSID は、製造メーカー名またはモデル名の可能性があります。
- セキュリティ情報がわからない場合は、ルーターの製造業者、システム管理者、またはインターネットプロバイダーにお問い合わせください。

2. ▲または▼を押して、[ネットワーク] を選択し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[無線 LAN (Wi-Fi)] を選択し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[ネットワーク選択 (SSID)] を選択し、**OK** を押します。
5. [無線 LAN 有効 ?] が表示されたら、オンを選択します。  
これにより無線セットアップウィザードが起動されます。
6. 本製品は使用しているネットワークを検索し、利用可能な SSID のリストを表示します。SSID のリストが表示されたら、▲または▼を押して、使用したい SSID を選択します。
7. **OK** を押します。

8. 以下のいずれかを行ってください：

- 使用する認証方式と暗号化方式でネットワークキーが必要な場合は、最初の手順で書き留めたネットワークキーを入力します。  
キーを入力し、**OK** を押して設定します。  
設定を適用するには、[はい] を選択します。
- 使用している認証方式がオープンシステムで、暗号化モードが「なし」の場合、次の手順に進みます。

9. 製品は、選択された無線機器に接続しようとしています。

無線機器が正常に接続されると、本製品の画面に [接続しました] と表示されます。

無線ネットワークのセットアップが完了しました。本製品の使用に必要なドライバーとソフトウェアをインストールするには、[support.brother.com/downloads](http://support.brother.com/downloads) で、お使いのモデルのソフトウェアダウンロードページをご覧ください。

## HL-L6310DW

本製品を設定する前に、無線ネットワークの設定を書き留めておくことをお勧めします。設定を行う前に、この情報が必要になります。

1. 現在接続しているパソコンの無線ネットワーク設定を確認して記録します。

### ネットワーク名 (SSID)

--

### ネットワークキー (パスワード)

--

例：

### ネットワーク名 (SSID)

HELLO

### ネットワークキー (パスワード)

12345



- ご使用の無線 LAN アクセスポイントルーターが複数の WEP キーに対応している場合でも、本製品で使用できるのは 1 番目の WEP キーのみです。
- セットアップできないなど、ブラザーコールセンターにお問い合わせいただく場合は、あらかじめ SSID (ネットワーク名) とネットワークキー (パスワード) を調べ、お手元にご用意ください。弊社がこの情報を提供することはできません。
- SSID (ネットワーク名) およびネットワークキーがわからない場合、無線ネットワークのセットアップを行うことはできません。

### SSID(ネットワーク名) およびネットワークキーの見つけ方

- お使いの無線 LAN アクセスポイントルーターの取扱説明書を調べてください。
- 初期 SSID は、製造メーカー名またはモデル名の可能性があります。
- セキュリティ情報がわからない場合は、ルーターの製造業者、システム管理者、またはインターネットプロバイダーにお問い合わせください。

2.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [無線 LAN (Wi-Fi)] > [ネットワーク選択 (SSID)] を押します。

3. [無線 LAN をオンにしますか?] が表示されたら、[はい] を押します。

これにより無線セットアップウィザードが起動されます。キャンセルするには、[いいえ] を押します。

4. 本製品は使用しているネットワークを検索し、利用可能な SSID のリストを表示します。

SSID のリストが表示されたら、▲または▼を押して接続する SSID を表示し、表示した SSID を押します。

- 
5. [確定]を押します。
  6. 以下のいずれかを行ってください：
    - 使用する認証方式と暗号化方式でネットワークキーが必要な場合は、最初の手順で書き留めたネットワークキーを入力します。  
文字の入力が終了したら、[OK]を押します。
    - 使用している認証方式がオープンシステムで、暗号化モードが「なし」の場合、次の手順に進みます。
  7. 製品は、選択された無線機器に接続しようとしています。

無線機器が正常に接続されると、本製品の画面に[接続しました]と表示されます。[OK]を押します。

無線ネットワークのセットアップが完了しました。ご使用の製品の操作に必要なドライバーやアプリケーションをインストールするには、[support.brother.com/downloads](http://support.brother.com/downloads) でお使いのモデルのソフトウェアダウンロードページをご覧ください。

### 関連情報

- [無線ネットワークを使用する](#)

#### 関連トピック：

- [本製品にテキストを入力するには](#)
  - [無線 LAN レポートのエラーコードについて](#)
-

## Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) のワンプッシュ方式を使用して本製品に無線ネットワークを設定する

関連モデル: HL-L5210DW/HL-L6310DW

お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターが WPS (PBC : プッシュボタン設定) をサポートしている場合、本製品の操作パネルメニューから WPS を使用して無線ネットワークを設定することができます。

>> [HL-L5210DW](#)

>> [HL-L6310DW](#)

### HL-L5210DW

1. ▲ または ▼ を押して、[ネットワーク] を選択し、**OK** を押します。
2. ▲ または ▼ を押して、[無線 LAN (Wi-Fi)] を選択し、**OK** を押します。
3. ▲ または ▼ を押して、[WPS (プッシュボタン)] を選択し、**OK** を押します。
4. [無線 LAN 有効 ?] が表示されたら、オンを選択します。  
これにより無線セットアップウィザードが起動されます。

無線機器が正常に接続されると、本製品の画面に [接続しました] と表示されます。

無線ネットワークのセットアップが完了しました。本製品の使用に必要なドライバーとソフトウェアをインストールするには、[support.brother.com/downloads](http://support.brother.com/downloads) で、お使いのモデルのソフトウェアダウンロードページをご覧ください。

### HL-L6310DW

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [無線 LAN (Wi-Fi)] > [WPS (プッシュボタン)] を押します。
2. [無線 LAN をオンにしますか?] が表示されたら、[はい] を押します。  
これにより無線セットアップウィザードが起動されます。キャンセルするには、[いいえ] を押します。
3. タッチパネルに [アクセスポイントの WPS ボタンを 押してください 操作ができれば [OK] を押してください] と表示されたら、無線 LAN アクセスポイント/ルーターの WPS ボタンを押します。本製品の [OK] を押します。本製品は、お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターを自動的に検出し、無線ネットワークへの接続を試みます。

無線機器が正常に接続されると、本製品の画面に [接続しました] と表示されます。[OK] を押します。

無線ネットワークのセットアップが完了しました。本製品の使用に必要なドライバーとソフトウェアをインストールするには、[support.brother.com/downloads](http://support.brother.com/downloads) で、お使いのモデルのソフトウェアダウンロードページをご覧ください。

### ✓ 関連情報

- [無線ネットワークを使用する](#)

#### 関連トピック :

- [無線 LAN レポートのエラーコードについて](#)

▲ホーム > ネットワーク > 無線ネットワーク設定 > 無線ネットワークを使用する > Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) の PIN 方式を使用して本製品に無線ネットワークを設定する

## Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) の PIN 方式を使用して本製品に無線ネットワークを設定する

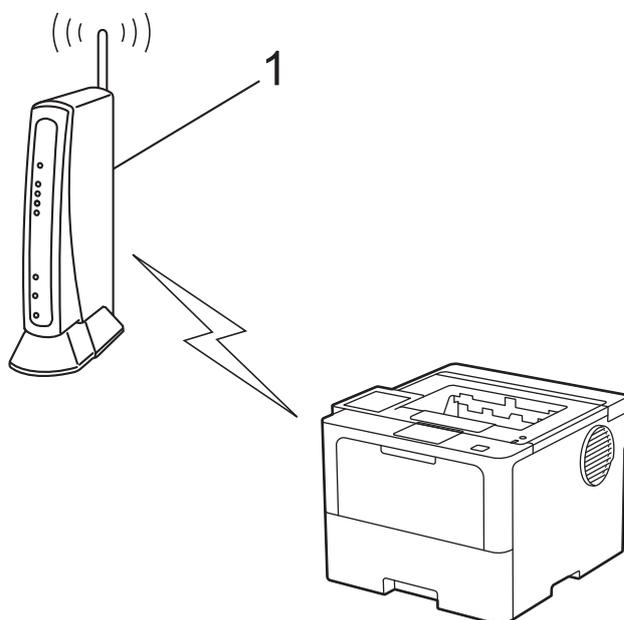
関連モデル: HL-L5210DW/HL-L6310DW

お使いの無線 LAN のアクセスポイント/ルーターが、WPS をサポートしている場合、暗証番号 (PIN : Personal Identification Number) 方式を使用して無線ネットワークを設定できます。

PIN 方式は、Wi-Fi Alliance®により開発された接続方式の一つです。本製品で作成された PIN コードを、レジストラー (無線 LAN を管理する機器) に送信することで、無線ネットワークとセキュリティの設定を行うことができます。WPS モードへのアクセス方法の詳細については、お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターの説明書を参照してください。

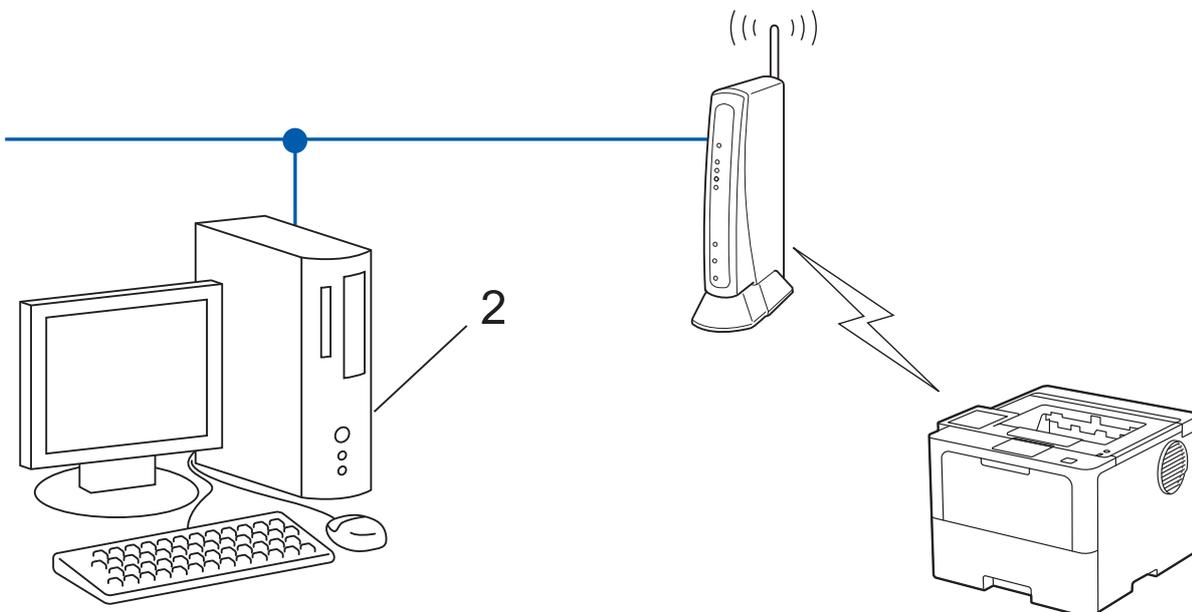
### 使用例 A

無線 LAN アクセスポイント/ルーター (1) がレジストラーを兼ねている場合の接続 :



### 使用例 B

コンピューターなど、その他の機器 (2) がレジストラーとして使用される場合の接続 :



>> HL-L5210DW  
>> HL-L6310DW

## HL-L5210DW

1. ▲または▼を押して、[ネットワーク]を選択し、**OK**を押します。
2. ▲または▼を押して、[無線 LAN (Wi-Fi)]を選択し、**OK**を押します。
3. ▲または▼を押して、[WPS (PIN)]を選択し、**OK**を押します。
4. [無線 LAN 有効 ?]が表示されたら、オンを選択します。  
これにより無線セットアップウィザードが起動されます。
5. 本製品の画面に 8 桁の PIN が表示され、製品は無線 LAN アクセスポイント/ルーターの検索を開始します。
6. ネットワークに接続したパソコンを使って、レジストラーとして使用している機器の IP アドレスをブラウザのアドレスバーに入力します (例 : <http://192.168.1.2>)。
7. WPS の設定ページを表示して PIN を入力したあと、画面の指示に従います。



- レジストラー (登録管理機器) は通常、無線 LAN アクセスポイント/ルーターです。
- 設定画面は、無線 LAN アクセスポイント/ルーターの種類によって異なる場合があります。詳細については、無線 LAN アクセスポイントまたはルーターの取扱説明書をご覧ください。

**Windows 10 または Windows 11 パソコンをレジストラーとして使用している場合、以下の手順をすべて行ってください。**

8. 以下のいずれかを行ってください :

- Windows 11

 > **すべてのアプリ > Windows ツール > コントロール パネル**をクリックします。ハードウェアとサウンドグループで、**デバイスの追加**をクリックします。

- Windows 10

 > **Windows システム ツール > コントロール パネル**をクリックします。ハードウェアとサウンドグループで、**デバイスの追加**をクリックします。



- Windows 10 または Windows 11 パソコンをレジストラーとして使用する場合、使用するパソコンをネットワークに事前に登録する必要があります。詳細については、無線 LAN アクセスポイントまたはルーターの取扱説明書をご覧ください。
- Windows 10 または Windows 11 のパソコンをレジストラー（登録管理機器）として使用する場合は、画面の指示に従って無線設定を行ったあと、プリンタドライバーをインストールできます。本製品の使用に必要なドライバーとソフトウェアをインストールするには、[support.brother.com/downloads](http://support.brother.com/downloads) で、お使いのモデルのソフトウェアダウンロードページをご覧ください。

9. 本製品を選択し、**次へ**をクリックします。
10. 製品の画面に表示された PIN を入力し、**次へ**をクリックします。
11. **閉じる** をクリックします。

無線機器が正常に接続されると、本製品の画面に [接続しました] と表示されます。

無線ネットワークのセットアップが完了しました。本製品の使用に必要なドライバーとソフトウェアをインストールするには、[support.brother.com/downloads](http://support.brother.com/downloads) で、お使いのモデルのソフトウェアダウンロードページをご覧ください。

## HL-L6310DW

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [無線 LAN (Wi-Fi)] > [WPS (PIN コード)] を押します。
2. [無線 LAN をオンにしますか?] が表示されたら、[はい] を押します。  
これにより無線セットアップウィザードが起動されます。キャンセルするには、[いいえ] を押します。
3. 本製品の画面に 8 桁の PIN が表示され、製品は無線 LAN アクセスポイント/ルーターの検索を開始します。
4. ネットワークに接続したパソコンを使って、レジストラーとして使用している機器の IP アドレスをブラウザのアドレスバーに入力します（例：http://192.168.1.2）。
5. WPS の設定ページを表示して PIN を入力したあと、画面の指示に従います。



- レジストラー（登録管理機器）は通常、無線 LAN アクセスポイント/ルーターです。
- 設定画面は、無線 LAN アクセスポイント/ルーターの種類によって異なる場合があります。詳細については、無線 LAN アクセスポイントまたはルーターの取扱説明書をご覧ください。

Windows 10 または Windows 11 パソコンをレジストラーとして使用している場合、以下の手順をすべて行ってください。

6. 以下のいずれかを行ってください：

- Windows 11



> **すべてのアプリ** > **Windows ツール** > **コントロール パネル** をクリックします。ハードウェアとサウンドグループで、**デバイスの追加** をクリックします。

- Windows 10



> **Windows システム ツール** > **コントロール パネル** をクリックします。ハードウェアとサウンドグループで、**デバイスの追加** をクリックします。



- Windows 10 または Windows 11 パソコンをレジストラーとして使用する場合、使用するパソコンをネットワークに事前に登録する必要があります。詳細については、無線 LAN アクセスポイントまたはルーターの取扱説明書をご覧ください。
- Windows 10 または Windows 11 のパソコンをレジストラー（登録管理機器）として使用する場合は、画面の指示に従って無線設定を行ったあと、プリンタドライバーをインストールできます。本製品の使用に必要なドライバーとソフトウェアをインストールするには、[support.brother.com/downloads](http://support.brother.com/downloads) で、お使いのモデルのソフトウェアダウンロードページをご覧ください。

7. 本製品を選択し、**次へ**をクリックします。
8. 製品の画面に表示された PIN を入力し、**次へ**をクリックします。
9. **閉じる** をクリックします。

---

無線機器が正常に接続されると、本製品の画面に「接続しました」と表示されます。[OK]を押します。

無線ネットワークのセットアップが完了しました。ご使用の製品の操作に必要なドライバーやアプリケーションをインストールするには、[support.brother.com/downloads](https://support.brother.com/downloads) でお使いのモデルのソフトウェアダウンロードページをご覧ください。

### ✓ 関連情報

- 無線ネットワークを使用する

#### 関連トピック：

- 無線 LAN レポートのエラーコードについて
-

## SSID が隠ぺいされている場合に、本製品に無線ネットワークを設定する

関連モデル: HL-L5210DW/HL-L6310DW

>> HL-L5210DW

>> HL-L6310DW

### HL-L5210DW

本製品を設定する前に、無線ネットワークの設定を書き留めておくことをお勧めします。設定を行う前に、この情報が必要になります。

1. 現在の無線 LAN の設定を調べて書き留めてください。

ネットワーク名 (SSID)		
認証方式	暗号化方式	ネットワークキー
オープンシステム	なし	-
	WEP	
共有キー	WEP	
WPA/WPA2-PSK	AES	
	TKIP	
WPA3-SAE	AES	

例：

ネットワーク名 (SSID)		
HELLO		
認証方式	暗号化方式	ネットワークキー
WPA2-PSK	AES	12345678



お使いのルーターが WEP 暗号化方式を使用している場合、最初の WEP キーとして使用されているキーを入力します。本製品では、1 番目の WEP キーのみ使用できます。

2. ▲または▼を押して、[ネットワーク]を選択し、**OK**を押します。
3. ▲または▼を押して、[無線 LAN (Wi-Fi)]を選択し、**OK**を押します。
4. ▲または▼を押して、[ネットワーク選択 (SSID)]を選択し、**OK**を押します。
5. [無線 LAN 有効 ?]が表示されたら、オンを選択します。  
これにより無線セットアップウィザードが起動されます。
6. 本製品は使用しているネットワークを検索し、利用可能な SSID のリストを表示します。▲または▼を押して、[<New SSID>]を選択し、**OK**を押します。
7. SSID 名を入力し、**OK**を押します。
8. ▲または▼を押して、使用する認証方式を選択し、**OK**を押します。
9. 以下のいずれかを行ってください：
  - [オープンシステム認証]を選択した場合、▲または▼を押して、暗号化タイプを[なし]または[WEP]から選択し、**OK**を押します。  
暗号化方式に [WEP] オプションを選択した場合、WEP キーを入力し、**OK**を押します。

- [共有+認証] オプションを選択した場合、WEP キーを入力し、**OK** を押します。
- [WPA-Personal] を選択した場合、▲または▼を押して、暗号化タイプを [TKIP+AES] または [AES] から選択し、**OK** を押します。  
WPA™ キーを入力し、**OK** を押します。
- [WPA3-SAE] を選択した場合、▲または▼を押して、暗号化タイプ [AES] を選択し、**OK** を押します。  
WPA™ キーを入力し、**OK** を押します。



本製品では、1 番目の WEP キーのみ使用できます。

10. 設定を適用するには、[はい] を選択します。
11. 本製品は、選択された無線機器との接続を開始します。

無線機器が正常に接続されると、本製品の画面に [接続しました] と表示されます。

無線ネットワークのセットアップが完了しました。本製品の使用に必要なドライバーとソフトウェアをインストールするには、[support.brother.com/downloads](http://support.brother.com/downloads) で、お使いのモデルのソフトウェアダウンロードページをご覧ください。

## HL-L6310DW

本製品を設定する前に、無線ネットワークの設定を書き留めておくことをお勧めします。設定を行う前に、この情報が必要になります。

1. 現在の無線 LAN の設定を調べて書き留めてください。

### ネットワーク名 (SSID)

--

認証方式	暗号化方式	ネットワークキー
オープンシステム	なし	-
	WEP	
共有キー	WEP	
WPA/WPA2-PSK	AES	
	TKIP	
WPA3-SAE	AES	

例：

### ネットワーク名 (SSID)

HELLO

認証方式	暗号化方式	ネットワークキー
WPA2-PSK	AES	12345678



お使いのルーターが WEP 暗号化方式を使用している場合、最初の WEP キーとして使用されているキーを入力します。本製品では、1 番目の WEP キーのみ使用できます。

2.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [無線 LAN (Wi-Fi)] > [ネットワーク選択 (SSID)] を押します。
3. [無線 LAN をオンにしますか?] が表示されたら、[はい] を押します。  
これにより無線セットアップウィザードが起動されます。キャンセルするには、[いいえ] を押します。
4. 本製品は使用しているネットワークを検索し、利用可能な SSID のリストを表示します。▲または▼を押して、[<New SSID>] を表示します。

5. [<New SSID>] を押し、[OK] を押します。
6. SSID 名を入力し、[OK] を押します。
7. 認証方式を選択します。
8. 以下のいずれかを行ってください：
  - [オープンシステム認証] オプションを選択した場合、[なし] または [WEP] を押します。暗号化方式に [WEP] オプションを選択した場合、WEP キーを入力し、[OK] を押します。
  - [共有キー認証] オプションを選択した場合、WEP キーを入力し、[OK] を押します。
  - [WPA/WPA2-PSK] オプションを選択した場合、[TKIP+AES] または [AES] を押します。WPA™ キーを入力し、[OK] を押します。
  - [WPA3-SAE] オプションを選択した場合は、[AES] を押します。WPA™ キーを入力し、[OK] を押します。



本製品では、1 番目の WEP キーのみ使用できます。

9. 製品は、選択された無線機器に接続しようとしています。

無線機器が正常に接続されると、本製品の画面に [接続しました] と表示されます。[OK] を押します。

無線ネットワークのセットアップが完了しました。ご使用の製品の操作に必要なドライバーやアプリケーションをインストールするには、[support.brother.com/downloads](https://support.brother.com/downloads) でお使いのモデルのソフトウェアダウンロードページをご覧ください。



## 関連情報

- [無線ネットワークを使用する](#)

### 関連トピック：

- [無線ネットワーク設定を完了できません](#)
- [本製品にテキストを入力するには](#)
- [無線 LAN レポートのエラーコードについて](#)

## エンタープライズ無線ネットワーク用に本製品を設定する

関連モデル: HL-L5210DW/HL-L6310DW

>> HL-L5210DW

>> HL-L6310DW

### HL-L5210DW

本製品を設定する前に、無線ネットワークの設定を書き留めておくことをお勧めします。設定を行う前に、この情報が必要になります。

- 現在の無線 LAN 設定を確認して記録します。

ネットワーク名 (SSID)			
認証方式	暗号化方式	ユーザー ID	パスワード
EAP-FAST/NONE	AES		
	TKIP		
EAP-FAST/MS-CHAPv2	AES		
	TKIP		
EAP-FAST/GTC	AES		
	TKIP		
PEAP/MS-CHAPv2	AES		
	TKIP		
PEAP/GTC	AES		
	TKIP		
EAP-TTLS/CHAP	AES		
	TKIP		
EAP-TTLS/MS-CHAP	AES		
	TKIP		
EAP-TTLS/MS-CHAPv2	AES		
	TKIP		
EAP-TTLS/PAP	AES		
	TKIP		
EAP-TLS	AES		-
	TKIP		-

例 :

ネットワーク名 (SSID)			
HELLO			
認証方式	暗号化方式	ユーザー ID	パスワード
EAP-FAST/MS-CHAPv2	AES	Brother	12345678



- EAP-TLS 認証を使用して本製品を設定する場合、設定の開始前に、CA により発行されたクライアント証明書を必ずインストールしてください。クライアント証明書については、ネットワーク管理者に問い合わせてください。複数の証明書をインストールした場合、使用する証明書の名前を書き留めておくことをお勧めします。
- サーバー証明書の共通名を使用して本製品を確認する場合、設定の開始前に、使用する共通名を書き留めておくことをお勧めします。サーバー証明書の共通名については、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

2. ▲または▼を押して、[ネットワーク]を選択し、**OK**を押します。
3. ▲または▼を押して、[無線 LAN (Wi-Fi)]を選択し、**OK**を押します。
4. ▲または▼を押して、[ネットワーク選択 (SSID)]を選択し、**OK**を押します。
5. [無線 LAN 有効 ?]が表示されたら、オンを選択します。  
これにより無線セットアップウィザードが起動されます。
6. 本製品は使用しているネットワークを検索し、利用可能な SSID のリストを表示します。▲または▼を押して、[<New SSID>]を選択し、**OK**を押します。
7. SSID 名を入力し、**OK**を押します。
8. ▲または▼を押して、使用する認証方式を選択し、**OK**を押します。
9. 以下のいずれかを行ってください：
  - [EAP-FAST]、[PEAP]または[EAP-TTLS]を選択した場合、▲または▼を押してを押して内部認証方式を[NONE]、[CHAP]、[MS-CHAP]、[MS-CHAPv2]、[PAP]または[GTC]から選択し、**OK**を押します。



使用する認証方式によって、選択する内部認証方式は異なります。

- ▲または▼を押して、暗号化タイプを[TKIP+AES]または[AES]から選択し、**OK**を押します。
- ▲または▼を押して、検証方式を[検証しない]、[CA 証明書]、または[CA 証明書+サーバ-ID]から選択し、**OK**を押します。
  - [CA 証明書+サーバ-ID]を選択した場合、サーバー ID、ユーザー ID、パスワード（必要に応じて）を入力し、その都度 **OK** を押します。
  - その他を選択した場合は、ユーザー ID とパスワードを入力し、**OK** を押します。



本製品に CA 証明書をインポートしていない場合、メッセージ[検証しない]が表示されます。

- [EAP-TLS]を選択した場合、▲または▼を押して、暗号化タイプを[TKIP+AES]または[AES]から選択し、**OK**を押します。  
使用可能なクライアント証明書のリストが製品に表示された場合、使用する証明書を選択します。  
▲または▼を押して、検証方式を[検証しない]、[CA 証明書]、または[CA 証明書+サーバ-ID]から選択し、**OK**を押します。
    - [CA 証明書+サーバ-ID]を選択した場合、サーバー ID、ユーザー ID を入力し、その都度 **OK** を押します。
    - その他を選択した場合は、ユーザー ID を入力し、**OK** を押します。
10. 設定を適用するには、▲を押します。キャンセルするには、▼を押します。
  11. 本製品は、選択された無線機器との接続を開始します。

無線機器が正常に接続されると、本製品の画面に[接続しました]と表示されます。

無線ネットワークのセットアップが完了しました。ご使用の製品の操作に必要なドライバーやアプリケーションをインストールするには、[support.brother.com/downloads](http://support.brother.com/downloads) でお使いのモデルのソフトウェアダウンロードページをご覧ください。

## HL-L6310DW

本製品を設定する前に、無線ネットワークの設定を書き留めておくことをお勧めします。設定を行う前に、この情報が必要になります。

- 現在の無線 LAN 設定を確認して記録します。

ネットワーク名 (SSID)			
認証方式	暗号化方式	ユーザー ID	パスワード
EAP-FAST/NONE	AES		
	TKIP		
EAP-FAST/MS-CHAPv2	AES		
	TKIP		
EAP-FAST/GTC	AES		
	TKIP		
PEAP/MS-CHAPv2	AES		
	TKIP		
PEAP/GTC	AES		
	TKIP		
EAP-TTLS/CHAP	AES		
	TKIP		
EAP-TTLS/MS-CHAP	AES		
	TKIP		
EAP-TTLS/MS-CHAPv2	AES		
	TKIP		
EAP-TTLS/PAP	AES		
	TKIP		
EAP-TLS	AES		-
	TKIP		-

例：

ネットワーク名 (SSID)			
HELLO			
認証方式	暗号化方式	ユーザー ID	パスワード
EAP-FAST/MS-CHAPv2	AES	Brother	12345678



- EAP-TLS 認証を使用して本製品を設定する場合、設定の開始前に、CA により発行されたクライアント証明書を必ずインストールしてください。クライアント証明書については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。複数の証明書をインストールした場合、使用する証明書の名前を書き留めておくことをお勧めします。
- サーバー証明書の共通名を使用して本製品を確認する場合、設定の開始前に、使用する共通名を書き留めておくことをお勧めします。サーバー証明書の共通名については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

-  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [無線 LAN (Wi-Fi)] > [ネットワーク選択 (SSID)] を押します。
- [無線 LAN をオンにしますか?] が表示されたら、[はい] を押します。  
これにより無線セットアップウィザードが起動されます。キャンセルするには、[いいえ] を押します。
- 本製品は使用しているネットワークを検索し、利用可能な SSID のリストを表示します。▲ または ▼ を押して、[<New SSID>] を表示します。

5. [<New SSID>] を押し、[OK] を押します。
6. SSID 名を入力し、[OK] を押します。
7. 認証方式を選択します。
8. 以下のいずれかを行ってください：
  - [EAP-FAST]、[PEAP] または [EAP-TTLS] を選択した場合、▲ または ▼ を押してを押して内部認証方式を [NONE]、[CHAP]、[MS-CHAP]、[MS-CHAPv2]、[GTC] または [PAP] から選択します。



使用する認証方式によって、選択する内部認証方式は異なります。

暗号化タイプに [TKIP+AES] または [AES] を選択します。

検証方法に [検証しない]、[CA 証明書] または [CA 証明書+サーバー ID] から選択します。

- [CA 証明書+サーバー ID] を選択した場合、サーバー ID、ユーザー ID、パスワード（必要に応じて）を入力し、その都度 [OK] を押します。
- その他を選択した場合は、ユーザー ID とパスワードを入力し、その都度 [OK] を押します。



本製品に CA 証明書をインポートしていない場合、[検証しない] と表示されます。

- [EAP-TTLS] オプションを選択した場合、暗号化方式として [TKIP+AES] または [AES] を選択します。使用可能なクライアント証明書のリストが製品に表示された場合、使用する証明書を選択します。検証方法に [検証しない]、[CA 証明書] または [CA 証明書+サーバー ID] から選択します。
  - [CA 証明書+サーバー ID] を選択した場合、サーバー ID、ユーザー ID を入力し、その都度 [OK] を押します。
  - その他を選択した場合は、ユーザー ID を入力し、[OK] を押します。

9. 製品は、選択された無線機器に接続しようとしています。

無線機器が正常に接続されると、本製品の画面に [接続しました] と表示されます。[OK] を押します。

無線ネットワークのセットアップが完了しました。ご使用の製品の操作に必要なドライバーやアプリケーションをインストールするには、[support.brother.com/downloads](http://support.brother.com/downloads) でお使いのモデルのソフトウェアダウンロードページをご覧ください。



## 関連情報

- [無線ネットワークを使用する](#)

### 関連トピック：

- [無線 LAN レポートのエラーコードについて](#)

## Wi-Fi Direct®を使用する

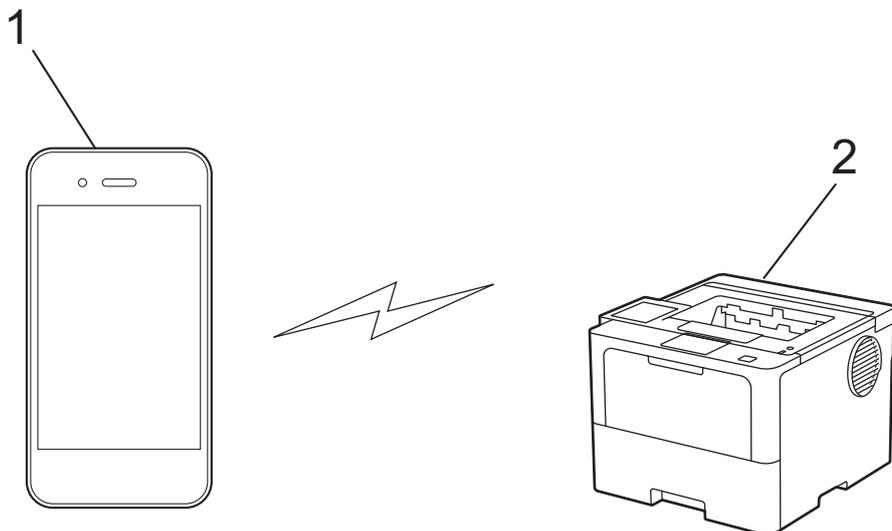
関連モデル: HL-L5210DW/HL-L6310DW

- [Wi-Fi Direct の概要](#)
- [Wi-Fi Direct を手動で接続する](#)
- [プッシュボタン方式を使用して Wi-Fi Direct ネットワークを設定する](#)

## Wi-Fi Direct の概要

関連モデル: HL-L5210DW/HL-L6310DW

Wi-Fi Direct は、Wi-Fi Alliance®により開発された無線設定方法の一つです。無線 LAN ルーター/アクセスポイントを使用せずに、モバイル端末を本製品に安全に接続できます。



1. モバイル端末
2. 本製品



- Wi-Fi Direct は、有線または無線のネットワーク接続と同時に使用できます。
- Wi-Fi Direct に対応している機器は、グループオーナーになります。Wi-Fi Direct ネットワークを設定する場合、グループオーナーはアクセスポイントとして機能します。



### 関連情報

- [Wi-Fi Direct®を使用する](#)

#### 関連トピック：

- [Wi-Fi Direct を手動で接続する](#)
- [プッシュボタン方式を使用して Wi-Fi Direct ネットワークを設定する](#)

## Wi-Fi Direct を手動で接続する

関連モデル: HL-L5210DW/HL-L6310DW

>> HL-L5210DW

>> HL-L6310DW

### HL-L5210DW

お使いのモバイル端末で、Wi-Fi Direct または WPS が非サポートの場合、Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定する必要があります。

1. ▲ または ▼ を押して、[ネットワーク] を選択し、**OK** を押します。
2. ▲ または ▼ を押して、[Wi-Fi Direct] を選択し、**OK** を押します。
3. ▲ または ▼ を押して、[TEL=電話] を選択し、**OK** を押します。
4. [Wi-Fi Direct 有効?] が表示されたら、オンを選択します。
5. 本製品に SSID 名とパスワードが表示されます。ご使用のモバイル端末の無線ネットワーク設定画面で、この SSID 名を選択して、パスワードを入力します。
6. モバイル端末が正常に接続されると、本製品の画面に [接続しました] と表示されます。以上で Wi-Fi Direct ネットワークのセットアップが完了しました。

### HL-L6310DW

本製品の操作パネルから Wi-Fi Direct を設定します。



本製品がモバイル端末から Wi-Fi Direct 要求を受信すると、画面に [Wi-Fi Direct の接続リクエストが来ています 通信を開始するには [OK] を押して ください] というメッセージが表示されます。[OK] を押して接続します。

1.  [メニュー] > [全ての メニュー] > [ネットワーク] > [Wi-Fi Direct] > [手動接続] を押します。
2. 本製品に SSID (ネットワーク名) とパスワード (ネットワークキー) が表示されます。ご使用のモバイル端末の無線ネットワーク設定画面で、SSID を選択して、パスワードを入力します。
3. モバイル端末が正常に接続されると、本製品の画面に [接続しました] と表示されます。
4. [閉じる] を押します。

### ✓ 関連情報

- [Wi-Fi Direct®を使用する](#)

#### 関連トピック :

- [Wi-Fi Direct の概要](#)
- [プッシュボタン方式を使用して Wi-Fi Direct ネットワークを設定する](#)

## プッシュボタン方式を使用して Wi-Fi Direct ネットワークを設定する

関連モデル: HL-L5210DW/HL-L6310DW

>> HL-L5210DW

>> HL-L6310DW

### HL-L5210DW

お使いのモバイル端末が Wi-Fi Direct をサポートしている場合、以下の手順に従って Wi-Fi Direct を設定します。

1. ▲または▼を押して、[ネットワーク]を選択し、**OK**を押します。
2. ▲または▼を押して、[Wi-Fi Direct]を選択し、**OK**を押します。
3. ▲または▼を押して、[プッシュボタン接続]を選択し、**OK**を押します。
4. [Wi-Fi Direct 有効?]が表示されたら、オンを選択します。



お使いのモバイル端末が Wi-Fi Direct に対応していない場合は、次の手順を実行します。

- a. ▲または▼を押して、[ネットワーク]を選択し、**OK**を押します。
  - b. ▲または▼を押して、[Wi-Fi Direct]を選択し、**OK**を押します。
  - c. ▲または▼を押して、[グループオーナー]を選択し、**OK**を押します。
  - d. ▲または▼を押して、[わ]を選択し、**OK**を押します。
  - e. ▲または▼を押して、[プッシュボタン接続]を選択し、**OK**を押します。
5. [相手側モバイルの Wi-Fi Direct 設定を有効にして OK を押してください]が本製品の画面に表示されたら、モバイル端末の Wi-Fi Direct を有効にします（有効化の手順については、お使いのモバイル端末の取扱説明書を参照）。製品の **OK** を押します。  
これにより Wi-Fi Direct セットアップが起動します。
  6. 以下のいずれかを行ってください：
    - モバイル端末に Wi-Fi Direct が有効になっている製品のリストが表示される場合は、本製品を選択します。
    - 本製品に Wi-Fi Direct が有効になっているモバイル端末のリストが表示される場合は、お使いのモバイル端末を選択します。▲または▼を押して、接続したいモバイル端末を選択し、**OK**を押します。利用可能な機器を再検索するには、[<リサーチ>]を選択してから、**OK**を押します。
  7. モバイル端末が正常に接続されると、本製品の画面に [接続しました] と表示されます。以上で Wi-Fi Direct ネットワークのセットアップが完了しました。

### HL-L6310DW



本製品がモバイル端末から Wi-Fi Direct 要求を受信すると、画面に [Wi-Fi Direct の接続リクエストが来ています 通信を開始するには [OK] を押してください] というメッセージが表示されます。[OK] を押して接続します。

1. 本製品の画面で  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [Wi-Fi Direct] > [プッシュボタン接続] を押します。



お使いのモバイル端末が Wi-Fi Direct に対応していない場合は、次の手順を実行します。

- a.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [Wi-Fi Direct] > [グループオーナー] を押し、[オン]を押します。
- b. ▲または▼を押して [プッシュボタン接続] を選択します。

- 
2. [相手側デバイスの Wi-Fi Direct 設定を 有効にして [OK] を押してください] と表示されたら、モバイル端末の Wi-Fi Direct 機能を有効にします（詳細は、モバイル端末の取扱説明書を参照してください）。製品の [OK] を押します。
  3. 以下のいずれかを行ってください：
    - モバイル端末に Wi-Fi Direct が有効になっている製品のリストが表示される場合は、本製品を選択します。
    - 本製品に Wi-Fi Direct が有効になっているモバイル端末のリストが表示される場合は、お使いのモバイル端末を選択します。利用可能な機器を再検索するには、[再検索] を押します。
  4. モバイル端末が正常に接続されると、本製品の画面に [接続しました] と表示されます。
  5. [閉じる] を押します。

## 関連情報

- [Wi-Fi Direct®を使用する](#)

### 関連トピック：

- [Wi-Fi Direct の概要](#)
  - [Wi-Fi Direct を手動で接続する](#)
-

## 無線 LAN を有効/無効にする

関連モデル: HL-L5210DW/HL-L6310DW

>> [HL-L5210DW](#)

>> [HL-L6310DW](#)

### HL-L5210DW

1. ▲ または ▼ を押して、[ネットワーク] を選択し、**OK** を押します。
2. ▲ または ▼ を押して、[無線 LAN (Wi-Fi)] を選択し、**OK** を押します。
3. ▲ または ▼ を押して、[無線 LAN 有効] を選択し、**OK** を押します。
4. 以下のいずれかを行ってください：
  - Wi-Fi を有効にするには、[オ] を選択します。
  - Wi-Fi を無効にするには、[カ] を選択します。
5. **OK** を押します。

### HL-L6310DW

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [無線 LAN (Wi-Fi)] を押します。
2. ▲ または ▼ を押して、[無線 LAN 有効] を選択します。[無線 LAN 有効] を押します。
3. 以下のいずれかを行ってください：
  - Wi-Fi を有効にするには、[オン] を選択します。
  - Wi-Fi を無効にするには、[オフ] を選択します。
4.  を押します。

### 関連情報

- [無線ネットワーク設定](#)

## WLAN レポートを印刷する

関連モデル: HL-L5210DW/HL-L6310DW

無線 LAN レポートには、本製品の無線の状態が表示されます。無線接続に失敗した場合は、印刷されたレポートのエラーコードを確認してください。

>> [HL-L5210DW](#)

>> [HL-L6310DW](#)

### HL-L5210DW

1. ▲または▼を押して、[レポート印刷]を選択し、**OK**を押します。
2. ▲または▼を押して、[無線 LAN レポート]を選択し、**OK**を押します。
3. **Go**を押します。  
製品は無線 LAN レポートを印刷します。

### HL-L6310DW

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [レポート印刷] > [無線 LAN レポート]を押します。
2. [はい]を押します。
3.  を押します。

無線 LAN レポートが印刷されない場合、製品のエラーの有無を確認します。目視できるエラーがない場合、1分間待ったあと、もう一度レポートを印刷してみてください。

### ✓ 関連情報

- [無線ネットワーク設定](#)
  - [無線 LAN レポートのエラーコードについて](#)

#### 関連トピック:

- [本製品で、ネットワーク経由の印刷ができません](#)
- [使用しているネットワーク機器が正しく動作していることを確認したい](#)

## 無線 LAN レポートのエラーコードについて

関連モデル: HL-L5210DW/HL-L6310DW

無線 LAN レポート機能により接続の失敗が示された場合、印刷したレポートでエラーコードを確認し、表を参照してエラーコードに対応する指示に従います。

エラーコード	問題と推奨される解決方法
TS-01	無線 LAN (Wi-Fi) 設定が有効になっていません。 以下を確認し、接続をやりなおしてください。 <ul style="list-style-type: none"><li>本製品の無線 LAN 設定を ON にしてください。</li><li>本製品に LAN ケーブルがつながっている場合は抜いてください。</li></ul>
TS-02	接続する無線 LAN ルーター/アクセスポイントが見つかりません。 以下を確認し、接続をやりなおしてください。 <ul style="list-style-type: none"><li>ルーター/アクセスポイントの電源が入っていることを確認してください。</li><li>セットアップ時は、本製品を障害のない場所へ移動させたり、ルーター/アクセスポイントに近づけてみてください。</li><li>MAC アドレスフィルタリングなどの接続制限機能をご利用の場合は、本製品の MAC アドレスを制限がかからないようにルーター/アクセスポイントの設定をご確認ください。本製品の MAC アドレスは、ネットワーク設定リストの印刷結果で確認できます。</li><li>手動で SSID を入力している場合には、セキュリティ情報 (SSID/認証方式/暗号化方式) が間違っている可能性があります。セキュリティ情報 (SSID/認証方式/暗号化方式) を再度確認し、入力をやりなおしてください。</li><li>ルーター/アクセスポイントの電源を入れなおしてください。お使いの無線 LAN アクセスポイントの情報や設定変更のやり方がわからない場合は、無線 LAN アクセスポイント・ルーターのメーカー、インターネットプロバイダー、インターネット接続業者、ネットワーク管理者に問い合わせてください。</li></ul>
TS-03	無線 LAN エンタープライズのセキュリティ情報が間違っています。 以下を確認し、接続をやりなおしてください。 以下の情報を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"><li>本製品で選択したネットワーク名 (SSID)。</li><li>本製品で選択したセキュリティ情報 (認証方式/暗号化方式/ユーザー ID など)</li></ul> ネットワーク名 (SSID) やセキュリティ情報が分からない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

エラーコード	問題と推奨される解決方法
TS-04	<p>無線アクセスポイント／ルーターで使用されている認証方式と暗号化方式を、本製品はサポートしていません。</p> <p>インフラストラクチャモードの場合（最も一般的）</p> <p>無線 LAN ルーター／アクセスポイントの認証方式や暗号化方式を変更します。本製品は、以下の方式をサポートしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• WPA-パーソナル： <ul style="list-style-type: none"> <li>TKIP / AES</li> </ul> </li> <li>• WPA2-パーソナル： <ul style="list-style-type: none"> <li>TKIP / AES</li> </ul> </li> <li>• WPA3-パーソナル： <ul style="list-style-type: none"> <li>AES</li> </ul> </li> <li>• OPEN： <ul style="list-style-type: none"> <li>WEP / なし（認証なし）</li> </ul> </li> <li>• 共有キー： <ul style="list-style-type: none"> <li>WEP</li> </ul> </li> </ul> <p>解決しない場合は、選択した SSID または入力したネットワーク設定が間違っている可能性があります。ネットワーク設定を再度確認してください。</p>
TS-05	<p>ネットワーク名（SSID）やネットワークキー（パスワード）が間違っています。</p> <p>以下を確認し、接続をやりなおしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ネットワーク名（SSID）やネットワークキー（パスワード）を確認してください。</li> <li>• ネットワークキーには、大文字と小文字を正しく入力してください。</li> <li>• ネットワーク名（SSID）やセキュリティ情報が見つからない場合、無線 LAN（Wi-Fi）ルーター／アクセスポイントの取扱説明書を確認するか、ルーター／アクセスポイントのメーカー、インターネットプロバイダー、インターネット接続業者、ネットワーク管理者に問い合わせてください。</li> <li>• ルーター／アクセスポイントの WEP が複数ある場合は、最初の WEP キーで接続してください。</li> </ul>
TS-06	<p>セキュリティ情報（SSID／認証方式／暗号化方式／ネットワークキー）が間違っています。</p> <p>以下を確認し、接続をやりなおしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ネットワークキー（パスワード）を確認してください。ネットワークキーには、大文字と小文字を正しく入力してください。</li> <li>• 選択した認証方式を確認してください。認証方式や暗号化方式は、無線 LAN ルーター／アクセスポイントが対応しているものを選択してください。</li> <li>• ネットワークキー、認証方式、暗号化方式を確認してください。ルーター／アクセスポイントと本製品の電源を入れなおしてください。</li> <li>• 無線 LAN アクセスポイントの設定で SSID を隠している（SSID ステルス）場合、SSID は検出されません。SSID ステルスをオフにしてください。</li> </ul> <p>お使いの無線 LAN アクセスポイントの情報や設定変更のやり方がわからない場合は、無線 LAN アクセスポイント・ルーターのメーカー、インターネットプロバイダー、インターネット接続業者、ネットワーク管理者に問い合わせてください。</p>
TS-07	<p>WPS（Wi-Fi Protected Setup）設定中の無線 LAN ルーター／アクセスポイントが見つかりませんでした。</p> <p>以下を確認し、接続をやりなおしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ルーター／アクセスポイントに WPS ロゴが表示されているか確認し、WPS に対応している事を確認してください。詳しい事は、ルーター／アクセスポイントの説明書で確認してください。</li> <li>• WPS で接続する場合は、本製品とルーター／アクセスポイントの両方の操作が必要です。詳しい事は、本製品のユーザズガイドで確認してください。</li> <li>• これらの情報がわからない場合は、ルーター／アクセスポイントのメーカー、インターネットプロバイダー、インターネット接続業者、ネットワーク管理者に問い合わせてください。</li> </ul>

エラーコード	問題と推奨される解決方法
TS-08	<p>WPS (Wi-Fi Protected Setup) 設定中の無線 LAN ルーター/アクセスポイントが、2 個以上検出されています。</p> <p>以下を確認し、接続をやりなおしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 本製品と接続する 1 つのルーター/アクセスポイントだけが WPS を有効にしていることを確認してください。</li> <li>• 他のルーター/アクセスポイントからの影響を避けるため、数分後にもう一度試してください。</li> </ul>



無線 LAN アクセスポイントまたはルーターの無線セキュリティ情報 (SSID/認証方式/暗号化方式/ネットワークキー) の確認方法:

1. お買い上げ時のセキュリティ設定が、無線 LAN アクセスポイント/ルーターに貼られているラベルに記載されている場合があります。または、無線 LAN アクセスポイント/ルーターのメーカー名もしくは型番番号が、お買い上げ時のセキュリティ設定として使用されている場合があります。
  2. セキュリティ設定の表示場所については、お使いの無線 LAN アクセスポイントまたはルーターに同梱の説明書をご覧ください。
- 無線 LAN アクセスポイントまたはルーターが SSID をブロードキャストするように設定されていない場合、SSID は自動的に検出されません。SSID 名を手動で入力する必要があります。
  - ネットワークキーは、パスワード、セキュリティキー、または暗号化キーとして記載されることもあります。

無線 LAN アクセスポイントまたはルーターの SSID および無線セキュリティ設定、または設定の変更方法が分からない場合、無線 LAN アクセスポイントまたはルーターに同梱の説明書をご覧ください。無線 LAN アクセスポイントまたはルーターのメーカーもしくは、ご契約のインターネットプロバイダーまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。



## 関連情報

- [WLAN レポートを印刷する](#)

### 関連トピック:

- [本製品で、ネットワーク経由の印刷ができません](#)
- [使用しているネットワーク機器が正しく動作していることを確認したい](#)
- [Wi-Fi Protected Setup™ \(WPS\) のワンプッシュ方式を使用して本製品に無線ネットワークを設定する](#)
- [Wi-Fi Protected Setup™ \(WPS\) の PIN 方式を使用して本製品に無線ネットワークを設定する](#)
- [本製品の操作パネルからセットアップウィザードを使用して無線ネットワークを設定する](#)
- [SSID が隠ぺいされている場合に、本製品に無線ネットワークを設定する](#)
- [エンタープライズ無線ネットワーク用に本製品を設定する](#)

## ネットワーク機能

- 操作パネルから Web Based Management を有効／無効にする
- Web Based Management を使用してプロキシサーバーを設定する
- ネットワーク設定レポートを印刷する
- Web Based Management を使用して SNTP サーバーと時刻を同期する
- ギガビットイーサネット（有線 LAN のみ）
- ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする

## 操作パネルから Web Based Management を有効／無効にする

>> HL-L5210DN/HL-L5210DW

>> HL-L6310DW

### HL-L5210DN/HL-L5210DW

1. ▲ または ▼ を押して、[ネットワーク] を選択し、**OK** を押します。
2. ▲ または ▼ を押して、[Web Based Mgmt] を選択し、**OK** を押します。
3. ▲ または ▼ を押して使用したいオプションを選択し、**OK** を押します。



この機能を有効にする場合は、Web Based Management への接続方法を必ず指定してください。

### HL-L6310DW

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [Web Based Mgmt] を押します。
2. 押してセットしたいオプションを選択します。



この機能を有効にする場合は、Web Based Management への接続方法を必ず指定してください。

### ✓ 関連情報

- ネットワーク機能

#### 関連トピック：

- Eメールの添付ファイルを印刷する

## Web Based Management を使用してプロキシサーバーを設定する

関連モデル: HL-L6310DW

ネットワークでプロキシサーバーを使用している場合、次のプロキシサーバーの情報を、Web Based Management 上で設定する必要があります。

- プロキシサーバーのアドレス
- ポート番号
- ユーザー名
- パスワード



- 以下のウェブブラウザの最新バージョンのご使用をお勧めします：
  - Windows の場合：Microsoft Edge、Firefox および Google Chrome™
  - Mac の場合：Safari、Firefox および Google Chrome™
  - Android™ の場合：Google Chrome™
  - iOS の場合：Safari および Google Chrome™
- どのブラウザを使用する場合でも、JavaScript および Cookie が常に有効になっていることを確認してください。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「PwD」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > ネットワーク > プロトコル**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **プロキシ**チェックボックスが選択されていることを確認して、**OK** をクリックします。
6. **プロキシ**欄で、**詳細設定**をクリックします。
7. プロキシサーバーの情報を入力します。
8. **OK** をクリックします。



### 関連情報

- [ネットワーク機能](#)

#### 関連トピック：

- [Web Based Management を使用してユニバーサルプリントに本製品を登録する](#)
- [本製品の操作パネルを使用してプロキシサーバーの設定を行う](#)

## ネットワーク設定レポートを印刷する

ネットワーク設定リストには、ネットワークプリントサーバーの設定値を含む、ネットワーク設定が一覧表示されます。



- ノード名は、ネットワーク設定リストに表示されます。お買い上げ時のノード名は、有線 LAN の場合は「BRN123456abcdef」、無線 LAN の場合は「BRW123456abcdef」です。（「123456abcdef」は、本製品の MAC アドレス/イーサネットアドレスを示します。）
- ネットワーク設定リストに表示される IP アドレスが 0.0.0.0 の場合、1 分間待ってから、もう一度印刷してください。
- IP アドレス、サブネットマスク、ノード名、および MAC アドレスなどの、本製品の設定をレポートで確認できます。以下は一例です：
  - IP アドレス : 192.168.0.5
  - サブネットマスク : 255.255.255.0
  - ノード名 : BRN000ca0000499
  - MAC アドレス : 00-0c-a0-00-04-99

>> [HL-L5210DN/HL-L5210DW](#)

>> [HL-L6310DW](#)

### HL-L5210DN/HL-L5210DW

1. ▲ または ▼ を押して、[レポート印刷] を選択し、**OK** を押します。
2. ▲ または ▼ を押して、[ネットワーク設定リスト] を選択します。
3. **OK** を押します。
4. **Go** を押します。

### HL-L6310DW

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [レポート印刷] > [ネットワーク設定リスト] を押します。
2. [はい] を押します。
3.  を押します。

### ✓ 関連情報

- [ネットワーク機能](#)

#### 関連トピック :

- [本製品のネットワーク設定を確認する](#)
- [ネットワーク診断修復ツールを使用する \(Windows\)](#)
- [Web Based Management にアクセスする](#)
- [エラーメッセージ](#)
- [使用しているネットワーク機器が正しく動作していることを確認したい](#)
- [Web Based Management を使用してギガビットイーサネットを設定する](#)

## Web Based Management を使用して SNTP サーバーと時刻を同期する

簡易ネットワークタイムプロトコル (SNTP) は、SNTP タイムサーバーとの認証で本製品が使用する時刻を同期させるために使用されます。本製品で使用される時刻を、SNTP タイムサーバーによって提供される UTC (協定世界時) と自動または手動で同期させることができます。

- [Web Based Management を使用して日時を設定する](#)
- [Web Based Management で SNTP プロトコルを設定する](#)

## Web Based Management を使用して日時を設定する

本製品で使用する時刻と SNTP タイムサーバーが同期するように、日時を設定します。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「PwD」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**管理者設定 > 時計設定**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **タイムゾーン**設定を確認します。
6. **OK** をクリックします。



### 関連情報

- [Web Based Management を使用して SNTP サーバーと時刻を同期する](#)

#### 関連トピック：

- [Web Based Management を使用してユニバーサルプリントに本製品を登録する](#)
- [クラウド接続機能のエラーメッセージ](#)

## Web Based Management で SNTP プロトコルを設定する

SNTP プロトコルを設定して、製品が認証に使用する時間と SNTP タイムサーバーが維持する時間を同期させます。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「PwD」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > ネットワーク > プロトコル**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、**≡**から開始します。

5. **SNTP** チェックボックスをオンにして、設定を有効にします。
6. **OK** をクリックします。
7. 本製品を再起動して、設定を有効にします。
8. SNTP チェックボックスの横にある**詳細設定**をクリックします。
9. 設定を確認します。

オプション	詳細
状態	SNTP プロトコルが有効か無効かを表示します。
同期状態	最新の同期状態を確認します。
SNTP サーバー設定の方法	<b>AUTO</b> または <b>STATIC</b> を選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• <b>AUTO</b> ネットワーク上に DHCP サーバーがあれば、SNTP サーバーが自動的に DHCP サーバーからアドレスを取得します。</li><li>• <b>STATIC</b> 使用したいアドレスを入力します。</li></ul>
プライマリー SNTP サーバーアドレス セカンダリー SNTP サーバーアドレス	サーバーアドレスを 64 文字以内で入力します。 セカンダリー SNTP サーバーアドレスは、プライマリー SNTP サーバーアドレスの予備として使用されます。プライマリーサーバーが利用できない場合、本製品はセカンダリー SNTP サーバーと通信します。
プライマリー SNTP サーバーポート セカンダリー SNTP サーバーポート	ポート番号を入力します（1～65535）。 セカンダリー SNTP サーバーポートは、プライマリー SNTP サーバーポートの予備として使用されます。プライマリーポートが利用できない場合、本製品はセカンダリー SNTP ポートと通信します。
同期間隔	サーバーとの同期の試行間隔（1 時間から 168 時間）を入力します。

10. **OK** をクリックします。



### 関連情報

- [Web Based Management を使用して SNTP サーバーと時刻を同期する](#)

## ギガビットイーサネット（有線 LAN のみ）

本製品は、1000BASE-T Gigabit Ethernet をサポートしています。1000BASE-T Gigabit Ethernet ネットワークに接続するには、製品の操作パネルまたは Web Based Management から、製品のイーサネットリンクモードを「自動」に設定する必要があります。



カテゴリ 5e 以上のネットワークケーブルを使用してください。本製品は、対応している最速のネットワーク速度を自動的にネゴシエートできますが、例えば、1000BASE-T のネットワーク速度を実現するには、ネットワークスイッチやケーブルなどのすべての接続インフラが 1000BASE-T の速度に対応している必要があります。それ以外の場合は、10BASE-T または 100BASE-TX で通信を行います。



### 関連情報

- ネットワーク機能
  - Web Based Management を使用してギガビットイーサネットを設定する

## Web Based Management を使用してギガビットイーサネットを設定する

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > 有線 > イーサネット**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **イーサネットモード**ドロップダウンリストから**自動**を選択します。
6. **OK** をクリックします。
7. 設定を有効にするには、本製品を再起動します。

設定値は、ネットワーク設定レポートを印刷して確認することができます。



### 関連情報

- ・ ギガビットイーサネット (有線 LAN のみ)

#### 関連トピック：

- ・ ネットワーク設定レポートを印刷する

## ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする

本製品の操作パネルを使用して、ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットできます。パスワードや IP アドレスなど、すべての情報がリセットされます。



- この機能は、すべてのネットワーク設定をお買い上げ時の設定に戻すものです。
- Web Based Management を使用して、プリントサーバーをお買い上げ時の設定にリセットすることもできます。

>> [HL-L5210DN/HL-L5210DW](#)

>> [HL-L6310DW](#)

### HL-L5210DN/HL-L5210DW

1. ▲ または ▼ を押して、[ネットワーク] を選択し、**OK** を押します。
2. ▲ または ▼ を押して、[ネットワーク設定リセット] を選択し、**OK** を押します。
3. 製品の指示に従って、ネットワークの設定をリセットします。  
本製品が再起動します。

### HL-L6310DW

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [ネットワーク設定リセット] を押します。
2. [再起動しますか？ 実行する場合は [はい] を 2 秒間 押してください キャンセルする場合は [いいえ] を押してください] が表示されます。[はい] を 2 秒間押して、確認します。  
本製品が再起動します。

### ✓ 関連情報

- [ネットワーク機能](#)

#### 関連トピック：

- [リセット機能](#)

## セキュリティ

- ネットワークセキュリティ機能をご使用になる前に
- デバイスセキュリティの証明書を設定する
- SSL/TLS を使用する
- SNMPv3 を使用する
- IPsec を使用する
- IEEE 802.1x 認証（有線または無線ネットワーク用）を使用する
- Active Directory 認証を使用する
- LDAP 認証を使用する
- セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する
- Eメールを安全に送信する
- 印刷ログ機能
- 操作パネルから製品の設定をロックする
- グローバルネットワーク検出機能を使う

## ネットワークセキュリティ機能をご使用になる前に

本製品には、最新のネットワークセキュリティの一部と、現在利用可能な暗号化プロトコルが使用されています。これらのネットワーク機能は、お使いの全体的なネットワークセキュリティプランの一部として、データを保護し、本製品への不正なアクセスを防ぐことができます。



Telnet、FTP サーバー、および TFTP プロトコルを無効にすることを推奨します。これらのプロトコルを使用した本製品へのアクセスは安全ではありません。



### 関連情報

- セキュリティ
- ネットワークセキュリティ
  - 不要なプロトコルを無効にする

## 不要なプロトコルを無効にする

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > ネットワーク > プロトコル**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. 不要なプロトコルのチェックボックスをオフにして無効にします。
6. **OK** をクリックします。
7. 本製品を再起動して、設定を有効にします。



### 関連情報

- ネットワークセキュリティ機能をご使用になる前に

## デバイスセキュリティの証明書を設定する

SSL/TLS を使用してネットワーク接続された本製品を安全に管理するには、証明書を設定する必要があります。証明書を設定するには、Web Based Management を使用する必要があります。

- サポートされているセキュリティ証明書機能
- 証明書の作成とインストールの手順
- 自己署名証明書を作成する
- CSR を作成して認証局（CA）からの証明書をインストールする
- 証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて
- CA 証明書のインポートとエクスポートについて
- 複数の証明書を管理する

## サポートされているセキュリティ証明書機能

本製品は、複数のセキュリティ証明書の使用をサポートしています。これにより、安全な管理、認証、本製品との通信が可能になります。本製品では、以下のセキュリティ証明書機能を使用できます。

- SSL/TLS 通信
- SMTP の SSL 通信
- IEEE 802.1x 認証
- IPsec

本製品は以下をサポートしています。

- プリインストール証明書

本製品には、自己署名証明書がプリインストールされています。この証明書により、別の証明書を作成またはインストールしなくても、SSL/TLS 通信を使用できます。



プリインストールされた自己署名証明書により、一定レベルまでは通信が保護されます。セキュリティを強化するために、信頼できる組織から発行された証明書を使用することをお勧めします。

- 自己署名証明書

本プリントサーバーは自己の証明書を発行します。この証明書を使用すると、別の証明書を作成したり、CA 発行の証明書をインストールしなくても、SSL/TLS 通信を簡単に使用できます。

- 認証局 (CA) 発行の証明書

CA 発行の証明書をインストールする場合、2 とおりの方法があります。CA 発行の証明書がすでにある場合、または外部の信頼できる CA の証明書を使用する場合：

- 本プリントサーバーからの証明書署名要求 (CSR) を使用する場合。
- 証明書とプライベートキーをインポートする場合。

- 認証局 (CA) 証明書

CA を識別し、プライベートキーを所有する CA 証明書を使用するには、ネットワークのセキュリティ機能を設定する前に、CA が発行した CA 証明書をインポートする必要があります。



- SSL/TLS 通信を使用する場合は、まずシステム管理者に連絡することをお勧めします。
- プリントサーバーをお買い上げ時の設定にリセットする場合、インストールされている証明書とプライベートキーは削除されます。プリントサーバーのリセット後にも同じ証明書とプライベートキーを保持する場合は、リセット前にこれらをエクスポートし、リセット後に再インストールします。



### 関連情報

- デバイスセキュリティの証明書を設定する

## 証明書の作成とインストールの手順

セキュリティ証明書を使用する場合、自己署名証明書を使用するか、認証局（CA）発行の証明書を使用するかを選択できます。

### オプション 1

#### 自己署名証明書

1. Web Based Management を使用して自己署名証明書を作成します。
2. パソコンへ自己署名証明書をインストールします。

### オプション 2

#### CA からの証明書

1. Web Based Management を使用して、証明書署名要求（CSR）を作成します。
2. Web Based Management を使用して、CA が発行した証明書を、本製品にインストールします。
3. パソコンへ証明書をインストールします。

### ✓ 関連情報

- [デバイスセキュリティの証明書を設定する](#)

## 自己署名証明書を作成する

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

例：https://brn123456abcdef

- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > セキュリティ > 証明書**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **自己署名証明書の作成** をクリックします。
6. **コモンネーム**および**有効期限**を入力します。
  - **コモンネーム**の長さは 64 バイト未満です。SSL/TLS 通信を介して本製品にアクセスする場合に使用する、IP アドレス、ノード名、ドメイン名などの識別子を入力します。お買い上げ時の設定では、ノード名が表示されます。
  - IPPS または HTTPS プロトコルを使用し、自己署名証明書に使用された**コモンネーム**とは異なる名前が URL に入力された場合は、警告が表示されます。
7. **公開鍵アルゴリズム**ドロップダウンリストから設定を選択します。お買い上げ時の設定は **RSA(2048bit)** です。
8. **メッセージダイジェストアルゴリズム**ドロップダウンリストから設定を選択します。お買い上げ時の設定は **SHA256** です。
9. **OK** をクリックします。



### 関連情報

- [デバイスセキュリティの証明書を設定する](#)

## CSR を作成して認証局 (CA) からの証明書をインストールする

外部の信頼された CA からの証明書がすでに存在する場合、その証明書とプライベートキーを本製品に保存し、インポートやエクスポートを行うことによってそれらを管理することができます。外部の信頼された CA からの証明書が存在しない場合、証明書署名要求 (CSR) を作成し、CA に送信して認証を受けたあと、返却された証明書を本製品にインストールします。

- 証明書署名要求 (CSR : Certificate Signing Request) を作成する
- 証明書を本製品にインストールする

## 証明書署名要求 (CSR : Certificate Signing Request) を作成する

証明書署名要求 (CSR) は、証明書に含まれる資格情報を認証するために、認証局 (CA) に送信される要求です。

CSR を作成する前に、CA からのルート証明書をお使いのパソコンにインストールしておくことを推奨します。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します (「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します)。

例 :

https://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例 : https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

例 : https://brn123456abcdef

- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > セキュリティ > 証明書**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **CSR の作成** をクリックします。
6. **コモンネーム** (必須) を入力して、ご使用の**組織**に関するその他の情報 (任意) を追加します。



- CA がお客様の身元を確認し、外部に向けて証明するために、お客様の会社の情報が必要です。
- **コモンネーム**の長さは 64 バイト未満である必要があります。SSL/TLS 通信を介して本製品にアクセスする場合に使用する、IP アドレス、ノード名、ドメイン名などの識別子を入力します。お買い上げ時の設定では、ノード名が表示されます。**コモンネーム**は必須です。
- 証明書に使用された共通名とは異なる名前が URL に入力された場合は、警告が表示されます。
- **組織、部署、市、および県/州**の長さは 64 バイト未満の必要があります。
- **国**は、2 文字の ISO 3166 国コードです。
- X.509v3 証明書拡張を設定する場合、**拡張領域設定**チェックボックスを選択後、**自動 (本機の IPv4 アドレスを登録します。)**または**手動**を選択します。

7. **公開鍵アルゴリズム**ドロップダウンリストから設定を選択します。お買い上げ時の設定は **RSA(2048bit)** です。
8. **メッセージダイジェストアルゴリズム**ドロップダウンリストから設定を選択します。お買い上げ時の設定は **SHA256** です。
9. **OK** をクリックします。  
CSR が画面に表示されます。表示された CSR をファイルとして保存するか、認証局から提供されたオンラインの CSR フォームにコピー・ペーストします。
10. **保存** をクリックします。



- CSR をお客様の CA に送信する方法については、お客様の CA の方針に従ってください。
- Windows Server 2012/2012 R2/2016/2019/2022 の Enterprise root CA を使用している場合、クライアント証明書の安全な作成のために、証明書用ウェブサーバーテンプレートを使用することを推奨します。EAP-TLS 認証を行う IEEE 802.1x 環境のためのクライアント証明書を作成する場合、証明書用ユーザーテンプレートを使用することを推奨します。



#### 関連情報

- CSR を作成して認証局 (CA) からの証明書をインストールする

## 証明書を本製品にインストールする

証明書を CA から受信した後、以下の手順でプリントサーバーにインストールします。

本製品には、本製品の CSR と一緒に発行された証明書のみをインストールできます。他の CSR を作成する場合は、CSR 作成前に、この証明書がインストールされていることを確認してください。この証明書を必ず先にインストールしてから、他の CSR を作成してください。この証明書が先にインストールされなかった場合、作成した CSR は無効になります。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

例：https://brn123456abcdef

- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > セキュリティ > 証明書**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **証明書のインストール**をクリックします。
6. CA に発行された証明書を含むファイルを表示して、**OK** をクリックします。  
証明書が作成され、本製品のメモリーに正常に保存されます。

SSL/TLS 通信を使用する場合は、お使いのパソコンに、CA から取得したルート証明書を必ずインストールしてください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。



### 関連情報

- CSR を作成して認証局 (CA) からの証明書をインストールする

## 証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて

証明書とプライベートキーを本製品に保存して、インポートまたはエクスポートすることにより、これらを管理します。

- 証明書とプライベートキーをインポートする
- 証明書とプライベートキーをエクスポートする

## 証明書とプライベートキーをインポートする

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

例：https://brn123456abcdef

- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > セキュリティ > 証明書**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **証明書と秘密鍵のインポート** をクリックします。
6. インポートするファイルを表示します。
7. ファイルが暗号化されている場合はパスワードを入力し、**OK** をクリックします。

証明書とプライベートキーが本製品にインポートされます。



### 関連情報

- [証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて](#)

## 証明書とプライベートキーをエクスポートする

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

例：https://brn123456abcdef

- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > セキュリティ > 証明書**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **証明書一覧**と共に表示される**エクスポート**をクリックします。
6. ファイルを暗号化する場合は、パスワードを入力します。  
パスワードを空白のままにすると、出力内容は暗号化されません。
7. 確認のためにパスワードを再入力し、**OK**をクリックします。
8. **保存**をクリックします。

証明書とプライベートキーがお使いのパソコンにエクスポートされます。

ご使用のパソコンに証明書をインポートすることもできます。



### 関連情報

- [証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて](#)

## CA 証明書のインポートとエクスポートについて

本製品では、CA 証明書のインポートやエクスポート、または保存ができます。

- CA 証明書をインポートする
- CA 証明書をエクスポートする

## CA 証明書をインポートする

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

例：https://brn123456abcdef

- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > セキュリティ > CA 証明書**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **CA 証明書のインポート** をクリックします。
6. インポートするファイルを表示します。
7. **OK** をクリックします。



### 関連情報

- [CA 証明書のインポートとエクスポートについて](#)

## CA 証明書をエクスポートする

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

例：https://brn123456abcdef

- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > セキュリティ > CA 証明書**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. エクスポートする証明書を選択し、**エクスポート**をクリックします。
6. **OK** をクリックします。
7. **保存**の横の▼をクリックし、ファイルの保存先を指定します。



### 関連情報

- [CA 証明書のインポートとエクスポートについて](#)

## 複数の証明書を管理する

複数の証明書の機能により、Web Based Management を使用して、本製品にインストールされている証明書を管理することができます。Web Based Management で、**証明書**または **CA 証明書**画面に移動して、証明書の内容の表示、また証明書の削除やエクスポートを行えます。

	本製品に保存できる証明書の最大数
自己署名証明書または、CA 発行の証明書	5
CA 証明書	6

保存する証明書は最大数よりも少ない数にし、証明書の期限切れに備えて 1 個分の空きを確保しておくことをお勧めします。証明書の期限が切れた場合、新しい証明書を確保した場所にインポートして、期限切れの証明書を削除します。こうすることで、設定エラーを回避できます。



- HTTPS/IPPS または IEEE 802.1x を使用する場合、使用する証明書を選択する必要があります。
- SMTP 通信に SSL を使用する場合、証明書を選択する必要はありません。必要な証明書は自動的に選択されます。

### ✓ 関連情報

- [デバイスセキュリティの証明書を設定する](#)

## SSL/TLS を使用する

- [SSL/TLS について](#)
- [SSL/TLS を使用した安全なネットワーク製品の管理](#)
- [SSL/TLS を使用して文書を安全に印刷する](#)
- [Eメールを安全に送信する](#)

## SSL/TLS について

セキュアソケットレイヤー（SSL）またはトランスポート層セキュリティ（TLS）は、LAN または WAN 経由で送信されるデータを保護する効果的な方式です。ネットワーク経由の印刷ジョブなどのデータを暗号化して送信するため、第三者から内容を読み取られることはありません。

SSL/TLS は、有線と無線のネットワークのいずれにも設定可能であり、WPA キーやファイアウォールなど他のセキュリティ形式でも機能します。

### ✓ 関連情報

- [SSL/TLS を使用する](#)
  - [SSL/TLS の略歴](#)
  - [SSL/TLS を使用するメリット](#)

## SSL/TLS の略歴

SSL/TLS は当初、ウェブ上のトラフィック情報、特にウェブブラウザとサーバー間で送信されるデータの安全性を確保するために作られました。SSL はやがて、オンラインセキュリティに対する共通の解決策として、Telnet、プリンター、FTP など他のアプリケーションともあわせて使用されるようになりました。この当初の設計意図が、今日でも多くのオンライン小売業者や銀行によって採り入れられ、クレジットカード番号や顧客情報など極秘データの安全性を確保しています。

SSL/TLS では非常に高度なレベルの暗号化が用いられ、世界中の銀行から信頼されています。

### ✓ 関連情報

- [SSL/TLS について](#)

## SSL/TLS を使用するメリット

SSL/TLS を使用する主なメリットは、製品へ送信されたデータの読み込みを非認証のユーザーに対して制限することで、IP ネットワークを介した印刷の安全性を保証することです。SSL の主なメリットは、機密データを安全に印刷するために使用できることです。例えば、大企業の人事部門が定期的に給与明細を印刷しているとします。これら給与明細のデータが暗号化されていない場合、他のネットワークユーザーから読み取られる可能性があります。しかし、SSL/TLS を使用すると、これらのデータを読み取ろうとしても、実際の給与明細ではなく、複雑なコードのページが表示されるだけです。

### ✓ 関連情報

- [SSL/TLS について](#)

## SSL/TLS を使用した安全なネットワーク製品の管理

- SSL/TLS の証明書および使用可能なプロトコルを設定する
- SSL/TLS を使用して Web Based Management にアクセスする
- 管理者として Windows ユーザー用の自己署名証明書をインストールする
- デバイスセキュリティの証明書を設定する

## SSL/TLS の証明書および使用可能なプロトコルを設定する

SSL/TLS 通信を使用するには、Web Based Management を使用して本製品に証明書を設定します。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

例：https://brn123456abcdef

- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > ネットワーク > プロトコル**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **HTTP サーバー設定** をクリックします。
6. **証明書の選択** ドロップダウンリストから、設定対象の証明書を選択します。
7. **OK** をクリックします。
8. **はい** をクリックしてプリントサーバーを再起動します。



### 関連情報

- [SSL/TLS を使用した安全なネットワーク製品の管理](#)

## SSL/TLS を使用して Web Based Management にアクセスする

ネットワーク上で本製品を安全に管理するために、HTTPS プロトコルを使用した Web Based Management を使用します。



- HTTPS プロトコルを使用するには、本製品で HTTPS が有効になっている必要があります。お買い上げ時の設定では、HTTPS プロトコルは有効です。
- HTTPS プロトコル設定は、Web Based Management を使用して変更できます。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://共通名」と入力します（ただし「共通名」は、証明書に割り当てた共通名（IP アドレス、ノード名、ドメイン名など））。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と表示されています。

4. 以上で HTTPS を使用して製品へアクセスする準備が整いました。



### 関連情報

- [SSL/TLS を使用した安全なネットワーク製品の管理](#)

## 管理者として Windows ユーザー用の自己署名証明書をインストールする

- 以下の手順は、Microsoft Edge を使用する場合があります。その他のウェブブラウザを使用している場合は、ウェブブラウザの説明書またはオンラインヘルプで、証明書のインストール方法を参照してください。
- Web Based Management を使用して、自己署名証明書を作成したことを確認してください。

1. **Microsoft Edge** アイコンを右クリックし、**管理者として実行**をクリックします。  
**ユーザー アカウント制御**画面が表示されたら、**はい**をクリックします。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

例：https://brn123456abcdef

- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 接続がプライベートでない場合は、**詳細設定**ボタンをクリックしてから、ウェブページに進んでください。
4. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と表示されています。

5. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > セキュリティ > 証明書**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

6. **エクスポート** をクリックします。
7. 出力ファイルを暗号化するには、**パスワード設定**欄にパスワードを入力します。**パスワード設定**欄が空白の場合、出力ファイルは暗号化されません。
8. **パスワード確認**欄にパスワードを再度入力し、**OK** をクリックします。
9. ダウンロードしたファイルをクリックして開きます。
10. **証明書のインポート ウィザード**が表示されたら、**次へ**をクリックします。
11. **次へ** をクリックします。
12. 必要に応じて、パスワードを入力し、**次へ**をクリックします。
13. **証明書をすべて次のストアに配置する** を選択してから **参照...** をクリックします。
14. **信頼されたルート証明機関**を選択し、**OK** をクリックします。
15. **次へ** をクリックします。
16. **完了** をクリックします。
17. フィンガープリント（拇印）が正しければ、**はい**をクリックします。
18. **OK** をクリックします。



### 関連情報

- [SSL/TLS を使用した安全なネットワーク製品の管理](#)

## SSL/TLS を使用して文書を安全に印刷する

- SSL/TLS を使用して文書を印刷する
- SSL/TLS の証明書および使用可能なプロトコルを設定する
- デバイスセキュリティの証明書を設定する

## SSL/TLS を使用して文書を印刷する

IPP プロトコルを使用して文書を安全に印刷するには、IPPS プロトコルを使用します。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

例：https://brn123456abcdef

- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > ネットワーク > プロトコル**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **IPP** チェックボックスが選択されていることを確認します。



**IPP** チェックボックスが選択されていない場合、**IPP** チェックボックスを選択して、**OK** をクリックします。製品を再起動して、設定を有効にします。

本製品が再起動したら、本製品のウェブページに戻ってパスワードを入力し、ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > ネットワーク > プロトコル**をクリックします。

6. **HTTP サーバー設定**をクリックします。
7. **IPP** で **HTTPS** チェックボックスを選択し、**OK** をクリックします。
8. 製品を再起動して、設定を有効にします。

IPPS を使用した通信では、プリントサーバーへの非認証のアクセスを防ぐことはできません。



### 関連情報

- [SSL/TLS を使用して文書を安全に印刷する](#)

## SNMPv3 を使用する

- SNMPv3 を使用した安全なネットワーク製品の管理

## SNMPv3 を使用した安全なネットワーク製品の管理

簡易ネットワーク管理プロトコルバージョン 3 (SNMPv3) は、ネットワーク機器を安全に管理するための、ユーザー認証とデータの暗号化に使用されます。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://共通名」と入力します (ただし「共通名」は、証明書に割り当てた共通名 (IP アドレス、ノード名、ドメイン名など))。
3. 必要に応じて **ログイン** 欄にパスワードを入力し、**ログイン** をクリックします。

 本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「PwD」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > ネットワーク > プロトコル** をクリックします。

 画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **SNMP** 設定が有効であることを確認して、**詳細設定** をクリックします。
6. SNMP の設定を行います。

オプション	詳細
<b>SNMP v1/v2c read-write access</b>	プリントサーバーは SNMP プロトコルの Ver. 1 および Ver. 2c を使用します。このモードで、本製品のすべてのアプリケーションが使用できます。ただし、ユーザーの認証は行われず、データは暗号化されないため、安全ではありません。
<b>SNMPv3 read-write access and v1/v2c read-only access</b>	プリントサーバーは SNMP プロトコルの Ver. 3 (読み書きアクセス) と、Ver. 1 および Ver. 2c (読み取り専用アクセス) を使用します。  <b>SNMPv3 read-write access and v1/v2c read-only access</b> モードを使用する場合、Ver. 1 と Ver. 2c の読み取り専用が認証されるため、プリントサーバーにアクセスする本製品のアプリケーションの一部が正常に機能しない場合があります。すべてのアプリケーションを使用する場合、 <b>SNMP v1/v2c read-write access</b> モードを使用することを推奨します。
<b>SNMPv3 read-write access</b>	プリントサーバーは SNMP プロトコルの Ver. 3 を使用します。プリントサーバーを安全に管理するには、このモードを使用します。  <b>SNMPv3 read-write access</b> モードを使用する場合、以下に注意してください。BRAdmin Professional を除き、SNMPv1/v2c を使用するすべてのアプリケーションの使用が制限されます。SNMPv1/v2c アプリケーションの使用を許可するには、 <b>SNMPv3 read-write access and v1/v2c read-only access</b> または <b>SNMP v1/v2c read-write access</b> モードを使います。

7. **OK** をクリックします。

### 関連情報

- [SNMPv3 を使用する](#)

## IPsec を使用する

- [IPsec について](#)
- [Web Based Management を使用して IPsec を設定する](#)
- [Web Based Management を使用して IPsec アドレステンプレートを設定する](#)
- [Web Based Management を使用して IPsec テンプレートを設定する](#)

## IPsec について

IPsec (Internet Protocol Security) は、任意のインターネットプロトコル機能を使用してデータの改ざんを防止し、IP パケットとして送信されるデータの信頼性を確保するセキュリティプロトコルです。IPsec は、パソコンからプリンターへ送信される印刷データなど、ネットワーク経由で転送されるデータを暗号化します。データはネットワーク層で暗号化されるため、高レベルのプロトコルを使用するアプリケーションには、ユーザーが認識していなくても、IPsec が使用されています。

IPsec では、以下の機能をサポートしています。

- IPsec 送信

IPsec 設定条件に従い、ネットワークに接続されたパソコンは、IPsec に対応している指定機器との間でデータの送受信を行います。機器が IPsec を使用して通信を開始すると、インターネットキー交換 (IKE : Internet Key Exchange) を使用してキーが交換されたあと、それらのキーを使用して暗号化されたデータが送信されます。

また、IPsec には、トランスポートモードおよびトンネルモードの、2 種類の操作モードがあります。トランスポートモードは、主に機器間の通信に使用され、トンネルモードは仮想プライベートネットワーク (VPN : Virtual Private Network) などの環境で使用されます。



IPsec 送信を行うには、次の条件が必要です。

- IPsec を使用して通信できるパソコンが、ネットワークに接続されている。
- 本製品が IPsec 通信用に設定されている。
- 本製品に接続されているパソコンが、IPsec 接続用に設定されている。

- IPsec 設定

IPsec を使用する接続に必要な設定。これらの設定は、Web Based Management を使用して行うことができます。



IPsec を設定するには、該当ネットワークに接続されているパソコンのブラウザを使用する必要があります。



### 関連情報

- [IPsec を使用する](#)

## Web Based Management を使用して IPsec を設定する

IPsec の接続条件は、アドレスおよび IPsec の 2 種類のテンプレートで構成されます。最大 10 個の接続条件を設定できます。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > セキュリティ > IPsec** をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、**≡**から開始します。

5. 設定を確認します。

オプション	詳細
状態	IPsec を有効または無効にします。
接続モード	IKE Phase 1 の <b>接続モード</b> を選択します。IKE はプロトコルであり、IPsec を使用して暗号化通信を行うための、暗号キーの交換に使用されます。 <b>メイン</b> モードでは、処理速度は遅くなりますが、安全性は高くなります。 <b>アグレッシブ</b> モードでは、処理速度は <b>メイン</b> モードの場合より速くなりますが、安全性は低くなります。
IPsec 以外のトラフィックルール	IPsec 以外のパケットに対する対処方法を選択します。 Web サービスを使用するとき、 <b>IPsec 以外のトラフィックルール</b> に対して <b>通過</b> を選択する必要があります。 <b>遮断</b> を選択すると、Web サービスは使用できません。
Broadcast/Multicast Bypass	<b>有効</b> または <b>無効</b> を選択します。
Protocol Bypass	使用したいオプションのチェックボックスを選択します。
ルール	<b>有効</b> チェックボックスを選択して、テンプレートを有効にします。複数のチェックボックスを選択し、それらの設定が競合する場合は、番号が小さい方のチェックボックスの設定が優先されます。 対応するドロップダウンリストをクリックして、IPsec の接続条件に使用される <b>アドレステンプレート</b> を選択します。 <b>アドレステンプレート</b> を追加するには、 <b>テンプレートの追加</b> をクリックします。 対応するドロップダウンリストをクリックして、IPsec の接続条件に使用される <b>IPsec テンプレート</b> を選択します。 <b>IPsec テンプレート</b> を追加するには、 <b>テンプレートの追加</b> をクリックします。

6. **OK** をクリックします。

新しい設定を登録するために本製品を再起動する必要がある場合は、再起動の確認画面が表示されます。

**ルール**で有効化したテンプレートに空白の項目が含まれる場合、エラーメッセージが表示されます。選択した項目を確認し、もう一度 **OK** をクリックします。



### 関連情報

- [IPsec を使用する](#)

#### 関連トピック：

- [デバイスセキュリティの証明書を設定する](#)

## Web Based Management を使用して IPsec アドレステンプレートを設定する

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。  
例：  
https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

 本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > セキュリティ > IPsec アドレステンプレート**をクリックします。

 画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **削除**ボタンをクリックして**アドレステンプレート**を削除します。**アドレステンプレート**が使用中の場合は、削除できません。
6. 作成したい**アドレステンプレート**をクリックします。**IPsec アドレステンプレート**が表示されます。
7. 設定を確認します。

オプション	詳細
テンプレート名	作成するテンプレートの名前を入力します（最大 16 文字）。
ローカル IP アドレス	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>IP アドレス</b> IP アドレスを指定します。ドロップダウンリストから、<b>すべての IPv4 アドレス</b>、<b>すべての IPv6 アドレス</b>、<b>すべてのリンクローカル IPv6 アドレス</b>、または<b>カスタム</b>を選択します。 ドロップダウンリストから<b>カスタム</b>を選択した場合、テキストボックスに IP アドレス（IPv4 または IPv6）を入力します。</li><li>• <b>IP アドレス範囲</b> テキストボックスに IP アドレス範囲の開始アドレスと終了アドレスを入力します。開始および終了の IP アドレスが IPv4 または IPv6 に合わせて標準化されていない場合、または終了 IP アドレスが開始アドレスより小さい場合、エラーが発生します。</li><li>• <b>IP アドレスプレフィックス</b> IP アドレスを CIDR 表記で指定します。 例：192.168.1.1/24 192.168.1.1 に対しプレフィックスを 24 ビットのサブネットマスク（255.255.255.0）で指定するため、192.168.1.### というアドレスが有効となります。</li></ul>
リモート IP アドレス	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>すべて</b> <b>すべて</b>を選択すると、すべての IP アドレスが有効になります。</li><li>• <b>IP アドレス</b> 指定した IP アドレス（IPv4 または IPv6）をテキストボックスに入力します。</li><li>• <b>IP アドレス範囲</b> IP アドレス範囲の最初と最後のアドレスを入力します。最初と最後の IP アドレスが IPv4 または IPv6 に合わせて標準化されていない場合、または最後の IP アドレスが最初のアドレスより小さい場合、エラーが発生します。</li><li>• <b>IP アドレスプレフィックス</b></li></ul>

オプション	詳細
	IP アドレスを CIDR 表記で指定します。 例：192.168.1.1/24 192.168.1.1 に対しプレフィックスを 24 ビットのサブネットマスク (255.255.255.0) で指定するため、192.168.1.### というアドレスが有効となります。

8. **OK** をクリックします。



使用中のテンプレートの設定を変更する場合は、本製品を再起動して設定を有効にします。



### 関連情報

- [IPsec を使用する](#)

## Web Based Management を使用して IPsec テンプレートを設定する

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。  
例：  
https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。  
 本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と表示されています。
4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > セキュリティ > IPsec テンプレート**をクリックします。  
 画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。
5. **削除**ボタンをクリックして **IPsec テンプレート**を削除します。IPsec テンプレートが使用中の場合は、削除できません。
6. 作成したい **IPsec テンプレート**をクリックします。IPsec テンプレート画面が表示されます。設定欄は、選択する**テンプレートを使用する**および **IKE** 設定によって異なります。
7. **テンプレート名**欄に、テンプレートの名前を入力します（最大 16 文字）。
8. **テンプレートを使用する**ドロップダウンリストで**カスタム**を選択した場合、**IKE** を選択してから、必要に応じて設定値を変更します。
9. **OK** をクリックします。

### ✓ 関連情報

- [IPsec を使用する](#)
  - [IPsec テンプレートの IKEv1 の設定](#)
  - [IPsec テンプレートの IKEv2 設定](#)
  - [IPsec テンプレートの手動設定](#)

## IPsec テンプレートの IKEv1 の設定

オプション	詳細
テンプレート名	作成するテンプレートの名前を入力します (最大 16 文字)。
テンプレートを使用する	<b>カスタム</b> 、 <b>IKEv1 高セキュリティ</b> または <b>IKEv1 中セキュリティ</b> を選択します。設定項目は、選択したテンプレートにより異なります。
IKE	IKE は通信プロトコルであり、IPsec を使用して暗号化通信を行うための暗号キーの交換に使用されます。1 回限りの暗号化通信を実行するために、IPsec に必要な暗号化アルゴリズムが決定され、暗号化キーは共有されます。IKE の場合、暗号化キーは Diffie-Hellman キー交換方式を使用して交換され、IKE に制限された暗号化通信が実行されます。 <b>テンプレートを使用する</b> で <b>カスタム</b> を選択した場合、 <b>IKEv1</b> を選択します。
認証タイプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>DH グループ</b> このキー交換方式により、保護されていないネットワーク上で、秘密キーを安全に交換することができます。Diffie-Hellman キー交換方式では、秘密キーではなく離散対数問題を利用して、乱数および秘密キーを使って生成された公開情報が送受信されます。 <b>グループ 1</b>、<b>グループ 2</b>、<b>グループ 5</b>、または<b>グループ 14</b>を選択します。</li> <li>• <b>暗号化方式</b> <b>DES</b>、<b>3DES</b>、<b>AES-CBC 128</b>、または<b>AES-CBC 256</b>を選択します。</li> <li>• <b>ハッシュ</b> <b>MD5</b>、<b>SHA1</b>、<b>SHA256</b>、<b>SHA384</b>、または<b>SHA512</b>を選択します。</li> <li>• <b>SA ライフタイム</b> IKE SA のライフタイムを指定します。 時間 (秒) とキロバイト数 (KByte) を入力します。</li> </ul>
動作セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>プロトコル</b> <b>ESP</b>、<b>AH</b>、または<b>AH+ESP</b>を選択します。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ESP は、IPsec を使用して暗号化通信を行うためのプロトコルの 1 つです。ESP は、ペイロード (通信内容) を暗号化し、付加情報を追加します。IP パケットは、ヘッダーと、ヘッダーに続く暗号化されたペイロードで構成されます。IP パケットには、暗号化されたデータに加え、暗号化方式、暗号化キー、認証データなどに関する情報も含まれます。</li> <li>- AH は、送信者を認証する IPsec プロトコルの一部であり、データの改ざんを防止します (完全性を保証します)。IP パケットでは、データはヘッダーの直後に挿入されます。また、送信者のなりすましやデータの改ざんを防止するために、パケットには、通信内容に含まれる等式を使用して計算されたハッシュ値や秘密キーなどが含まれます。ESP と異なり、通信内容は暗号化されず、データはプレーンテキストとして送受信されます。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>暗号化方式 (AH オプションでは選択不可)。</b> <b>DES</b>、<b>3DES</b>、<b>AES-CBC 128</b>、または<b>AES-CBC 256</b>を選択します。</li> <li>• <b>ハッシュ</b> <b>なし</b>、<b>MD5</b>、<b>SHA1</b>、<b>SHA256</b>、<b>SHA384</b> または <b>SHA512</b> を選択します。 <b>プロトコル</b>で <b>ESP</b> が選択されている場合にのみ、<b>なし</b>を選択できます。</li> </ul>

オプション	詳細
	<p>プロトコルで <b>AH+ESP</b> が選択されている場合、<b>ハッシュ (ESP)</b> と <b>ハッシュ(AH)</b> のそれぞれに対してプロトコルを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> <b>SA ライフタイム</b>            IKE SA のライフタイムを指定します。            時間 (秒) とキロバイト数 (KByte) を入力します。         </li> <li> <b>動作モード</b>  <b>トランスポート</b> または <b>トンネル</b> を選択します。         </li> <li> <b>リモートルーター IP アドレス</b>            リモートルーターの IP アドレス (IPv4 または IPv6) を入力します。この情報は、<b>トンネルモード</b> が選択されている場合にのみ入力します。         </li> </ul> <hr/> <p> SA (セキュリティアソシエーション) は、IPsec または IPv6 を使用する暗号化通信方式です。通信の開始前に安全な通信チャネルを確立するために、暗号化方式や暗号化キーなどの情報を交換、共有します。SA は、すでに確立された仮想的な暗号通信路 (トンネル) を指す場合もあります。IPsec による通信で使用する SA では、暗号化方式を確立し、キーを交換して、IKE (インターネットキー交換) の標準手順に従って相互認証を行います。さらに、SA は定期的に更新されます。</p>
PFS	<p>PFS では、メッセージの暗号化に使用された以前のキーからキーは導出されません。また、親キーから導出されたキーでメッセージが暗号化されている場合でも、その親キーを使用して他のキーが導出されることはありません。そのため、キーの情報が洩れた場合でも、被害はそのキーを使用して暗号化されたメッセージだけに限られます。</p> <p><b>有効</b> または <b>無効</b> を選択します。</p>
認証方式	<p>認証方式を選択します。 <b>事前共有キー</b> または <b>証明書</b> を選択します。</p>
事前共有キー	<p>通信を暗号化する際に、事前に別の通信路を使用して暗号化キーが交換および共有されます。</p> <p><b>認証方式</b> で <b>事前共有キー</b> を選択した場合は、<b>事前共有キー</b> (最大 32 文字) を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> <b>ローカルID タイプ/ID</b>            送信者の ID タイプを選択し、ID を入力します。            タイプとして、<b>IPv4 アドレス</b>、<b>IPv6 アドレス</b>、<b>FQDN</b>、<b>E-mail アドレス</b>、または <b>証明書</b> を選択します。  <b>証明書</b> を選択した場合は、<b>ID</b> 欄に証明書の共通名を入力します。         </li> <li> <b>リモートID タイプ/ID</b>            受信者の ID タイプを選択し、その ID を入力します。            タイプとして、<b>IPv4 アドレス</b>、<b>IPv6 アドレス</b>、<b>FQDN</b>、<b>E-mail アドレス</b>、または <b>証明書</b> を選択します。  <b>証明書</b> を選択した場合は、<b>ID</b> 欄に証明書の共通名を入力します。         </li> </ul>
証明書	<p><b>認証方式</b> で <b>証明書</b> を選択した場合、<b>証明書</b> を選択します。</p> <hr/> <p> 選択できる証明書は、Web Based Management のセキュリティ設定画面の <b>証明書</b> ページを使用して作成された証明書のみです。</p>

 **関連情報**

- [Web Based Management を使用して IPsec テンプレートを設定する](#)

## IPsec テンプレートの IKEv2 設定

オプション	詳細
テンプレート名	作成するテンプレートの名前を入力します (最大 16 文字)。
テンプレートを使用する	<b>カスタム</b> 、 <b>IKEv2 高セキュリティ</b> または <b>IKEv2 中セキュリティ</b> を選択します。設定項目は、選択したテンプレートにより異なります。
IKE	IKE は通信プロトコルであり、IPsec を使用して暗号化通信を行うための暗号キーの交換に使用されます。1 回限りの暗号化通信を実行するために、IPsec に必要な暗号化アルゴリズムが決定され、暗号化キーは共有されます。IKE の場合、暗号化キーは Diffie-Hellman キー交換方式を使用して交換され、IKE に制限された暗号化通信が実行されます。 <b>テンプレートを使用する</b> で <b>カスタム</b> を選択した場合、 <b>IKEv2</b> を選択します。
認証タイプ	<ul style="list-style-type: none"> <li> <b>DH グループ</b>                      このキー交換方式により、保護されていないネットワーク上で、秘密キーを安全に交換することができます。Diffie-Hellman キー交換方式では、秘密キーではなく離散対数問題を利用して、乱数および秘密キーを使って生成された公開情報が送受信されます。  <b>グループ 1</b>、<b>グループ 2</b>、<b>グループ 5</b>、または<b>グループ 14</b>を選択します。                 </li> <li> <b>暗号化方式</b>  <b>DES</b>、<b>3DES</b>、<b>AES-CBC 128</b>、または<b>AES-CBC 256</b>を選択します。                 </li> <li> <b>ハッシュ</b>  <b>MD5</b>、<b>SHA1</b>、<b>SHA256</b>、<b>SHA384</b>、または<b>SHA512</b>を選択します。                 </li> <li> <b>SA ライフタイム</b>                      IKE SA のライフタイムを指定します。                      時間 (秒) とキロバイト数 (KByte) を入力します。                 </li> </ul>
動作セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li> <b>プロトコル</b>  <b>ESP</b>を選択します。   ESP は、IPsec を使用して暗号化通信を行うためのプロトコルの 1 つです。ESP は、ペイロード (通信内容) を暗号化し、付加情報を追加します。IP パケットは、ヘッダーと、ヘッダーに続く暗号化されたペイロードで構成されます。IP パケットには、暗号化されたデータに加え、暗号化方式、暗号化キー、認証データなどに関する情報も含まれます。                 </li> <li> <b>暗号化方式</b>  <b>DES</b>、<b>3DES</b>、<b>AES-CBC 128</b>、または<b>AES-CBC 256</b>を選択します。                 </li> <li> <b>ハッシュ</b>  <b>MD5</b>、<b>SHA1</b>、<b>SHA256</b>、<b>SHA384</b>、または<b>SHA512</b>を選択します。                 </li> <li> <b>SA ライフタイム</b>                      IKE SA のライフタイムを指定します。                      時間 (秒) とキロバイト数 (KByte) を入力します。                 </li> <li> <b>動作モード</b>  <b>トランスポート</b>または<b>トンネル</b>を選択します。                 </li> </ul>

オプション	詳細
	<ul style="list-style-type: none"> <li> <b>リモートルーター IP アドレス</b>  リモートルーターの IP アドレス (IPv4 または IPv6) を入力します。この情報は、<b>トンネルモード</b>が選択されている場合にのみ入力します。 </li> </ul> <hr/>  <p>SA (セキュリティアソシエーション) は、IPsec または IPv6 を使用する暗号化通信方式です。通信の開始前に安全な通信チャネルを確立するために、暗号化方式や暗号化キーなどの情報を交換、共有します。SA は、すでに確立された仮想的な暗号通信路 (トンネル) を指す場合もあります。IPsec による通信で使用する SA では、暗号化方式を確立し、キーを交換して、IKE (インターネットキー交換) の標準手続に従って相互認証を行います。さらに、SA は定期的に更新されます。</p>
PFS	PFS では、メッセージの暗号化に使用された以前のキーからキーは導出されません。また、親キーから導出されたキーでメッセージが暗号化されている場合でも、その親キーを使用して他のキーが導出されることはありません。そのため、キーの情報が洩れた場合でも、被害はそのキーを使用して暗号化されたメッセージだけに限られます。 <b>有効</b> または <b>無効</b> を選択します。
認証方式	認証方式を選択します。 <b>事前共有キー</b> 、 <b>証明書</b> 、 <b>EAP - MD5</b> 、または <b>EAP - MS-CHAPv2</b> を選択します。
事前共有キー	通信を暗号化する際に、事前に別の通信路を使用して暗号化キーが交換および共有されます。 <b>認証方式</b> で <b>事前共有キー</b> を選択した場合は、 <b>事前共有キー</b> (最大 32 文字) を入力します。
証明書	<b>認証方式</b> で <b>証明書</b> を選択した場合、 <b>証明書</b> を選択します。

オプション	詳細
	 選択できる証明書は、Web Based Management のセキュリティ設定画面の <b>証明書</b> ページを使用して作成された証明書のみです。

### 関連情報

- [Web Based Management](#) を使用して IPsec テンプレートを設定する

## IPsec テンプレートの手動設定

オプション	詳細
テンプレート名	作成するテンプレートの名前を入力します (最大 16 文字)。
テンプレートを使用する	<b>カスタム</b> を選択します。
IKE	<p>IKE は通信プロトコルであり、IPsec を使用して暗号化通信を行うための暗号キーの交換に使用されます。1 回限りの暗号化通信を実行するために、IPsec に必要な暗号化アルゴリズムが決定され、暗号化キーは共有されます。IKE の場合、暗号化キーは Diffie-Hellman キー交換方式を使用して交換され、IKE に制限された暗号化通信が実行されます。</p> <p><b>手動</b>を選択します。</p>
認証キー (ESP, AH)	<p>In/Out 値を入力します。</p> <p>こうした設定は、<b>テンプレートを使用する</b>に<b>カスタム</b>が選択され、<b>IKE</b>に<b>手動</b>が選択され、<b>動作セキュリティ</b>セクションの<b>ハッシュ</b>になし以外の設定が選択されているときに必要です。</p> <p> 設定可能な文字数は、<b>動作セキュリティ</b>セクションで<b>ハッシュ</b>に選択した設定によって異なります。</p> <p>指定した認証キーの長さが、選択したハッシュアルゴリズムの長さとは一致していない場合、エラーとなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>MD5</b> : 128 ビット (16 バイト)</li> <li>• <b>SHA1</b> : 160 ビット (20 バイト)</li> <li>• <b>SHA256</b> : 256 ビット (32 バイト)</li> <li>• <b>SHA384</b> : 384 ビット (48 バイト)</li> <li>• <b>SHA512</b> : 512 ビット (64 バイト)</li> </ul> <p>キーをアスキーコードで指定する場合は、文字を二重引用符 (") で囲みます。</p>
コードキー (ESP)	<p>In/Out 値を入力します。</p> <p>こうした設定は、<b>テンプレートを使用する</b>で<b>カスタム</b>が選択され、<b>IKE</b>で<b>手動</b>が選択され、<b>動作セキュリティ</b>の<b>プロトコル</b>で<b>ESP</b>が選択されているときに必要です。</p> <p> 設定可能な文字数は、<b>動作セキュリティ</b>セクションで<b>暗号化方式</b>に選択した設定によって異なります。</p> <p>指定したコードキーの長さが、選択した暗号化アルゴリズムの長さとは一致していない場合、エラーとなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>DES</b> : 64 ビット (8 バイト)</li> <li>• <b>3DES</b> : 192 ビット (24 バイト)</li> <li>• <b>AES-CBC 128</b> : 128 ビット (16 バイト)</li> <li>• <b>AES-CBC 256</b> : 256 ビット (32 バイト)</li> </ul> <p>キーをアスキーコードで指定する場合は、文字を二重引用符 (") で囲みます。</p>
SPI	<p>セキュリティ情報を識別するためのパラメーターです。複数の種類の IPsec 通信に対応するために、通常、ホストには複数の SA (Security Association) が用意されています。したがって、IPsec パケットを受信したときに、該当する SA を識別する必要があります。SPI パラメーター (SA を識別する) は、AH (認証ヘッダー) と ESP (Encapsulated Security Payload、暗号ペイロード) ヘッダーに含まれます。</p> <p>こうした設定は、<b>テンプレートを使用する</b>に<b>カスタム</b>が選択され、<b>IKE</b>に<b>手動</b>が選択されているときに必要です。</p> <p>In/Out 値を入力します。(3~10 文字)</p>

オプション	詳細
動作セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>プロトコル</b> ESP または AH を選択します。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>  <ul style="list-style-type: none"> <li>- ESP は、IPsec を使用して暗号化通信を行うためのプロトコルの 1 つです。ESP は、ペイロード（通信内容）を暗号化し、付加情報を追加します。IP パケットは、ヘッダーと、ヘッダーに続く暗号化されたペイロードで構成されます。IP パケットには、暗号化されたデータに加え、暗号化方式、暗号化キー、認証データなどに関する情報も含まれます。</li> <li>- AH は IPsec プロトコルの一部であり、送信元の認証やデータの改ざん防止（完全性の保証）を実現します。IP パケットでは、データはヘッダーの直後に挿入されます。また、送信者のなりすましやデータの改ざんを防止するために、パケットには、通信内容に含まれる等式を使用して計算されたハッシュ値や秘密キーなどが含まれます。ESP と異なり、通信内容は暗号化されず、データはプレーンテキストとして送受信されます。</li> </ul> </li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>暗号化方式（AH オプションでは選択不可）。</b> DES、3DES、AES-CBC 128、または AES-CBC 256 を選択します。</li> <li>• <b>ハッシュ</b> なし、MD5、SHA1、SHA256、SHA384 または SHA512 を選択します。 プロトコルで ESP が選択されている場合にのみ、なしを選択できます。 プロトコルで AH+ESP が選択されている場合、ハッシュ（ESP）とハッシュ（AH）のそれぞれに対してプロトコルを選択します。</li> <li>• <b>SA ライフタイム</b> IKE SA のライフタイムを指定します。 時間（秒）とキロバイト数（KByte）を入力します。</li> <li>• <b>動作モード</b> トランスポートまたはトンネルを選択します。</li> <li>• <b>リモートルーター IP アドレス</b> リモートルーターの IP アドレス（IPv4 または IPv6）を入力します。この情報は、トンネルモードが選択されている場合にのみ入力します。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>  <p>SA（セキュリティアソシエーション）は、IPsec または IPv6 を使用する暗号化通信方式です。通信の開始前に安全な通信チャネルを確立するために、暗号化方式や暗号化キーなどの情報を交換、共有します。SA は、すでに確立された仮想的な暗号通信路（トンネル）を指す場合もあります。IPsec による通信で使用される SA では、暗号化方式を確立し、キーを交換して、IKE（インターネットキー交換）の標準手続に従って相互認証を行います。さらに、SA は定期的に更新されます。</p> </li> </ul>

## ✓ 関連情報

- [Web Based Management を使用して IPsec テンプレートを設定する](#)

## IEEE 802.1x 認証（有線または無線ネットワーク用）を使用する

- [IEEE 802.1x 認証について](#)
- [Web Based Management を使用して有線または無線 LAN の IEEE 802.1x 認証を設定する](#)
- [IEEE 802.1x 認証方式](#)

## IEEE 802.1x 認証について

IEEE 802.1x は IEEE 標準であり、非認証のネットワーク機器からのアクセスを制限します。本ブラザー製品は、アクセスポイントまたはハブを通して、RADIUS サーバー（認証サーバー）に認証要求を送信します。要求が RADIUS サーバーに確認されると、本製品はネットワークにアクセスすることができます。

### ✓ 関連情報

- IEEE 802.1x 認証（有線または無線ネットワーク用）を使用する

## Web Based Management を使用して有線または無線 LAN の IEEE 802.1x 認証を設定する

- EAP-TLS 認証を使用して本製品を設定する場合、設定の開始前に、CA により発行されたクライアント証明書を必ずインストールしてください。クライアント証明書については、ネットワーク管理者に問い合わせてください。複数の証明書をインストールした場合、使用する証明書の名前を書き留めておくことをお勧めします。
- サーバー証明書を検証する前に、該当のサーバー証明書に署名した CA 発行の、CA 証明書をインポートする必要があります。ネットワーク管理者または契約しているインターネットサービスプロバイダー (ISP) にお問い合わせください。

 操作パネルから無線セットアップウィザードを使用して IEEE 802.1x 認証を設定することもできます (無線 LAN)。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します (「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します)。

例：

https://192.168.1.2

 ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

例：https://brn123456abcdef

- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて **ログイン** 欄にパスワードを入力し、**ログイン** をクリックします。

 本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク** をクリックします。

 画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰ から開始します。

5. 以下のいずれかを行ってください：

- 有線 LAN の場合

**有線** > **有線 802.1x 認証** をクリックします。

- 無線 LAN の場合

**無線** > **無線 (エンタープライズ)** をクリックします。

6. IEEE 802.1x 認証を設定します。

 有線 LAN の IEEE 802.1x 認証を有効にするには、**有線 802.1x 認証** ページの **有線 802.1x** で **有効** を選択します。

- **EAP-TLS** 認証を使用している場合、検証のためにインストールされているクライアント証明書 (証明書の名前付きで表示)、**クライアント証明書** ドロップダウンリストから選択する必要があります。

- **EAP-FAST**、**PEAP**、**EAP-TTLS**、または **EAP-TLS** 認証を選択する場合は、**サーバー証明書の検証** ドロップダウンリストから検証方式を選択します。該当のサーバー証明書に署名した CA が発行し、あらかじめ製品にインポートされた CA 証明書を使用して、サーバー証明書を検証します。

サーバー証明書の検証 ドロップダウンリストから、以下の検証方式のいずれかを選択します。

オプション	詳細
検証しない	このサーバー証明書は常に信頼できます。検証は実施されません。
CA 証明書	該当のサーバー証明書に署名した CA により発行された CA 証明書を使用して、サーバー証明書の CA 信頼性を確認する検証方法。
CA 証明書+サーバー ID	共通名を確認する検証方法 <sup>1</sup> を確認する検証方法。

7. 設定が終了したら、**OK** をクリックします。

有線 LAN の場合：設定後、IEEE 802.1x がサポートされたネットワークに、使用製品を接続します。数分後、ネットワーク設定リストを印刷して、<Wired IEEE 802.1x>の状態を確認します。

オプション	詳細
Success	有線の IEEE 802.1x 機能は有効で、認証は成功しました。
Failed	有線の IEEE 802.1x 機能は有効ですが、認証は失敗しました。
Off	有線の IEEE 802.1x 機能は利用不可です。

## ✓ 関連情報

- IEEE 802.1x 認証（有線または無線ネットワーク用）を使用する

### 関連トピック：

- デバイスセキュリティの証明書を設定する

<sup>1</sup> 共通名の検証では、サーバー証明書の共通名と、サーバー ID に設定された文字列を比較します。この方式を使用する前に、サーバー証明書の共通名についてシステム管理者に問い合わせ、サーバー ID を設定してください。

## IEEE 802.1x 認証方式

### EAP-FAST

EAP-FAST (Extensible Authentication Protocol-Flexible Authentication via Secured Tunneling) は、Cisco Systems 社が開発したプロトコルで、認証のためのユーザー ID とパスワード、および対称キーアルゴリズムを使用してトンネル認証プロセスを実現します。

本製品は、以下の内部認証方式をサポートしています。

- EAP-FAST/NONE
- EAP-FAST/MS-CHAPv2
- EAP-FAST/GTC

### EAP-MD5 (有線 LAN)

拡張可能認証プロトコルメッセージダイジェストアルゴリズム 5 (EAP-MD5 : Extensible Authentication Protocol-Message Digest Algorithm 5) はユーザー ID とパスワードを使用して、チャレンジ/レスポンス認証を行います。

### PEAP

保護された拡張可能認証プロトコル (PEAP : Protected Extensible Authentication Protocol) は、Cisco Systems 社、Microsoft 社、および RSA セキュリティ社が開発した EAP 方式です。PEAP はユーザー ID とパスワードを送信するために、クライアントと認証サーバー間に、暗号化した Secure Sockets Layer (SSL) /Transport Layer Security (TLS) トンネルを作成します。PEAP により、サーバーとクライアント間の相互認証が行えます。

本製品は、以下の内部認証をサポートしています。

- PEAP/MS-CHAPv2
- PEAP/GTC

### EAP-TTLS

拡張可能認証プロトコルトンネル方式トランスポートレイヤーセキュリティ (EAP-TTLS : Extensible Authentication Protocol-Tunneled Transport Layer Security) は、ファンク・ソフトウェア社と Certicom 社によって開発されました。EAP-TTLS は、クライアントと認証サーバー間に、ユーザー ID およびパスワードを送信するための、PEAP 同様の暗号化 SSL トンネルを作成します。EAP-TTLS により、サーバーとクライアント間の相互認証が行えます。

本製品は、以下の内部認証をサポートしています。

- EAP-TTLS/CHAP
- EAP-TTLS/MS-CHAP
- EAP-TTLS/MS-CHAPv2
- EAP-TTLS/PAP

### EAP-TLS

拡張可能認証プロトコルトランスポートレイヤーセキュリティ (EAP-TLS : Extensible Authentication Protocol-Transport Layer Security) では、クライアントと認証サーバーのいずれにも、デジタル証明書認証が必要です。

### ✓ 関連情報

- [IEEE 802.1x 認証 \(有線または無線ネットワーク用\) を使用する](#)

## Active Directory 認証を使用する

関連モデル: HL-L6310DW

- [Active Directory 認証について](#)
- [Web Based Management を使用して Active Directory 認証を設定する](#)
- [本製品にログインし、操作パネルを使用して設定値を変更する \(Active Directory 認証\)](#)

## Active Directory 認証について

関連モデル: HL-L6310DW

Active Directory 認証により、本製品の使用が制限されます。Active Directory 認証が有効の場合、本製品の操作パネルはロックされます。本製品の設定を変更するには、ユーザー ID とパスワードを入力する必要があります。

Active Directory 認証では、以下の機能が利用可能です。

受信印刷データを保存する

Active Directory 認証の設定は、Web Based Management を使用して変更できます。

### ✓ 関連情報

- [Active Directory 認証を使用する](#)

## Web Based Management を使用して Active Directory 認証を設定する

関連モデル: HL-L6310DW

Active Directory 認証は、Kerberos 認証および NTLMv2 認証をサポートしています。認証のための SNTP プロトコル（ネットワークタイムサーバー）と DNS サーバー構成を設定する必要があります。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。  
例：  
https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。

 本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「PwD」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**管理者設定 > 制限機能**または**制限管理**をクリックします。

 画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **Active Directory 認証**を選択します。
6. **OK** をクリックします。
7. ナビゲーションバーの **Active Directory 認証** をクリックします。
8. 次の設定を行います。

オプション	詳細
ユーザー ID を記憶	このオプションを選択して、ユーザー ID を保存します。
Active Directory サーバアドレス	Active Directory サーバーの IP アドレスまたはサーバー名（例：ad.example.com）を入力します。
Active Directory ドメイン名	Active Directory のドメイン名を入力します。
プロトコルと認証方式	プロトコルと認証方式を選択します。
LDAP ポート	ポート番号を入力して LDAP 経由で Active Directory サーバーに接続します。（LDAP + kerberos 認証方式の場合のみ可能）
SSL/TLS	SSL/TLS を選択します。

9. **OK** をクリックします。

### 関連情報

- [Active Directory 認証を使用する](#)

▲ [ホーム](#) > [セキュリティ](#) > [Active Directory 認証を使用する](#) > 本製品にログインし、操作パネルを使用して設定値を変更する (Active Directory 認証)

## 本製品にログインし、操作パネルを使用して設定値を変更する (Active Directory 認証)

関連モデル: HL-L6310DW

Active Directory 認証が有効の場合、本製品の操作パネルにユーザー ID とパスワードが入力されるまで、操作パネルはロックされた状態となります。

1. 製品の操作パネルに、ユーザー ID を入力します。
2. [OK] を押します。
3. パスワードを入力します。
4. [OK] を押します。
5. 再度 [OK] を押します。
6. 認証に成功すると、本製品の操作パネルのロックが解除され、液晶ディスプレイにホーム画面が表示されます。

### ✓ 関連情報

- [Active Directory 認証を使用する](#)

## LDAP 認証を使用する

関連モデル: HL-L6310DW

- [LDAP 認証について](#)
- [Web Based Management を使用して LDAP 認証を設定する](#)
- [本製品にログインし、操作パネルを使用して設定値を変更する \(LDAP 認証\)](#)

## LDAP 認証について

関連モデル: HL-L6310DW

LDAP 認証により、本製品の使用が制限されます。LDAP 認証が有効の場合、本製品の操作パネルはロックされます。本製品の設定を変更するには、ユーザー ID とパスワードを入力する必要があります。

LDAP 認証では以下の機能が提供されます。

受信印刷データを保存する

LDAP 認証設定は、Web Based Management を使用して変更できます。

### ✓ 関連情報

- [LDAP 認証を使用する](#)

## Web Based Management を使用して LDAP 認証を設定する

関連モデル: HL-L6310DW

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「PwD」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**管理者設定 > 制限機能**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **LDAP 認証**を選択します。
6. **OK** をクリックします。
7. **LDAP 認証**メニューをクリックします。
8. 次の設定を行います。

オプション	詳細
ユーザー ID を記憶	このオプションを選択して、ユーザー ID を保存します。
LDAP アドレス	LDAP サーバーの IP アドレスまたはサーバー名（例：ldap.example.com）を入力します。
SSL/TLS	LDAP over SSL/TLS を使用するには、 <b>SSL/TLS</b> オプションを選択します。
LDAP ポート	LDAP サーバーのポート番号を入力します。
LDAP 検索場所	LDAP 検索のルートディレクトリを入力します。
名前属性名 (検索する属性)	検索キーとする属性を入力します。

9. **OK** をクリックします。



### 関連情報

- [LDAP 認証を使用する](#)

▲ホーム > セキュリティ > LDAP 認証を使用する > 本製品にログインし、操作パネルを使用して設定値を変更する (LDAP 認証)

## 本製品にログインし、操作パネルを使用して設定値を変更する (LDAP 認証)

関連モデル: HL-L6310DW

LDAP 認証が有効の場合、本製品の操作パネルにユーザー ID とパスワードが入力されるまで、操作パネルはロックされた状態となります。

1. 製品の操作パネルに、ユーザー ID とパスワードを入力します。
2. [OK] を押します。
3. 認証に成功すると、本製品の操作パネルのロックが解除され、液晶ディスプレイにホーム画面が表示されます。

### ✓ 関連情報

- [LDAP 認証を使用する](#)

## セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する

セキュリティ機能ロック 3.0 は、本製品で利用できる機能を制限し、安全性を高めます。

- セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する前に
- Web Based Management を使用してセキュリティ機能ロック 3.0 を設定する
- セキュリティ機能ロック 3.0 のパブリックモードを設定する
- セキュリティ機能ロック 3.0 その他の機能について
- 本製品の操作パネルを使用して新しい ID カードを登録する

## セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する前に

セキュリティ機能ロックを使用してパスワードを設定し、特定のユーザーページへのアクセスを設定して、以下の機能の一部または全部へのアクセスを許可します。

Web Based Management を使用して、以下のセキュリティ機能ロック 3.0 設定値の設定や変更を行うことができます。

- **印刷**

印刷には、AirPrint、Brother iPrint&Scan、および Brother Mobile Connect を経由するプリントジョブの送信が含まれます。

ユーザーのログイン名を事前に登録すると、ユーザーはパスワードの入力なしで印刷機能を使用できます。

- **クラウド接続**（サポート対象モデルのみ）

- **枚数制限**

- **ページカウンター**

- **カード ID**（サポート対象モデルのみ）

ユーザーのカード ID を事前に登録すると、登録ユーザーは、登録済みカードを本製品の NFC タッチ部分にタッチして製品を有効化することができます。



タッチパネル液晶ディスプレイモデル：

セキュリティ機能ロックが有効な場合、本製品は自動的にパブリックモードになり、本製品の機能の一部が許可されたユーザーのみに制限されるようになります。制限された本製品の機能にアクセスするには、



を押し、ユーザー名を選択し、パスワードを入力します。

### ✓ 関連情報

- [セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する](#)

## Web Based Management を使用してセキュリティ機能ロック 3.0 を設定する

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**管理者設定 > 制限機能**または**制限管理**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **セキュリティ機能ロック**を選択します。
6. **OK** をクリックします。
7. **機能制限**メニューをクリックします。
8. **ユーザーリスト/機能制限** 欄にグループ名またはユーザー名を入力します。
9. **印刷**およびその他の列で、チェックボックスを選択して一覧表示されている機能を許可するか、チェックボックスの選択を解除してこれらの機能を制限します。
10. 最大ページ数を設定するには、**枚数制限**列の**オン**チェックボックスを選択し、**最大ページ数**欄で最大数を入力します。
11. **OK** をクリックします。
12. **ユーザーリスト**メニューをクリックします。
13. **ユーザーリスト**欄で、ユーザー名を入力します。
14. **パスワード**欄に、パスワードを入力します。



モデルによって設定できる文字数は異なります。

15. ユーザーのカード ID を登録するには、**カード ID** 欄でカード番号を入力します（特定のモデルのみ対応）。
16. **排紙トレイ設定**ドロップダウンリストをクリックして、各ユーザーの出カトレイを選択します（特定のモデルのみ対応）。
17. ユーザーごとにドロップダウンリストから**ユーザーリスト/機能制限**を選択します。
18. **OK** をクリックします。



**セキュリティ機能ロック**メニューでユーザーリストのロックアウト設定を変更することもできます。



### 関連情報

- [セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する](#)

## セキュリティ機能ロック 3.0 のパブリックモードを設定する

セキュリティ機能ロック画面を使用してパブリックモードを設定します。これにより、パブリックユーザーに利用可能な機能が制限されます。パブリックユーザーは、パブリックモード設定により利用可能となった機能に、パスワードの入力なしでアクセスできます。



パブリックモードの対象は、Brother iPrint&Scan および Brother Mobile Connect を介して送信される印刷ジョブなどです。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と表示されていません。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**管理者設定 > 制限機能**または**制限管理**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **セキュリティ機能ロック**を選択します。
6. **OK** をクリックします。
7. **機能制限メニュー**をクリックします。
8. **一般モード**行で、チェックボックスを選択して一覧表示されている機能を許可するか、チェックボックスの選択を解除してこれらの機能を制限します。
9. **OK** をクリックします。



### 関連情報

- [セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する](#)

## セキュリティ機能ロック 3.0 その他の機能について

セキュリティ機能ロック画面で以下の機能を設定します。

### カウンターリセット

ページカウンター列で**カウンターリセット**をクリックして、ページカウンターをリセットします。

### CSV ファイルへ出力

**CSV ファイルへ出力**をクリックして、**ユーザーリスト/機能制限**情報を含む現在および前回のページカウンターを、CSV ファイルとしてエクスポートします。

### カード ID (サポート対象モデルのみ)

**ユーザーリスト**メニューをクリックして、**カード ID** 欄にユーザーのカード ID を入力します。IC カードを認証に使用できます。

### 排紙トレイ設定 (対象モデルのみ)

メールボックスユニットが本製品に取り付けられている場合は、ドロップダウンリストから各ユーザーの出力トレイを選択します。

### 前回ログ

カウンターをリセットした後でページ数を確認したい場合は、**前回ログ**をクリックします。

## ✓ 関連情報

- [セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する](#)

▲ホーム > セキュリティ > セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する > 本製品の操作パネルを使用して新しい ID カードを登録する

## 本製品の操作パネルを使用して新しい ID カードを登録する

関連モデル: HL-L6310DW

1. 登録済みの IC カード（集積回路カード）を、本製品の NFC（近距離無線通信）タッチ部分にタッチします。
2. 表示されたログイン名を押します。
3. [カード登録]を押します。
4. 新しい IC カードを NFC タッチ部分にタッチします。
5. [確定]を押します。  
新しい IC カードの番号が本製品に登録されます。

### ✓ 関連情報

- [セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する](#)

## Eメールを安全に送信する

関連モデル: HL-L5210DW/HL-L6310DW

- Web Based Management を使用して Eメール送信の設定を行う
- ユーザー認証を使用して Eメールを送信する
- SSL/TLS を使用して安全な E-mail 送信を行う

## Web Based Management を使用して Eメール送信の設定を行う

関連モデル: HL-L5210DW/HL-L6310DW

Web Based Management を使用して、安全なユーザー認証付き Eメール送信の設定、または SSL/TLS を使用した Eメール送信の設定を行うことを推奨します。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「PwD」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > ネットワーク > プロトコル**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **SMTP クライアント**欄で、**詳細設定**をクリックして、**SMTP クライアント**の状態が**有効**であることを確認します。
6. **SMTP クライアント**の設定を行います。
  - テストメールを送信して、E-mail の設定値が正しいことを確認します。
  - SMTP サーバーの設定値が不明の場合は、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダー (ISP) にお問い合わせください。
7. 完了後、**OK** をクリックします。

**Eメール送信設定テスト**ダイアログボックスが表示されます。
8. ダイアログボックスに表示される指示に従って、現在の設定値をテストします。



### 関連情報

- [Eメールを安全に送信する](#)

## ユーザー認証を使用してEメールを送信する

本製品は、ユーザー認証が必要なE-mailサーバーを経由してE-mailを送信するためのSMTP-AUTH方式をサポートしています。この方式により、非認証のユーザーによるE-mailサーバーへのアクセスが防止されます。

Eメール通知およびEメールレポートに、SMTP-AUTH方式を使用できます。



Web Based Management を使用して SMTP 認証を設定することをお勧めします。

### E-mail サーバー設定

本製品のSMTP認証方式を、お使いのE-mailサーバーが使用する方式と一致するように設定する必要があります。お使いのE-mailサーバーの設定については、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダー(ISP)にお問い合わせください。



SMTPサーバー認証を有効にするには、Web Based Management の**送信メールサーバー認証方式**の下にある**SMTPクライアント**画面で、**SMTP-AUTH**を選択する必要があります。



### 関連情報

- [Eメールを安全に送信する](#)

## SSL/TLS を使用して安全な E-mail 送信を行う

関連モデル: HL-L5210DW/HL-L6310DW

本製品では SSL/TLS 通信方式をサポートしています。SSL/TLS 通信を使用している E-mail サーバーを使用するには、次の設定が必要です。



Web Based Management を使用して SSL/TLS を設定することを推奨します。

### サーバー証明書を検証する

SSL/TLS で、SSL または TLS を選択している場合、**サーバー証明書を検証** チェックボックスが自動的に選択されます。



- サーバー証明書を検証する前に、該当のサーバー証明書に署名した CA 発行の、CA 証明書をインポートする必要があります。CA 証明書のインポートの必要性については、ネットワーク管理者または契約しているインターネットサービスプロバイダー (ISP) にお問い合わせください。
- サーバー証明書を検証する必要がない場合は、**サーバー証明書を検証** チェックボックスの選択を解除してください。

### ポート番号

SSL または TLS を選択すると、**ポート**値がプロトコルと一致するように変更されます。手動でポート番号を変更するには、**SSL/TLS** 設定を選択した後、ポート番号を入力します。

本製品の通信方式を、お使いの E-mail サーバーで使用されている方式に合わせて設定する必要があります。お使いの E-mail サーバーの設定については、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダー (ISP) にお問い合わせください。

ほとんどの場合、安全なウェブメールサービスには次の設定が必要です。

SMTP	ポート	25
	送信メールサーバー認証方式	SMTP-AUTH
	SSL/TLS	TLS



### 関連情報

- [Eメールを安全に送信する](#)

#### 関連トピック:

- [デバイスセキュリティの証明書を設定する](#)

## 印刷ログ機能

- 印刷ログ機能の概要
- Web Based Management を使用して印刷ログ機能の設定値を設定する
- 印刷ログ機能のエラー検出設定を使用する

## 印刷ログ機能の概要

印刷ログ機能を使用すると、共通インターネットファイルシステム（CIFS : Common Internet File System）プロトコルを使用して、本製品からネットワークサーバーへ印刷ログファイルを保存できます。すべての印刷ジョブの、ID、印刷ジョブのタイプ、ジョブ名、ユーザー名、日付、時間、および印刷ページ数を記録できます。CIFSは、TCP/IP で動作するプロトコルであり、ネットワーク上のパソコンはインターネットまたはイントラネット経由でファイルを共有することができます。

以下の印刷機能が印刷ログに記録されます。

- お使いのパソコンからの印刷ジョブ
- クラウド接続印刷（サポート対象モデルのみ）



- 印刷ログのネットワークへの保存の機能は、Kerberos 認証および NTLMv2 認証をサポートしています。認証のための SNTP プロトコル（ネットワークタイムサーバー）を設定する必要があります。
- ファイルをサーバーに保存する際に、ファイルタイプを TXT または CSV に設定できます。

### ✓ 関連情報

- [印刷ログ機能](#)

## Web Based Management を使用して印刷ログ機能の設定値を設定する

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**管理者設定 > 印刷ログ機能設定**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **印刷ログ**欄で、**オン**をクリックします。
6. 次の設定を行います。

オプション	詳細
ネットワークフォルダパス	CIFS サーバー上の印刷ログの保存先フォルダー（例：\\ComputerName\SharedFolder）を入力します。
ファイル名	印刷ログに使用するファイル名を入力します（最大 32 文字）。
ファイル形式	印刷ログのファイルタイプに、 <b>テキスト形式</b> または <b>CSV 形式</b> を選択します。
ログの時間情報	印刷ログのタイムソースを選択します。
認証方法	<p>CIFS サーバーにアクセスするために必要な認証方式として、<b>自動</b>、<b>Kerberos</b>、または <b>NTLMv2</b> を選択します。Kerberos は認証プロトコルです。このプロトコルにより、機器または個人がそれぞれのアイデンティティーを、シングルサインオンを使用するネットワークサーバーに対して安全に示すことができます。NTLMv2 はサーバーにログインするための認証方式であり、Windows により使用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• <b>自動</b>：自動を選択した場合、認証方式には NTLMv2 が使用されます。</li><li>• <b>Kerberos</b>：Kerberos オプションを選択すると、Kerberos 認証のみが使用されます。</li><li>• <b>NTLMv2</b>：NTLMv2 オプションを選択すると、NTLMv2 認証のみが使用されます。</li></ul> <p> <b>Kerberos</b> および <b>NTLMv2</b> 認証の場合、<b>時計設定</b>設定または <b>SNTP プロトコル</b>（ネットワークタイムサーバー）と <b>DNS サーバー</b>も設定する必要があります。</p>
ユーザー名	<p>認証のためのユーザー名を入力します（最大 96 文字）。</p> <p> ユーザー名がドメインの一部である場合、ユーザー@ドメインまたは、ドメインユーザーのいずれかの形式でユーザー名を入力します。</p>
パスワード	認証のためのパスワードを入力します（最大 32 文字）。
Kerberos サーバーアドレス（必要に応じて）	KDC（Key Distribution Center）のホストアドレス（例：kerberos.example.com、最大 64 文字）または、IP アドレス（例：192.168.56.189）を入力します。

## オプション

## 詳細

### 書き込みエラー時 設定

ネットワークエラーのために印刷ログをサーバーに保存できない場合の対処方法を選択します。

7. **接続状態**欄で、最新のログステータスを確認します。



また、本製品の画面でエラー状態を確認することもできます。

8. **OK** をクリックし、**印刷ログ機能テスト** ページを表示します。  
設定をテストするには、**はい** をクリックして、次の手順に進みます。  
テストを行わずに次へ進むには、**いいえ** をクリックします。設定値は自動的にサブミットされます。
9. 製品が設定値をテストします。
10. 設定が承認されると、**テスト成功** がページに表示されます。  
**テストエラー** が表示された場合は、すべての設定値を確認し、**OK** をクリックして、もう一度テストページを表示します。



## 関連情報

- [印刷ログ機能](#)

## 印刷ログ機能のエラー検出設定を使用する

エラー検出設定を使用して、ネットワークエラーのために印刷ログをサーバーに保存できない場合の対処方法を決定します。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「PwD」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**管理者設定 > 印刷ログ機能設定**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **書き込みエラー時設定**セクションで、**印刷中止**または**ログを書き込まずに印刷**オプションを選択します。

オプション	詳細
-------	----

印刷中止	印刷中止を選択すると、印刷ログがサーバーに保存できない場合、印刷ジョブはキャンセルされます。
------	--

ログを書き込まずに印刷	ログを書き込まずに印刷を選択すると、印刷ログがサーバーに保存できない場合でも、本製品は文書を印刷します。
-------------	--

印刷ログ機能が回復すると、印刷ログは以下のように記録されます。

```
Id, Type, Job Name, User Name, Date, Time, Print Pages
1, Print(xxxxxxx), "Document01.doc", "user01", 03/03/20xx, 14:01:32, 52
2, Print(xxxxxxx), "Document02.doc", "user01", 03/03/20xx, 14:45:30, ?
3, <ERROR>, ?, ?, ?, ?, ?
4, Print(xxxxxxx), "Report01.xls", "user02", 03/03/20xx, 19:30:40, 4
```

- a. 印刷の最後でログが保存できない場合、印刷ページ数は記録されません。
- b. 印刷の最初と最後に印刷ログが保存できない場合、このジョブの印刷ログは記録されません。この機能が回復すると、該当のエラーがログに反映されます。

6. **OK** をクリックし、**印刷ログ機能テスト** ページを表示します。

設定をテストするには、**はい**をクリックして、次の手順に進みます。

テストを行わずに次へ進むには、**いいえ**をクリックします。設定値は自動的にサブミットされます。

7. 製品が設定値をテストします。

8. 設定が承認されると、**テスト成功**がページに表示されます。

**テストエラー**が表示された場合は、すべての設定値を確認し、**OK** をクリックして、もう一度テストページを表示します。



### 関連情報

- 印刷ログ機能

## 操作パネルから製品の設定をロックする

本製品の設定ロックをオンにする前に、パスワードをメモして保存してください。パスワードを忘れた場合は、管理者またはブラザーコールセンターに問い合わせ、本製品に保存されているパスワードをすべてリセットする必要があります。

- [設定ロックの概要](#)

## 設定ロックの概要

設定ロック機能を使用して、製品への不正アクセスを防ぎます。

設定ロックがオンに設定されているとき、本製品の設定にアクセスするにはパスワードの入力が必要になります。

- [設定ロックパスワードを設定する](#)
- [設定ロックパスワードを変更する](#)
- [設定ロックをオンにする](#)

## 設定ロックパスワードを設定する

>> HL-L5210DN/HL-L5210DW

>> HL-L6310DW

### HL-L5210DN/HL-L5210DW

1. ▲または▼を押して、[基本設定]を表示し、**OK**を押します。
2. ▲または▼を押して、[セキュリティ 設定ロック]を表示し、**OK**を押します。
3. パスワードに4桁の数値を入力します。  
各数字を入力するには、▲または▼を押して数字を選択し、**OK**を押します。
4. 画面に[パスワード確認:]と表示されたら、パスワードを再入力します。

### HL-L6310DW

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [セキュリティ設定ロック]を押します。
2. パスワードに4桁の数値を入力します。
3. [確定]を押します。
4. 画面に[パスワード確認]と表示されたら、パスワードを再入力します。
5. [確定]を押します。
6.  を押します。

### ✓ 関連情報

- [設定ロックの概要](#)

#### 関連トピック：

- [本製品にテキストを入力するには](#)

## 設定ロックパスワードを変更する

>> [HL-L5210DN/HL-L5210DW](#)

>> [HL-L6310DW](#)

### HL-L5210DN/HL-L5210DW

1. ▲または▼を押して、[基本設定]を表示し、**OK**を押します。
2. ▲または▼を押して、[セキュリティ 設定ロック]を表示し、**OK**を押します。
3. ▲または▼を押して、[パスワード設定]を選択し、**OK**を押します。
4. 現在の4桁のパスワードを入力します。  
各数字を入力するには、▲または▼を押して数字を選択し、**OK**を押します。
5. 新しい4桁のパスワードを入力します。  
各数字を入力するには、▲または▼を押して数字を選択し、**OK**を押します。
6. 画面に[パスワード確認:]と表示されたら、パスワードを再入力します。

### HL-L6310DW

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [セキュリティ設定ロック] > [パスワード設定]を押します。
2. 現在の4桁のパスワードを入力します。
3. [確定]を押します。
4. 新しい4桁のパスワードを入力します。
5. [確定]を押します。
6. 画面に[パスワード確認]と表示されたら、パスワードを再入力します。
7. [確定]を押します。
8.  を押します。

### ✓ 関連情報

- [設定ロックの概要](#)

## 設定ロックをオンにする

>> HL-L5210DN/HL-L5210DW

>> HL-L6310DW

### HL-L5210DN/HL-L5210DW

1. ▲または▼を押して、[基本設定]を表示し、**OK**を押します。
2. ▲または▼を押して、[セキュリティ 設定ロック]を表示し、**OK**を押します。
3. 液晶ディスプレイに[オ]が表示されたら、**OK**を押します。
4. 現在の4桁のパスワードを入力します。  
各数字を入力するには、▲または▼を押して数字を選択し、**OK**を押します。

### HL-L6310DW

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [セキュリティ設定ロック] > [ロック オフ⇒オン]を押します。
2. 現在の4桁のパスワードを入力します。
3. [確定]を押します。



#### 関連情報

- [設定ロックの概要](#)

## グローバルネットワーク検出機能を使う

プライベートネットワークで本製品を使用する場合、グローバルネットワーク検出機能を使用して、グローバルネットワークからの予期せぬ攻撃からリスクを回避します。

- [グローバル IP アドレス検出を有効にする](#)
- [グローバルネットワークからの通信をブロックする](#)

## グローバル IP アドレス検出を有効にする

この機能を使用して、お使いの製品の IP アドレスを確認します。お使いの製品にグローバル IP アドレスが割り当てられている場合、警告が表示されます。

>> HL-L5210DN/HL-L5210DW

>> HL-L6310DW

### HL-L5210DN/HL-L5210DW

1. ▲または▼を押して、[ネットワーク]を選択し、**OK**を押します。
2. ▲または▼を押して、[Global Detect]を選択し、**OK**を押します。
3. ▲または▼を押して、[Allow Detect]を選択し、**OK**を押します。
4. ▲または▼を押して、[む]を選択し、**OK**を押します。

### HL-L6310DW

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [ネットワーク設定リセット] > [Global Detect] > [Allow Detect] > [オン]を押します。
2.  を押します。

### ✓ 関連情報

- [グローバルネットワーク検出機能を使う](#)

## グローバルネットワークからの通信をブロックする



この機能を有効にすると、グローバル IP アドレスを持つ機器からのジョブの受信が制限されます。

>> HL-L5210DN/HL-L5210DW

>> HL-L6310DW

### HL-L5210DN/HL-L5210DW

1. ▲または▼を押して、[ネットワーク]を選択し、**OK**を押します。
2. ▲または▼を押して、[Global Detect]を選択し、**OK**を押します。
3. ▲または▼を押して、[Reject Access]を選択し、**OK**を押します。
4. ▲または▼を押して、[わ]を選択し、**OK**を押します。

### HL-L6310DW

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [Global Detect] > [Reject Access] > [オン]を押します。
2.  を押します。



### 関連情報

- [グローバルネットワーク検出機能を使う](#)

## 管理者

- ネットワーク機能
- セキュリティ機能
- ブラザー管理ツール

## ネットワーク機能

- Web Based Management を使用して製品の設定を変更する
- ネットワーク設定レポートを印刷する
- Web Based Management を使用して SNTP サーバーと時刻を同期する
- 印刷ログ機能

## セキュリティ機能

本製品には、最新のネットワークセキュリティの一部と暗号化プロトコルが使用されています。これらのネットワーク機能を全体的なネットワークセキュリティプランに統合することで、データを保護し、本製品への不正なアクセスを防ぐことができます。

- ネットワークセキュリティ
- ユーザー認証

## ネットワークセキュリティ

- ネットワークセキュリティ機能をご使用になる前に
- デバイスセキュリティの証明書を設定する
- SSL/TLS を使用する
- SNMPv3 を使用する
- IPsec を使用する
- IEEE 802.1x 認証（有線または無線ネットワーク用）を使用する

## ネットワークセキュリティ機能をご使用になる前に

本製品には、最新のネットワークセキュリティの一部と、現在利用可能な暗号化プロトコルが使用されています。これらのネットワーク機能は、お使いの全体的なネットワークセキュリティプランの一部として、データを保護し、本製品への不正なアクセスを防ぐことができます。



Telnet、FTP サーバー、および TFTP プロトコルを無効にすることを推奨します。これらのプロトコルを使用した本製品へのアクセスは安全ではありません。



### 関連情報

- セキュリティ
- ネットワークセキュリティ
  - 不要なプロトコルを無効にする

## ユーザー認証

- Active Directory 認証を使用する
- LDAP 認証を使用する
- セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する

## ブラザー管理ツール

ブラザーの管理ツールのいずれかを使用して、本製品のネットワーク設定を構成します。

[support.brother.com/downloads](https://support.brother.com/downloads) で、お使いのモデルのソフトウェアダウンロードページに移動し、ツールをダウンロードします。

### ✓ 関連情報

- 管理者

## モバイル/クラウド接続

- [クラウド接続機能](#)
- [AirPrint](#)
- [Mopria™ Print Service](#)
- [Brother Mobile Connect](#)
- [外付け IC カードリーダーを登録する](#)

## クラウド接続機能

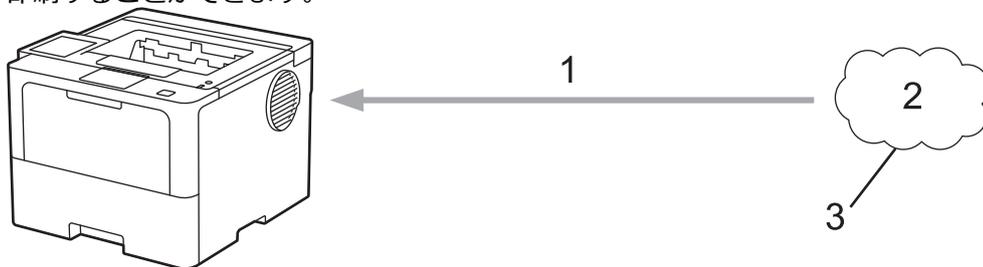
関連モデル: HL-L6310DW

- [クラウド接続機能の概要](#)
- [クラウド接続機能を使用してアクセスできるオンラインサービス](#)
- [クラウド接続機能の設定](#)
- [写真や文書をダウンロードして印刷する](#)

## クラウド接続機能の概要

関連モデル: HL-L6310DW

ユーザーが画像やファイルをアップロードしたり、ウェブサイト上でそれらを閲覧するサービスを提供しているウェブサイトがあります。本製品では、このようなサービスにアップロードされている画像をダウンロードして印刷することができます。



1. 印刷
2. 写真、画像、文書、その他のファイル
3. ウェブサービス

クラウド接続機能を使用するには、有線接続または無線接続で、本製品がインターネットにアクセスできるネットワーク環境が必要です。

プロキシサーバーを使用するネットワーク環境の場合は、お使いのブラザー製品でプロキシサーバーの設定をする必要があります。お使いのネットワークの設定が不明な場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。



プロキシサーバーとは、直接インターネットに接続していない複数のパソコンとインターネットとの間を仲介するコンピュータのことです。

### ✓ 関連情報

- クラウド接続機能
  - 本製品の操作パネルを使用してプロキシサーバーの設定を行う

## 本製品の操作パネルを使用してプロキシサーバーの設定を行う

関連モデル: HL-L6310DW

ネットワークでプロキシサーバーを使用している場合、次のプロキシサーバーの情報を、お使いのブラザー製品で設定する必要があります。

- プロキシサーバーのアドレス
- ポート番号
- ユーザー名
- パスワード

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [Web 接続設定] > [プロキシ設定] > [プロキシ経由接続] > [オン]を押します。
2. 設定したいオプションを押して、プロキシサーバーの情報を入力します。
3. [OK]を押します。
4.  を押します。

### ✓ 関連情報

- [クラウド接続機能の概要](#)

#### 関連トピック：

- [Web Based Management](#) を使用してプロキシサーバーを設定する

## クラウド接続機能を使用してアクセスできるオンラインサービス

関連モデル: HL-L6310DW

ブラザークラウド接続機能を使用すると、ご使用のブラザー製品から以下のサービスにアクセスできます。クラウド接続機能を使用するには、利用するサービスのアカウントが必要です。アカウントをお持ちでない場合は、パソコンで利用したいサービスのウェブサイトアクセスし、アカウントを作成してください。アカウントがある場合は、さらにアカウントを作成する必要はありません。

### Google Drive™

オンラインの文書保管、編集、共有、およびファイルの同期サービスです。

URL: [drive.google.com](https://drive.google.com)

### Evernote®

オンラインのファイル保管および管理サービスです。

URL: [www.evernote.com](https://www.evernote.com)

### Dropbox

オンラインのファイル保管、共有、および同期サービスです。

URL: [www.dropbox.com](https://www.dropbox.com)

### OneDrive

オンラインのファイル保管、共有、および管理サービスです。

URL: [onedrive.live.com](https://onedrive.live.com)

### Box

オンラインの文書編集および共有サービスです。

URL: [www.box.com](https://www.box.com)

### OneNote

オンラインの文書編集および共有サービスです。

URL: [www.onenote.com](https://www.onenote.com)

### SharePoint Online

オンラインのコンテンツ保管、共有、および管理サービスです。

これらのサービスについて、詳しくは各サービスのウェブサイト参照してください。

次の表は、クラウド接続機能で使用できるファイルの種類について説明しています。

アクセス可能なウェブサービス	Google Drive™ Evernote® Dropbox OneDrive Box OneNote SharePoint Online
画像のダウンロードと印刷 <sup>1</sup>	JPEG PDF DOCX XLSX PPTX

---

1 画像は DOC/XLS/PPT 形式でもダウンロードまたは印刷できます。



## 関連情報

- クラウド接続機能
-

## クラウド接続機能の設定

関連モデル: HL-L6310DW

- [クラウド接続機能設定の概要について](#)
- [クラウド接続機能を使用する前に各オンラインサービスのアカウントを作成する](#)
- [クラウド接続機能の利用申請を行う](#)
- [本製品にクラウド接続機能を使用するためのアカウントを登録する](#)

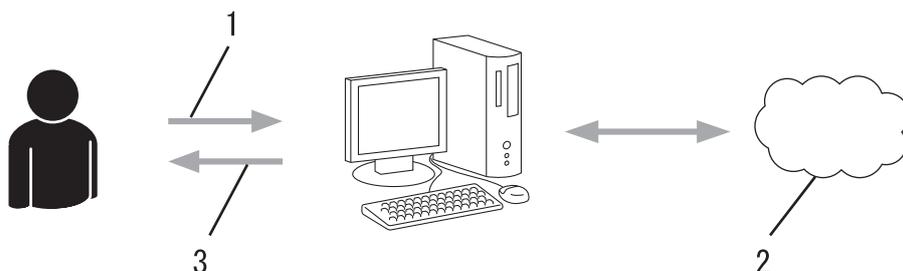
## クラウド接続機能設定の概要について

関連モデル: HL-L6310DW

下記の手順に従ってクラウド接続機能を設定します：

### 手順 1：利用するサービスのアカウントを作成する。

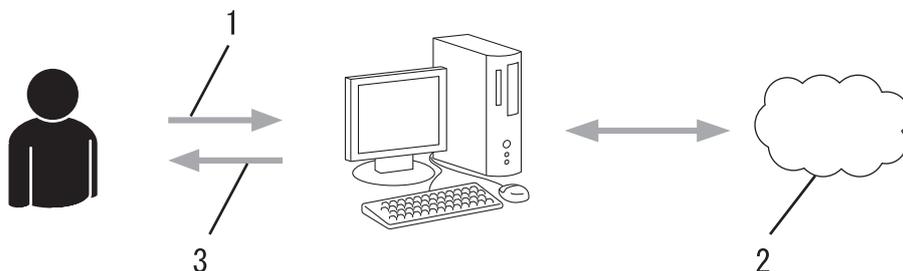
パソコンを使用してサービスのウェブサイトアクセスし、アカウントを作成します。（既にアカウントをお持ちの場合は、追加のアカウントを作成する必要はありません。）



1. ユーザー登録
2. Web サービス
3. アカウント取得

### 手順 2：クラウド接続機能の利用申請を行う

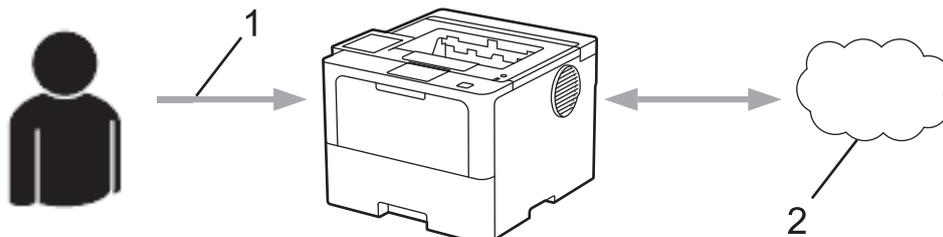
パソコンを使用してクラウド接続機能にアクセスし、仮登録 ID を取得します。



1. アカウント情報の入力
2. クラウド接続機能申請ページ
3. 仮登録 ID の取得

### 手順 3：利用対象のサービスにアクセスできるように、本製品にアカウント情報を登録します。

本製品でサービスを利用できるように仮登録 ID を入力します。本製品で表示したいアカウント名を指定し、必要に応じて PIN コードを入力します。



1. 仮登録 ID の入力
2. Web サービス

お使いのブラザー製品で Web サービスを利用できます。



## 関連情報

- クラウド接続機能の設定

▲ [ホーム](#) > [モバイル/クラウド接続](#) > [クラウド接続機能](#) > [クラウド接続機能の設定](#) > クラウド接続機能を使用する前に各オンラインサービスのアカウントを作成する

## クラウド接続機能を使用する前に各オンラインサービスのアカウントを作成する

関連モデル: HL-L6310DW

クラウド接続機能を使用してオンラインサービスにアクセスするには、利用するサービスのアカウントが必要です。アカウントをお持ちでない場合は、パソコンで利用したいサービスのウェブサイトアクセスし、アカウントを作成してください。アカウントを作成したら、クラウド接続機能を使用する前に、パソコンで一度アカウントにログオンして使用してみます。一度もログオンしていない場合、ブラウザクラウド接続機能を使ってサービスにアクセスできないことがあります。

すでにアカウントをお持ちの場合は、追加でアカウントを作成する必要はありません。

利用するオンラインサービスでアカウントを作成したら、クラウド接続機能へのアクセスを申請します。

### ✓ 関連情報

- [クラウド接続機能の設定](#)

## クラウド接続機能の利用申請を行う

関連モデル: HL-L6310DW

クラウド接続機能を使用してオンラインサービスが利用できるように、ソフトウェアがインストールされているパソコンを使用して、クラウド接続ページにアクセスし、クラウド接続機能の利用申請を行います。

1. クラウド接続機能のウェブページにアクセスします：

### オプション 詳細

Windows  (Brother Utilities) を起動し、ドロップダウンリストをクリックし、お使いの機器のモデル名を選択します（未選択の場合）。  
左ナビゲーションバーの**もっと活用する**をクリックして、**クラウド接続機能登録**をクリックします。



ウェブサイトにも直接アクセスすることもできます。  
お使いのウェブブラウザのアドレスバーに、[bwc.brother.com](http://bwc.brother.com) と入力します。

Mac お使いのウェブブラウザのアドレスバーに、[bwc.brother.com](http://bwc.brother.com) と入力します。

ブラウザクラウド接続機能のページが起動します。

2. 利用するサービスを選択します。
3. 画面の指示に従って、利用申請を行います。



SharePoint Online を利用する場合は、画面の指示に従ってドキュメントライブラリを登録します。

完了すると、仮登録 ID が表示されます。

### クラウド接続機能

#### 登録が完了しました

下記の仮登録IDを、本体の液晶画面で入力してアカウント登録を行ってください

仮登録ID (11桁)

注意：この仮登録IDは24時間で失効します

[TOP](#)

© 2011-2023 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

4. 仮登録 ID をメモしておきます。この ID は、お使いのブラザー製品にアカウントを登録する際に必要となります。仮登録 ID は、24 時間有効です。
5. ウェブブラウザを閉じます。

次に、お使いのブラザー製品にアカウントを登録します。

---

## ✓ 関連情報

- [クラウド接続機能の設定](#)

### 関連トピック：

- [本製品にクラウド接続機能を使用するためのアカウントを登録する](#)
-

## 本製品にクラウド接続機能を使用するためのアカウントを登録する

関連モデル: HL-L6310DW

クラウド接続機能を使用するために、お使いのブラザー製品にアカウント情報を入力し設定します。

- 利用するサービスのウェブサイトにアクセスし、アカウントを作成してください。
- アカウントを登録する前に、本製品の日時が正しく設定されていることを確認します。

1. [印刷機能] > [クラウド] を押します。



- 本製品の液晶ディスプレイにインターネット接続に関する情報が表示された場合、その情報をお読みになり、[確定] を押してください。この情報を再表示する場合は、[はい] を押します。
- クラウド接続機能についての更新やお知らせが、画面に表示されることがあります。表示された情報をお読みになり、[確定] を押します。

2. ライセンス 契約に関する情報が表示された場合は、同意の可否を選択して、画面の指示に従ってください。

3. ▲ または ▼ を押して、登録対象のサービスを表示します。

4. 対象のサービス名を押します。

5. クラウド接続機能に関する情報が表示された場合、[確定] を押します。

6. [アカウントの登録/削除] を押します。

7. [アカウント登録] を押します。

ブラザークラウド接続機能の利用申請時にお客様が受け取った仮登録 ID を入力するよう、画面に指示が表示されます。

8. [確定] を押します。

9. 液晶ディスプレイを使用して仮登録 ID を入力します。

10. [確定] を押します。

画面に表示させたいアカウント名の入力を求めるメッセージが表示されます。

11. [確定] を押します。

12. 液晶ディスプレイを使用して名前を入力します。

13. [確定] を押します。

14. 以下のいずれかを行ってください：

- アカウントの PIN コードを設定するには、[はい] を押します。(PIN コードは、アカウントへの不正アクセスを防ぎます。) 4桁の数字を入力し、[確定] を押します。
- PIN コードを設定しない場合は、[いいえ] を押します。

15. 入力したアカウント情報が表示されたら、正しく入力されていることを確認します。

16. [はい] を押して、新しい情報を登録します。



入力した情報が申請時に取得した仮登録 ID と一致しない場合、または仮登録 ID の有効期限が切れている場合は、画面にエラーメッセージが表示されます。正しい仮登録 ID を入力するか、または再度申請を行って新しい仮登録 ID を取得します。

17. [確定] を押します。

18.  を押します。

登録が完了し、本製品がサービスにアクセスできるようになりました。



## 関連情報

- [クラウド接続機能の設定](#)

### 関連トピック：

- [本製品にテキストを入力するには](#)
- [クラウド接続機能の利用申請を行う](#)

## 写真や文書をダウンロードして印刷する

関連モデル: HL-L6310DW

Web サービスにアップロードされている写真や文書を、本製品に直接ダウンロードして印刷することができます。他のユーザーがアップロードした共有の写真や文書は、閲覧権限を持っていれば本製品にダウンロードして印刷することができます。

他のユーザーの文書をダウンロードするには、対応するアルバムまたは文書を表示するアクセス権限が必要です。セキュリティ機能ロック（特定のモデルのみ可能）によりクラウド接続機能をご利用できないユーザーの場合は、データをダウンロードできません。

セキュリティ機能ロックで印刷枚数を制限している場合、Web サービス上の文書の印刷も制限対象になります。

### ✓ 関連情報

- [クラウド接続機能](#)
  - [Web サービスを使用してダウンロードや印刷を行う](#)

## Web サービスを使用してダウンロードや印刷を行う

関連モデル: HL-L6310DW

1. [印刷機能] > [クラウド]を押します。



- 本製品の液晶ディスプレイにインターネット接続に関する情報が表示された場合、その情報をお読みになり、[確定]を押してください。この情報を再表示する場合は、[はい]を押します。
- クラウド接続機能についての更新やお知らせが、画面に表示されることがあります。表示された情報をお読みになり、[確定]を押します。

2. ▲または▼を押して、ダウンロードと印刷を行う文書を持つサービスを表示します。対象のサービス名を押します。

3. サービスにログオンするには、▲または▼を押してお使いのアカウント名を表示し、表示されたアカウント名を押します。PIN 入力画面が表示された場合は、4桁のPINを入力して、[確定]を押します。

4. ▲または▼を押して使用するフォルダを表示し、表示されたフォルダを押します。フォルダに文書を保存する必要のないサービスもあります。フォルダに保存されていない文書の場合、[未分類のファイルを表示]を選択し、文書を選択します。他のユーザーの文書の場合は、フォルダに保存されていなければダウンロードできません。

5. 印刷する文書を選択して、[確定]を押します。

6. 完了したら、[確定]を押します。

7. 画面の指示に従って、この操作を完了します。



### 関連情報

- [写真や文書をダウンロードして印刷する](#)

#### 関連トピック：

- [本製品にテキストを入力するには](#)

## AirPrint

- [AirPrint の概要](#)
- [AirPrint を使用する前に \(macOS\)](#)
- [AirPrint を使用して印刷する](#)

## AirPrint の概要

AirPrint は、ドライバーをインストールすることなく、お使いの iPad、iPhone、iPod touch、および Mac パソコンから写真、E メール、ウェブページ、および文書をワイヤレスで印刷することを可能にする、Apple 社の OS 用の印刷ソリューションです。

詳細については、Apple のウェブサイトを参照してください。

Works with Apple バッジを使用するということは、その機能が、バッジで特定された技術で動作するように設計され、Apple のパフォーマンス基準を満たすように開発者に認定されていることを意味します。



### ✓ 関連情報

- [AirPrint](#)

#### 関連トピック :

- [AirPrint の問題](#)

## AirPrint を使用する前に (macOS)

macOS を使用して印刷を行う前に、本製品を Mac パソコンのプリンター一覧に追加してください。

1. アップルメニューから**システム環境設定**を選択します。
2. **プリンタとスキャナ** をクリックします。
3. 画面左側のプリンターリストの下にある[+]アイコンをクリックします。  
**プリンタを追加**画面が表示されます。
4. 以下のいずれかを行ってください：
  - macOS v12  
本製品を選択して、**ドライバ**ポップアップメニューから、お使いのモデル名を選択します。
  - macOS v11  
本製品を選択して、**ドライバ**のポップアップメニューから **AirPrint** を選択します。
5. **プリンタを追加** をクリックします。

### ✓ 関連情報

- [AirPrint](#)

## AirPrint を使用して印刷する

- iPad、iPhone、または iPod touch から印刷する
- AirPrint を使用して印刷を行う (macOS)
- 紙詰まりの解消

## iPad、iPhone、または iPod touch から印刷する

印刷手順はアプリケーションによって異なる場合があります。以下の例では Safari を使用します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認します。
2. 用紙トレイに用紙をセットし、本製品の用紙トレイ設定を変更します。
3. 印刷するページを Safari で開きます。
4.  または  をタップします。
5. **プリント** をタップします。
6. 本製品が選択されていることを確認します。
7. 別の製品が選択されている場合や、本製品が選択されていない場合は、**プリンタ** をタップします。利用可能な製品の一覧が表示されます。
8. 一覧で本製品の名前をタップします。
9. 印刷枚数、両面印刷（本製品が対応している場合）など、必要なオプションを選択します。
10. **プリント** をタップします。

### 関連情報

- [AirPrint を使用して印刷する](#)

## AirPrint を使用して印刷を行う (macOS)

印刷の手順は、アプリケーションによって異なります。ここでは、Safari で閲覧しているウェブページの印刷手順を例にして説明します。印刷する前に、Mac のプリンターリストに本製品が追加されていることを確認してください。

1. 本製品の電源が入っていることを確認します。
2. 用紙トレイに用紙をセットし、本製品の用紙トレイ設定を変更します。
3. お使いの Mac で、印刷するページを Safari で開きます。
4. **ファイル**メニューをクリックし、**プリント**を選択します。
5. 本製品が選択されていることを確認します。別の製品が選択されている場合や、本製品が選択されていない場合は、**プリンタ**のポップアップメニューをクリックし、本製品を選択します。
6. 印刷枚数や両面印刷（本製品が対応している場合）などを必要に応じて設定します。
7. **プリント** をクリックします。

### ✓ 関連情報

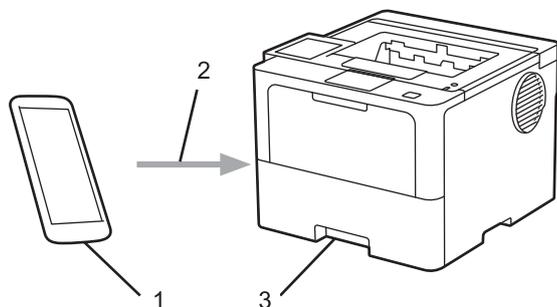
- [AirPrint を使用して印刷する](#)

#### 関連トピック：

- [AirPrint を使用する前に \(macOS\)](#)

## Mopria™ Print Service

Mopria™ Print Service は、Mopria Alliance™が開発した、Android™モバイル端末用の印刷機能です。このサービスを使うことによって、追加の設定をしなくても本製品と同じネットワークに接続し、印刷することができます。



1. Android™モバイル端末
2. Wi-Fi®接続
3. 本製品

Google Play™から Mopria™ Print Service をダウンロードして、お使いの Android™端末にインストールする必要があります。Mopria™機能を使用する前に、お使いのモバイル端末でこの機能が有効になっていることを確認してください。

### ✓ 関連情報

- [モバイルクラウド接続](#)

## Brother Mobile Connect

Brother Mobile Connect を使用して、モバイル端末から印刷を行います。

- Android™ 端末の場合：  
Brother Mobile Connect を使用すると、お使いの Android™ 端末から直接本製品の機能を使用できます。  
Google Play™ から Brother Mobile Connect をダウンロードしてインストールします。
- iPhone、iPad、iPod touch を含む iOS または iPadOS 対応のすべての機器の場合：  
Brother Mobile Connect を使用すると、お使いの iOS または iPadOS 機器から直接本製品の機能を使用できます。  
App Store から、Brother Mobile Connect をダウンロードしてインストールします。

### ✓ 関連情報

- [モバイルクラウド接続](#)

#### 関連トピック：

- [Brother iPrint&Scan へのアクセス \(Windows/Mac\)](#)

## 外付け IC カードリーダーを登録する

関連モデル: HL-L6310DW

外付け IC カードリーダーを接続する場合、Web Based Management でカードリーダーを登録してください。本製品は外付け IC カードリーダーに対応する HID クラスのドライバーをサポートしています。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。  
例：  
https://192.168.1.2
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**管理者設定 > 外付けカードリーダー**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. 必要な情報を入力します。
6. **OK** をクリックします。
7. 本製品を再起動して、設定を有効にします。



### 関連情報

- [モバイル/クラウド接続](#)

## Brother iPrint&Scan

- [Brother iPrint&Scan へのアクセス \(Windows/Mac\)](#)

## Brother iPrint&Scan へのアクセス (Windows/Mac)

Windows および Mac 向けの Brother iPrint&Scan を使用して、お使いのパソコンから印刷します。

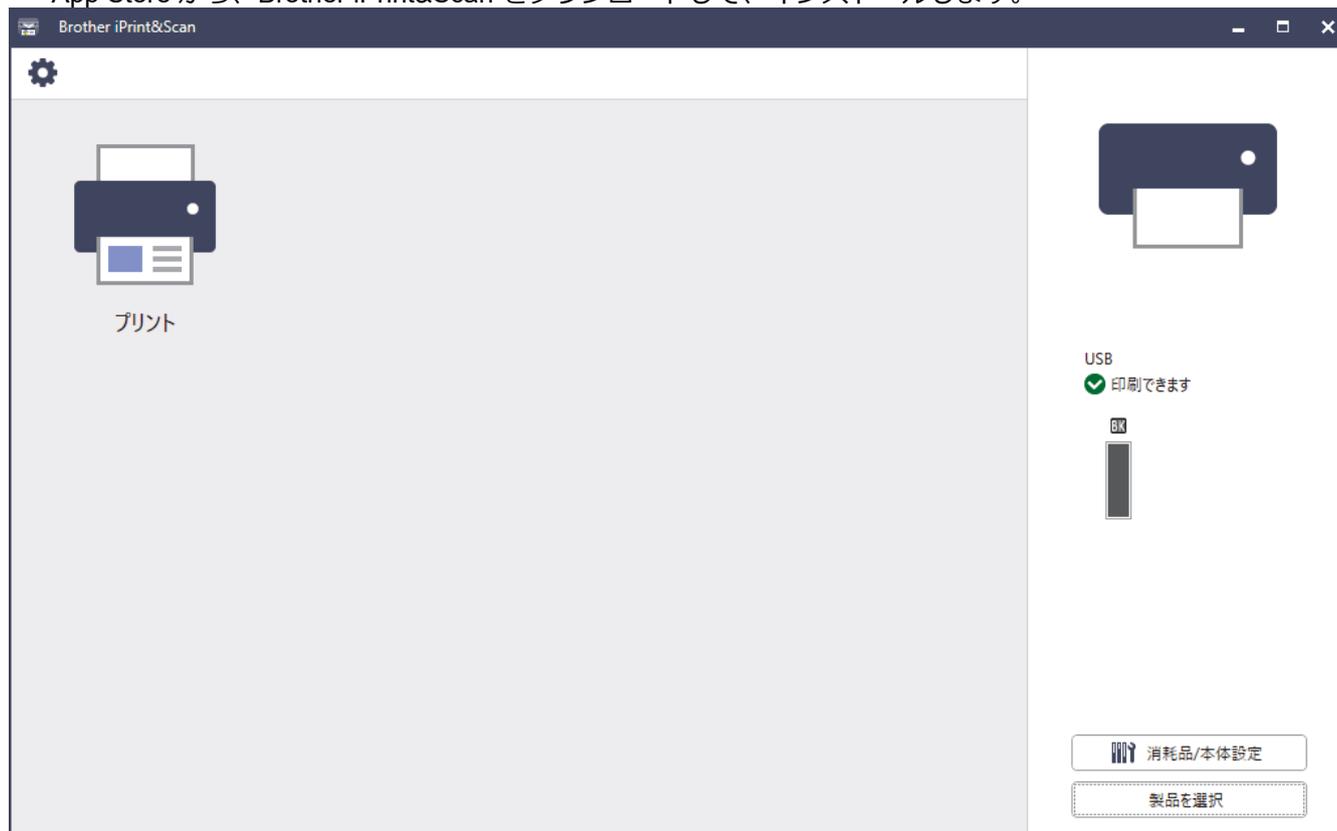
以下の画面は、Windows 向けの Brother iPrint&Scan の例を示しています。アプリケーションのバージョンによって、実際の画面と異なる場合があります。

- Windows の場合

[support.brother.com/downloads](https://support.brother.com/downloads) で、お使いのモデルのソフトウェアダウンロードページに移動し、最新のアプリケーションをダウンロードします。

- Mac の場合

App Store から、Brother iPrint&Scan をダウンロードして、インストールします。



指示が表示された場合は、本製品を使用するために必要なドライバーとソフトウェアをインストールします。[support.brother.com/downloads](https://support.brother.com/downloads) で、お使いのモデルのソフトウェアダウンロードページからインストーラーをダウンロードします。

### ✓ 関連情報

- [Brother iPrint&Scan](#)

#### 関連トピック :

- [Brother Mobile Connect](#)

## トラブルシューティング

本製品の使用時に生じやすい一般的な問題を解決するには、この章をご覧ください。ほとんどの問題はご自身で解決できます。

### 重要

技術的サポートについては、必ず本製品をお買い上げの国でお問い合わせください。



さらにサポートが必要な場合は、[support.brother.co.jp](http://support.brother.co.jp) にアクセスしてください。

まず、以下の点を確認してください。

- 本製品の電源コードが正しく接続され、本製品の電源がオンになっている。「かんたん設置ガイド」をご覧ください。
- 本製品の保護部材がすべて取り外されている。「かんたん設置ガイド」をご覧ください。
- 用紙トレイに用紙が正しくセットされている。
- 本製品とパソコンにインターフェイスケーブルがしっかりと接続されている。または、本製品とパソコンの両方で無線接続が設定されている。
- エラーとメンテナンスメッセージ

各項目を確認しても問題が解決しない場合は、問題を特定し、「関連情報」をご覧ください。



### 関連情報

- [エラーメッセージとメンテナンスメッセージ](#)
- [クラウド接続機能のエラーメッセージ](#)
- [紙詰まり](#)
- [印刷の問題](#)
- [印刷品質の改善](#)
- [ネットワークの問題](#)
- [AirPrint の問題](#)
- [その他の問題](#)
- [本製品の情報を確認する](#)
- [リセット機能](#)

## エラーメッセージとメンテナンスメッセージ

高度な機能を備えたオフィス製品によく見られるように、エラーが発生したり、消耗品の交換が必要なことがあります。その場合、本製品はエラーや必要な定期メンテナンスを特定し、適切なメッセージを表示します。最も一般的なエラーおよびメンテナンスメッセージを表に記載します。

エラーを解決し、メッセージを消すには「**対処方法**」欄の指示に従ってください。

ほとんどの問題解決と定期メンテナンスはご自身で実行できます。サポートが必要な場合は、[support.brother.co.jp](http://support.brother.co.jp) を参照し、**よくあるご質問 (Q&A)** ページをクリックしてください。

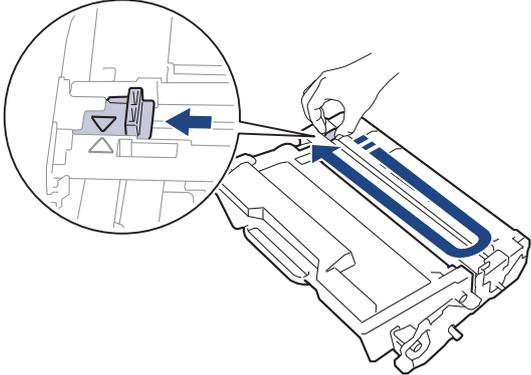
>> [HL-L5210DN/HL-L5210DW](#)

>> [HL-L6310DW](#)

### HL-L5210DN/HL-L5210DW

エラーメッセージ	原因	対処方法
[印刷できません] ##	製品に機械的な異常があります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本製品の電源を切るには、 を長押しし、数分待ってから、電源をもう一度入れます。</li> <li>問題が解決しない場合は、ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）か、地域の販売店にお問い合わせください。</li> </ul>
[印刷データがいっぱいです]	製品のメモリーが一杯です。	<b>Cancel</b> を押して、以前保存した印刷データを削除します。
[印刷ページ数超過]	セキュリティ機能ロック 3.0 に設定された印刷の上限に達しました。	管理者に問い合わせ、お客様のセキュリティ機能ロックの設定値を確認します。
[カバーが開いています]	フロントカバーが完全に閉まっていません。	本製品のフロントカバーを開け、しっかりと閉めます。
[カバーが開いています]	定着ユニットカバーが完全に閉まっていません。	製品のバックカバーの内側にある定着ユニットカバーを閉じます。
[紙詰まり 後ろ]	製品の後方で用紙が詰まっています。	定着ユニットカバーを開け、すべての詰まった用紙を取り除きます。定着ユニットカバーを閉じます。それでもエラーメッセージが表示される場合は、 <b>Go</b> を押します。
[紙詰まり MPトレイ]	多目的トレイの内側で用紙が詰まっています。	すべての詰まった用紙を多目的トレイの内側および周囲から取り除きます。 <b>Go</b> を押します。
[紙詰まり トレイ 1] [紙詰まり トレイ 2] [紙詰まり トレイ 3] [紙詰まり トレイ 4]	表示された用紙トレイの内側で用紙が詰まっています。	液晶ディスプレイに表示されたトレイを引き出してすべての詰まった用紙を取り除きます。
[紙詰まり 内部]	製品の内部で用紙が詰まっています。	フロントカバーを開けてトナーカートリッジとドラムユニットのセットを取り外し、すべての詰まった用紙を引き出します。フロントカバーを閉じます。
[紙詰まり 両面]	両面トレイまたはバックカバーの内側で用紙が詰まっています。	両面トレイを取り外し、バックカバーを開けてすべての詰まった用紙を引き出します。
[記憶デバイス フル]	使用している USB フラッシュメモリーに空き容量が少ないため、セキュリティ印刷データを保存できません。	保存済みのセキュリティ印刷データを削除します。

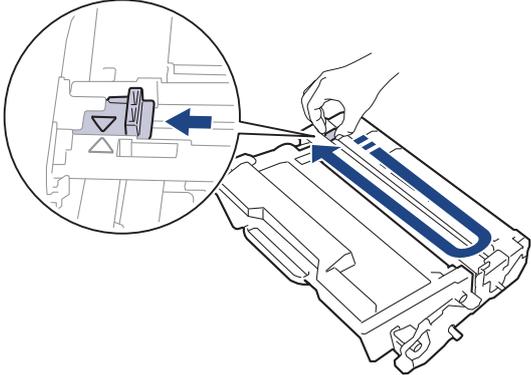
エラーメッセージ	原因	対処方法
[サイズエラー]	選択した用紙トレイが、プリンタードライバーで指定された用紙サイズに対応していません。	プリンタードライバーで選択した用紙サイズと選択したトレイにセットされている用紙サイズが一致するように、プリンタードライバーの設定または本製品のトレイの設定を変更してください。
[サイズエラー 両面]	本製品の用紙サイズ設定で指定された用紙サイズは、自動両面印刷に適していません。 トレイにセットされている用紙サイズが正しくないか、自動両面印刷に適していない用紙です。	(必要な場合は) <b>Go</b> を約 2 秒間長押しします。 トレイに正しいサイズの用紙をセットし、トレイの設定をその用紙サイズに合わせます。 両面印刷に適している用紙サイズを選択します。 自動両面印刷に適している用紙サイズは A4 です。
[使用不能な USB 機器です]	サポートされていない USB 機器が、USB アクセサリーポートに接続されています。 不良 USB 機器または高電力消費量の USB 機器が、USB アクセサリーポートに接続されています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>USB アクセサリーポートから該当機器を外します。</li> <li> を長押しして本製品の電源を切り、電源をもう一度入れます。</li> </ul>
[T1 用紙変更しましたか?]	標準用紙トレイが取り付けられていないか、正しく取り付けられていません。	標準用紙トレイを再度取り付けます。
[トナーがセットされていません]	トナーカートリッジまたは、トナーカートリッジとドラムユニットのセットが正しく取り付けられていません。	トナーカートリッジとドラムユニットのセットを取り外します。ドラムユニットからトナーカートリッジをいったん取り除き、ドラムユニットにもう一度取り付けます。 トナーカートリッジとドラムユニットのセットを、本製品に再度取り付けます。問題が解決しない場合は、トナーカートリッジを新しいものに交換します。 「関連情報」をご覧ください：トナーカートリッジを交換する
[トナー交換]	トナーカートリッジの寿命が近づいています。本製品はすべての印刷操作を停止します。	トナーカートリッジを新しいものに交換してください。 「関連情報」をご覧ください：トナーカートリッジを交換する
[トナーを検知できません]	トナーカートリッジを検出できません。	トナーカートリッジとドラムユニットのセットを取り外します。ドラムユニットからトナーカートリッジをいったん取り除き、ドラムユニットにもう一度取り付けます。 トナーカートリッジとドラムユニットのセットを、本製品に再度取り付けます。 「関連情報」をご覧ください：トナーカートリッジを交換する

エラーメッセージ	原因	対処方法
[ドラム お手入れ]	ドラムユニットのコロナワイヤーを清掃する必要があります。	<p>ドラムユニットのコロナワイヤーを清掃してください。</p>  <p>「関連情報」をご覧ください：コロナワイヤーを清掃する 問題が解決しない場合は、ドラムユニットを新しいものに交換します。</p>
	ドラムユニットまたは、トナーカートリッジとドラムユニットのセットが正しく取り付けられていません。	ドラムユニットを取り外した後、ドラムユニットからトナーカートリッジをいったん取り除き、ドラムユニットにもう一度取り付けます。ドラムユニットを、本製品にもう一度取り付けます。
[ドラム交換]	ドラムユニットの交換時期です。	<p>ドラムユニットを新しいものに交換してください。</p> <p>「関連情報」をご覧ください：ドラムユニットを交換する</p>
[ドラムユニットがありません]	ドラムユニットが正しく取り付けられていません。	<p>トナーカートリッジとドラムユニットのセットを再装着します。</p> <p>「関連情報」をご覧ください：ドラムユニットを交換する</p>
[トレイ1 が開いています] [トレイ2 が開いています] [トレイ3 が開いています] [トレイ4 が開いています]	用紙トレイが取り付けられていないか、正しく取り付けられていません。	液晶ディスプレイに表示されたトレイを再装着します。
[トレイが多すぎます]	装着されている増設トレイの数が最大数を超えました。	増設トレイの数を減らしてください。
[排紙トレイがいっぱいです]	排紙トレイが一杯です。	上面排紙トレイから印刷済みの用紙を取り除きます。
[ヒーター確認中]	定着ユニットが正しく動作しません。	<p>⏻ を長押しして本製品の電源を切り、数秒待ってから、電源をもう一度入れます。電源を入れたまま、製品を 15 分間待機状態にします。</p>
	定着ユニットが熱すぎます。	
[まもなくトナー交換]	液晶ディスプレイにこのメッセージが表示されても、まだ印刷できます。トナーカートリッジの寿命が近づいています。	新しいトナーカートリッジを注文して、画面に「トナー交換」と表示された場合に、すぐに交換できるようにします。
[まもなくドラム交換]	ドラムユニットの寿命が近づいています。	画面に「ドラム交換」が表示される前に新しいドラムユニットを注文してください。
[まもなく用紙切れ トレイ1] [まもなく用紙切れ トレイ2] [まもなく用紙切れ トレイ3] [まもなく用紙切れ トレイ4]	用紙トレイがもうすぐ用紙切れになります。	液晶ディスプレイに表示されたトレイに用紙をセットします。
[メモリがいっぱいです]	製品のメモリーが一杯です。	<b>Go</b> を約 2 秒間長押しして印刷解像度を低くします。

エラーメッセージ	原因	対処方法
[用紙がありません]	用紙がないか、用紙トレイに用紙が正しくセットされていません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>用紙トレイに用紙をセットします。用紙ガイドが正しいサイズに設定されていることを確認します。</li> <li>用紙トレイに紙が残っている場合は取り出し、もう一度セットします。用紙ガイドが正しいサイズに設定されていることを確認します。</li> <li>用紙トレイに用紙を入れすぎないでください。</li> </ul>
[用紙がありません MP]	多目的トレイの用紙が切れているか、多目的トレイに用紙が正しくセットされていません。	<p>次のいずれかを行ってください：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多目的トレイに用紙をセットします。用紙ガイドが正しいサイズに設定されていることを確認します。</li> <li>用紙トレイに紙が残っている場合は取り出し、もう一度セットします。用紙ガイドが正しいサイズに設定されていることを確認します。</li> </ul>
[用紙がありません トレイ1] [用紙がありません トレイ2] [用紙がありません トレイ3] [用紙がありません トレイ4]	指定した用紙トレイから用紙を給紙できません。	<p>次のいずれかを行ってください：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>液晶ディスプレイに表示されたトレイに用紙をセットします。用紙ガイドが正しいサイズに設定されていることを確認します。</li> <li>用紙トレイに紙が残っている場合は取り出し、もう一度セットします。用紙ガイドが正しいサイズに設定されていることを確認します。</li> <li>用紙トレイに用紙を入れすぎないでください。</li> </ul>
[用紙サイズが合いません]	トレイの用紙サイズが正しくありません。	液晶ディスプレイに表示されたトレイに正しいサイズの用紙をセットし、トレイの設定をその用紙サイズに合わせます。 <b>Go</b> を押します。
[用紙種類が違います]	プリンタードライバーで指定された用紙種類が本製品のメニューで指定された用紙タイプと一致しません。	液晶ディスプレイに表示されたトレイに正しいタイプの用紙をセットして、本製品の用紙タイプ設定で正しい用紙タイプを選択してください。
[用紙を送れません トレイ1] [用紙を送れません トレイ2] [用紙を送れません トレイ3] [用紙を送れません トレイ4]	指定した用紙トレイから用紙を給紙できません。	液晶ディスプレイに表示されたトレイを引き出してすべての詰まった用紙を取り除きます。 <b>Go</b> を押します。
[利用できません]	使用する機能は、セキュリティ機能ロック 3.0 により制限されています。	管理者に問い合わせ、お客様のセキュリティ機能ロックの設定値を確認します。
[両面印刷できません]	製品のバックカバーが完全に閉まっていません。	本製品のバックカバーを閉位置に固定されるまで完全に閉じます。
	両面トレイが完全に装着されていません。	両面トレイを本製品へしっかりと装着します。
[冷却中]	本製品内側の温度が高すぎます。現在の印刷ジョブを一時停止し、冷却モードに入ります。	本製品が冷却を終了するまでお待ちください。障害物で排気口をふさがないようにしてください。 本製品の冷却が終了すると、印刷を再開します。

エラーメッセージ	原因	対処方法
[印刷できません] ##	製品に機械的な異常があります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本製品の電源を切るには、 を長押しし、数分待ってから、電源をもう一度入れます。</li> <li>問題が解決しない場合は、ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）か、地域の販売店にお問い合わせください。</li> </ul>
[印刷データがいっぱいです]	製品のメモリーが一杯です。	 を押して、保存済みのセキュリティ印刷データを削除します。
[印刷ページ数超過]	セキュリティ機能ロック 3.0 に設定された印刷の上限に達しました。	管理者に問い合わせ、お客様のセキュリティ機能ロックの設定値を確認します。
[カバーが開いています]	フロントカバーが完全に閉まっていません。	本製品のフロントカバーを開け、しっかりと閉めます。
[カバーが開いています]	定着ユニットカバーが完全に閉まっていません。	製品のバックカバーの内側にある定着ユニットカバーを閉じます。
[カバーが開いています]	メールボックスのバックカバーが完全に閉まっていません。	メールボックスのバックカバーを閉じてください。
[紙詰まり 後ろ]	製品の後方で用紙が詰まっています。	定着ユニットカバーを開け、すべての詰まった用紙を取り除きます。定着ユニットカバーを閉じます。それでもエラーメッセージが表示される場合は、[リトライ]を押します。
[紙詰まり MP トレイ]	多目的トレイの内側で用紙が詰まっています。	すべての詰まった用紙を多目的トレイの内側および周囲から取り除きます。[リトライ]を押します。
[紙詰まり トレイ 1] [紙詰まり トレイ 2] [紙詰まり トレイ 3] [紙詰まり トレイ 4]	表示された用紙トレイの内側で用紙が詰まっています。	液晶ディスプレイのアニメーション表示に従い、用紙トレイを引き出してすべての詰まった用紙を取り除きます。
[紙詰まり 内部]	製品の内部で用紙が詰まっています。	フロントカバーを開けてトナーカートリッジとドラムユニットのセットを取り外し、すべての詰まった用紙を引き出します。フロントカバーを閉じます。
[紙詰まり メールボックス]	メールボックスユニットの内側で用紙が詰まっています。	液晶ディスプレイの表示に従い、すべての詰まった用紙をメールボックスユニットから取り除きます。
[紙詰まり 両面]	両面トレイまたはバックカバーの内側で用紙が詰まっています。	両面トレイを取り外し、バックカバーを開けてすべての詰まった用紙を引き出します。
[記憶デバイス フル]	使用している USB フラッシュメモリーに空き容量が少ないため、印刷データを保存できません。	USB フラッシュメモリーから保存済みの印刷データを削除します。
[サイズ エラー]	選択した用紙トレイが、プリンタードライバーで指定された用紙サイズに対応していません。	プリンタードライバーで選択した用紙サイズと選択したトレイにセットされている用紙サイズが一致するように、プリンタードライバーの設定または本製品のトレイの設定を変更してください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
[サイズエラー 両面]	本製品の用紙サイズ設定で指定された用紙サイズは、自動両面印刷に適していません。	(必要な場合は)  を押します。
	トレイにセットされている用紙サイズが正しくないか、自動両面印刷に適していない用紙です。	トレイに正しいサイズの用紙をセットし、トレイの設定をその用紙サイズに合わせます。 両面印刷に適している用紙サイズを選択します。 自動両面印刷に適している用紙サイズは A4 です。
[用紙サイズが合いません]	トレイの用紙サイズが正しくありません。	液晶ディスプレイに表示されたトレイに正しいサイズの用紙をセットし、トレイの設定をその用紙サイズに合わせます。[リトライ]を押します。
[使用不能な USB 機器です]	不良 USB 機器または高電力消費量の USB 機器が、USB アクセサリーポートに接続されています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>USB アクセサリーポートから該当機器を外します。</li> <li> を長押しして本製品の電源を切り、電源をもう一度入れます。</li> </ul>
[消耗品 お知らせ] [まもなくドラム交換]	ドラムユニットの寿命が近づいています。	画面に[ドラム交換]が表示される前に新しいドラムユニットを注文してください。
[消耗品 お知らせ] [ドラム交換]	ドラムユニットの交換時期です。	ドラムユニットを新しいものに交換してください。 「関連情報」をご覧ください：ドラムユニットを交換する
[消耗品 お知らせ] [まもなくトナー交換:]	液晶ディスプレイにこのメッセージが表示されても、まだ印刷できます。トナーカートリッジの寿命が近づいています。	新しいトナーカートリッジを注文して、画面に[トナーを交換してください]と表示された場合に、すぐに交換できるようにします。
[タッチパネルエラー]	電源オン時の初期化が終了する前に、タッチパネルが押されました。	他のものが画面に接触していないことを確認してください。
	タッチパネルの下部とフレームとの間に、異物がはさまっている可能性があります。	タッチパネルの下部とフレームとの間に厚紙などを差し込み、前後にスライドさせて異物を押し出してください。
[トナーがセットされていません]	トナーカートリッジが正しく取り付けられていません。	トナーカートリッジとドラムユニットのセットを取り外します。ドラムユニットからトナーカートリッジをいったん取り除き、ドラムユニットにもう一度取り付けます。 「関連情報」をご覧ください：トナーカートリッジを交換する
[トナーの型番が違います]	装着されているトナーカートリッジは、お使いの製品の正しいトナーカートリッジではありません。	ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外し、正しい型番のトナーカートリッジを取り付けてください。 「関連情報」をご覧ください：トナーカートリッジを交換する
[トナーを検知できません]	トナーカートリッジを検出できません。	トナーカートリッジとドラムユニットのセットを取り外します。ドラムユニットからトナーカートリッジをいったん取り除き、ドラムユニットにもう一度取り付けます。
	ドラムユニットを検出できません。	トナーカートリッジとドラムユニットのセットを、本製品に再度取り付けます。
[トナーを交換してください]	トナーカートリッジの寿命が近づいています。	トナーカートリッジを新しいものに交換してください。 「関連情報」をご覧ください：トナーカートリッジを交換する

エラーメッセージ	原因	対処方法
[ドラム お手入れ]	ドラムユニットのコロナワイヤーを清掃する必要があります。	<p>ドラムユニットのコロナワイヤーを清掃してください。</p>  <p>「関連情報」をご覧ください：コロナワイヤーを清掃する 問題が解決しない場合は、ドラムユニットを新しいものに交換します。</p>
	ドラムユニットまたは、トナーカートリッジとドラムユニットのセットが正しく取り付けられていません。	トナーカートリッジとドラムユニットのセットを取り外します。ドラムユニットからトナーカートリッジをいったん取り除き、ドラムユニットにもう一度取り付けます。トナーカートリッジとドラムユニットのセットを、本製品に再度取り付けます。
[ドラムが確認できません]	ドラムユニットが正しく取り付けられていません。	トナーカートリッジとドラムユニットのセットを再装着します。 問題が解決しない場合は、ドラムユニットを新しいものに交換します。
[ドラムがセットされていません]	ドラムユニットが正しく取り付けられていません。	トナーカートリッジとドラムユニットのセットを再装着します。 「関連情報」をご覧ください：ドラムユニットを交換する
[ドラムの型番が違います]	装着されているドラムユニットが、お使いの製品に合っていない。	ドラムユニットを取り外し、正しい型番のドラムユニットを取り付けてください。 「関連情報」をご覧ください：ドラムユニットを交換する
[ドラムユニットがありません]	ドラムユニットが正しく取り付けられていません。	トナーカートリッジとドラムユニットのセットを再装着します。 「関連情報」をご覧ください：ドラムユニットを交換する
[トレイ 1 が開いています] [トレイ 2 が開いています] [トレイ 3 が開いています] [トレイ 4 が開いています]	用紙トレイが取り付けられていないか、正しく取り付けられていません。	液晶ディスプレイに表示されたトレイを再装着します。
[トレイが多すぎます]	装着されている増設トレイの数が最大数を超えました。	増設トレイの数を減らしてください。
[トレイが引き出されました]	標準用紙トレイが取り付けられていないか、正しく取り付けられていません。	標準用紙トレイを再度取り付けます。
[排紙トレイエラー]	メールボックスユニットからトレイ 2 またはトレイ 4 が取り外されました。	メールボックスユニットを 2 段トレイモードで使用するには、トレイ 2 とトレイ 4 の両方を取り外します。 メールボックスユニットを 4 段トレイモードで使用するには、トレイ 2 とトレイ 4 の両方を装着します。

エラーメッセージ	原因	対処方法
[排紙トレイがいっぱいです]	排紙トレイが一杯です。	液晶ディスプレイに表示された排紙トレイから印刷済みの用紙を取り除きます。
[ハブはサポートしていません]	USB ハブ機器が、USB アクセサリーポートに接続されています。	USB アクセサリーポートから USB ハブ機器を外します。
[ヒーター確認中]	定着ユニットが正しく動作しません。 定着ユニットが熱すぎます。	 を長押しして本製品の電源を切り、数秒待ってから、電源をもう一度入れます。電源を入れたまま、製品を 15 分間待機状態にします。
[まもなく用紙切れ] [まもなく用紙切れ トレイ 1] [まもなく用紙切れ トレイ 2] [まもなく用紙切れ トレイ 3] [まもなく用紙切れ トレイ 4]	用紙トレイがもうすぐ用紙切れになります。	液晶ディスプレイに表示されたトレイに用紙をセットします。
[メモリがいっぱいです]	製品のメモリが一杯です。	 を押して印刷解像度を低くします。
[USB 機器の応答なし]	サポートされていない USB 機器が、USB アクセサリーポートに接続されています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• USB アクセサリーポートから該当機器を外します。</li> <li>•  を長押しして本製品の電源を切り、電源をもう一度入れます。</li> </ul> 「関連情報」をご覧ください：USB フラッシュメモリーを使用したセキュリティ印刷
[USBメモリが接続されていません]	USB フラッシュメモリーを検出できません。	USB アクセサリーポートに USB フラッシュメモリーを挿入します。
[USB メモリが認識できません]	USB フラッシュメモリーの読み込み/書き込みをできません。	 を長押しして本製品の電源を切り、電源をもう一度入れます。 問題が継続する場合は、ジョブ保存場所をリセットします。 「関連情報」をご覧ください：USB フラッシュメモリーを使用したセキュリティ印刷
[用紙がありません]	用紙がないか、用紙トレイに用紙が正しくセットされていません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 用紙トレイに用紙をセットします。用紙ガイドが正しいサイズに設定されていることを確認します。</li> <li>• 用紙トレイに紙が残っている場合は取り出し、もう一度セットします。用紙ガイドが正しいサイズに設定されていることを確認します。</li> <li>• 用紙トレイに用紙を入れすぎないでください。</li> </ul>
[用紙がありません MP トレイ]	多目的トレイの用紙が切れているか、多目的トレイに用紙が正しくセットされていません。	次のいずれかを行ってください： <ul style="list-style-type: none"> <li>• 多目的トレイに用紙をセットします。用紙ガイドが正しいサイズに設定されていることを確認します。</li> <li>• 用紙トレイに紙が残っている場合は取り出し、もう一度セットします。用紙ガイドが正しいサイズに設定されていることを確認します。</li> </ul>

エラーメッセージ	原因	対処方法
[用紙がありません トレイ 1] [用紙がありません トレイ 2] [用紙がありません トレイ 3] [用紙がありません トレイ 4]	指定した用紙トレイから用紙を給紙できません。	次のいずれかを行ってください： <ul style="list-style-type: none"> <li>液晶ディスプレイに表示されたトレイに用紙をセットします。用紙ガイドが正しいサイズに設定されていることを確認します。</li> <li>用紙トレイに紙が残っている場合は取り出し、もう一度セットします。用紙ガイドが正しいサイズに設定されていることを確認します。</li> <li>用紙トレイに用紙を入れすぎないでください。</li> </ul>
[用紙種類が違います]	プリンタードライバーで指定された用紙種類が本製品のメニューで指定された用紙タイプと一致しません。	液晶ディスプレイに表示されたトレイに正しいタイプの用紙をセットして、本製品の用紙タイプ設定で正しい用紙タイプを選択してください。
[用紙を送れません トレイ 1] [用紙を送れません トレイ 2] [用紙を送れません トレイ 3] [用紙を送れません トレイ 4]	指定した用紙トレイから用紙を給紙できません。	液晶ディスプレイに表示されたトレイを引き出してすべての詰まった用紙を取り除きます。 [リトライ]を押します。
[利用できません]	使用する機能は、セキュリティ機能ロック 3.0 により制限されています。	管理者に問い合わせ、お客様のセキュリティ機能ロックの設定値を確認します。
[両面印刷できません]	製品のバックカバーが完全に閉まっていません。	本製品のバックカバーを閉位置に固定されるまで完全に閉じます。
	両面トレイが完全に装着されていません。	両面トレイを本製品へしっかりと装着します。
[冷却中]	本製品内側の温度が高すぎます。現在の印刷ジョブを一時停止し、冷却モードに入ります。	本製品が冷却を終了するまでお待ちください。障害物で排気口をふさがないようにしてください。 本製品の冷却が終了すると、印刷を再開します。

## ✓ 関連情報

- [トラブルシューティング](#)

### 関連トピック：

- [コロナワイヤーを清掃する](#)
- [トナーカートリッジを交換する](#)
- [ドラムユニットを交換する](#)
- [USB フラッシュメモリーを使用したセキュリティ印刷](#)

## クラウド接続機能のエラーメッセージ

関連モデル: HL-L6310DW

エラーが発生すると、本製品にエラーメッセージが表示されます。最も一般的なエラーメッセージを表に記載します。

ほとんどのエラーはご自身で解決できます。以下の表をお読みになっても、問題が解決しない場合は、[support.brother.co.jp](http://support.brother.co.jp) でトラブルシューティングのヒントをご覧ください。

### 接続エラー

エラーメッセージ	原因	対処方法
[ネットワーク接続エラー 02] [ネットワークに接続されていません ネットワークの接続状況を確認してください]	本製品はネットワークに接続されていません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>適格な IP アドレスが本製品に割り当てられていることを確認してください。</li> <li>アクセスポイントルーターが起動しており、インターネット接続が確立されていることを確認してください。</li> <li>アクセスポイント/ルーターの電源が入っていることを確認してください。</li> <li>お使いのブラザー製品の電源を投入した後に、すぐに [クラウド] ボタンを押した場合、ネットワーク接続がまだ確立されていない可能性があります。少し待ってから再度実行してください。</li> </ul>
[ネットワーク接続エラー 03] [サーバーへの接続に失敗しました ネットワーク設定を確認してください]	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークやサーバーの設定が間違っています。</li> <li>ネットワークまたはサーバーに問題があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークの設定が正しいことを確認するか、少し待ってから後で再試行してください。</li> <li>お使いのブラザー製品の電源を投入した後に、すぐに [クラウド] ボタンを押した場合、ネットワーク接続がまだ確立されていない可能性があります。少し待ってから再度実行してください。</li> </ul> <p>「関連情報」をご覧ください: <i>Web Based Management</i> を使用して日時を設定する</p>
[ネットワーク接続エラー 07] [サーバーへの接続に失敗しました 時刻設定が正しくありません]	日付と時刻の設定が間違っています。	日付と時刻を正しく設定します。本製品の電源コードが抜かれた場合、日付と時刻の設定がお買い上げ時の設定にリセットされる場合があります。

### 認証エラー

エラーメッセージ	原因	対処方法
[認証エラー 01] [PIN コードが正しくありません 正しい PIN を入力してください]	このアカウントにアクセスするために入力した PIN コードが正しくありません。PIN コードは、本製品へのアカウントの登録時に入力した 4 桁の番号です。	正しい PIN コードを入力してください。
[認証エラー 02] [仮登録 ID が間違っているか発行された仮登録 ID がすでに失効しています または一度使用した仮登録 ID は]	入力した仮登録 ID が間違っています。	正しい仮登録 ID を入力してください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
使用できません 正しい仮登録 ID を入力するか仮登録 ID の再発行を行ってください 仮登録 ID の有効期限は発行から 24 時間です]	入力した仮登録 ID は期限が切れています。仮登録 ID は 24 時間有効です。	再度、クラウド接続機能の利用申請を行い、新たに仮登録 ID を取得したら、新しい仮登録 ID を使って本製品にアカウントを登録してください。
[認証エラー 03] [表示名がすでに登録されています異なる表示名を登録してください]	表示名として入力した名前がすでに別のユーザーに登録されています。	別の表示名を入力してください。

## サーバーエラー

エラーメッセージ	原因	対処方法
[サーバーエラー 01] [サービスへの認証情報が無効です下記ウェブページより 仮登録 ID を取得する必要があります http://bwc.brother.com 仮登録 ID を取得後 OK を押してください]	本製品の認証情報（サービスへのアクセスに必要）が、期限切れまたは無効です。	再度、クラウド接続機能の利用申請を行い、新たに仮登録 ID を取得したら、新しい仮登録 ID を使って本製品にアカウントを登録してください。
[サーバーエラー 13] [サービスが一時的に利用できません時間を置いて再試行してください]	ウェブサービスに問題があり、現在利用できません。	少し待ってから再度実行してください。このメッセージが再び表示された場合は、ウェブサービスが利用可能かどうかを確認するためにパソコンからウェブサービスにアクセスしてみてください。

### ✓ 関連情報

- [トラブルシューティング](#)

#### 関連トピック：

- [Web Based Management](#) を使用して日時を設定する

## 紙詰まり

用紙を追加する際は、必ずトレイにある残りの用紙を一度出し、追加する用紙と一緒にばらつきがないようにまとめてください。これにより、複数枚の紙が同時に給紙され、紙詰まりを起こすのを防ぎます。

- [紙詰まりの解消](#)
- [多目的トレイで紙が詰まっている](#)
- [用紙トレイで紙が詰まっている](#)
- [製品の背面で紙が詰まっている](#)
- [製品の内部で紙が詰まっている](#)
- [両面トレイの内部で紙が詰まっている](#)
- [メールボックスユニットの内部で用紙が詰まっている](#)

## 紙詰まりの解消

用紙が詰まったり、重送が頻繁に起こる場合は、以下の操作を行ってください。

- 用紙トレイの給紙ローラーと分離パッドを清掃する。  
「[関連情報](#)」をご覧ください：[給紙ローラーを清掃する](#)
- 用紙をトレイに正しくセットする。  
「[関連情報](#)」をご覧ください：[用紙のセット](#)
- 本製品に正しい用紙サイズと用紙タイプを設定する。  
「[関連情報](#)」をご覧ください：[用紙設定](#)
- お使いのパソコンに正しい用紙サイズと用紙タイプを設定する。  
「[関連情報](#)」をご覧ください：[文書を印刷する \(Windows\)](#)  
「[関連情報](#)」をご覧ください：[AirPrint を使用して印刷する](#)
- 推奨されている用紙を使用する。  
「[関連情報](#)」をご覧ください：[特殊用紙を使用する](#)

### ✓ 関連情報

- [紙詰まり](#)

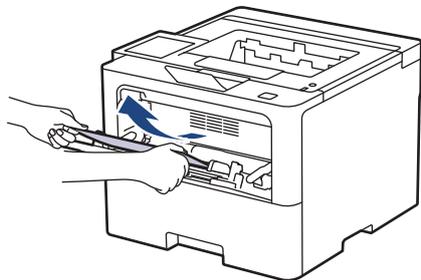
#### 関連トピック：

- [給紙ローラーを清掃する](#)
- [用紙のセット](#)
- [用紙設定](#)
- [文書を印刷する \(Windows\)](#)
- [AirPrint を使用して印刷する](#)
- [特殊用紙を使用する](#)

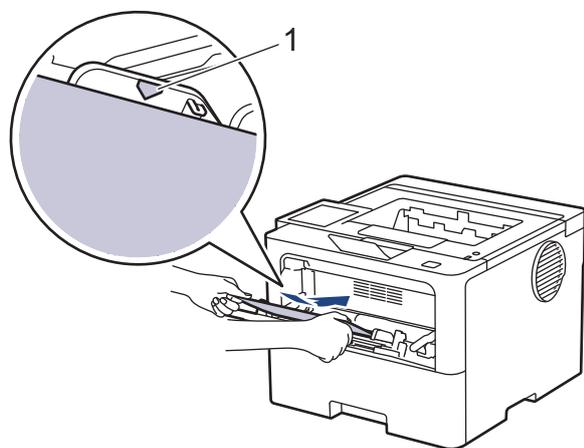
## 多目的トレイで紙が詰まっている

本製品の操作パネルまたはステータスマニターが製品の多目的トレイに紙詰まりがあることを示している場合は、次の手順に従ってください。

1. 多目的トレイから用紙を取り除きます。
2. すべての詰まった用紙を多目的トレイの内側および周囲からゆっくりと取り除きます。



3. 用紙の束をあおぐようにしごいてから、多目的トレイへもう一度セットしてください。
4. 多目的トレイに用紙を再びセットする際には、トレイ両側の最大積載枚数のマーク (1) を超えていないことを確認してください。



5. 本製品の液晶ディスプレイに表示される指示に従ってください。

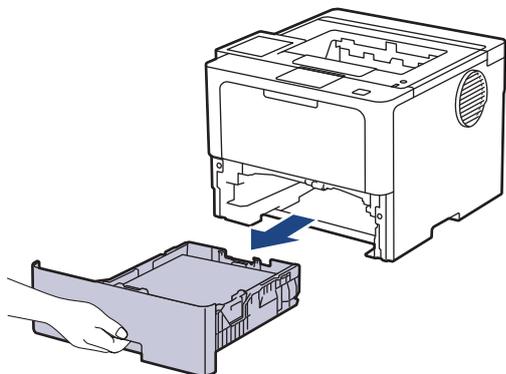
### ✓ 関連情報

- [紙詰まり](#)

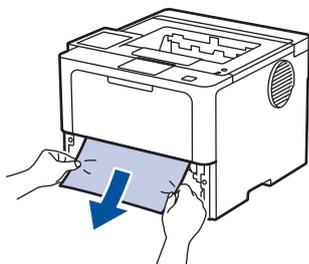
## 用紙トレイで紙が詰まっている

本製品の操作パネルまたはステータスマニターが用紙トレイに紙詰まりがあることを示している場合は、次の手順に従ってください。

1. 用紙トレイを本製品から完全に引き出します。

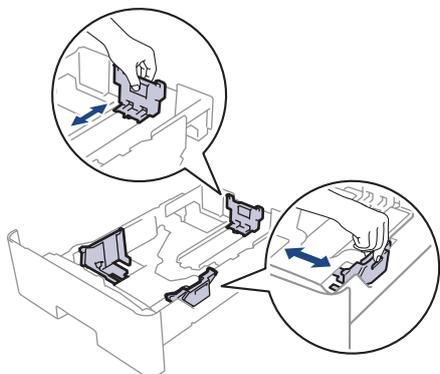


2. 詰まった紙をゆっくりと引き抜きます。

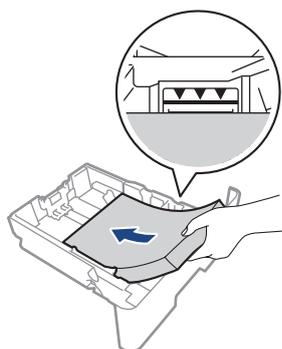


両手で詰まった紙を下方向に引っ張ると紙を簡単に取り除くことができます。

3. また紙詰まりが起きないように、用紙の束をあおぐようにしごいてから、用紙サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。用紙トレイに用紙をセットします。



4. 用紙が用紙最大位置 (▼▼▼) 以下にあることを確認します。



5. 用紙トレイを本製品にしっかりと取り付けます。



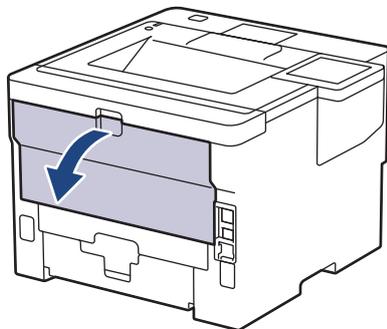
## 関連情報

- 紙詰まり

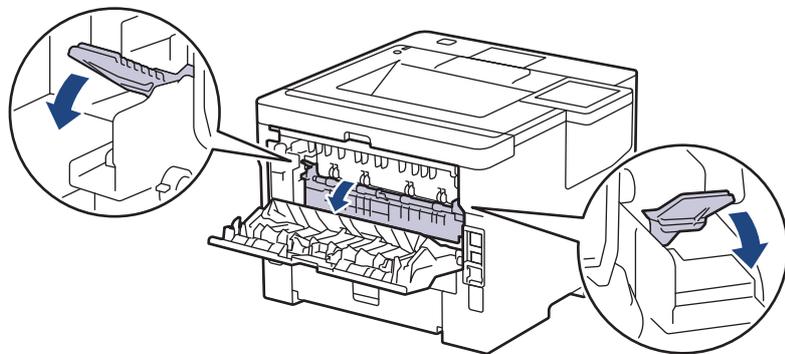
## 製品の背面で紙が詰まっている

本製品の操作パネルまたはステータスマニターが製品の背面に紙詰まりがある（背面詰まり）ことを示している場合は、次の手順に従ってください。

1. 本製品の電源を入れたまま 10 分間放置して、本製品内部の非常に高温の部品が内蔵ファンにより冷却されるのを待ちます。
2. バックカバーを開きます。



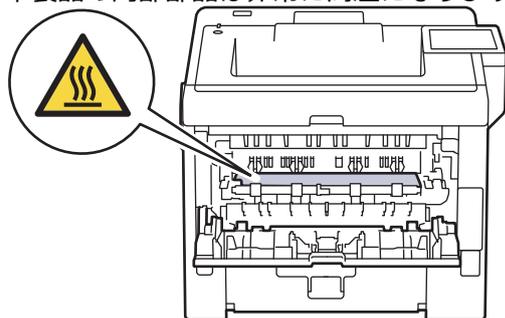
3. 左右の緑色のレバーを手前に引いて、定着ユニットカバーを外します。



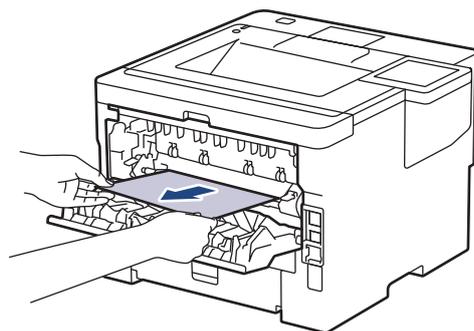
### ⚠ 警告

#### 高温注意

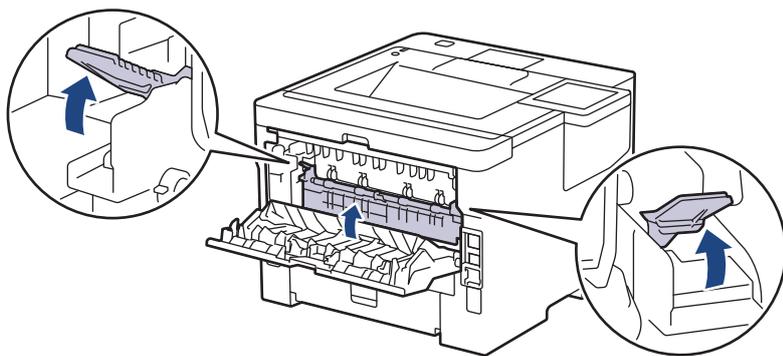
本製品の内部部品は非常に高温になります。本製品の温度が下がるまで手を触れないでください。



4. 両手を使って本体から詰まっている用紙を優しく引き抜きます。



5. 定着ユニットカバーを閉じます。



6. バックカバーが閉位置に固定されるまで完全に閉じます。

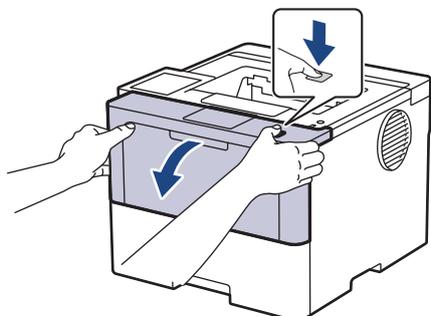
### ✓ 関連情報

- 紙詰まり

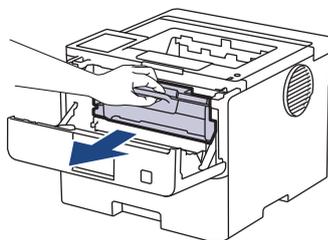
## 製品の内部で紙が詰まっている

本製品の操作パネルまたはステータスマニターが製品内部に紙詰まりがあることを示している場合は、次の手順に従ってください。

1. 本製品の電源を入れたまま 10 分間放置して、本製品内部の非常に高温の部品が内蔵ファンにより冷却されるのを待ちます。
2. フロントカバーを開けます。



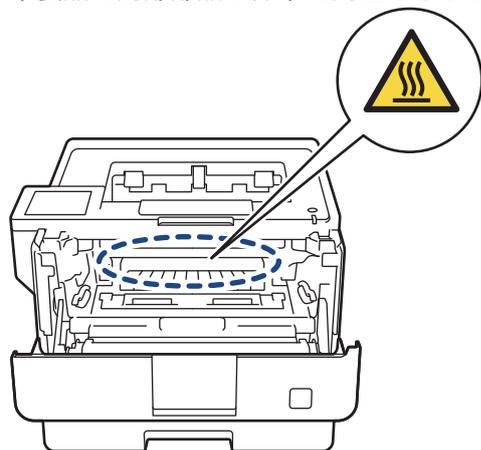
3. トナーカートリッジとドラムユニットのセットを取り除きます。



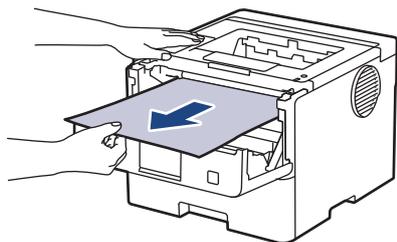
### ⚠ 警告

#### 高温注意

本製品の内部部品は非常に高温になります。本製品の温度が下がるまで手を触れないでください。

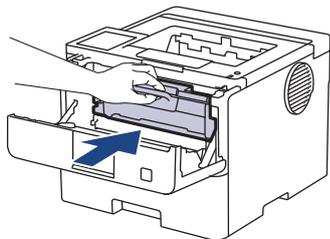


4. 詰まった紙をゆっくりと引き抜きます。



---

5. トナーカートリッジとドラムユニットのセットを、本製品に再装着します。



6. フロントカバーを閉じます。

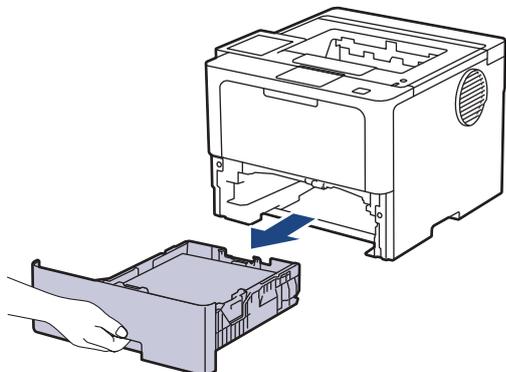
### ✓ 関連情報

- [紙詰まり](#)

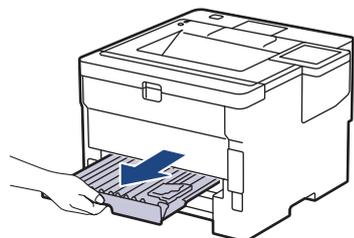
## 両面トレイの内部で紙が詰まっている

本製品の操作パネルまたはステータスマニターが両面用紙トレイに紙詰まりがあることを示している場合は、次の手順に従ってください。

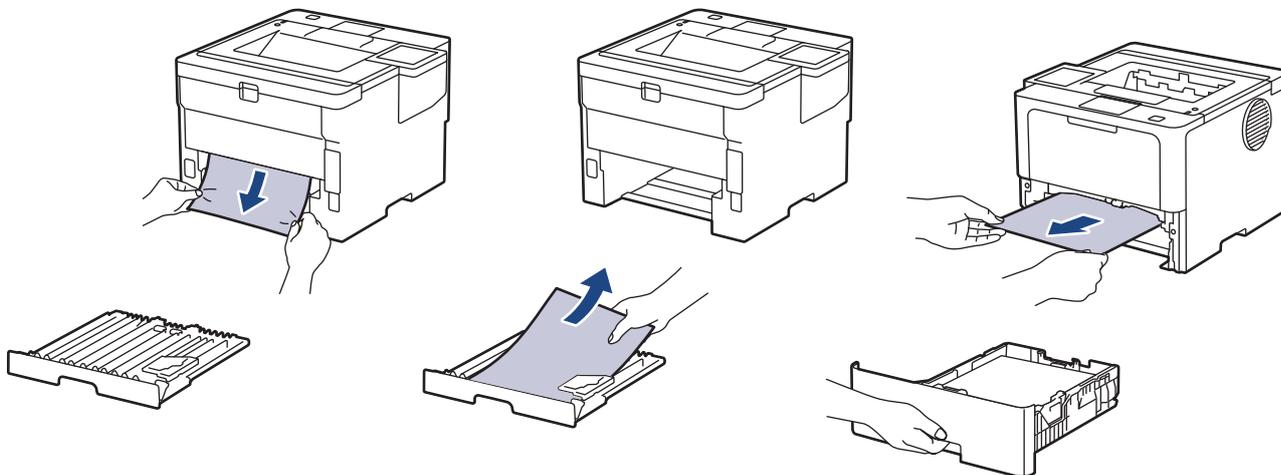
1. 本製品の電源を入れたまま 10 分間放置して、本製品内部の非常に高温の部品が内蔵ファンにより冷却されるのを待ちます。
2. 用紙トレイを本製品から完全に引き出します。



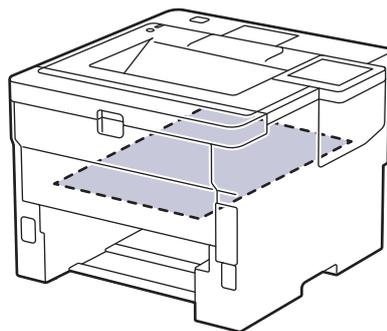
3. 本製品の背面で両面トレイを本製品から完全に引き出します。



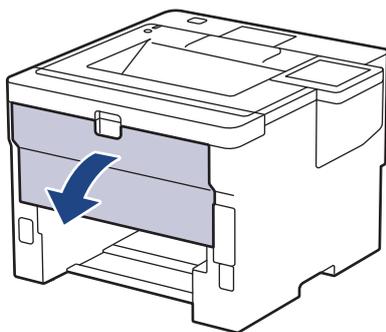
4. 詰まっている紙を本製品または両面トレイから引き抜きます。



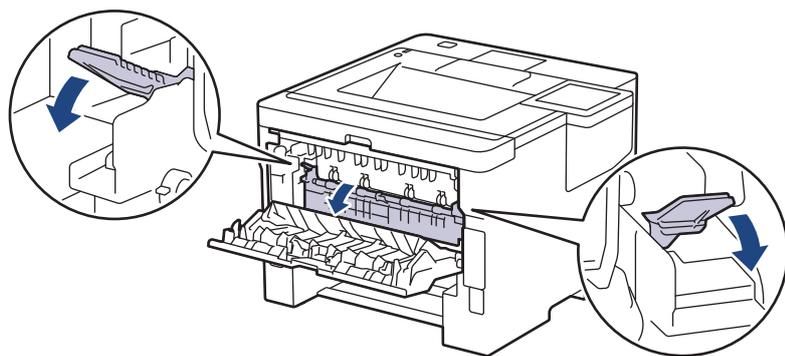
5. 静電気により製品内に詰まった紙を取り除きます。



6. 紙が両面トレイ内がない場合、バックカバーを開きます。



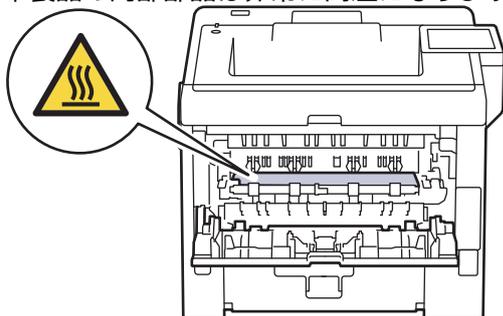
7. 左右の緑色のレバーを手前に引いて、定着ユニットカバーを外します。



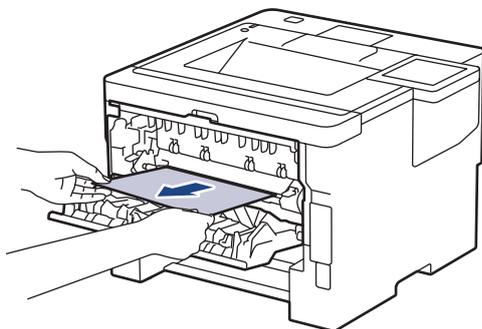
## ⚠ 警告

高温注意

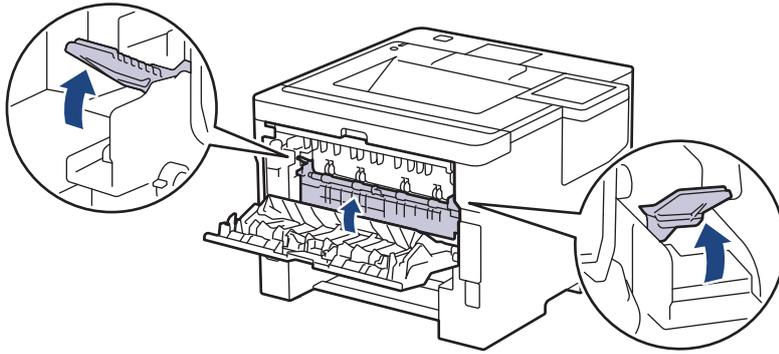
本製品の内部部品は非常に高温になります。本製品の温度が下がるまで手を触れないでください。



8. 両手を使って本製品の背面から詰まっている紙を優しく引き抜きます。



9. 定着ユニットカバーを閉じます。



10. 本製品のバックカバーが閉位置に固定されるまで完全に閉じます。

11. 本製品の背面に両面トレイをしっかりと設置します。

12. 本製品の前面に用紙トレイをしっかりと設置します。

### ✓ 関連情報

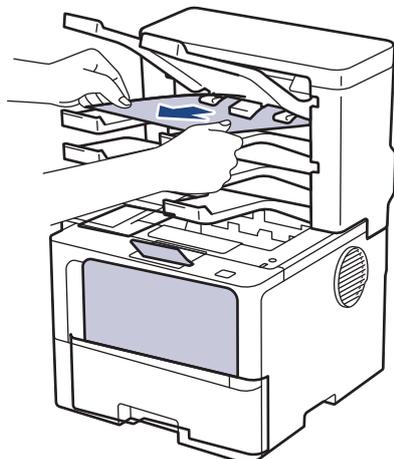
- [紙詰まり](#)

## メールボックスユニットの内部で用紙が詰まっている

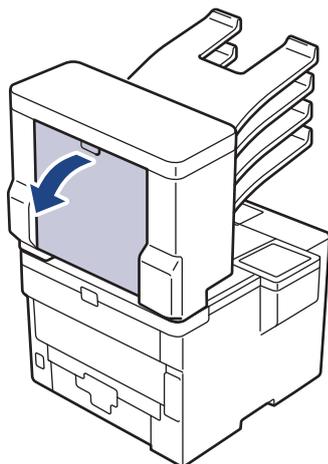
関連モデル: HL-L6310DW

本製品の操作パネルまたはステータスマニターがメールボックスユニットに紙詰まりがあることを示している場合は、次の手順に従ってください。

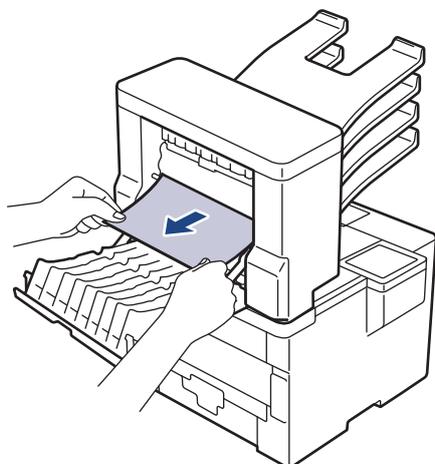
1. 詰まっている用紙を、画面に表示されたメールボックスビンからゆっくりと引き抜きます。



2. エラーが引き続き発生する場合は、メールボックスのバックカバーを開きます。



3. 詰まっている用紙をメールボックスユニットからゆっくりと引き抜きます。



4. メールボックスのバックカバーが閉位置に固定されるまで完全に閉じます。



## 関連情報

- 紙詰まり

## 印刷の問題

以下の表をお読みになっても問題が解決しない場合は、[support.brother.co.jp](http://support.brother.co.jp) で最新のトラブルシューティングのヒントをご覧ください。

問題	対応
印刷されない。	<p>本製品が電源オフモードになっていないことを確認します。</p> <p>本製品が電源オフモードになっている場合、を押して、印刷データを再送信します。</p> <p>適切にプリンタードライバーがインストールされ、選択されていることを確認します。</p> <p>ステータスマニターか操作パネルがエラーを表示しているかを確認します。</p> <p>本製品がオンラインであることを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 11           <p> &gt; <b>すべてのアプリ</b> &gt; <b>Windows ツール</b> &gt; <b>コントロール パネル</b> をクリックします。 <b>ハードウェアとサウンド</b> グループで、<b>デバイスとプリンターの表示</b> をクリックします。お使いのモデルのアイコンを右クリックし、<b>印刷ジョブの表示</b> をクリックします。プリンタードライバーのオプションが表示された場合は、お使いのドライバーを選択します。メニューバーで <b>プリンター</b> をクリックし、<b>プリンターをオフラインで使用する</b> が選択されていないことを確認します。</p> </li> <li>Windows 10、Windows Server 2016、Windows Server 2019、および Windows Server 2022           <p> &gt; <b>Windows システム ツール</b> &gt; <b>コントロール パネル</b> をクリックします。 <b>ハードウェアとサウンド (ハードウェア)</b> グループで、<b>デバイスとプリンターの表示</b> をクリックします。お使いのモデル名を右クリックします。<b>印刷ジョブの表示</b> をクリックします。プリンタードライバーのオプションが表示された場合は、お使いのドライバーを選択します。メニューバーで <b>プリンター</b> をクリックし、<b>プリンターをオフラインで使用する</b> が選択されていないことを確認します。</p> </li> <li>Windows Server 2012 R2           <p>スタート画面で <b>コントロール パネル</b> をクリックします。 <b>ハードウェアグループ</b> で、<b>デバイスとプリンターの表示</b> をクリックします。お使いのモデル名を右クリックします。<b>印刷ジョブの表示</b> をクリックします。プリンタードライバーのオプションが表示された場合は、お使いのドライバーを選択します。メニューバーで <b>プリンター</b> をクリックし、<b>プリンターをオフラインで使用する</b> が選択されていないことを確認します。</p> </li> <li>Windows Server 2012           <p>マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、<b>設定 &gt; コントロール パネル &gt; ハードウェア &gt; デバイスとプリンターの表示</b> をクリックします。お使いのモデル名を右クリックします。<b>印刷ジョブの表示</b> をクリックします。プリンタードライバーのオプションが表示された場合は、お使いのドライバーを選択します。メニューバーで <b>プリンター</b> をクリックし、<b>プリンターをオフラインで使用する</b> が選択されていないことを確認します。</p> </li> </ul>

問題	対応
本製品が印刷しません、または、印刷を停止しました。	印刷ジョブをキャンセルし、メモリーから削除します。印刷が完了していない可能性があります。印刷データを再送信してください。 「関連情報」をご覧ください：印刷ジョブをキャンセルする
ヘッダーやフッターが画面上の文書には表示されますが、印刷すると出てきません。	ページの上部と下部に印刷できない領域があります。この領域を考慮に入れて、文書の上下の余白を調整してください。
本製品が予期せず印刷したり、不要なデータを印刷したりします。	印刷ジョブをキャンセルし、メモリーから削除します。印刷が完了していない可能性があります。印刷データを再送信してください。 「関連情報」をご覧ください：印刷ジョブをキャンセルする アプリケーションが本製品と合わせて動作する設定になっていることを確認します。 アプリケーションの印刷画面で、ブラザープリンタードライバーが選択されていることを確認します。
本製品で、最初の2ページは正しく印刷されますが、その後のページにテキストがありません。	アプリケーションが本製品と合わせて動作する設定になっていることを確認します。 本製品がコンピューターから送信されたすべてのデータをまだ受信していません。インターフェースに対応したケーブルを正しく接続したことを確認します。
本製品で、プリンタードライバーの設定が両面印刷であり、自動両面印刷がサポートされているにもかかわらず、用紙の両面印刷ができません。	プリンタードライバーの用紙サイズ設定を確認します。A4の用紙を選択する必要があります。対応する用紙坪量は、60~105 g/m <sup>2</sup> です。
印刷速度が遅すぎる。	プリンタードライバーで解像度を下げてください。 静音モードが有効の場合、プリンタードライバーまたは本製品のメニューで無効にします。 連続印刷する場合、製品内部の温度を下げるために、自動的に印刷速度が下がる場合があります。
製品に用紙が送り込まれていかない。	用紙トレイに紙が残っている場合は、曲がっていないか確認します。用紙がカールしている場合は、まっすぐな状態に伸ばします。一旦用紙の束を取り出し、ひっくり返してから用紙トレイへ戻すと問題が解決する場合があります。 用紙をよくさばき、用紙トレイに戻します。 用紙トレイにある用紙の量を減らし、再度印刷してください。 (多目的トレイ付きモデルのみ) <b>多目的トレイ</b> が、プリンタードライバーの <b>給紙方法</b> で選択されていないことを確認してください。 給紙ローラーを掃除してください。
本製品が多目的トレイから用紙を送りません。 (多目的トレイ付きモデルのみ)	用紙をよくさばいてから、多目的トレイへもう一度セットしてください。 <b>多目的トレイ</b> が、プリンタードライバーの <b>給紙方法</b> で選択されていることを確認してください。
封筒が送られません。	封筒を多目的トレイにセットします。なおアプリケーションで、お使いの封筒のサイズに合わせた印刷設定を行う必要があります。ほとんどの場合、アプリケーションのページ設定メニューやドキュメント設定メニューで設定できます。
印刷位置がレターヘッドや事前に印刷されているオブジェクトとずれている。	各用紙トレイの印刷位置の設定で印刷位置を調整してください。



## 関連情報

- [トラブルシューティング](#)

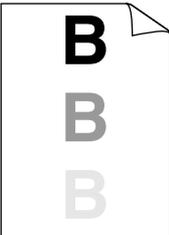
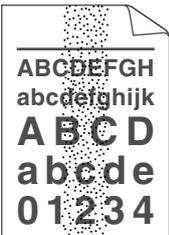
### 関連トピック：

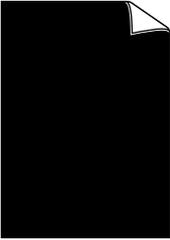
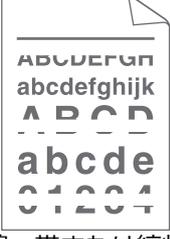
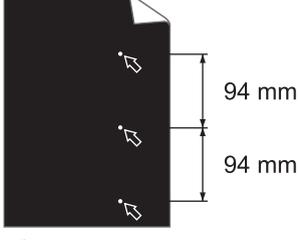
- [お使いのパソコンから本製品の状態を監視する \(Windows\)](#)
- [印刷ジョブをキャンセルする](#)
- [用紙トレイに用紙をセットして印刷する](#)
- [給紙ローラーを清掃する](#)
- [多目的トレイ \(MP トレイ\) に用紙をセットして印刷する](#)

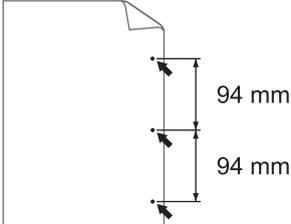
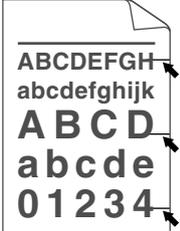
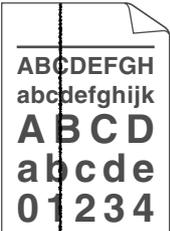
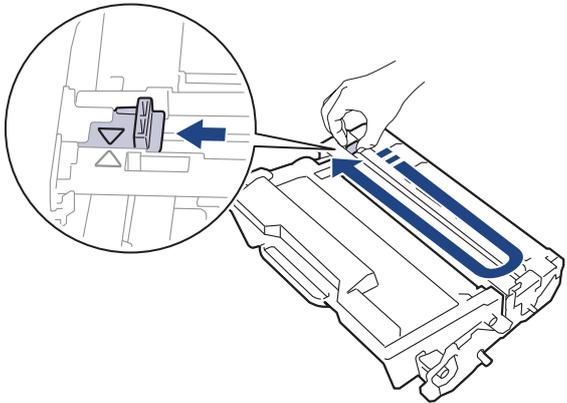
## 印刷品質の改善

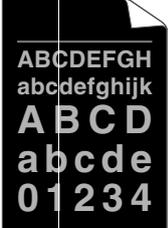
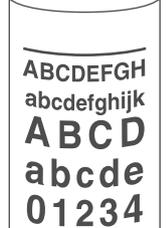
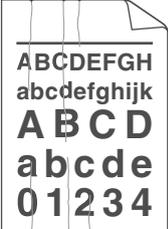
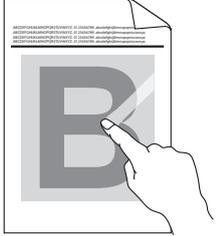
印刷品質に問題がある場合は、まずテストページを印刷します。印刷物に問題がなければ、本製品の問題ではないと考えられます。インターフェイスクーブルの接続を確認し、他の原稿を印刷してみてください。本製品からの印刷物またはテストページに品質問題がある場合は、印刷品質の例を参照し、表の推奨事項に従います。

1. 高品質の印刷を行うために、推奨される印刷用紙をご利用ください。仕様どおりの用紙をお使いください。
2. トナーカートリッジとドラムユニットが正しく取り付けられているか確認します。

印字品質が低い例	推奨
 <p>ぼやける</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本製品にトナー交換のステータスが表示されたら、新しいトナーカートリッジと交換します。</li> <li>• 本製品の設置環境を確認します。高温多湿の環境に設置すると、正常に印刷できなくなる場合があります。</li> <li>• ページ全体の色が薄い場合は、トナー節約モードがオンになっている場合があります。本製品のメニュー設定またはプリンタードライバーでトナー節約モードをオフにします。</li> <li>• ドラムユニットを清掃してください。</li> <li>• ドラムユニットのコロナワイヤーを清掃してください。</li> <li>• トナーカートリッジを新品に交換します。</li> <li>• ドラムユニットを新品に交換します。</li> </ul>
 <p>灰色の背景</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本製品の設置環境を確認します。高温多湿の環境では、背景に陰影が付きやすくなります。</li> <li>• ドラムユニットを清掃してください。</li> <li>• トナーカートリッジを新品に交換します。</li> <li>• ドラムユニットを新品に交換します。</li> </ul>
 <p>画像が何度も現れる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本製品の設置環境を確認します。乾燥や低温の環境は、印刷品質の問題の原因となる場合があります。</li> <li>• プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択します。</li> <li>• メニュー設定で適切な用紙タイプを選択します。</li> <li>• ドラムユニットを清掃してください。</li> <li>• ドラムユニットを新品に交換します。</li> <li>• トナーカートリッジを新品に交換します。</li> <li>• 定着ユニットが損傷している可能性があります。ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）にお問い合わせください。</li> </ul>
 <p>斑点が付く</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ドライバーの用紙種類設定が、お使いの用紙と一致していることを確認します。</li> <li>• ドラムユニットを清掃してください。</li> <li>• トナーカートリッジが損傷している可能性があります。トナーカートリッジを新品に交換します。</li> <li>• ドラムユニットが損傷している可能性があります。ドラムユニットを新品に交換します。</li> <li>• 定着ユニットが損傷している可能性があります。ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）にお問い合わせください。</li> </ul>

印字品質が低い例	推奨
 <p>空洞ができる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリンタードライバーで <b>厚紙</b> モードを選択するか、現在よりも薄い用紙を使用します。</li> <li>メニュー設定で適切な用紙タイプを選択します。</li> <li>本製品の設置環境を確認します。多湿の環境は、印刷文字に空洞ができる原因となります。</li> <li>ドラムユニットが損傷している可能性があります。ドラムユニットを新品に交換します。</li> </ul>
 <p>全面黒で印刷される</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドラムユニット内のコロナワイヤーを清掃してください。</li> <li>ドラムユニットが損傷している可能性があります。ドラムユニットを新品に交換します。</li> </ul>
 <p>ページ全体に白線が入る</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択します。</li> <li>メニュー設定で適切な用紙タイプを選択します。</li> <li>この問題は自然に解決することがあります。この問題を解決するには、複数の空白ページを印刷します（特に、長期間に渡って本製品を使用していなかった場合）。</li> <li>ドラムユニットを清掃してください。</li> <li>ドラムユニットが損傷している可能性があります。ドラムユニットを新品に交換します。</li> </ul>
 <p>ページ全体に線が入る</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドラムユニットを清掃してください。</li> <li>ドラムユニットが損傷している可能性があります。ドラムユニットを新品に交換します。</li> </ul>
 <p>ページ全体に白線、帯または縞状の色むらが出る</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本製品の設置環境を確認します。高温多湿の環境は、印刷品質の問題の原因となる場合があります。</li> <li>ドラムユニットを清掃してください。</li> <li>複数ページ印刷しても問題が解決しない場合は、ドラムユニットを新品に交換します。</li> </ul>
 <p>黒いテキストとグラフィクスに 94 ミリ間隔で白点が付く</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数ページ印刷しても問題が解決しない場合は、ドラムユニットにラベルの糊などの異物が付着している可能性があります。ドラムユニットを清掃してください。</li> <li>「関連情報」をご覧ください：ドラムユニットを清掃する</li> <li>ドラムユニットが損傷している可能性があります。ドラムユニットを新品に交換します。</li> </ul>

印字品質が低い例	推奨
 <p>94 mm 94 mm</p> <p>94 ミリ間隔で黒点が付く</p>	
 <p>ページ全体に黒いトナーの跡が付く</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• レーザープリンターでラベルシートを使用すると、シートの糊がドラム表面に付着する場合があります。ドラムユニットを清掃してください。 「関連情報」をご覧ください：ドラムユニットを清掃する</li> <li>• クリップやホッチキスの付いた用紙を使用すると、ドラムユニットが損傷する場合があります。</li> <li>• ドラムユニットを開封したまま直射日光の当たる場所（または室内照明の当たる場所に長期間）置いておくと、ユニットが損傷する可能性があります。</li> <li>• ドラムユニットを清掃してください。</li> <li>• トナーカートリッジが損傷している可能性があります。 トナーカートリッジを新品に交換します。</li> <li>• ドラムユニットが損傷している可能性があります。 ドラムユニットを新品に交換します。</li> </ul>
 <p>ページの下部に黒線が入る 印刷物の下部にトナーの汚れが付着する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 緑色のタブをスライドし、ドラムユニット内のコロナワイヤーを清掃します。</li> </ul> <p> コロナワイヤーの緑色のタブが元の位置 (1) にあることを確認します。</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>• トナーカートリッジが損傷している可能性があります。 トナーカートリッジを新品に交換します。</li> <li>• ドラムユニットが損傷している可能性があります。 ドラムユニットを新品に交換します。</li> <li>• 定着ユニットが損傷している可能性があります。 ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）にお問い合わせください。</li> </ul>

印字品質が低い例	推奨
 <p>ページ下部に白線が入る</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>破けた紙片、付箋または埃などの異物が、本製品内またはトナーカートリッジやドラムユニット周辺にないことを確認します。</li> <li>トナーカートリッジが損傷している可能性があります。トナーカートリッジを新品に交換します。</li> <li>ドラムユニットが損傷している可能性があります。ドラムユニットを新品に交換します。</li> </ul>
 <p>画像が歪む</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙またはその他の印刷用紙が正しく用紙トレイにセットされ、用紙ガイドが適切な位置にあることを確認します。</li> <li>用紙ガイドを正確に合わせます。</li> <li>用紙トレイに紙を入れ過ぎている可能性があります。</li> <li>用紙タイプと品質を確認します。</li> <li>本製品内に破れた紙などの紙片がないかを確認します。</li> <li>自動両面印刷を行うときにのみ問題が発生する場合は、両面トレイに破れた紙が残っていないかを確認します。両面トレイが完全に挿入されバックカバーが完全に閉まっていることを確認します。</li> </ul>
 <p>画像が曲がっている／波打っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>用紙タイプと品質を確認します。高温多湿の環境下にあると、用紙が曲がってしまいます。</li> <li>本製品を頻繁に使用しない場合、用紙が用紙トレイに長期間置かれていることがあります。用紙トレイの用紙の束を裏返します。また、用紙をさばいてから、用紙トレイでその向きを 180 度回転させます。</li> <li>バックカバー（背面排紙トレイ）を開き、背面排紙トレイに印刷済みの用紙を排紙できるようにします。</li> <li>弊社推奨の印刷用紙を使用しない場合は、プリンタードライバーで <b>用紙のカールを軽減する</b>モードを選択します。</li> </ul>
 <p>しわまたは折り目が付く</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>用紙が正しくセットされていることを確認します。</li> <li>用紙タイプと品質を確認します。</li> <li>トレイの用紙の束を裏返すか、給紙トレイの用紙を 180 度回転させます。</li> </ul>
 <p>定着不良</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリンタードライバーの用紙種類設定が、お使いの用紙と一致していることを確認します。</li> <li>プリンタードライバーで<b>トナーの定着を改善する</b>モードを選択します。</li> </ul> <p>それでも改善されない場合は、<b>用紙種類</b>のプリンタードライバーの設定を厚紙設定に変更します。封筒に印刷する場合は、用紙種類設定で<b>封筒(厚め)</b>を選択します。</p>

印字品質が低い例	推奨
 <p data-bbox="347 510 601 537">封筒がよじれてしまう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 封筒を印刷するときはバックカバー（背面排紙トレイ）が開いた状態であることを確認します。</li> <li>• （多目的トレイ付きモデルのみ） 封筒が多目的トレイから送られていることを確認します。</li> </ul>

### ✓ 関連情報

- [トラブルシューティング](#)

#### 関連トピック：

- [テスト印刷](#)
- [トナーカートリッジを交換する](#)
- [トナー消費量の削減](#)
- [ドラムユニットを交換する](#)
- [ドラムユニットを清掃する](#)

## ネットワークの問題

- [エラーメッセージ](#)
- [ネットワーク診断修復ツールを使用する \(Windows\)](#)
- [本製品のネットワーク設定を確認する](#)
- [本製品のネットワークに問題がある場合](#)

## エラーメッセージ

最も一般的なエラーメッセージを表に記載します。

>> [HL-L5210DN/HL-L5210DW](#)

>> [HL-L6310DW](#)

### HL-L5210DN/HL-L5210DW

エラーメッセージ	原因	対処方法
[他のデバイスと接続中です] [OKボタンを押してください]	本製品がグループオーナーのときに、4つのモバイル端末がすでにWi-Fi Direct ネットワークに接続されています。	本製品と他のモバイル端末との接続が切れてから、Wi-Fi Direct をもう一度設定してください。接続状態は、ネットワーク設定リストを印刷して確認することができます。
[ユーザー認証に失敗しました。管理者に問い合わせてください。]	ネットワークへの印刷ログ保存機能の認証設定が正しくありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>認証設定のユーザー名およびパスワード</b>が正しいことを確認します。ユーザー名がドメインの一部である場合、ユーザー@ドメインまたは、ドメイン\ユーザーのいずれかの形式でユーザー名を入力します。</li> <li>• SNTP タイムサーバーが正確に設定され、設定された時間が、認証のために Kerberos または NTLMv2 により使用される時間と一致することを確認します。</li> </ul>
[接続エラー]	他の機器が同時に、Wi-Fi Direct ネットワークに接続しようとしています。	Wi-Fi Direct への接続を試みている機器がないことを確認してから、Wi-Fi Direct の設定をもう一度行います。
[接続に失敗しました]	Wi-Fi Direct ネットワークの設定中は、本製品とお使いのモバイル端末が通信できません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• モバイル端末を本製品に近づけます。</li> <li>• 本製品とモバイル端末を、障害物のない場所に移動します。</li> <li>• WPS の PIN 方式を使用している場合、PIN コードは必ず正確に入力してください。</li> </ul>
[ファイルへアクセスできません。管理者に問い合わせてください。]	ネットワークへの印刷ログ保存機能の保存先フォルダーに、本製品がアクセスできません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 保存先のフォルダー名が正しいことを確認します。</li> <li>• 保存先のフォルダーが書き込み可能であることを確認します。</li> <li>• 印刷ログファイルがロックされていないことを確認します。ロックされている場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。</li> </ul>
[印刷の書き込みができません]	Web Based Management で、 <b>印刷ログ機能設定の書き込みエラー一時設定の印刷中止オプション</b> を選択しました。	このメッセージが画面から消えるまで、約 1 分間お待ちください。
[デバイスが見つかりません]	Wi-Fi Direct ネットワークの設定時に、本製品がお使いのモバイル端末を認識できません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本製品とお使いのモバイル端末が、Wi-Fi Direct モードであることを確認します。</li> <li>• モバイル端末を本製品に近づけます。</li> <li>• 本製品とモバイル端末を、障害物のない場所に移動します。</li> <li>• Wi-Fi Direct を手動で設定する場合、パスワードが正しく入力されたことを確認します。</li> <li>• お使いのモバイル端末に IP アドレスを取得するための設定ページがある場合、モバイル端末の IP アドレスが DHCP を通して設定されたことを確認します。</li> </ul>
[サーバーが見つかりません。管理者に問い合わせてください。]	本製品は、ネットワークへの印刷ログ保存機能のためのサーバーに接続できません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• サーバーのアドレスが正しいことを確認します。</li> <li>• サーバーがネットワークに接続していることを確認します。</li> <li>• 本製品がネットワークに接続されていることを確認してください。</li> </ul>
	本製品は LDAP サーバーに接続できません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• サーバーのアドレスが正しいことを確認します。</li> <li>• サーバーがネットワークに接続していることを確認します。</li> </ul>

エラーメッセージ	原因	対処方法
[サーバーが見つかりません。管理者に問い合わせてください。]		<ul style="list-style-type: none"> <li>本製品がネットワークに接続されていることを確認してください。</li> </ul>
	本製品は Active Directory サーバーに接続できません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>サーバーのアドレスが正しいことを確認します。</li> <li>サーバーがネットワークに接続していることを確認します。</li> <li>本製品がネットワークに接続されていることを確認してください。</li> </ul>
[時計が未設定です。管理者に問い合わせてください。]	本製品は、SNTP タイムサーバーから時間を取得しません。	SNTP タイムサーバーにアクセスするための設定値が、Web Based Management を使用して正しく設定されていることを確認します。

## HL-L6310DW

エラーメッセージ	原因	対処方法
[接続できません 他のデバイスと接続中です [OK] を押してください]	本製品がグループオーナーのときに、4つのモバイル端末がすでに Wi-Fi Direct ネットワークに接続されています。	<p>本製品と他のモバイル端末との接続が切れてから、Wi-Fi Direct をもう一度設定してください。接続状態は、ネットワーク設定リストを印刷して確認することができます。</p> <p>「関連情報」をご覧ください：ネットワーク設定レポートを印刷する</p>
[ユーザー認証に失敗しました 管理者に問い合わせてください]	ネットワークへの印刷ログ保存機能の認証設定が正しくありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>認証設定のユーザー名およびパスワードが正しいことを確認します。ユーザー名がドメインの一部である場合、ユーザー@ドメインまたは、ドメインユーザーのいずれかの形式でユーザー名を入力します。</li> <li>SNTP タイムサーバーが正確に設定され、設定された時間が、認証のために Kerberos または NTLMv2 により使用される時間と一致することを確認します。</li> </ul>
[ユーザー ID とパスワードを確認してください]	Kerberos 認証エラーです。	Kerberos サーバーのユーザー名とパスワードを正確に入力していることを確認します。Kerberos サーバーの設定値についての詳細は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
	DNS サーバーの設定が正しくありません。	ネットワーク管理者に問い合わせ、DNS サーバーの設定値を確認します。
	本製品は Kerberos サーバーに接続できません。	ネットワーク管理者に問い合わせ、Kerberos サーバーの設定値を確認します。
[接続エラー]	他の機器が同時に、Wi-Fi Direct ネットワークに接続しようとしています。	Wi-Fi Direct への接続を試みている機器がないことを確認してから、Wi-Fi Direct の設定をもう一度行います。
[接続に失敗しました]	Wi-Fi Direct ネットワークの設定中は、本製品とお使いのモバイル端末が通信できません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>モバイル端末を本製品に近づけます。</li> <li>本製品とモバイル端末を、障害物のない場所に移動します。</li> </ul>
[ファイルアクセスに失敗しました 管理者に連絡してください]	ネットワークへの印刷ログ保存機能の保存先フォルダーに、本製品がアクセスできません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>保存先のフォルダー名が正しいことを確認します。</li> <li>保存先のフォルダーが書き込み可能であることを確認します。</li> <li>印刷ログファイルがロックされていないことを確認します。ロックされている場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。</li> </ul>
[ログの書き込みができません]	Web Based Management で、印刷ログ機能設定の書き込みエラー時設定の印刷中止オプションを選択しました。	このメッセージが画面から消えるまで、約 1 分間お待ちください。
[デバイスが見つかりません]	Wi-Fi Direct ネットワークの設定時に、本製品がお使いのモバイル端末を認識できません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本製品とお使いのモバイル端末が、Wi-Fi Direct モードであることを確認します。</li> <li>モバイル端末を本製品に近づけます。</li> <li>本製品とモバイル端末を、障害物のない場所に移動します。</li> </ul>

エラーメッセージ	原因	対処方法
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• Wi-Fi Direct を手動で設定する場合、パスワードが正しく入力されたことを確認します。</li> <li>• お使いのモバイル端末に IP アドレスを取得するための設定ページがある場合、モバイル端末の IP アドレスが DHCP を通して設定されたことを確認します。</li> </ul>
[サーバーが見つかりません 管理者に問い合わせてください]	本製品は、ネットワークへの印刷ログ保存機能のためのサーバーに接続できません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• サーバーのアドレスが正しいことを確認します。</li> <li>• サーバーがネットワークに接続していることを確認します。</li> <li>• 本製品がネットワークに接続されていることを確認してください。</li> </ul>
[サーバーが見つかりません]	本製品は LDAP サーバーに接続できません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• サーバーのアドレスが正しいことを確認します。</li> <li>• サーバーがネットワークに接続していることを確認します。</li> <li>• 本製品がネットワークに接続されていることを確認してください。</li> </ul>
	本製品は Active Directory サーバーに接続できません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• サーバーのアドレスが正しいことを確認します。</li> <li>• サーバーがネットワークに接続していることを確認します。</li> <li>• 本製品がネットワークに接続されていることを確認してください。</li> </ul>
[時計が未設定です 管理者に問い合わせてください]	本製品は、SNTP タイムサーバーから時間を取得しません。	SNTP タイムサーバーにアクセスするための設定値が、Web Based Management を使用して正しく設定されていることを確認します。
[予期しないエラーが発生しました]	本製品の LDAP プロトコルが無効です。	認証方式を確認してから、必要なプロトコル設定を Web Based Management で有効にしてください。
	本製品の CIFS プロトコルが無効です。	

## ✓ 関連情報

- [ネットワークの問題](#)

### 関連トピック：

- [ネットワーク設定レポートを印刷する](#)

## ネットワーク診断修復ツールを使用する (Windows)

ネットワーク診断修復ツールを使用して本製品のネットワーク設定を修正してください。これにより IP アドレスとサブネットマスクの割り当てが行われます。

本製品の電源がオンになっており、パソコンと同じネットワークに接続されていることを確認してください。

1.  (Brother Utilities) を起動し、ドロップダウンリストをクリックし、お使いの機器のモデル名を選択します (未選択の場合)。
2. 左ナビゲーションバーの**ツール**をクリックして、**ネットワーク診断修復ツール**をクリックします。
3. 画面の指示に従います。
4. ネットワーク設定レポートまたはプリンター設定ページを印刷し、診断結果を確認します。



ステータスマニターで**接続状態を常に監視する**オプションを選択した場合、ネットワーク診断修復ツールが自動的に開始します。ステータスマニターを右クリックし、**その他の設定 > 接続状態を常に監視する**をクリックします。ネットワーク管理者が IP アドレスを「Static」に設定している場合は、IP アドレスが自動的に変更されるため推奨しません。

ネットワーク診断修復ツールを使用しても正しい IP アドレスとサブネットマスクが割り当てられない場合は、ネットワーク管理者にこれらの設定値をお問い合わせください。



### 関連情報

- [ネットワークの問題](#)

#### 関連トピック :

- [ネットワーク設定レポートを印刷する](#)
- [本製品で、ネットワーク経由の印刷ができません](#)
- [使用しているネットワーク機器が正しく動作していることを確認したい](#)

## 本製品のネットワーク設定を確認する

- [ネットワーク設定レポートを印刷する](#)

## 本製品のネットワークに問題がある場合

本製品のネットワーク環境に問題があると思われる場合は、以下の項目を確認してください。ほとんどの問題はご自身で解決できます。

さらにサポートが必要な場合は、[support.brother.co.jp](http://support.brother.co.jp) にアクセスして、**よくあるご質問 (Q&A)** ページをクリックしてください。

- 無線ネットワーク設定を完了できません
- 本製品で、ネットワーク経由の印刷ができません
- 使用しているネットワーク機器が正しく動作していることを確認したい

## 無線ネットワーク設定を完了できません

関連モデル: HL-L5210DW/HL-L6310DW

無線 LAN アクセスポイントルーターの電源を切って、電源を入れ直してください。その後で、再度、無線設定を行ってください。それでも問題が解決しない場合は、次の手順に従ってください。

無線 LAN レポートで問題について調べます。

原因	対処方法	インターフェイス
セキュリティの設定 (SSID/ネットワークキー) が正しくありません。	<p><b>無線 LAN 情報確認ツール</b>を使用して、セキュリティの設定を確認します (Windows)。ユーティリティの詳細とダウンロードについては、<a href="http://support.brother.com/downloads">support.brother.com/downloads</a> で、本モデルの<b>ソフトウェアダウンロードページ</b>を参照してください。</p> <p>セキュリティ設定が正しいことを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- セキュリティ設定については、お使いの無線 LAN アクセスポイントルーターに付属の取扱説明書をご覧ください。</li> <li>- セキュリティの初期設定に、無線 LAN アクセスポイントルーターの製造元の名前やモデル番号が使用されている可能性があります。</li> <li>- アクセスポイントルーターの製造元、インターネットプロバイダー、またはネットワーク管理者に確認します。</li> </ul>	無線 LAN
本製品の MAC アドレスが許可されていません。	<p>本製品の MAC アドレスがフィルターで許可されていることを確認してください。</p> <p>MAC アドレスは、本製品の操作パネルで確認できます。</p>	無線 LAN
無線 LAN アクセスポイントルーターが、ステルスモード (SSID を表示させない設定) です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 正しい SSID またはネットワークキーを手動で入力します。</li> <li>• お使いの無線 LAN アクセスポイントルーターに付属の取扱説明書に記載されている SSID やネットワークキーを確認し、無線ネットワークを再設定します。</li> </ul>	無線 LAN
セキュリティの設定 (SSID/パスワード) に誤りがあります。	<p>SSID とパスワードを確認します。</p> <p>ネットワークを手動で設定する際、本製品に SSID とパスワードが表示されます。お使いのモバイル端末が手動設定に対応している場合は、お使いのモバイル端末の画面に SSID とパスワードが表示されます。</p>	Wi-Fi Direct
Android™ 4.0 を使用しています。	<p>モバイル端末との接続が切れる場合 (Wi-Fi Direct を約 6 分使用した後) は、WPS によるワンタッチ方式を使用して (推奨)、本製品をグループオーナーに設定してみてください。</p>	Wi-Fi Direct
本製品とモバイル端末が離れすぎています。	<p>Wi-Fi Direct のネットワーク設定を行うときは、本製品とモバイル端末を 1 メートル程度まで近づけてください。</p>	Wi-Fi Direct
本製品とモバイル端末の間に、障害物 (壁や家具など) があります。	<p>本製品を障害物のない場所へ移動してください。</p>	Wi-Fi Direct
本製品またはモバイル端末の近くに、無線パソコン、Bluetooth®対応機器、電子レンジ、またはデジタルコードレス電話があります。	<p>これらすべての機器を、本製品とモバイル端末から離してください。</p>	Wi-Fi Direct
上記をすべて確認した後も、Wi-Fi Direct の設定ができない場合：	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本製品の電源を切って、電源を入れ直してください。その後で、再度、Wi-Fi Direct の設定を行ってください。</li> <li>• 本製品をクライアントとして使用している場合は、現在の Wi-Fi Direct ネットワークで接続可能な機器の台数を調べ、何台接続されているか確認してください。</li> </ul>	Wi-Fi Direct

---

## Windows の場合

無線接続が中断し、上記のすべてを確認して試した後でも問題が解決しない場合は、ネットワーク診断修復ツールを使用することをお勧めします。

### 関連情報

- 本製品のネットワークに問題がある場合

#### 関連トピック：

- SSID が隠ぺいされている場合に、本製品に無線ネットワークを設定する
-

## 本製品で、ネットワーク経由の印刷ができません

原因	対処方法	インターフェイス
お使いのセキュリティソフトウェアが、本製品のネットワークへのアクセスをブロックしています。	正常にインストールできた場合でも、一部のセキュリティソフトウェアは、セキュリティ警告のダイアログボックスを表示しないでアクセスをブロックする場合があります。 アクセスを許可するには、セキュリティソフトウェアの説明書を参照するか、ソフトウェアの製造元に問い合わせてください。	有線/無線
本製品に、有効な IP アドレスが割り当てられていません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>IP アドレスとサブネットマスクを確認します。 お使いのパソコンと本製品の、IP アドレスとサブネットマスクがいつでも正確で、同一のネットワーク上に存在することを確認します。 IP アドレスとサブネットマスクを確認する方法についての詳細は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。</li> <li>Windows ネットワーク診断修復ツールを使用して、IP アドレスとサブネットマスクを確認します。</li> </ul>	有線/無線
失敗した印刷ジョブが、パソコンの印刷キューに残っています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>失敗した印刷ジョブがパソコンの印刷キューに残っている場合は、そのジョブを削除します。</li> <li>または、以下のフォルダーでプリンターアイコンをダブルクリックし、すべての文書をキャンセルします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 11   &gt; <b>すべてのアプリ</b> &gt; <b>Windows ツール</b> &gt; <b>コントロール パネル</b> をクリックします。ハードウェアとサウンドグループで、<b>デバイスとプリンターの表示</b> をクリックします。</li> <li>Windows 10、Windows Server 2016、Windows Server 2019、および Windows Server 2022   &gt; <b>Windows システム ツール</b> &gt; <b>コントロール パネル</b> をクリックします。ハードウェアとサウンド (ハードウェア) グループで、<b>デバイスとプリンターの表示</b> をクリックします。</li> <li>Windows Server 2012 R2  <b>スタート画面でコントロール パネル</b> をクリックします。ハードウェアグループで、<b>デバイスとプリンターの表示</b> をクリックします。</li> <li>Windows Server 2012  マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、<b>設定</b> &gt; <b>コントロール パネル</b> をクリックします。ハードウェアグループで、<b>デバイスとプリンターの表示</b> &gt; <b>プリンター</b> をクリックします。</li> <li>Mac  <b>システム環境設定</b> &gt; <b>プリンタとスキャナ</b> をクリックします。</li> </ul> </li> </ul>	有線/無線
お使いの製品は無線ネットワークに接続されていません。	無線 LAN レポートを印刷して、エラーコードを確認します。 「 <a href="#">関連情報</a> 」をご覧ください： <a href="#">WLAN レポートを印刷する</a>	無線 LAN

上記のすべての対応を確認して試しても、本製品で印刷できない場合、ドライバー (Windows) をアンインストールし、再インストールしてください。

### ✓ 関連情報

- [本製品のネットワークに問題がある場合](#)

---

**関連トピック：**

- WLAN レポートを印刷する
  - 無線 LAN レポートのエラーコードについて
  - ネットワーク診断修復ツールを使用する (Windows)
  - 使用しているネットワーク機器が正しく動作していることを確認したい
-

## 使用しているネットワーク機器が正しく動作していることを確認したい

確認	対処方法	インターフェイス
本製品、アクセスポイント/ルーター、またはネットワークハブの電源が入っていることを確認します。	<p><b>次の点を確認してください。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電源コードが正しく接続され、本製品の電源が入っている。</li> <li>無線 LAN アクセスポイント/ルーターまたはハブの電源が入った状態で、リンクランプが点滅している。</li> <li>すべての保護用梱包材が本製品から取り除かれている。</li> <li>トナーカートリッジとドラムユニットが正しく取り付けられている。</li> <li>本製品のカバーが完全に閉まっている。</li> <li>用紙トレイに用紙が正しくセットされている。</li> <li>(有線 LAN の場合) ネットワークケーブルが、本製品と、ルーターまたはハブに確実に接続されている。</li> </ul>	有線/無線
ネットワーク設定レポートまたはプリンター設定ページで <b>Link Status</b> を確認します。	ネットワーク設定レポートを印刷し、 <b>Ethernet Link Status</b> または <b>Wireless Link Status</b> が <b>Link OK</b> であることを確認します。	有線/無線
パソコンから本製品に「ping」を実行できることを確認します。	<p>Windows のコマンドプロンプトまたは Mac Terminal アプリケーションで、IP アドレスまたはノード名を使用して、パソコンから本製品に対して ping を実行します。</p> <p>[&lt;ipaddress&gt;] または [&lt;nodename&gt;] を ping します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成功：本製品は正しく動作していて、お使いのパソコンと同じネットワークに接続されています。</li> <li>失敗：本製品は、お使いのパソコンと同じネットワークに接続されていません。</li> </ul> <p>Windows :</p> <p>管理者に IP アドレスとサブネットマスクを問い合わせしてから、ネットワーク診断修復ツールを使用してください。</p> <p>Mac :</p> <p>IP アドレスとサブネットマスクが正しく設定されていることを確認してください。</p>	有線/無線
本製品が無線 LAN に接続されていることを確認します。	無線 LAN レポートを印刷して、エラーコードを確認します。 「関連情報」をご覧ください：WLAN レポートを印刷する	無線 LAN

上記の対策をすべて試みても問題が解決しない場合は、お使いのお使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターの説明書で SSID (ネットワーク名) とネットワークキー (パスワード) の情報を参照し、それらを正しく設定してください。

### ✓ 関連情報

- 本製品のネットワークに問題がある場合

#### 関連トピック：

- [ネットワーク設定レポートを印刷する](#)
- [WLAN レポートを印刷する](#)
- [無線 LAN レポートのエラーコードについて](#)
- [ネットワーク診断修復ツールを使用する \(Windows\)](#)
- 本製品で、ネットワーク経由の印刷ができません

## AirPrint の問題

問題	対応
本製品がプリンター一覧に表示されません。	本製品の電源が入っていることを確認します。
	本製品とモバイル端末または Mac が同じネットワークに接続されていることを確認してください。
	モバイル端末を無線 LAN アクセスポイント/ルーター、または本製品の近くに移動させます。
印刷できません。	本製品の電源が入っていることを確認します。
	本製品とモバイル端末または Mac が同じネットワークに接続されていることを確認してください。
iOS 機器から複数ページの文書を印刷しようとしていますが、最初のページしか印刷されません。	最新版の OS を実行していることを確認してください。

### ✓ 関連情報

- [トラブルシューティング](#)

#### 関連トピック：

- [AirPrint の概要](#)

## その他の問題

問題	対応
本製品の電源が入りません。	<p>電源接続部への悪影響（雷や電力サージなど）により、本製品の内部安全機構が作動した可能性があります。電源コードを抜いてください。約 10 分待ってから電源コードを接続し、を押して本製品の電源を入れます。</p> <p>問題が解決しない場合は、を長押しして本製品の電源を切ります。バックアップ電池またはサージ抑制器を使用している場合、これを外して問題の原因でないことを確認します。本製品の電源コードを直接、動作していることが確実な別の壁面コンセントへ接続し、を押して本製品の電源を入れます。</p>
本製品の BR-Script3 プリンタードライバーでは、バイナリコードを含む EPS データは印刷できません。	<p><b>(Windows)</b></p> <p>以下の手順で EPS データを印刷します。</p> <p>1. Windows 11 :</p> <p> &gt; <b>すべてのアプリ &gt; Windows ツール &gt; コントロール パネル</b>をクリックします。ハードウェアとサウンドグループで、<b>デバイスとプリンターの表示</b>をクリックします。</p> <p>Windows 10、Windows Server 2016、Windows Server 2019、および Windows Server 2022 の場合 :</p> <p> &gt; <b>Windows システム ツール &gt; コントロール パネル</b>をクリックします。ハードウェアとサウンド（ハードウェア）グループで、<b>デバイスとプリンターの表示</b>をクリックします。</p> <p>Windows Server 2012 の場合 :</p> <p>マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、<b>設定 &gt; コントロール パネル</b>をクリックします。ハードウェアグループで、<b>デバイスとプリンターの表示</b>をクリックします。</p> <p>Windows Server 2012 R2 の場合:</p> <p>スタート画面で<b>コントロール パネル</b>をクリックします。ハードウェアグループで、<b>デバイスとプリンターの表示</b>をクリックします。</p> <p>2. 名前に <b>BR-Script3</b> を含むモデルのアイコンを右クリックし、<b>プリンターのプロパティ</b>を選択します。</p> <hr/> <p> <b>BR-Script3</b> を含むお使いのモデルが表示されない場合は、お使いのモデルのアイコンを右クリックし、<b>プリンターのプロパティ</b>を選択して、<b>BR-Script3</b> を含むモデル名を選択してください。</p> <hr/> <p>3. <b>デバイスの設定</b>タブから、<b>出カプロトコル</b>にある TBCP (Tagged Binary Communication Protocol) を選択します。</p>
本製品のソフトウェアをインストールできません。	<p><b>(Windows)</b></p> <p>インストール中にセキュリティソフトウェアの警告がコンピューター画面に表示された場合、ブラザー製品のセットアッププログラムや他のプログラムを実行できるように、セキュリティソフトウェアの設定を変更します。</p> <p><b>(Mac)</b></p> <p>アンチスパイウェアまたはアンチウイルスセキュリティソフトウェアのファイアウォール機能を使用している場</p>

---

問題	対応
	合、一次的に無効にしてから本製品のソフトウェアをインストールします。

---

 **関連情報**

- [トラブルシューティング](#)
-

## 本製品の情報を確認する

以下の指示に従って、本製品のシリアル番号とファームウェアバージョンを確認してください。

>> [HL-L5210DN/HL-L5210DW](#)

>> [HL-L6310DW](#)

### HL-L5210DN/HL-L5210DW

1. ▲ または ▼ を押して、[製品情報] を選択し、**OK** を押します。
2. ▲ または ▼ を押して、以下のオプションのいずれかを選択します。

オプション	詳細
[シリアル No.]	製品のシリアル番号を確認します。
[ファームウェア]	製品のファームウェアバージョンを確認します。
[印刷枚数表示]	製品が印刷した合計ページ数を確認します。
[消耗品寿命]	消耗品の使用可能な寿命を確認します。

3. **OK** を押します。

### HL-L6310DW

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [製品情報] を押します。
2. 以下のオプションのいずれかを押します。

オプション	詳細
[シリアル No.]	製品のシリアル番号を確認します。
[ファームウェアバージョン]	製品のファームウェアバージョンを確認します。
[ファームウェア更新]	製品を最新のファームウェアに更新します。
[ファームウェア 更新通知]	ホーム画面でファームウェアの情報を確認します。
[印刷枚数表示]	製品が印刷した合計ページ数を確認します。
[消耗品寿命]	消耗品の使用可能な寿命の割合を確認します。

3.  を押します。

### ✓ 関連情報

- [トラブルシューティング](#)

## リセット機能

- [機能設定リセット](#)
- [ネットワーク設定のリセット](#)
- [出荷状態リセット](#)

## 機能設定リセット

製品リセット機能を使用して、製品の設定をお買い上げ時の設定にリセットします。

ネットワーク設定とセキュリティ設定は、製品リセット機能ではリセットされません。

>> [HL-L5210DN/HL-L5210DW](#)

>> [HL-L6310DW](#)

### HL-L5210DN/HL-L5210DW

- ▲ または ▼ を押して以下を選択します。
  - [初期設定] を選択します。OK を押します。
  - [リセット] を選択します。OK を押します。
  - [機能設定リセット] を選択します。OK を押します。
- ▲ を押して、[リセット] を選択します。
- ▲ を押して、本製品を再起動します。

### HL-L6310DW

-  [メニュー] > [全てのメニュー] > [初期設定] > [設定リセット] > [機能設定リセット] を押します。
- 次のいずれかを行ってください：

オプション	詳細
[はい] を 2 秒間押します。	本製品を再起動します。本製品がリセットを開始します。
[いいえ] を押します。	本製品が再起動せずに終了します。



再起動せずに終了した場合、本製品はリセットされず、設定も変更されないままとなります。

### ✓ 関連情報

- [リセット機能](#)

## ネットワーク設定のリセット

パスワードや IP アドレスなど、本製品のネットワーク設定をお買い上げ時の設定に戻すには、ネットワーク設定リセット機能を使用します。

ネットワーク設定をリセットする前に、すべてのインターフェースケーブルのプラグを抜いてください。

>> [HL-L5210DN/HL-L5210DW](#)

>> [HL-L6310DW](#)

### HL-L5210DN/HL-L5210DW

- ▲ または ▼ を押して以下を選択します。
  - [初期設定] を選択します。OK を押します。
  - [リセット] を選択します。OK を押します。
  - [ネットワーク設定リセット] を選択します。OK を押します。
- ▲ を押して、[リセット] を選択します。
- ▲ を押して、本製品を再起動します。

### HL-L6310DW

-  [メニュー] > [全てのメニュー] > [初期設定] > [ネットワーク設定リセット] を押します。
- 次のいずれかを行ってください：

オプション	詳細
[はい] を 2 秒間押します。	本製品を再起動します。本製品がリセットを開始します。
[いいえ] を押します。	本製品が再起動せずに終了します。



再起動せずに終了した場合、本製品はリセットされず、設定も変更されないままとなります。

### ✓ 関連情報

- [リセット機能](#)

## 出荷状態リセット

工場出荷時リセット機能を使用して、すべての設定をお買い上げ時の設定に戻します。

工場出荷時リセットを実行する前に、すべてのインターフェイスクーブルのプラグを抜いてください。

>> [HL-L5210DN/HL-L5210DW](#)

>> [HL-L6310DW](#)

### HL-L5210DN/HL-L5210DW

- ▲ または ▼ を押して以下を選択します。
  - [初期設定] を選択します。OK を押します。
  - [リセット] を選択します。OK を押します。
  - [出荷状態リセット] を選択します。OK を押します。
- ▲ を押して、[リセット] を選択します。
- ▲ を押して、本製品を再起動します。

### HL-L6310DW

-  [メニュー] > [全てのメニュー] > [初期設定] > [設定をリセットする] を押します。
- 次のいずれかを行ってください：

オプション	詳細
[はい] を 2 秒間押します。	本製品を再起動します。本製品がリセットを開始します。
[いいえ] を押します。	本製品が再起動せずに終了します。



再起動せずに終了した場合、本製品はリセットされず、設定も変更されないままとなります。

### ✓ 関連情報

- [リセット機能](#)

## 日常のお手入れ

- 消耗品を交換する
- 本製品を清掃する
- 部品の残りの寿命を確認する
- 製品とトナーカートリッジをまとめて梱包する
- 定期メンテナンス部品を交換する

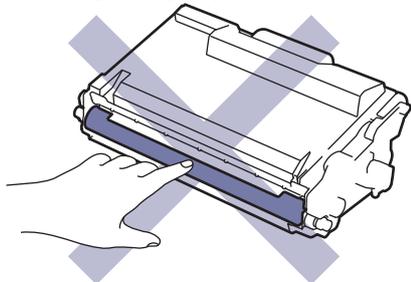
## 消耗品を交換する

本製品が消耗品の寿命が来たことを示している場合、消耗品を交換しなければなりません。

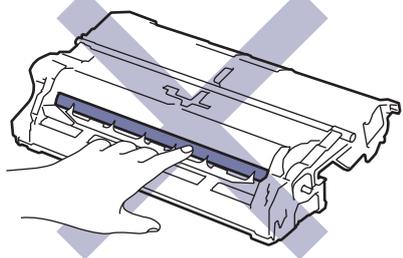
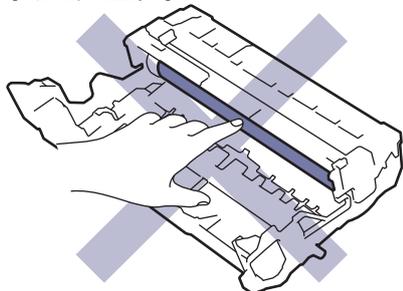
### 重要

印刷品質の問題を回避するため、イラストで色のついている部分には絶対に触れないでください。

#### トナーカートリッジ



#### ドラムユニット

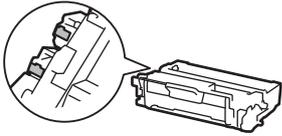


### お願い

- 必ず、使用済みの消耗品を袋に入れ、しっかりと封をして、トナーの粉末がカートリッジからこぼれないようにしてください。
- 誤って中身をこぼしたりまき散らしたりしてしまうことがないように、新品の消耗品と使用済み消耗品にはそれぞれ紙を貼付して保管することをお勧めしています。
- 推奨される印刷メディア以外の用紙を使用すると、消耗品や本体部品の寿命が短くなることがあります。
- 各トナーカートリッジの一般的な寿命は、ISO/IEC 19752 に準拠しています。交換頻度は印刷量、印刷範囲、使用している印刷メディア、製品電源をオン/オフする回数により異なります。
- トナーカートリッジ以外の消耗品の交換頻度は、印刷量、使用している印刷メディア、製品電源をオン/オフする回数により異なります。
- トナーカートリッジは慎重にお取り扱いください。トナーが手や洋服に付着した場合は、直ちに拭き取るか、冷水で洗い流してください。



トナーカートリッジとドラムユニットはどちらも IC チップを搭載しています。その表面には触れないでください。IC チップに触れると汚れや損傷の原因となり、こうしたコンポーネントを検出する製品の機能に支障をきたすことがあります。

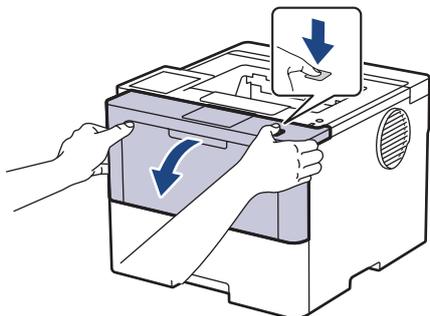


## 関連情報

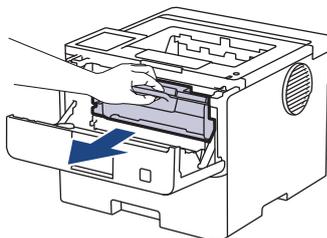
- 日常のお手入れ
  - トナーカートリッジを交換する
  - ドラムユニットを交換する

## トナーカートリッジを交換する

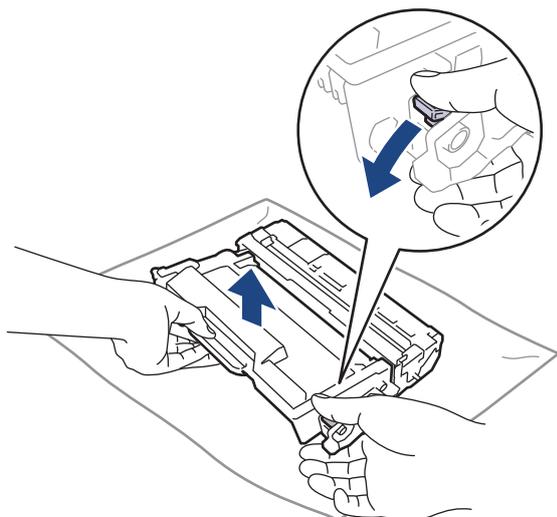
1. 本製品の電源が入っていることを確認します。
2. フロントカバーを開けます。



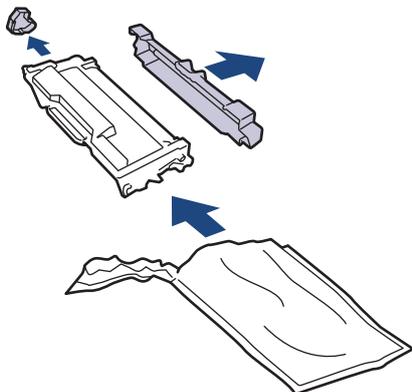
3. トナーカートリッジとドラムユニットのセットを、本製品から取り外します。



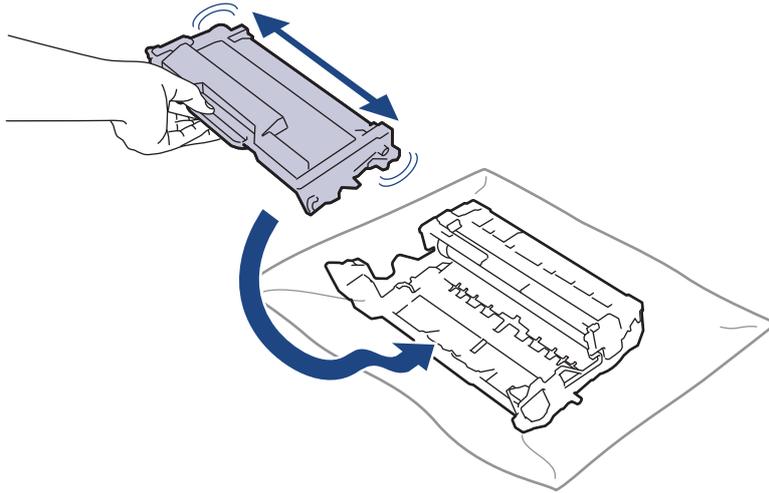
4. 緑色のレバーを押し下げ、トナーカートリッジをドラムユニットから取り外します。



5. 新しいトナーカートリッジを開封します。
6. 保護カバーを取り除きます。

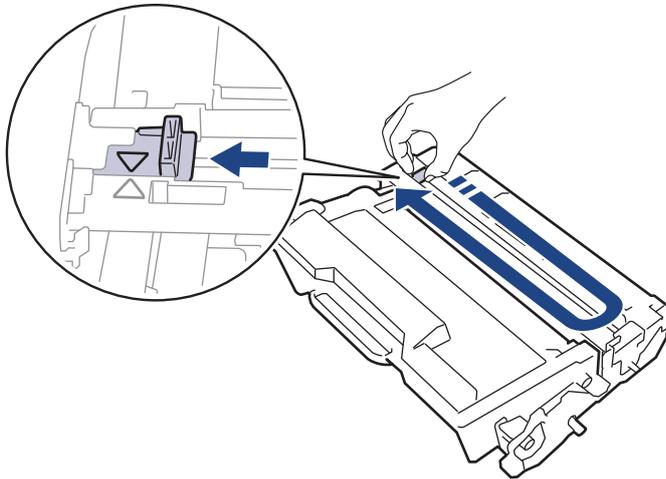


7. トナーカートリッジのハンドルを持ち、図のように左から右へ数回振ります。その後、所定の位置に固定されるまでしっかりとドラムユニットに押し込みます。



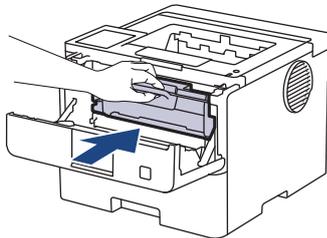
トナーカートリッジが正しく差し込まれたことを確認しないと、ドラムユニットから外れる場合があります。

8. 緑色のタブを左右に数回ゆっくりと滑らせて、ドラムユニット内側のコロナワイヤーを清掃します。



必ずタブをホームポジションに戻してください。▲タブの矢印をドラムユニットの矢印に合わせる必要があります。矢印を合わせないと、印刷されたページに縦縞が現れます。

9. トナーカートリッジとドラムユニットのセットを、本製品に再装着します。



10. 本製品のフロントカバーを閉じます。



- 本製品が待機モードに戻るまで本製品の電源を切ったり、フロントカバーを開けたりしないでください。
- 本製品に付属するトナーカートリッジはスタータートナーカートリッジです。
- トナー残量が少ないことを知らせる警告メッセージが表示されたら、新品のトナーカートリッジを手元に準備しておくことをお勧めします。
- 必ず、装着する準備が完了してから新しいトナーカートリッジを開封してください。
- トナーカートリッジを長期間開封したまま置いておくと、トナーの使用可能期間が短くなります。
- 安定した印刷品質と性能を確保するために、ブラザー純正品のご使用をお勧めします。すべての非純正品が品質の問題を引き起こすわけではありませんが、一部の非純正品が印刷品質に悪影響を与えたり、製品の故障の原因になったりする可能性があります。非純正品による故障が証明された場合、保証期間内であっても有償修理となる場合があります。



## 関連情報

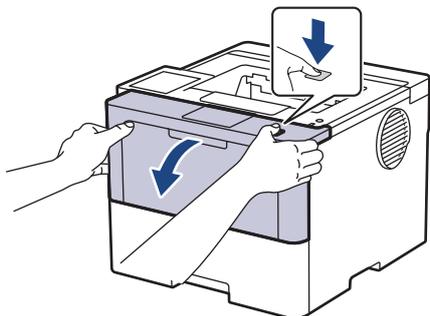
- [消耗品を交換する](#)

### 関連トピック：

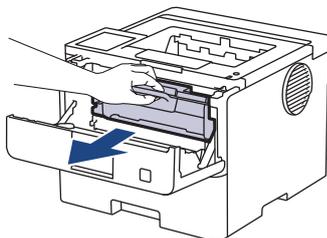
- [印刷品質の改善](#)
- [エラーメッセージとメンテナンスメッセージ](#)

## ドラムユニットを交換する

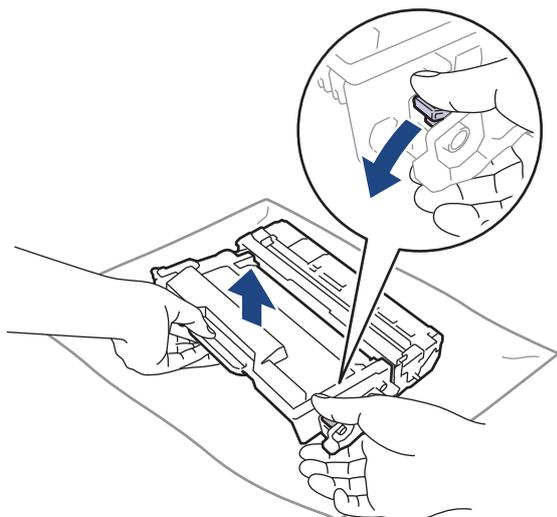
1. 本製品の電源が入っていることを確認します。
2. フロントカバーを開けます。



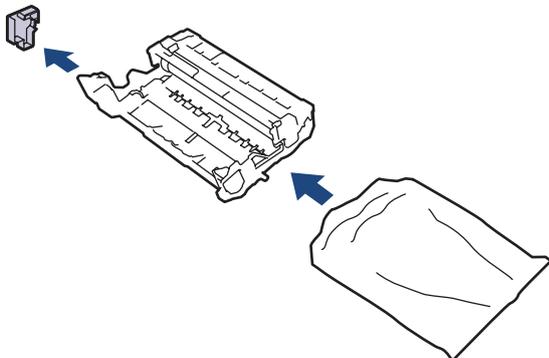
3. トナーカートリッジとドラムユニットのセットを、本製品から取り外します。



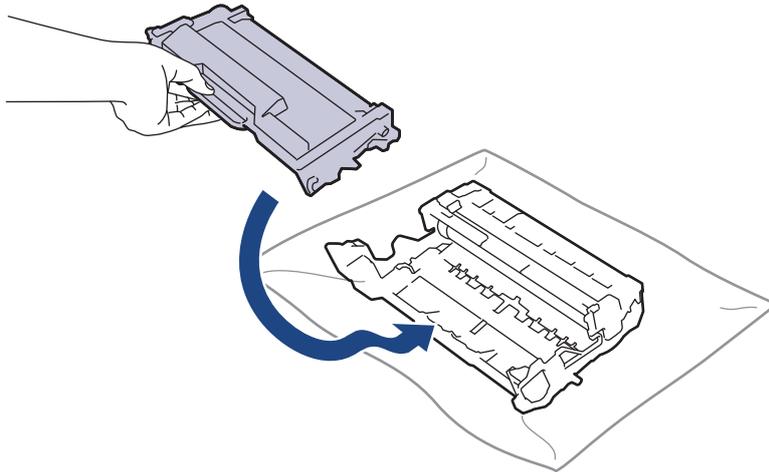
4. 緑色のレバーを押し下げ、トナーカートリッジをドラムユニットから取り外します。



5. 新しいドラムユニットを開封します。
6. 保護カバーを取り除きます。

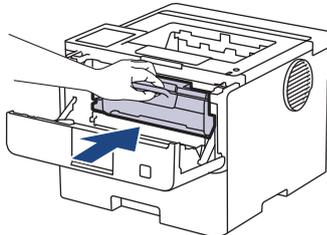


7. トナーカートリッジを新しいドラムユニットへ正しい位置に固定されるまでしっかりと押し込みます。



 トナーカートリッジが正しく差し込まれたことを確認しないと、ドラムユニットから外れる場合があります。

8. トナーカートリッジとドラムユニットのセットを、本製品に再装着します。



9. 本製品のフロントカバーを閉じます。

## お願い

- ドラムは回転や、紙やトナー、その他の排紙で使用される資材との摩擦などにより磨耗します。本製品を設計する際に、ドラムの寿命決定要因の1つであるドラム回転数を決定しました。ドラムが工場の設定した最大回転数（印刷枚数に対応）に達すると、液晶ディスプレイにドラムを交換することを促すメッセージが表示されます。製品は引き続き動作しますが、印字品質が落ちる可能性があります。
- ドラムユニットを開封したまま直射日光の当たる場所（または室内照明の当たる場所に長期間）置いておくと、ユニットが損傷する可能性があります。
- 実際のドラム寿命は製品が使用されている環境の温度や湿度、用紙やトナーの種類などさまざまな原因により異なります。理想的な条件下では、平均的なドラム寿命は、1 ジョブ 3 ページとした場合で約 75,000 ページ、1 ジョブ 1 ページ（A4/レター片面ページ）とした場合は約 45,000 ページと推定されます。印刷可能枚数は、使用環境や用紙の種類、連続印刷枚数などによって異なります。  
弊社は実際のドラムの寿命を決定するこれらの原因を特定できないため、ドラムにより印刷される最低枚数を保証することはできません。
- 本製品は十分な換気設備のある、清潔で埃のない環境でのみ使用してください。  
安定した印刷品質と性能を確保するために、ブラザー純正品のご使用をお勧めします。すべての非純正品が品質の問題を引き起こすわけではありませんが、一部の非純正品が印刷品質に悪影響を与えたり、製品の故障の原因になったりする可能性があります。非純正品による故障が証明された場合、保証期間内であっても有償修理となる場合があります。

## ✓ 関連情報

- [消耗品を交換する](#)

### 関連トピック：

- [印刷品質の改善](#)
- [エラーメッセージとメンテナンスメッセージ](#)

## 本製品を清掃する

本製品の外側と内側は、乾いた、柔らかくて繊維の出ない布で定期的に清掃してください。

トナーカートリッジまたはドラムユニットを交換した場合は、本製品の内部を必ず清掃してください。印刷したページにトナーの汚れが付着している場合は、乾いた柔らかくて繊維の出ない布で本製品の内部を清掃します。

### 警告

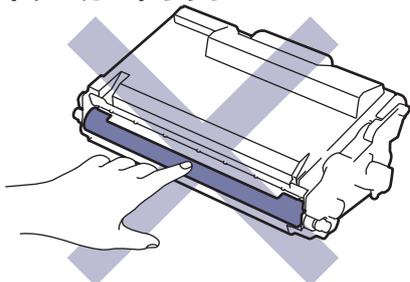
本製品の内側または外側を清掃する場合、可燃性物質、スプレー類、有機溶剤、アルコールを含む液体、アンモニアなどを絶対に使用しないでください。火災の原因になります。乾いた、柔らかくて繊維の出ない布をお使いください。



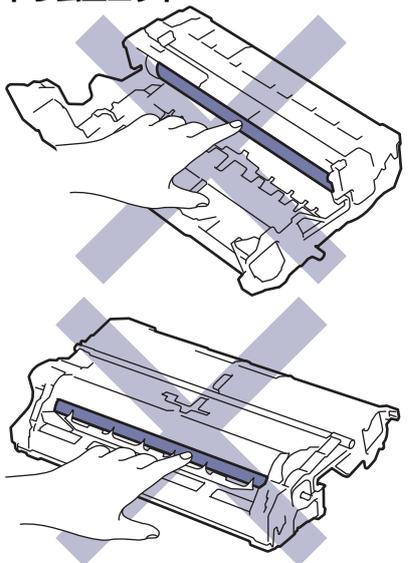
### 重要

- イソプロピルアルコールで操作パネルを拭かないでください。操作パネルにひびが入るおそれがあります。
- 印刷品質の問題を回避するため、イラストで色のついた部分には絶対に触れないでください。

#### トナーカートリッジ

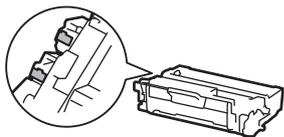


#### ドラムユニット





トナーカートリッジとドラムユニットはどちらも IC チップを搭載しています。その表面には触れないでください。IC チップに触れると汚れや損傷の原因となり、こうしたコンポーネントを検出する製品の機能に支障をきたすことがあります。



## 関連情報

- 日常のお手入れ
  - 画面を清掃する
  - コロナワイヤーを清掃する
  - ドラムユニットを清掃する
  - 給紙ローラーを清掃する

## 画面を清掃する

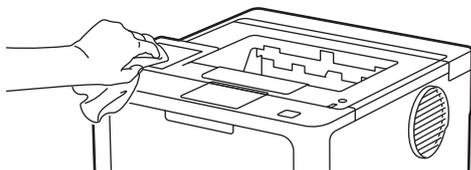
関連モデル: HL-L6310DW

清掃手順を開始する前に「関連情報」をご覧ください：本製品を清掃する

### 重要

(エタノールなどの) 液体クリーナーは絶対に使用しないでください。

1.  を長押しして本製品の電源を切ります。
2. 柔らかくて繊維の出ない乾いた布で画面を拭きます。



3.  を押して本製品の電源を入れます。

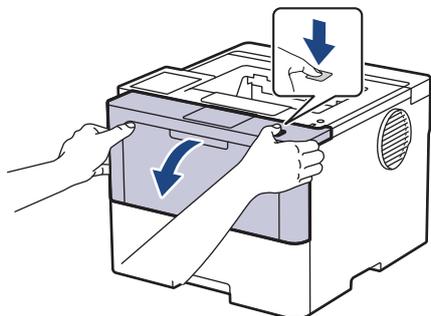
### ✓ 関連情報

- [本製品を清掃する](#)

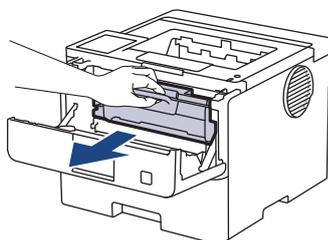
## コロナワイヤーを清掃する

印刷品質に問題がある場合、または操作パネルに「ドラム 桁化」表示が表示される場合は、コロナワイヤーを清掃してください。

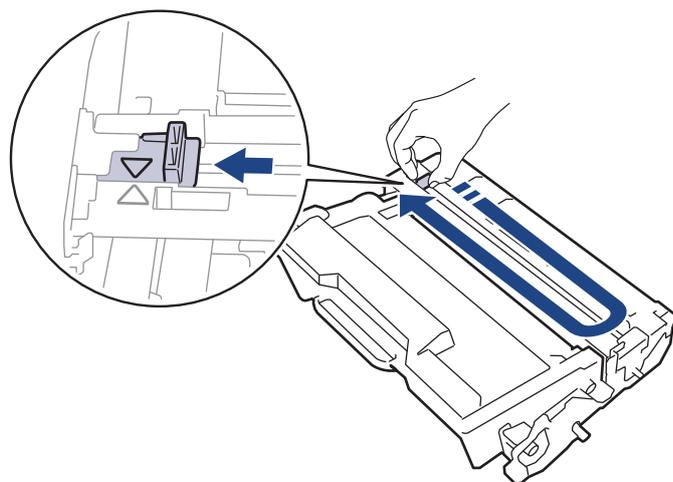
1. フロントカバーを開けます。



2. トナーカートリッジとドラムユニットのセットを、本製品から取り外します。

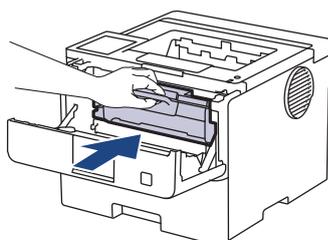


3. 緑色のタブを左右に数回ゆっくりと滑らせて、ドラムユニット内側のコロナワイヤーを清掃します。



必ずタブを定位置に戻してください。▲タブの矢印をドラムユニットの矢印に合わせる必要があります。矢印を合わせないと、印刷されたページに縦縞が現れます。

4. トナーカートリッジとドラムユニットのセットを、本製品に再装着します。



5. 本製品のフロントカバーを閉じます。

### ✓ 関連情報

- 本製品を清掃する

---

**関連トピック：**

- [エラーメッセージとメンテナンスメッセージ](#)
-

## ドラムユニットを清掃する

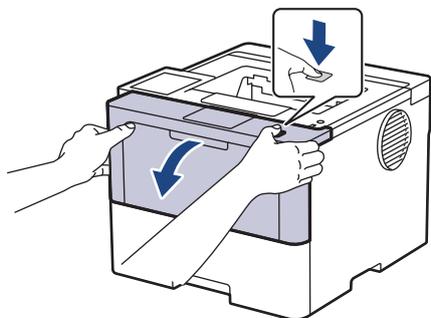
印刷したものにドット状などのしみが複数箇所にわたり 94 mm 間隔で 付着している場合、ドラムに異物（ドラムの表面に付着したラベルの接着剤など）が付いていることがあります。

>> HL-L5210DN/HL-L5210DW

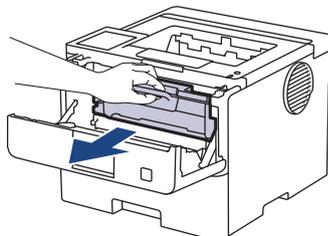
>> HL-L6310DW

### HL-L5210DN/HL-L5210DW

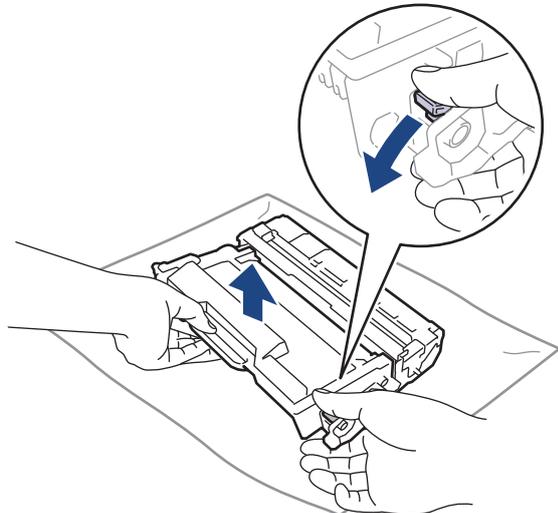
1. 本製品が待機モードになっていることを確認します。
2. ▲ または ▼ を押して、[レポート印刷] を表示し、OK を押します。
3. ▲ または ▼ を押して、[ドラム汚れ印刷] オプションを選択します。
4. OK を押します。  
本製品がドラムチェックシートを印刷します。
5.  を長押しして本製品の電源を切ります。
6. フロントカバーを開けます。



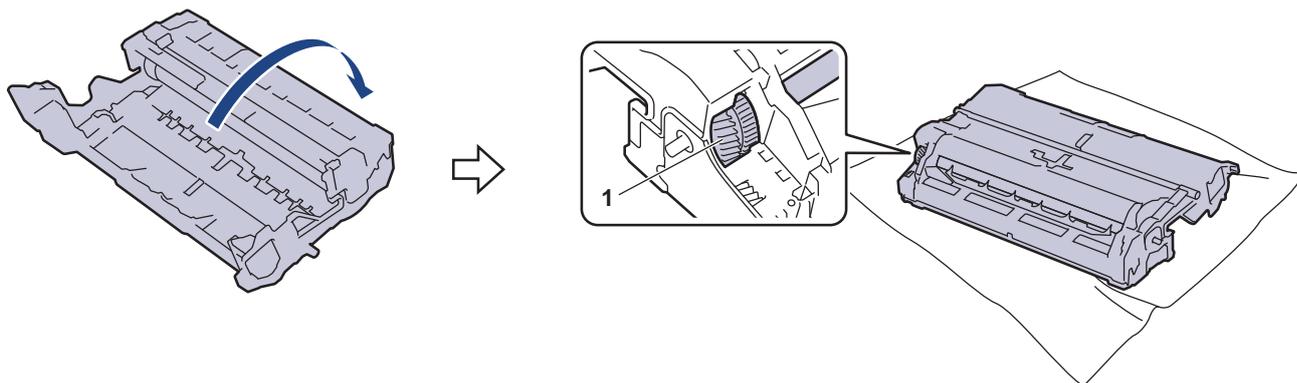
7. トナーカートリッジとドラムユニットのセットを、本製品から取り外します。



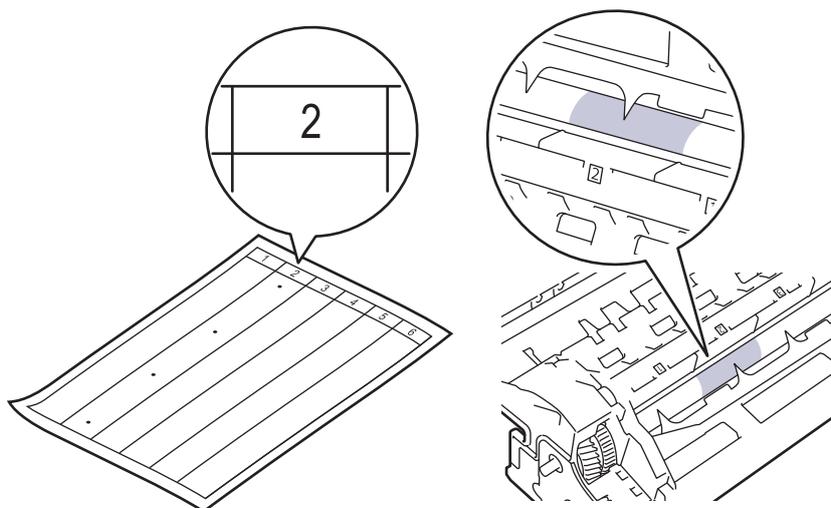
8. 緑色のレバーを押し下げ、トナーカートリッジをドラムユニットから取り外します。



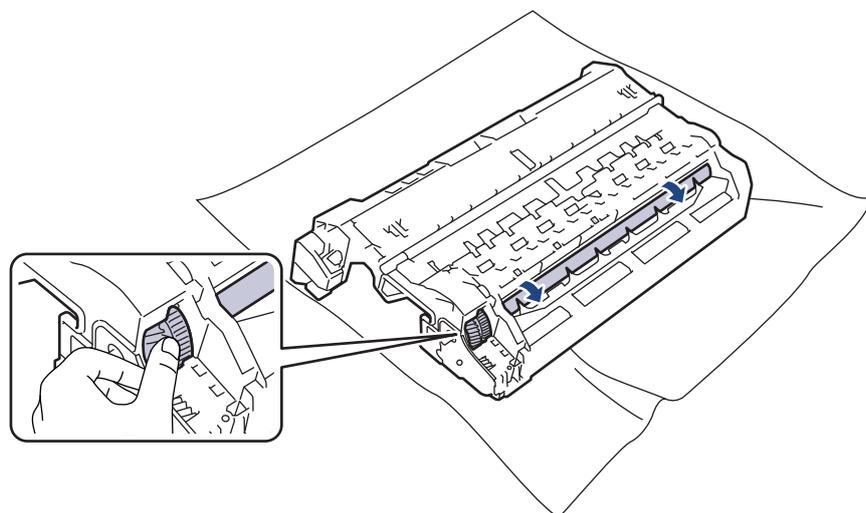
9. ドラムユニットをイラストのように回します。ドラムユニットギア (1) が左側にあることを確認してください。



10. ドラムローラーの隣にマーキングされている番号で、ドラムの汚れの場所を探します。例えば、チェックシートの2列目に汚れが付着している場合は、「2番」のドラムが汚れている可能性があります。



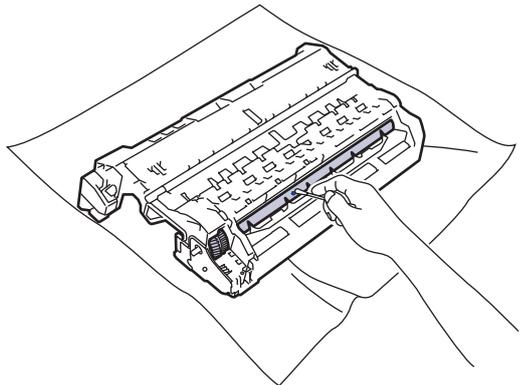
11. ドラムユニットの端を手前に回しながら、ドラム表面の汚れが付着している可能性のある場所を探します。



## 重要

印刷品質の問題を回避するため、ドラムユニット表面（端を除く）には絶対に触れないでください。

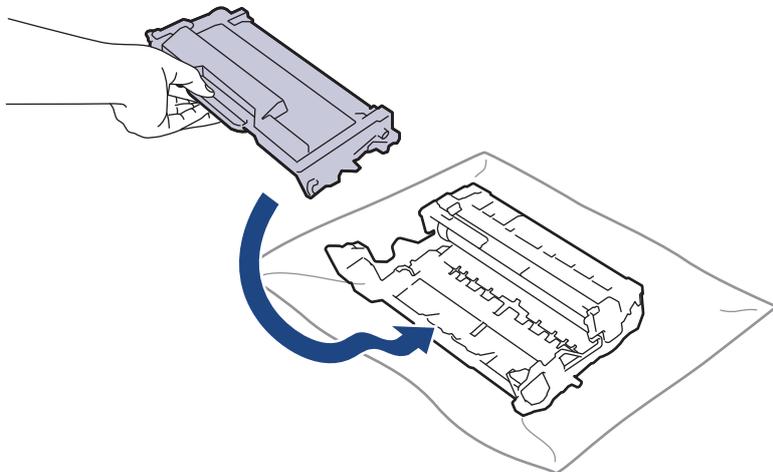
12. 乾いた綿棒でドラムユニット表面の汚れや異物がなくなるまで、表面をやさしく拭きます。



## お願い

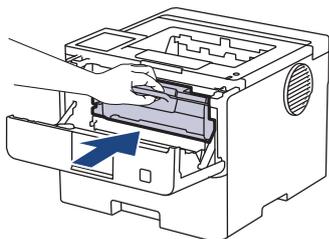
尖ったものや液体を使用して感光ドラムの表面を清掃しないでください。

13. トナーカートリッジをドラムユニットへ正しい位置に固定されるまでしっかりと押し込みます。



トナーカートリッジが正しく差し込まれたことを確認しないと、ドラムユニットから外れる場合があります。

14. トナーカートリッジとドラムユニットのセットを、本製品に再装着します。



15. 本製品のフロントカバーを閉じます。

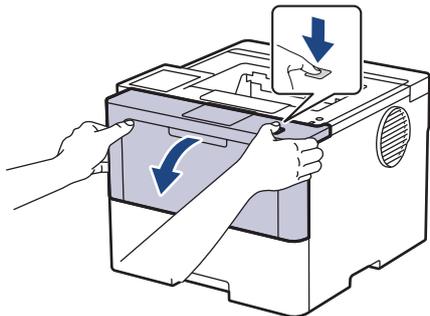
16. を押して本製品の電源を入れます。

## HL-L6310DW

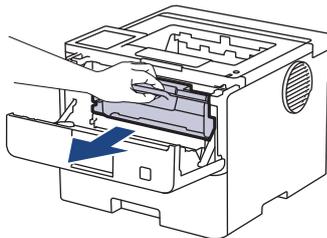
1. 本製品が待機モードになっていることを確認します。
2.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [レポート印刷] > [ドラム汚れ印刷] を押します。
3. [OK] を押します。  
本製品がドラムチェックシートを印刷します。
4.  を押します。

5. を長押しして本製品の電源を切ります。

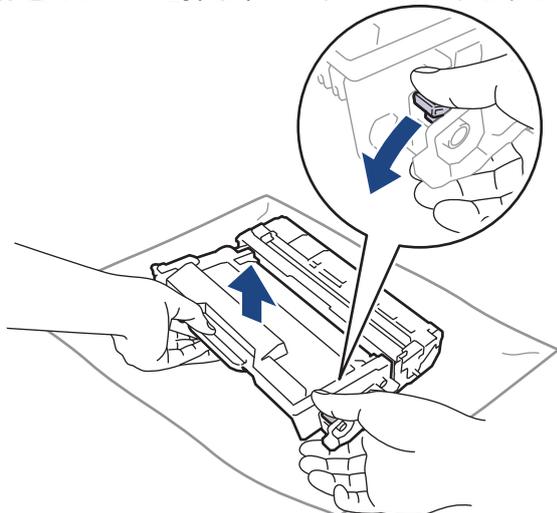
6. フロントカバーを開けます。



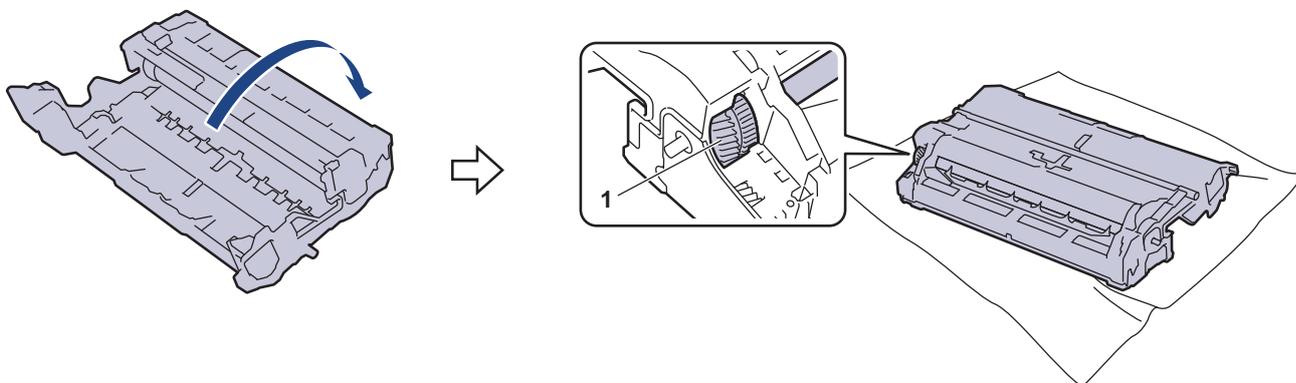
7. トナーカートリッジとドラムユニットのセットを、本製品から取り外します。



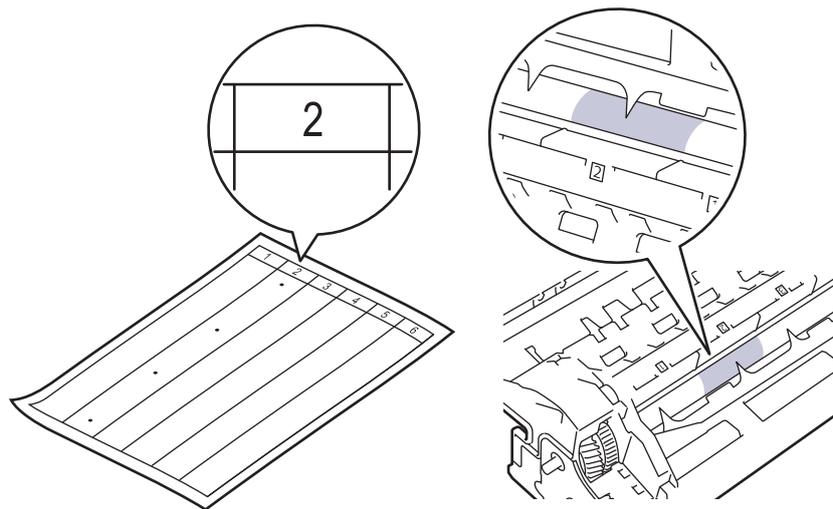
8. 緑色のレバーを押し下げ、トナーカートリッジをドラムユニットから取り外します。



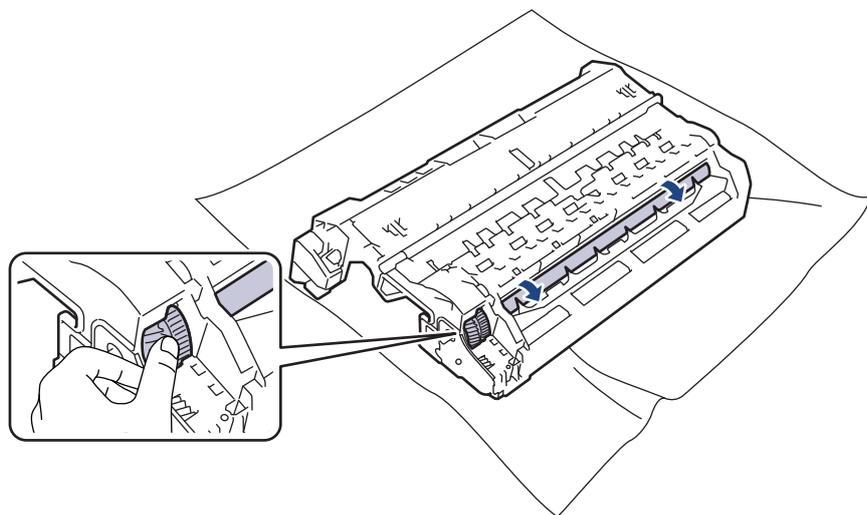
9. ドラムユニットをイラストのように回します。ドラムユニットギア (1) が左側にあることを確認してください。



10. ドラムローラーの隣にマーキングされている番号で、ドラムの汚れの場所を探します。例えば、チェックシート上の2列目に汚れが付着している場合は、「2番」のドラムが汚れている可能性があります。



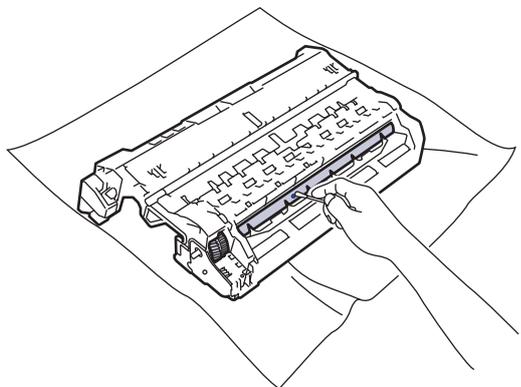
11. ドラムユニットの端を手前に回しながら、ドラム表面の汚れが付着している可能性のある場所を探します。



## 重要

印刷品質の問題を回避するため、ドラムユニット表面（端を除く）には絶対に触れないでください。

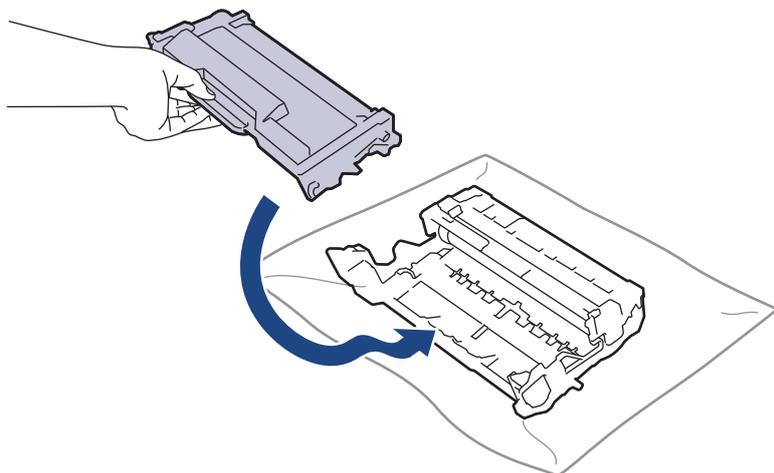
12. 乾いた綿棒でドラムユニット表面の汚れや異物がなくなるまで、表面をやさしく拭きます。



## お願い

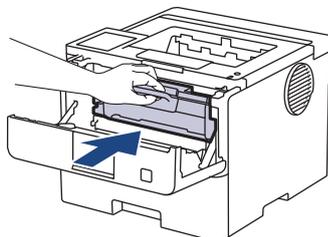
尖ったものや液体を使用して感光ドラムの表面を清掃しないでください。

13. トナーカートリッジをドラムユニットへ正しい位置に固定されるまでしっかりと押し込みます。



 トナーカートリッジが正しく差し込まれたことを確認しないと、ドラムユニットから外れる場合があります。

14. トナーカートリッジとドラムユニットのセットを、本製品に再装着します。



15. 本製品のフロントカバーを閉じます。

16.  を押して本製品の電源を入れます。

### 関連情報

- [本製品を清掃する](#)

#### 関連トピック：

- [印刷品質の改善](#)

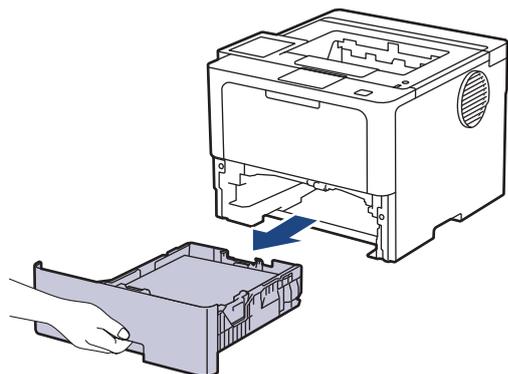
## 給紙ローラーを清掃する

給紙ローラーの清掃を定期的に行うことで、給紙が適切に行われるようになり、紙詰まりを防ぎます。

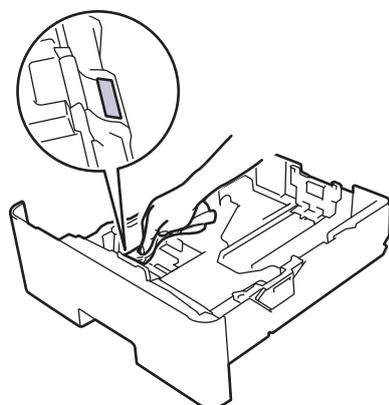
清掃手順を開始する前に「関連情報」をご覧ください：本製品を清掃する

給紙の問題がある場合は、以下の手順で給紙ローラーを清掃してください。

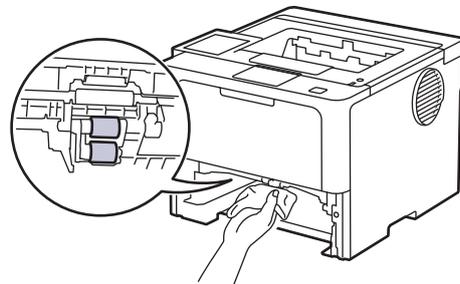
1. 電源ボタンを長押しして本製品の電源を切ります。
2. 用紙トレイを本製品から完全に引き出します。



3. 用紙がセットされている場合、または用紙トレイの内側にはさまれているものがある場合は取り除いてください。
4. むるま湯を含ませた柔らかくて繊維の出ない布をしっかりと絞り、用紙トレイの分離パッドを拭いてほこりを取り除きます。



5. 本製品内部の給紙ローラーを拭いてほこりを取り除きます。



6. 用紙をもう一度セットし、用紙トレイを本製品へしっかりと戻します。
7. 電源ボタンを押して本製品の電源を入れます。

### ✓ 関連情報

- [本製品を清掃する](#)

---

**関連トピック：**

- [印刷の問題](#)
  - [紙詰まりの解消](#)
-

## 部品の残りの寿命を確認する

>> HL-L5210DN/HL-L5210DW

>> HL-L6310DW

### HL-L5210DN/HL-L5210DW

- ▲ または ▼ を押して以下を選択します。
  - [製品情報] を選択します。OK を押します。
  - [消耗品寿命] を選択します。OK を押します。
- ▲ または ▼ を押して、確認したい本製品の場所を選択し、OK を押します。  
画面に部品のだまかな残りの寿命が表示されます。

### HL-L6310DW

-  [メニュー] > [全てのメニュー] > [製品情報] > [消耗品寿命] を押します。
- ▲ または ▼ を押して本製品の部品を表示し、確認したい部品を押します。  
画面に部品のだまかな残りの寿命が表示されます。
-  を押します。



トナーカートリッジのだまかな交換時期を表示するには、画面で  を押します。

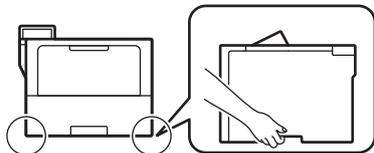
### ✓ 関連情報

- 日常のお手入れ

## 製品とトナーカートリッジをまとめて梱包する

### ⚠ 警告

- 本製品を移動するときは、イラストのように運んでください。



- 本製品に増設トレイが取り付けられている場合は、移動する前に取り外します。増設トレイを取り外さずに本製品を移動しようとする、怪我や故障の原因となります。
- 増設トレイは元の梱包材を使って元の箱に別個に梱包します。
- 同梱されているコンポーネントは、国によって異なる場合があります。



何らかの理由で本製品を輸送する必要がある場合は、輸送中の損傷を避けるために、本製品を元の包装に慎重に再梱包してください。適切な保険をかけて本製品を輸送してください。

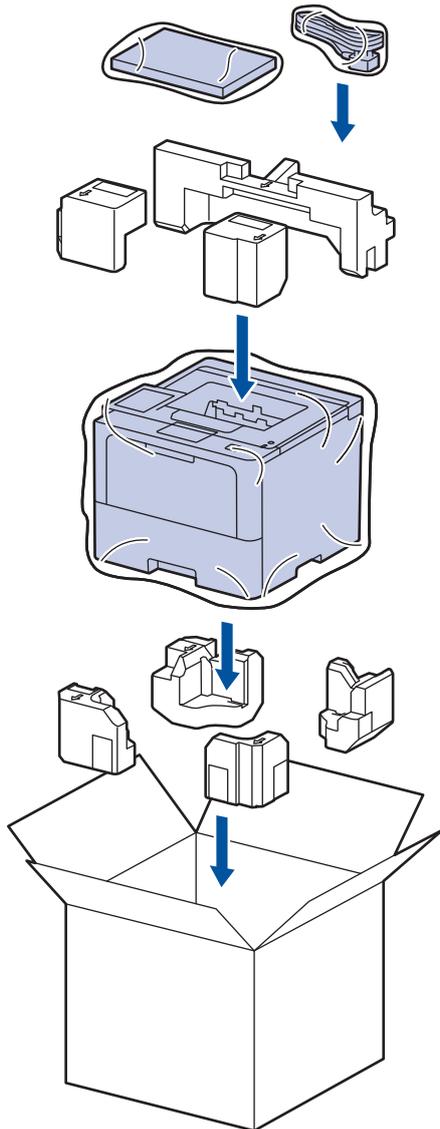
1.  を長押しして本製品の電源を切ります。本製品を冷却するために、少なくとも 10 分間オフの状態にしておきます。
2. すべてのケーブルを外し、AC 電源コンセントから電源コードを抜きます。



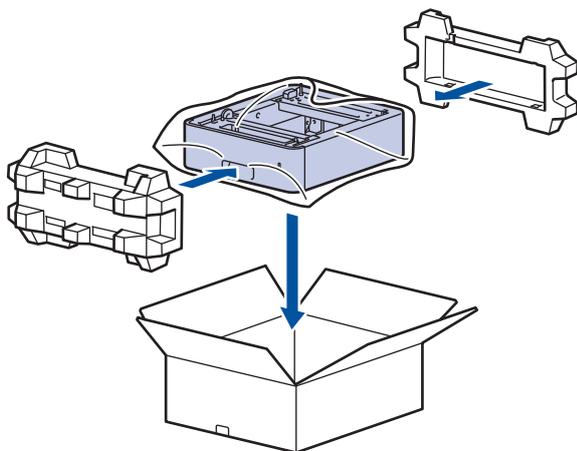
一部のモデルには取り外し不可能な AC 電源コードが装備されています。コードが取り外し不可能な場合は、コードをゆるく折り畳み、本製品の上に置いて簡易梱包します。

3. 最初に入っていた袋に本製品を入れます。

4. イラストのように、元の梱包材を使用して、本製品、印刷物、AC電源コード（該当する場合）を元のカートンに梱包します。（使用されている梱包材は、モデルによって異なる場合があります。）



5. 箱を閉めて封をします。  
6. 下トレイがある場合は、イラストのように再梱包します。



## ✓ 関連情報

- 日常のお手入れ

## 定期メンテナンス部品を交換する

最高の印刷品質を維持するには、以下の部品を定期的に交換します。以下に掲載する部品は、多目的トレイの PF キットでは約 50,000 ページ<sup>1</sup>、標準用紙トレイの PF キット、増設トレイの PF キット、定着ユニットおよびレーザーユニットでは約 200,000 ページ<sup>1</sup>を印刷した後は交換する必要があります。

画面に次のメッセージが表示されたら、ブラザーコールセンターまたはブラザー認定のコールセンターにお問い合わせください。

画面のメッセージ	詳細
[メンテナンス情報] [ヒーター交換] <sup>2</sup>	定着ユニットを交換してください。
[メンテナンス情報] [レーザー交換] <sup>2</sup>	レーザーユニットを交換してください。
[メンテナンス情報] [PF キット 1 交換] <sup>2 3</sup>	標準用紙トレイの PF キットを交換してください。
[メンテナンス情報] [PF キット 2 交換] <sup>2 3 4</sup>	増設トレイの PF キットを交換してください。
[メンテナンス情報] [PF キット MP 交換] <sup>2 3</sup>	多目的 (MP) トレイの PF キットを交換してください。

### ✓ 関連情報

- 日常のお手入れ

<sup>1</sup> レターまたは A4 サイズの片面ページ。

<sup>2</sup> 交換頻度は、印刷ページの複雑さ、印刷範囲、および使用しているメディアの種類によって異なります。

<sup>3</sup> キットには、用紙トレイまたは多目的トレイ用のローラーホルダーユニット、分離パッド、分離パッド用スプリングが含まれています。

<sup>4</sup> 本製品に増設トレイを使用する場合、このメッセージが画面に表示されます。本製品に複数の増設トレイがある場合、本製品では各増設トレイに対応する番号を使用してメッセージが表示されます。

## 製品の設定

設定と機能をカスタマイズして、本製品をより効率的にご使用いただけます。

- [操作パネルから製品の設定を変更する](#)
- [Web Based Management を使用して製品の設定を変更する](#)

## 操作パネルから製品の設定を変更する

- [基本設定](#)
- [設定と機能一覧](#)

## 基本設定

- 製品の音量を調整する
- スリープモードに入る時間を設定する
- ディープスリープモードについて
- 自動電源オフモードを設定する
- 画面のバックライトの明るさを調整する
- 画面のバックライトの点灯時間を変更する
- トナー消費量の削減
- 印刷音を軽減する
- 印刷出力結果を改善する
- 画面に表示される言語を変更する

## 製品の音量を調整する

関連モデル: HL-L6310DW

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [ボタン確認音量]を押します。
2. ▲または▼を押して、[切]、[小]、[中]または[大]を表示させ、使用したいオプションを押します。
3. を押します。

### ✓ 関連情報

- [基本設定](#)

## スリープモードに入る時間を設定する

スリープモード（または省電力モード）に設定すると、消費電力を節約することができます。本製品がスリープモードに入るまでの待機時間を選択します。スリープモードタイマーは、本製品が印刷ジョブを受信したときにリセットされます。

製品がスリープモードに入ると、電源がオフになったように見えます。印刷ジョブを受信すると、起動し印刷を開始します。以下の手順で、製品がスリープモードに入るまでの時間を設定します。



スリープモードの設定は、環境への配慮を考慮して、無効にすることはできません。

>> [HL-L5210DN/HL-L5210DW](#)

>> [HL-L6310DW](#)

### HL-L5210DN/HL-L5210DW

- ▲ または ▼ を押して以下を選択します。
  - [基本設定] を選択します。OK を押します。
  - [省エネモード] を選択します。OK を押します。
  - [スリープタイム] を選択します。OK を押します。
- ▲ または ▼ を押して、本製品がスリープモードに入る前に待機状態を維持する時間の長さを入力します（最長 50 分）。  
Go を押します。

### HL-L6310DW

-  [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [省エネモード] > [スリープモード] を押します。
- 本製品がスリープモードに入る前に待機状態を維持する時間の長さ（最長 50 分）を入力し、[確定] を押します。
-  を押します。

### ✓ 関連情報

- [基本設定](#)

## ディープスリープモードについて

製品がスリープモードに入り、一定の時間ジョブを受信しないと、自動的にディープスリープモードに入ります。時間の長さは、製品と設定に基づきます。

ディープスリープモードはスリープモードよりも消費電力を節約できます。

対象モデル	ディープスリープモード時の本製品の画面	本製品が起動する条件
HL-L5210DN/HL-L5210DW	画面に「ディープスリープ」と表示されます。	<ul style="list-style-type: none"><li>製品がジョブを受信した場合。</li><li>操作パネルのボタンが押された場合。</li></ul>
HL-L6310DW	画面のバックライトがオフになり、LED電源ランプが点滅します。	<ul style="list-style-type: none"><li>製品がジョブを受信した場合。</li><li>、または画面が押される。</li></ul>

### ✓ 関連情報

- [基本設定](#)

## 自動電源オフモードを設定する

本製品が一定時間（モデルや設定により異なります）ディープスリープモードの状態にある場合、自動的に電源がオフになります。本製品がネットワークに接続している場合、またはセキュリティ印刷データがメモリーに保存されている場合、パワーオフモードには入りません（特定のモデルのみ対応）。

印刷を開始するには、操作パネルで  を押し、印刷ジョブを送信します。

>> [HL-L5210DN/HL-L5210DW](#)

>> [HL-L6310DW](#)

### HL-L5210DN/HL-L5210DW



ディープスリープモードの状態がどのくらい続くと、自動電源オフモードに入るかを設定します。

- ▲ または ▼ を押して以下を選択します。
  - [基本設定] を選択します。OK を押します。
  - [省エネモード] を選択します。OK を押します。
  - [自動電源オフ] を選択します。OK を押します。
- ▲ または ▼ を押して、本製品がパワーオフモードに入る前に待機状態を維持する時間の長さを選択します（1、2、4、または 8 時間）。
- Go を押します。

### HL-L6310DW

-  [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [省エネモード] > [自動電源オフ] を押します。
- ▲ または ▼ を押して、本製品がパワーオフモードに入る前に待機状態を維持する時間の長さを表示し（1、2、4、または 8 時間）、使用したいオプションを押します。
-  を押します。

### ✓ 関連情報

- [基本設定](#)

## 画面のバックライトの明るさを調整する

関連モデル: HL-L6310DW

画面が見にくい場合は、明るさの設定を変えると見やすくなります。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [画面の明るさ] > [画面の明るさ]を押します。
2. セットしたいオプションを押します：
  - [明るく]
  - [標準]
  - [暗く]
3.  を押します。

### ✓ 関連情報

- [基本設定](#)

## 画面のバックライトの点灯時間を変更する

関連モデル: HL-L6310DW

画面のバックライトが点灯する長さを設定します。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [画面の明るさ] > [照明ダウンタイマー]を押します。
2. [10 秒]、[20 秒]または[30 秒]を押します。
3. を押します。

### ✓ 関連情報

- [基本設定](#)

## トナー消費量の削減

トナー節約機能を使うと、トナーの消費量が節約できます。トナー節約機能がオンになっていると、文書の印字が薄く見えます。

写真やグレースケールイメージでは、トナー節約機能の使用をお勧めしていません。

>> [HL-L5210DN/HL-L5210DW](#)

>> [HL-L6310DW](#)

### HL-L5210DN/HL-L5210DW

- ▲ または ▼ を押して以下を選択します。
  - [基本設定] を選択します。OK を押します。
  - [省エネモード] を選択します。OK を押します。
  - [トナー節約モード] を選択します。OK を押します。
- ▲ または ▼ を押して、[む] を表示し、Go を押します。

### HL-L6310DW

-  [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [省エネモード] > [トナー節約モード] を押します。
- [オン] または [オフ] を押します。
-  を押します。

### ✓ 関連情報

- [基本設定](#)

#### 関連トピック：

- [印刷品質の改善](#)

## 印刷音を軽減する

静音モードでは、印刷時の音を軽減することができます。静音モードがオンのときは、印刷速度が遅くなります。お買い上げ時の設定はオフです。

>> [HL-L5210DN/HL-L5210DW](#)

>> [HL-L6310DW](#)

### HL-L5210DN/HL-L5210DW

- ▲ または ▼ を押して以下を選択します。
  - [基本設定] を選択します。OK を押します。
  - [省エネモード] を選択します。OK を押します。
  - [静音モード] を選択します。OK を押します。
- ▲ または ▼ を押して、[⌘] または [⌘] を表示し、Go を押します。

### HL-L6310DW

-  [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [省エネモード] > [静音モード] を押します。
- [オン] または [オフ] を押します。
-  を押します。

### ✓ 関連情報

- [基本設定](#)

## 印刷出力結果を改善する

用紙がカールしてたり、トナーが十分に定着しない場合は、印刷出力結果を改善することができます。

>> [HL-L5210DN/HL-L5210DW](#)

>> [HL-L6310DW](#)

### HL-L5210DN/HL-L5210DW

- ▲ または ▼ を押して以下を選択します。
  - [基本設定] を選択します。 **OK** を押します。
  - [印刷改善] を選択します。 **OK** を押します。
- ▲ または ▼ を押して、[初]、[用紙カール改善] または [トナー定着改善] を表示し、 **Go** を押します。

### HL-L6310DW

-  [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [印刷改善] を押します。
- [オフ]、[用紙カール改善]、または [トナー定着改善] を押します。
-  を押します。

### 関連情報

- [基本設定](#)

## 画面に表示される言語を変更する

必要な場合は画面の言語を変更します。

この機能は、国によっては利用できない場合があります。

>> HL-L5210DN/HL-L5210DW

>> HL-L6310DW

### HL-L5210DN/HL-L5210DW

- ▲ または ▼ を押して以下を選択します。
  - [初期設定] を選択します。 **OK** を押します。
  - [表示言語設定] を選択します。 **OK** を押します。
- ▲ または ▼ を押してお使いの言語を表示し、 **Go** を押します。

### HL-L6310DW

-  [メニュー] > [全てのメニュー] > [初期設定] > [表示言語設定] を押します。
- 設定したい言語を押します。
-  を押します。

### 関連情報

- [基本設定](#)

## 設定と機能一覧

この設定一覧では、本製品のメニュー設定とオプションについて説明しています。

- [設定一覧 \(HL-L5210DN/HL-L5210DW\)](#)
- [設定一覧 \(HL-L6310DW\)](#)
- [機能一覧 \(HL-L6310DW\)](#)

## 設定一覧 (HL-L5210DN/HL-L5210DW)

関連モデル: HL-L5210DN/HL-L5210DW

以下の表では、本製品で詳細設定を行うためのさまざまなメニューやオプションについてご紹介します。

- >> [基本設定]
- >> [プリンター]
- >> [ネットワーク] (HL-L5210DN)
- >> [ネットワーク] (HL-L5210DW)
- >> [レポート印刷]
- >> [製品情報]
- >> [初期設定]

### [基本設定]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	詳細	
[トレイ設定]	[用紙タイプ]	[多目的トレイ]	-	多目的トレイ内の用紙に合わせて用紙タイプを選択します。	
		[トレイ 1]	-	標準用紙トレイ内の用紙に合わせて用紙タイプを選択します。	
		[トレイ 2] 1	-	増設トレイ (トレイ 2) 内の用紙に合わせて用紙タイプを選択します。	
		[トレイ 3] 1	-	増設トレイ (トレイ 3) 内の用紙に合わせて用紙タイプを選択します。	
		[トレイ 4] 1	-	増設トレイ (トレイ 4) 内の用紙に合わせて用紙タイプを選択します。	
	[用紙サイズ]	[多目的トレイ]	-	多目的トレイにセットした用紙サイズを選択します。	
		[トレイ 1]	-	標準用紙トレイにセットした用紙サイズを選択します。	
		[トレイ 2] 1	-	増設トレイ (トレイ 2) にセットした用紙サイズを選択します。	
		[トレイ 3] 1	-	増設トレイ (トレイ 3) にセットした用紙サイズを選択します。	
		[トレイ 4] 1	-	増設トレイ (トレイ 4) にセットした用紙サイズを選択します。	
	[トレイ選択]	-	-	使用する用紙トレイを選択します。	
	[優先順位]	-	-	[自動]が[トレイ選択]で選択されているとき、同じサイズの用紙を含む複数の用紙トレイを使用する順番を選択します。	
	[印字位置]	[多目的トレイ]	[xオフセット]		300dpiで印刷する場合、多目的トレイにセットした用紙の印刷開始位置 (通常はページの左上端) を左右方向に-500ドット (左) ~+500ドット (右) の範囲で調整します。
			[yオフセット]		300dpiで印刷する場合、多目的トレイにセットした用紙の印刷開始位置 (通常はページの左上端) を上下方向に-500ドット (上) ~+500ドット (下) の範囲で調整します。
		[トレイ 1]	[xオフセット]		300dpiで印刷する場合、標準用紙トレイにセットした用紙の印刷開始位置 (通常はページの左上端) を左右方向に-500ドット (左) ~+500ドット (右) の範囲で調整します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	詳細
[トレイ設定]	[印字位置]	[トレイ 1]	[yオフセット]	300dpi で印刷する場合、標準用紙トレイにセットした用紙の印刷開始位置（通常はページの左上端）を上下方向に-500 ドット（上）～+500 ドット（下）の範囲で調整します。
		[トレイ 2] <sup>1</sup>	[xオフセット]	300dpi で印刷する場合、増設トレイ（トレイ 2）にセットした用紙の印刷開始位置（通常はページの左上端）を左右方向に-500 ドット（左）～+500 ドット（右）の範囲で調整します。
			[yオフセット]	300dpi で印刷する場合、増設トレイ（トレイ 2）にセットした用紙の印刷開始位置（通常はページの左上端）を上下方向に-500 ドット（上）～+500 ドット（下）の範囲で調整します。
		[トレイ 3] <sup>1</sup>	[xオフセット]	300dpi で印刷する場合、増設トレイ（トレイ 3）にセットした用紙の印刷開始位置（通常はページの左上端）を左右方向に-500 ドット（左）～+500 ドット（右）の範囲で調整します。
			[yオフセット]	300dpi で印刷する場合、増設トレイ（トレイ 3）にセットした用紙の印刷開始位置（通常はページの左上端）を上下方向に-500 ドット（上）～+500 ドット（下）の範囲で調整します。
		[トレイ 4] <sup>1</sup>	[xオフセット]	300dpi で印刷する場合、増設トレイ（トレイ 4）にセットした用紙の印刷開始位置（通常はページの左上端）を左右方向に-500 ドット（左）～+500 ドット（右）の範囲で調整します。
			[yオフセット]	300dpi で印刷する場合、増設トレイ（トレイ 4）にセットした用紙の印刷開始位置（通常はページの左上端）を上下方向に-500 ドット（上）～+500 ドット（下）の範囲で調整します。
		[除外トレイ設定]	-	-
[合紙トレイ設定]	-	-	各印刷ジョブ間に挿入されるセパレート紙として使用する用紙を含むトレイを選択します。	
[トレイ確認]	-	-	本製品からトレイを引き出すときに、用紙のタイプとサイズを確認するメッセージを表示するかどうかを選択します。	
[省エネモード]	[エネモード]	-	-	次の製品設定を同時に有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [両面印刷]：[長辺とじ]<sup>2</sup></li> <li>• [スリープタイム]：0[分]</li> <li>• [静音モード]：[on]<sup>2</sup></li> <li>• [トナー節約モード]：[on]<sup>2</sup></li> </ul>
	[トナー節約モード]	-	-	トナーカートリッジの印刷可能ページ枚数を増加させます。
	[スリープタイム]	-	-	本製品が節電モードに入るまでの待機時間を設定します。
	[静音モード]	-	-	印刷音を軽減します。
	[自動電源オフ]	-	-	製品が自動電源オフに入る前に、ディープスリープモードを何時間維持するかを設定します。
[印刷改善]	-	-	-	[用紙カル改善] 機能または [トナー定着改善] 機能を有効にして、印刷出力結果を改善します。
[パネルコントロール]	[パネル長押し速度]	-	-	▲または▼を長押しし、液晶ディスプレイのメッセージが切り替わる時間を設定します。
	[表示スクロール速度]	-	-	液晶ディスプレイのメッセージが上端から下端までスクロールする時間を秒単位で設定します。レベル 1 (0.2 秒) からレベル 10 (2 秒) まで設定可能です。
	[画面のコントラスト]	-	-	液晶ディスプレイのコントラストを調整します。
	[パネル自動復帰]	-	-	30 秒間待機状態が続いた後、待機モードに戻るよう本製品を設定します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	詳細
[セキュリティ 設定ロック]	-	-	-	設定ロックパスワードを使ってお使いの製品の設定をロックします。
[インターフェイス]	[選択]	-	-	使用するインターフェイスを選択します。 [自動]を選択した場合、本製品がデータを受信するインターフェイスによって USB とネットワークを切り替えます。
	[オートインターフェイス タイム]	-	-	自動インターフェイス選択のタイムアウト時間を設定します。
	[バッファ]	-	-	入力バッファ容量を増やしたり減らしたりします。
[記憶消去]	[マクロ ID]	-	-	登録されたマクロデータを削除します。
	[フォント ID]	-	-	登録されたフォントデータを削除します。
	[一括消去]	-	-	本製品のマクロ、ストリームおよびフォントデータをお買い上げ時の状態に戻します。

1 増設トレイが取り付けられているときのみ使用できます。

2 この設定の変更は、Web Based Management を使用して他の特定の製品設定を変更した後でのみ使用できます。

## [プリンター]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	詳細
[エミュレーション]	-	-	エミュレーションモードを選択します。
[解像度]	-	-	印刷の解像度を選択します。
[印刷濃度]	-	-	印刷濃度を、濃くまたは薄くします。
[プリンター設定リスト]	-	-	印刷設定をテキストまたはグラフィックに設定します。
[プリンター オプション]	[フォント リスト]	[HP LaserJet]	HP LaserJet のフォント一覧とサンプルを印刷します。
		[BR-Script 3]	BR-Script のフォント一覧とサンプルを印刷します。
	[テストプリント]	-	テストページを印刷します。
[両面印刷]	[両面印刷]	-	用紙の両面に印刷するかどうかを選択します。
	[片面データ搬送方式]	-	最終ページが片面だけの印刷ジョブとなる場合、[片面搬送経路] オプションを選択して印刷時間を短縮します。 レターヘッド紙や印刷済み用紙を使用する場合、必ず [両面搬送経路] オプションを選択してください。[片面搬送経路] を選択してレターヘッド紙や印刷済み用紙に印刷した場合、最終ページの印刷が裏面に行われてしまいます。
[エラー解除]	-	-	用紙サイズエラーや用紙タイプエラーを自動的に解除し、他のトレイの用紙を使って印刷したい場合はこの設定を選択します。
[用紙タイプ]	-	-	用紙タイプを設定します。
[用紙サイズ]	-	-	用紙サイズを設定します。
[部数]	-	-	印刷するページ数を設定します。
[印刷の向き]	-	-	ページを縦向きと横向きのどちらで印刷するかを設定します。
[印字位置]	-	-	印刷位置設定メニューにアクセスします。
[オートフォームフィード]	-	-	本製品で残っているデータを自動的にすべて印刷できるようにします。
[HP LaserJet]	[フォント No.]	-	フォント番号を設定します。 このメニューは、本製品にソフトフォントがインストールされているときに表示されます。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	詳細
[HP LaserJet]	[フォントピッチ]	-	フォントピッチを設定します。 (特定のフォントのみ対応)
	[フォントポイント]	-	フォントサイズを設定します。 (特定のフォントのみ対応)
	[コードテーブル]	-	記号または文字セットを選択します。
	[コードテーブル印刷]	-	文字コード表を印刷します。
	[オートLF]	-	ON: CR -> CR+LF、OFF: CR -> CR
	[オートCR]	-	ON: LF -> LF+CR、FF -> FF+CR、または VT -> VT+CR OFF: LF -> LF、FF -> FF、または VT -> VT
	[オートWRAP]	-	キャリッジ位置が右マージンに到達したときに、ラインフィードとキャリッジリターンを行うかどうかを選択します。
	[オートSKIP]	-	キャリッジ位置が下部マージンに到達したときに、ラインフィードとキャリッジリターンを行うかどうかを選択します。
	[左マージン]	-	1 インチ 1 文字ピッチで左マージンを 0 列～70 列に設定します。
	[右マージン]	-	1 インチ 1 文字ピッチで右マージンを 10 列～80 列に設定します。
	[上マージン]	-	用紙の上端から、上部マージンの長さを設定します。
	[下マージン]	-	用紙の下端から、下部マージンの長さを設定します。
	[行数]	-	各ページの行数を設定します。
	[トレイコマンド]	-	HP 社のドライバーを使用したとき、トレイ不一致メッセージが表示される場合はこの設定を選択します。
[Epson FX-850]	[フォント No.]	-	フォント番号を設定します。
	[フォントピッチ]	-	フォントピッチを設定します。 (特定のフォントのみ対応)
	[フォントポイント]	-	フォントサイズを設定します。 (特定のフォントのみ対応)
	[コードテーブル]	-	記号または文字セットを選択します。
	[コードテーブル印刷]	-	文字コード表を印刷します。
	[オートLF]	-	ON: CR -> CR+LF、OFF: CR -> CR
	[オートマスク]	-	上部および下部のマージンをそれぞれ 2 行の線として設定します。[オートマスク]を[わ]に設定した場合、この設定が[上マージン]と[下マージン]の設定よりも優先されます。
	[左マージン]	-	1 インチ 1 文字ピッチで左マージンを 0 列～70 列に設定します。
	[右マージン]	-	1 インチ 1 文字ピッチで右マージンを 10 列～80 列に設定します。
	[上マージン]	-	用紙の上端から、上部マージンの長さを設定します。
	[下マージン]	-	用紙の下端から、下部マージンの長さを設定します。
	[行数]	-	各ページの行数を設定します。
[BR-Script 3]	[エラー印刷]	-	エラーが発生したときに本製品でエラー情報を印刷するかどうかを選択します。
[PDF]	[レイアウト]	-	複数ページを印刷するときのページレイアウトを設定します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	詳細
[PDF]	[PDF 印刷オプション]	-	PDF ファイル内の文字と一緒に、コメント（マークアップ）またはスタンプを印刷するかどうか、PDF 印刷設定を行います。
	[用紙に合わせる]	-	PDF ファイルのページを選択した用紙サイズに合わせて拡大または縮小するかどうかを選択します。
[カーボン メニュー]	[カーボン コピー]	-	カーボンコピー機能を有効または無効にします。
	[部数]	-	印刷するページ数を設定します。
	[コピー 1 トレイ]	-	コピー 1 に使用するトレイを選択します。
	[コピー 1 マクロ]	-	コピー 1 に使用するマクロ/ストリームを選択します。
	[コピー 2 トレイ] ...	-	コピー 2～コピー 8 に使用するトレイを選択します。
	[コピー 2 マクロ] ...	-	コピー 2～コピー 8 に使用するマクロ/ストリームを選択します。
	[コピー 8 マクロ]	-	
[プリンター リセット]	-	-	本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

### [ネットワーク] (HL-L5210DN)

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[有線 LAN]	[TCP/IP]	[IP 取得方法]	-	最適な IP 取得方法を選択します。
		[IP アドレス]	-	IP アドレスを入力します。
		[サブネット マスク]	-	サブネットマスクを入力します。
		[ゲートウェイ]	-	ゲートウェイアドレスを入力します。
		[ノード名]	-	ノード名を入力します。
		[WINS 設定]	-	WINS 設定モードを選択します。
		[WINS サーバー]	[プライマリ]	プライマリ WINS サーバーの IP アドレスを指定します。
			[セカンダリ]	セカンダリ WINS サーバーの IP アドレスを指定します。
		[DNS サーバー]	[プライマリ]	プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを指定します。
			[セカンダリ]	セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを指定します。
		[APIPA]	-	IP アドレスを、リンクローカルアドレスの範囲から自動的に割り当てます。 <sup>1</sup>
		[IPv6]	-	IPv6 プロトコルを有効または無効にします。
	[イーサネット]	-	-	イーサネットリンクモードを選択します。
	[有線 LAN 状態]	-	-	有線 LAN 接続の状態を表示します。
	[MAC アドレス]	-	-	お使いの製品の MAC アドレスを表示します。
	[有線 LAN 有効]	-	-	有線インターフェイスをオンまたはオフにします。
[Web Based Mgmt]	-	-	-	Web Based Management 機能の有効または無効を設定します。 この機能を有効にする場合は、Web Based Management への接続方法を必ず指定してください。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[IPsec]	-	-	-	IPsec は、IP プロトコルの任意のセキュリティ機能であり、認証と暗号化のサービスを提供します。ネットワーク管理者に問い合わせしてからこの設定を変更することを推奨します。
[Global Detect]	[Allow Detect]	-	-	ユーザーが意図せずにグローバルネットワークに接続した場合に、それを検知してユーザーに通知する機能の有効または無効を設定します。
	[Reject Access]	-	-	グローバルネットワークへの接続を無効にします。
[ネットワーク設定リセット]	-	-	-	お使いの製品のすべてのネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。

- <sup>1</sup> 「IP 取得方法」が「Auto」の場合、本製品はネットワークに接続するときに、DHCP などのブートサーバーから IP アドレスとサブネットマスクを設定しようとします。ブートサーバーが見つからない場合、APIPA IP アドレス (169.254(001-254).(000-255).など) が割り当てられます。本製品の「IP 取得方法」が「Static」に設定されている場合、製品の操作パネルから IP アドレスを手動で入力する必要があります。

## 【ネットワーク】 (HL-L5210DW)

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明	
[有線 LAN]	[TCP/IP]	[IP 取得方法]	-	最適な IP 取得方法を選択します。	
		[IP アドレス]	-	IP アドレスを入力します。	
		[サブネット マスク]	-	サブネットマスクを入力します。	
		[ゲートウェイ]	-	ゲートウェイアドレスを入力します。	
		[ノード名]	-	ノード名を入力します。	
		[WINS 設定]	-	WINS 設定モードを選択します。	
		[WINS サーバー]	[プライマリ]	-	プライマリ WINS サーバーの IP アドレスを指定します。
			[セカンダリ]	-	セカンダリ WINS サーバーの IP アドレスを指定します。
		[DNS サーバー]	[プライマリ]	-	プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを指定します。
			[セカンダリ]	-	セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを指定します。
	[APIPA]	-	IP アドレスを、リンクローカルアドレスの範囲から自動的に割り当てます。 <sup>1</sup>		
	[IPv6]	-	IPv6 プロトコルを有効または無効にします。		
	[イーサネット]	-	-	イーサネットリンクモードを選択します。	
	[有線 LAN 状態]	-	-	有線 LAN 接続の状態を表示します。	
	[MAC アドレス]	-	-	お使いの製品の MAC アドレスを表示します。	
[初期設定に戻す]	-	-	製品の有線 LAN 設定をお買い上げ時の設定に戻します。		
[有線 LAN 有効]	-	-	有線インターフェイスをオンまたはオフにします。		
[無線 LAN (Wi-Fi)]	[ネットワーク選択 (SSID)]	-	-	無線ネットワークを手動で設定します。	
	[TCP/IP]	[IP 取得方法]	-	最適な IP 取得方法を選択します。	
		[IP アドレス]	-	IP アドレスを入力します。	
[サブネット マスク]		-	サブネットマスクを入力します。		

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明	
[無線 LAN (Wi-Fi)]	[TCP/IP]	[ゲートウェイ]	-	ゲートウェイアドレスを入力します。	
		[ノード名]	-	ノード名を入力します。	
		[WINS 設定]	-	WINS 設定モードを選択します。	
		[WINS サーバー]	[プライマリ]	-	プライマリ WINS サーバーの IP アドレスを指定します。
			[セカンダリ]	-	セカンダリ WINS サーバーの IP アドレスを指定します。
		[DNS サーバー]	[プライマリ]	-	プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを指定します。
			[セカンダリ]	-	セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを指定します。
		[APIPA]	-	IP アドレスを、リンクローカルアドレスの範囲から自動的に割り当てます。 <sup>1</sup>	
	[IPv6]	-	IPv6 プロトコルを有効または無効にします。		
	[WPS (プッシュボタン)]	-	-	ワンタッチボタン方式を使って無線ネットワークを設定します。	
	[WPS (PIN)モード]	-	-	WPS の PIN コードを使って無線ネットワークの設定をします。	
	[無線状態]	[接続状態]	-	-	無線ネットワーク接続の状態を表示します。
		[電波状態]	-	-	無線ネットワークの信号強度を表示します。
		[通信チャンネル]	-	-	[接続状態]が[アクティブ]のときに使用するチャンネルを表示します。
		[通信速度]	-	-	[接続状態]が[アクティブ]のときに接続速度を表示します。
		[SSID]	-	-	無線 SSID (ネットワーク名) を表示します。
		[通信モード]	-	-	現在の通信モードを表示します。
	[MACアドレス]	-	-	お使いの製品の MAC アドレスを表示します。	
	[初期設定に戻す]	-	-	製品の無線ネットワーク設定をお買い上げ時の設定に戻します。	
	[無線 LAN 有効]	-	-	無線インターフェイスをオンまたはオフにします。	
[Wi-Fi Direct]	[TEL=電話]	-	-	Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定します。	
	[グループオーナー]	-	-	お使いの製品をグループオーナーに設定します。	
	[プッシュボタン接続]	-	-	ワンタッチ方式を使って素早く Wi-Fi Direct ネットワークの設定をします。	
	[PIN]モード接続]	-	-	WPS の PIN コードを使って素早く Wi-Fi Direct ネットワークの設定をします。	
	[デバイス情報]	[デバイス名]	-	-	お使いの製品のデバイス名を確認します。
		[SSID]	-	-	グループオーナーの SSID (ネットワーク名) を表示します。
		[IP アドレス]	-	-	お使いの製品の IP アドレスを表示します。
	[接続情報]	[接続状態]	-	-	Wi-Fi Direct ネットワークの状態を表示します。
		[電波状態]	-	-	現在の Wi-Fi Direct ネットワークの信号強度を表示します。 製品がグループオーナーとして動作しているときは、液晶ディスプレイには常に[強]が表示されます。
		[通信チャンネル]	-	-	[接続状態]が[グループオーナー]または[クライアント アクティブ]のときに使用するチャンネルを表示します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[Wi-Fi Direct]	[接続情報]	[通信速度]	-	[接続状態]が[グループオーナー]または[クライアント アクティブ]のときに接続速度を表示します。
	[インターフェース有効]	-	-	Wi-Fi Direct 接続を有効または無効にします。
[Web Based Mgmt]	-	-	-	Web Based Management 機能の有効または無効を設定します。 この機能を有効にする場合は、Web Based Management への接続方法を必ず指定してください。
[IPsec]	-	-	-	IPsec は、IP プロトコルの任意のセキュリティ機能であり、認証と暗号化のサービスを提供します。ネットワーク管理者に問い合わせしてからこの設定を変更することを推奨します。
[Global Detect]	[Allow Detect]	-	-	ユーザーが意図せずにグローバルネットワークに接続した場合に、それを検知してユーザーに通知する機能の有効または無効を設定します。
	[Reject Access]	-	-	グローバルネットワークへの接続を無効にします。
[ネットワーク設定リセット]	-	-	-	お使いの製品のすべてのネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。

- <sup>1</sup> 「IP 取得方法」が「Auto」の場合、本製品はネットワークに接続するときに、DHCP などのブートサーバーから IP アドレスとサブネットマスクを設定しようとします。ブートサーバーが見つからない場合、APIPA IP アドレス (169.254(001-254).(000-255)など) が割り当てられます。本製品の「IP 取得方法」が「Static」に設定されている場合、製品の操作パネルから IP アドレスを手動で入力する必要があります。

## [レポート印刷]

設定項目 3	設定項目 4	詳細
[プリンター設定リスト]	-	プリンター設定ページを印刷します。
[ネットワーク設定リスト] (ネットワークモデル用)	-	ネットワーク設定レポートを印刷します。
[ファイルリスト印刷]	-	メモリーに保存されているデータの一覧を印刷します。
[ドラム汚れ印刷]	-	ドラムチェックシートを印刷します。
[無線 LANレポート] (無線モデル用)	-	無線接続診断レポートを印刷します。

## [製品情報]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	詳細
[シリアル No.]	-	-	本製品のシリアルナンバーを表示します。
[ファームウェア]	[Mainバージョン]	-	製品のファームウェアバージョンを確認します。
	[Securityバージョン]		
[印刷枚数表示]	-	-	印刷された総ページ数を表示します。
[消耗品寿命] <sup>1</sup>	[トナー]	-	トナーカートリッジの寿命を表示します。
	[ドラム]	-	ドラムユニットの寿命を表示します。
	[ヒーター寿命]	-	定着ユニットの寿命を表示します。
	[レーザー寿命]	-	レーザーユニットの寿命を表示します。
	[PF キットMP 寿命]	-	PF キット (多目的トレイ) の寿命を表示します。
	[PF キット1 寿命]	-	PF キット 1 の寿命を表示します。
	[PF キット2 寿命] <sup>2</sup>	-	PF キット 2 の寿命を表示します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	詳細
[消耗品寿命] <sup>1</sup>	[PF キット3 寿命] <sup>2</sup>	-	PF キット3 の寿命を表示します。
	[PF キット4 寿命] <sup>2</sup>	-	PF キット4 の寿命を表示します。

1 部品の交換時期は大まかなものであり、使用方法によって異なります。

2 増設トレイが取り付けられているときのみ使用できます。

## [初期設定]

設定項目 3	設定項目 4	詳細
[リセット]	[機能設定リセット]	用紙タイプなど、変更したすべての設定を元に戻します。
	[ネットワーク設定リセット]	お使いの製品のすべてのネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。
	[出荷状態リセット]	本製品をリセットし、プリンター設定（コマンド設定を含む）をお買い上げ時の状態に戻します。
[表示言語設定]	-	お使いの国や地域で使用する画面言語を選択します。

## ✓ 関連情報

- [設定と機能一覧](#)

## 設定一覧 (HL-L6310DW)

関連モデル: HL-L6310DW

- >> [メニュー]
- >> [基本設定]
- >> [プリンター]
- >> [ネットワーク]
- >> [レポート印刷]
- >> [製品情報]
- >> [初期設定]

### [メニュー]



### [メニュー]

設定項目 2	設定項目 3	設定項目 4	説明
[トナー]	[トナー残量]	-	トナーのおおよその寿命を見ます。
	[テストプリント]	-	テストページを印刷します。
	[トナーカートリッジ 純正情報]	-	取り付けられているトナーカートリッジの情報(トナーカートリッジが純正かどうかなど)を画面に表示します。
[ネットワーク]	[有線 LAN]	-	有線 LAN 設定メニューにアクセスします。
	[無線 LAN (Wi-Fi)]	-	無線 LAN 設定メニューにアクセスします。
[Wi-Fi Direct]	-	-	Wi-Fi Direct 設定メニューにアクセスします。
[用紙トレイ 設定]	-	-	トレイ設定メニューにアクセスします。
[エコモード]	-	-	次の製品設定を同時に有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [両面印刷] : [長辺とじ]<sup>1</sup></li> <li>• [スリープモード] : 0 [分]</li> <li>• [照明ダウンタイマー] : [10 秒]</li> <li>• [静音モード] : [オン]<sup>1</sup></li> <li>• [トナー節約モード] : [オン]<sup>1</sup></li> </ul>
[全てのメニュー]	-	-	詳細設定を行います。

<sup>1</sup> この設定の変更は、Web Based Management を使用して他の特定の製品設定を変更した後でのみ使用できます。

### [基本設定]

#### [全てのメニュー] > [基本設定]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[用紙トレイ設定]	[用紙タイプ]	[多目的トレイ]	-	多目的トレイ内の用紙に合わせて用紙タイプを選択します。
		[トレイ 1]	-	標準用紙トレイ内の用紙に合わせて用紙タイプを選択します。
		[トレイ 2] <sup>1</sup>	-	増設トレイ (トレイ 2) 内の用紙に合わせて用紙タイプを選択します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明	
[用紙トレイ設定]	[用紙タイプ]	[トレイ 3] <sup>1</sup>	-	増設トレイ（トレイ 3）内の用紙に合わせて用紙タイプを選択します。	
		[トレイ 4] <sup>1</sup>	-	増設トレイ（トレイ 4）内の用紙に合わせて用紙タイプを選択します。	
		[トレイ 5] <sup>2</sup>	-	増設トレイ（トレイ 5）内の用紙に合わせて用紙タイプを選択します。	
	[用紙サイズ]	[多目的トレイ]	-	多目的トレイにセットした用紙サイズを選択します。	
		[トレイ 1]	-	標準用紙トレイにセットした用紙サイズを選択します。	
		[トレイ 2] <sup>1</sup>	-	増設トレイ（トレイ 2）にセットした用紙サイズを選択します。	
		[トレイ 3] <sup>1</sup>	-	増設トレイ（トレイ 3）にセットした用紙サイズを選択します。	
		[トレイ 4] <sup>1</sup>	-	増設トレイ（トレイ 4）にセットした用紙サイズを選択します。	
		[トレイ 5] <sup>2</sup>	-	増設トレイ（トレイ 5）にセットした用紙サイズを選択します。	
	[トレイ選択]	-	-	使用する用紙トレイを選択します。	
	[優先順位]	-	-	[優先順位] オプションが [トレイ選択] メニューで選択されているとき、同じサイズの用紙を含む複数の用紙トレイを使用する順番を選択します。	
	[印字位置]	[多目的トレイ]	[x オフセット]		300dpi で印刷する場合、多目的トレイにセットした用紙の印刷開始位置（通常はページの左上端）を左右方向に-500 ドット（左）～+500 ドット（右）の範囲で調整します。
			[y オフセット]		300dpi で印刷する場合、多目的トレイにセットした用紙の印刷開始位置（通常はページの左上端）を上下方向に-500 ドット（上）～+500 ドット（下）の範囲で調整します。
		[トレイ 1]	[x オフセット]		300dpi で印刷する場合、標準用紙トレイにセットした用紙の印刷開始位置（通常はページの左上端）を左右方向に-500 ドット（左）～+500 ドット（右）の範囲で調整します。
			[y オフセット]		300dpi で印刷する場合、標準用紙トレイにセットした用紙の印刷開始位置（通常はページの左上端）を上下方向に-500 ドット（上）～+500 ドット（下）の範囲で調整します。
[トレイ 2] <sup>1</sup>		[x オフセット]		300dpi で印刷する場合、増設トレイ（トレイ 2）にセットした用紙の印刷開始位置（通常はページの左上端）を左右方向に-500 ドット（左）～+500 ドット（右）の範囲で調整します。	
		[y オフセット]		300dpi で印刷する場合、増設トレイ（トレイ 2）にセットした用紙の印刷開始位置（通常はページの左上端）を上下方向に-500 ドット（上）～+500 ドット（下）の範囲で調整します。	
[トレイ 3] <sup>1</sup>		[x オフセット]		300dpi で印刷する場合、増設トレイ（トレイ 3）にセットした用紙の印刷開始位置（通常はページの左上端）を左右方向に-500 ドット（左）～+500 ドット（右）の範囲で調整します。	
		[y オフセット]		300dpi で印刷する場合、増設トレイ（トレイ 3）にセットした用紙の印刷開始位置（通常はページの左上端）を上下方向に-500 ドット（上）～+500 ドット（下）の範囲で調整します。	

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[用紙トレイ設定]	[印字位置]	[トレイ 4] <sup>1</sup>	[x オフセット]	300dpi で印刷する場合、増設トレイ（トレイ 4）にセットした用紙の印刷開始位置（通常はページの左上端）を左右方向に-500 ドット（左）～+500 ドット（右）の範囲で調整します。
			[y オフセット]	300dpi で印刷する場合、増設トレイ（トレイ 4）にセットした用紙の印刷開始位置（通常はページの左上端）を上下方向に-500 ドット（上）～+500 ドット（下）の範囲で調整します。
		[トレイ 5] <sup>2</sup>	[x オフセット]	300dpi 換算で、増設トレイ（トレイ 5）にセットした用紙の印刷開始位置（ページの左上端）を左右方向に-500 ドット（左）～+500 ドット（右）の範囲で設定できます。
			[y オフセット]	300dpi 換算で、増設トレイ（トレイ 5）にセットした用紙の印刷開始位置（ページの左上端）を上下方向に-500 ドット（上）～+500 ドット（下）の範囲で設定できます。
	[排紙トレイ設定] <sup>3</sup>	-	-	使用する出力トレイを選択します。
	[ホチキス] <sup>4</sup> (HL-L6310DW)	-	-	印刷物をホチキスで留めて、ステープラーフィニッシャー用出力トレイに排出するかどうかを選択します。
	[オフセット排紙] <sup>4</sup> (HL-L6310DW)	-	-	ページ照合をしやすくするために、ステープラーフィニッシャー用出力トレイに排出された印刷ジョブをシフトさせるかどうかを選択します。
	[印刷優先排紙] <sup>4</sup> (HL-L6310DW)	-	-	選択した用紙サイズや用紙タイプがステープラーフィニッシャー（SF）でサポートされていない場合に、印刷を継続するかどうかを選択します。
	[空ビン優先排紙] <sup>5</sup>	-	-	メールボックス（MX）に空き容量があり次第、印刷を継続するかどうかを選択します。
	[除外トレイ設定] <sup>6</sup>	-	-	異なるサイズ of 用紙がセットされている場合に、使用しない特定のトレイを選択します。
	[合紙トレイ設定] <sup>6</sup>	-	-	各印刷ジョブ間に挿入されるセパレート紙として使用する用紙を含むトレイを選択します。
	[用紙残量通知]	[用紙残量通知]	-	用紙トレイがもうすぐ用紙切れになることを示すメッセージを表示するかどうかを選択します。
		[通知レベル]	-	メッセージを表示させる残り用紙枚数を選択します。
[トレイ確認]	-	-	本製品からトレイを引き出すときに、用紙のタイプとサイズを確認するメッセージを表示するかどうかを選択します。	
[ボタン確認音量]	-	-	ボタン確認音量を選択します。	
[画面の明るさ]	[画面の明るさ]	-	-	画面のバックライトの明るさを調整します。
	[照明ダウタイマー]	-	-	最後に画面を押してから、画面のバックライトを暗くするまでの時間を設定します。
[画面設定]	[情報表示]	[IP アドレス]	-	製品の IP アドレスをホーム画面に表示するかどうかを選択します。
[省エネモード]	[エコモード]	-	-	次の製品設定を同時に有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [両面印刷]：[長辺とじ]<sup>7</sup></li> <li>• [スリープモード]：0 [分]</li> <li>• [照明ダウタイマー]：[10 秒]</li> <li>• [静音モード]：[オン]<sup>7</sup></li> <li>• [トナー節約モード]：[オン]<sup>7</sup></li> </ul>
	[トナー節約モード]	-	-	トナーカートリッジの印刷可能ページ枚数を増加させます。
	[スリープモード]	-	-	本製品が節電モードに入るまでの待機時間を設定します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[省エネモード]	[静音モード]	-	-	印刷音を軽減します。
	[自動電源オフ]	-	-	製品が自動電源オフに入る前に、ディープスリープモードを何時間維持するかを設定します。
[印刷改善]	-	-	-	[用紙カール改善] 機能または [トナー定着改善] 機能を有効にして、印刷出力結果を改善します。
[セキュリティ設定ロック]	[パスワード設定]	-	-	権限のないユーザーが製品の設定を変更するのを制限します。
	[ロック オフ⇒オン]	-	-	
	[新規のパスワード] (初めてパスワードを入力するときのみ使用可)	-	-	
[インターフェイス]	[選択]	-	-	使用するインターフェイスを選択します。 [優先順位] オプションを選択した場合、本製品がデータを受信するインターフェイスによって USB とネットワークを切り替えます。
	[オートインターフェイスタイム]	-	-	自動インターフェイス選択のタイムアウト時間を設定します。
	[バッファ]	-	-	入力バッファ容量を増やしたり減らしたりします。
[記憶消去]	[マクロ ID]	-	-	登録されたマクロデータを削除します。
	[ストリーム ID]	-	-	登録されたストリームデータを削除します。
	[フォント ID]	-	-	登録されたフォントデータを削除します。
	[一括消去]	-	-	本製品のマクロ、ストリームおよびフォントデータをお買い上げ時の状態に戻します。
	[USB メモリの初期化] (ジョブ保存場所メニューで USB フラッシュメモリーを選択した場合のみ有効)	-	-	USB ストレージプリントを行うには、USB フラッシュメモリーを初期化します。USB フラッシュメモリーの初期化には 40 分以上かかります。 この初期化により、データが完全に復元できなくなるわけではありません。

- 1 増設トレイが取り付けられているときのみ使用できます。
- 2 (HL-L6310DW)  
増設トレイが取り付けられているときのみ使用できます。
- 3 (HL-L6310DW)  
メールボックスまたはステープラーフィニッシャーがインストールされている場合のみ使用できます。
- 4 ステープラーフィニッシャーがインストールされている場合のみ使用できます。
- 5 (HL-L6310DW)  
メールボックスがインストールされている場合のみ使用できます。
- 6 ローワートレイ (下トレイ) が取り付けられているときのみ使用できます。
- 7 この設定の変更は、Web Based Management を使用して他の特定の製品設定を変更した後でのみ使用できます。

## [プリンター]

### [全てのメニュー] > [プリンター]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[エミュレーション]	-	-	エミュレーションモードを選択します。
[解像度]	-	-	印刷の解像度を選択します。 印刷品質を選択します。
[印刷濃度]	-	-	印刷濃度を、濃くまたは薄くします。
[テンプレート設定]	-	-	印刷設定をテキストまたはグラフィックに設定します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[プリンター オプション]	[フォント リスト]	[HP LaserJet]	HP LaserJet のフォント一覧とサンプルを印刷します。
		[BR-Script 3]	BR-Script のフォント一覧とサンプルを印刷します。
	[テストプリント]	-	テストページを印刷します。
[両面印刷]	[両面印刷]	-	用紙の両面に印刷するかどうかを選択します。
	[片面データ搬送方式]	-	最終ページが片面だけの印刷ジョブとなる場合、[片面搬送経路] オプションを選択して印刷時間を短縮します。 レターヘッド紙や印刷済み用紙を使用する場合、必ず [両面搬送経路] オプションを選択してください。[片面搬送経路] を選択してレターヘッド紙や印刷済み用紙に印刷した場合、最終ページの印刷が裏面に行われてしまいます。
[エラー解除]	-	-	用紙サイズエラーや用紙タイプエラーを自動的に解除し、他のトレイの用紙を使って印刷したい場合はこの設定を選択します。
[用紙タイプ]	-	-	用紙タイプを設定します。
[用紙サイズ]	-	-	用紙サイズを設定します。
[部数]	-	-	印刷するページ数を設定します。
[印刷の向き]	-	-	ページを縦向きと横向きのどちらで印刷するかを設定します。
[印字位置]	-	-	印刷位置設定メニューにアクセスします。
[オートフォームフィード]	-	-	本製品で残っているデータを自動的にすべて印刷できるようにします。
[HP LaserJet]	[フォント No.]	[フォント No.]	フォント番号を設定します。 このメニューは、本製品にソフトフォントがインストールされているときに表示されます。
		[ダウンロードフォント]	ソフトフォント番号を設定します。 このメニューは、本製品にソフトフォントがインストールされているときに表示されます。
	[フォントピッチ]	-	フォントピッチを設定します。 (特定のフォントのみ対応)
	[フォントポイント]	-	フォントサイズを設定します。 (特定のフォントのみ対応)
	[コードテーブル]	-	記号または文字セットを選択します。
	[コードテーブル印刷]	-	文字コード表を印刷します。
	[オート LF]	-	ON: CR -> CR+LF、OFF: CR -> CR
	[オート CR]	-	ON: LF -> LF+CR、FF -> FF+CR、または VT -> VT+CR OFF: LF -> LF、FF -> FF、または VT -> VT
	[オート WRAP]	-	キャリッジ位置が右マージンに到達したときに、ラインフィードとキャリッジリターンを行うかどうかを選択します。
	[オート SKIP]	-	キャリッジ位置が下部マージンに到達したときに、ラインフィードとキャリッジリターンを行うかどうかを選択します。
	[左マージン]	-	1 インチ 1 文字ピッチで左マージンを 0 列～70 列に設定します。
	[右マージン]	-	1 インチ 1 文字ピッチで右マージンを 10 列～80 列に設定します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[HP LaserJet]	[上マージン]	-	用紙の上端から、上部マージンの長さを設定します。
	[下マージン]	-	用紙の下端から、下部マージンの長さを設定します。
	[行数]	-	各ページの行数を設定します。
	[トレイ コマンド]	-	HP 社のドライバーを使用したとき、トレイ不一致メッセージが表示される場合はこの設定を選択します。
[Epson FX-850]	[フォント No.]	-	フォント番号を設定します。
	[フォントピッチ]	-	フォントピッチを設定します。 (特定のフォントのみ対応)
	[フォントポイント]	-	フォントサイズを設定します。 (特定のフォントのみ対応)
	[コードテーブル]	-	記号または文字セットを選択します。
	[コードテーブル印刷]	-	文字コード表を印刷します。
	[オート LF]	-	ON: CR -> CR+LF、OFF: CR -> CR
	[オートマスク]	-	上部および下部のマージンをそれぞれ 2 行の線として設定します。[オートマスク]を[オン]に設定した場合、この設定が [上マージン]と [下マージン]の設定よりも優先されます。
	[左マージン]	-	1 インチ 1 文字ピッチで左マージンを 0 列～70 列に設定します。
	[右マージン]	-	1 インチ 1 文字ピッチで右マージンを 10 列～80 列に設定します。
	[上マージン]	-	用紙の上端から、上部マージンの長さを設定します。
	[下マージン]	-	用紙の下端から、下部マージンの長さを設定します。
	[行数]	-	各ページの行数を設定します。
[BR-Script 3]	[エラー印刷]	-	エラーが発生したときに本製品でエラー情報を印刷するかどうかを選択します。
[PDF]	[レイアウト]	-	複数ページを印刷するときのページレイアウトを設定します。
	[PDF 印刷オプション]	-	PDF ファイル内の文字と一緒に、コメント (マークアップ) またはスタンプを印刷するかどうか、PDF 印刷設定を行います。
	[用紙に合わせた PDF 印刷]	-	PDF ファイルのページを選択した用紙サイズに合わせて拡大または縮小するかどうかを選択します。
[カーボン メニュー]	[カーボン コピー]	-	カーボンコピー機能を有効または無効にします。
	[部数]	-	印刷するページ数を設定します。
	[コピー 1 トレイ]	-	コピー 1 に使用するトレイを選択します。
	[コピー 1 マクロ]	-	コピー 1 に使用するマクロ/ストリームを選択します。
	[コピー 2 トレイ] ... [コピー 8 トレイ]	-	コピー 2～コピー 8 に使用するトレイを選択します。
	[コピー 2 マクロ] ...	-	コピー 2～コピー 8 に使用するマクロ/ストリームを選択します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[カーボン メニュー]	[コピー 8 マクロ]		
[印刷ジョブ 保存先]	-	-	印刷ジョブの保存先とする場所を指定します。
[プリンター リセット]	-	-	本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

## [ネットワーク]

### [全てのメニュー] > [ネットワーク]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明	
[有線 LAN]	[TCP/IP]	[IP 取得方法]	-	最適な IP 取得方法を選択します。	
		[IP アドレス]	-	IP アドレスを入力します。	
		[サブネットマスク]	-	サブネットマスクを入力します。	
		[ゲートウェイ]	-	ゲートウェイアドレスを入力します。	
		[ノード名]	-	ノード名を入力します。	
		[WINS 設定]	-	WINS 設定モードを選択します。	
		[WINS サーバー]	[プライマリ]	プライマリ WINS サーバーの IP アドレスを指定します。	
			[セカンダリ]	セカンダリ WINS サーバーの IP アドレスを指定します。	
		[DNS サーバー]	[プライマリ]	プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを指定します。	
			[セカンダリ]	セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを指定します。	
		[APIPA]	-	IP アドレスを、リンクローカルアドレスの範囲から自動的に割り当てます。 <sup>1</sup>	
		[IPv6]	-	IPv6 プロトコルを有効または無効にします。	
		[イーサネット]	-	-	イーサネットリンクモードを選択します。
		[有線 LAN 状態]	-	-	有線 LAN 接続の状態を表示します。
	[MAC アドレス]	-	-	お使いの製品の MAC アドレスを表示します。	
	[初期設定に戻す]	-	-	製品の有線 LAN 設定をお買い上げ時の設定に戻します。	
	[有線 LAN 有効]	-	-	有線インターフェイスをオンまたはオフにします。	
[無線 LAN (Wi-Fi)]	[ネットワーク選択 (SSID)]	-	-	無線ネットワークを手動で設定します。	
	[TCP/IP]	[IP 取得方法]	-	最適な IP 取得方法を選択します。	
		[IP アドレス]	-	IP アドレスを入力します。	
		[サブネットマスク]	-	サブネットマスクを入力します。	

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明	
[無線 LAN (Wi-Fi)]	[TCP/IP]	[ゲートウェイ]	-	ゲートウェイアドレスを入力します。	
		[ノード名]	-	ノード名を入力します。	
		[WINS 設定]	-	WINS 設定モードを選択します。	
		[WINS サーバー]	[プライマリ]	-	プライマリ WINS サーバーの IP アドレスを指定します。
			[セカンダリ]	-	セカンダリ WINS サーバーの IP アドレスを指定します。
		[DNS サーバー]	[プライマリ]	-	プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを指定します。
			[セカンダリ]	-	セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを指定します。
		[APIPA]	-	IP アドレスを、リンクローカルアドレスの範囲から自動的に割り当てます。 <sup>1</sup>	
	[IPv6]	-	IPv6 プロトコルを有効または無効にします。		
	[WPS (プッシュボタン)]	-	-	ワンプッシュボタン方式を使って無線ネットワークを設定します。	
	[WPS (PIN コード)]	-	-	WPS の PIN コードを使って無線ネットワークの設定をします。	
	[無線状態]	[接続状態]	-	-	無線ネットワーク接続の状態を表示します。
		[電波状態]	-	-	無線ネットワークの信号強度を表示します。
		[SSID]	-	-	無線 SSID (ネットワーク名) を表示します。
		[通信モード]	-	-	現在の通信モードを表示します。
	[MAC アドレス]	-	-	お使いの製品の MAC アドレスを表示します。	
	[初期設定に戻す]	-	-	製品の無線ネットワーク設定をお買い上げ時の設定に戻します。	
	[無線 LAN 有効]	-	-	無線インターフェイスをオンまたはオフにします。	
	[Wi-Fi Direct]	[手動接続]	-	-	Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定します。
[グループ オーナー]		-	-	お使いの製品をグループオーナーに設定します。	
[プッシュボタン接続]		-	-	ワンプッシュ方式を使って素早く Wi-Fi Direct ネットワークの設定をします。	
[PIN コード接続]		-	-	WPS の PIN コードを使って素早く Wi-Fi Direct ネットワークの設定をします。	
[デバイス情報]		[デバイス名]	-	-	お使いの製品のデバイス名を確認します。
		[SSID]	-	-	グループオーナーの SSID (ネットワーク名) を表示します。
		[IP アドレス]	-	-	お使いの製品の IP アドレスを表示します。
[接続情報]		[接続状態]	-	-	Wi-Fi Direct ネットワークの状態を表示します。
		[電波状態]	-	-	現在の Wi-Fi Direct ネットワークの信号強度を表示します。
[インターフェイス有効]		-	-	Wi-Fi Direct 接続を有効または無効にします。	

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[NFC]	-	-	-	NFC 機能をオン、またはオフに切り替えます。
[Web 接続設定]	[プロキシ設定]	[プロキシ経由接続]	-	Web 接続設定を変更します。
		[アドレス]	-	
		[ポート]	-	
		[ユーザー名]	-	
		[パスワード]	-	
[Web Based Mgmt]	-	-	-	Web Based Management 機能の有効または無効を設定します。 この機能を有効にする場合は、Web Based Management への接続方法を必ず指定してください。
[IPsec]	-	-	-	IPsec は、IP プロトコルの任意のセキュリティ機能であり、認証と暗号化のサービスを提供します。ネットワーク管理者に問い合わせしてからこの設定を変更することを推奨します。
[Global Detect]	[Allow Detect]	-	-	ユーザーが意図せずにグローバルネットワークに接続した場合に、それを検知してユーザーに通知する機能の有効または無効を設定します。
	[Reject Access]	-	-	グローバルネットワークへの接続を無効にします。
[ネットワーク設定リセット]	-	-	-	お使いの製品のすべてのネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。

- 1 「IP 取得方法」が「Auto」の場合、本製品はネットワークに接続するときに、DHCP などのブートサーバーから IP アドレスとサブネットワークマスクを設定しようとします。ブートサーバーが見つからない場合、APIPA IP アドレス (169.254.(001-254).(000-255).など) が割り当てられます。本製品の「IP 取得方法」が「Static」に設定されている場合、製品の操作パネルから IP アドレスを手動で入力する必要があります。

## [レポート印刷]

### [全てのメニュー] > [レポート印刷]

設定項目 3	説明
[プリンター設定]	プリンター設定ページを印刷します。
[ネットワーク設定リスト]	ネットワーク設定レポートを印刷します。
[ファイルリスト印刷]	メモリーに保存されているデータの一覧を印刷します。
[ドラム汚れ印刷]	ドラムチェックシートを印刷します。
[無線 LAN レポート]	無線接続診断レポートを印刷します。

## [製品情報]

### [全てのメニュー] > [製品情報]

設定項目 3	設定項目 4	説明
[シリアル No.]	-	本製品のシリアルナンバーを表示します。
[ファームウェアバージョン]	[Main バージョン]	製品のファームウェアバージョンを確認します。
	[Security バージョン]	
[ファームウェア更新]	-	本製品のファームウェアを最新版に更新します。
[ファームウェア更新通知]	-	ホーム画面でファームウェアの情報を確認します。
[印刷枚数表示]	-	印刷された総ページ数を表示します。

設定項目 3	設定項目 4	説明
[消耗品寿命] <sup>1</sup>	[ドラム 寿命]	ドラムユニットの寿命を表示します。
	[ヒーター 寿命]	定着ユニットの寿命を表示します。
	[レーザー寿命]	レーザーユニットの寿命を表示します。
	[PF キットMP 寿命]	PF キット (多目的トレイ) の寿命を表示します。
	[PF キット 1 寿命]	PF キット 1 の寿命を表示します。
	[PF キット 2 寿命] <sup>2</sup>	PF キット 2 の寿命を表示します。
	[PF キット 3 寿命] <sup>2</sup>	PF キット 3 の寿命を表示します。
	[PF キット 4 寿命] <sup>2</sup>	PF キット 4 の寿命を表示します。
	[PF キット 5 寿命] <sup>2 3</sup>	PF キット 5 の寿命を表示します。

1 部品の交換時期は大まかなものであり、使用方法によって異なります。

2 増設トレイが取り付けられているときのみ使用できます。

3 サポート対象モデルのみ。

## [初期設定]

### [全てのメニュー] > [初期設定]

設定項目 3	設定項目 4	説明
[設定リセット]	[機能設定リセット]	用紙タイプなど、変更したすべての設定を元に戻します。
	[ネットワーク設定リセット]	お使いの製品のすべてのネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。
	[出荷状態リセット]	本製品をリセットし、プリンター設定 (コマンド設定を含む) をお買い上げ時の状態に戻します。
[表示言語設定]	-	お使いの国や地域で使用する画面言語を選択します。

## ✓ 関連情報

- [設定と機能一覧](#)

## 機能一覧 (HL-L6310DW)

関連モデル: HL-L6310DW

- >> トナー
- >> Wi-Fi 設定
- >> [クラウド]
- >> [セキュリティ 印刷]

### トナー

#### (トナー)

設定項目 2	設定項目 3	設定項目 4	説明
 (トナー)	[トナー残量]	-	トナーのおおよその寿命を見ます。
	[テストプリント]	-	テストページを印刷します。
	[トナーカートリッジ 純正情報]	-	取り付けられているトナーカートリッジの情報 (トナーカートリッジが純正かどうかなど) を画面に表示します。

### Wi-Fi 設定

#### (Wi-Fi 設定)

設定項目 2	設定項目 3	説明
 (Wi-Fi 設定)	[ネットワーク選択 (SSID)]	無線ネットワークを手動で設定します。
	[WPS (プッシュボタン)]	ワンプッシュボタン方式を使って無線ネットワークを設定します。
	[WPS (PIN コード)] <sup>1</sup>	WPS の PIN コードを使って無線ネットワークの設定をします。
	[無線状態] <sup>1</sup>	無線ネットワーク接続の状態を表示します。
	[MAC アドレス] <sup>1</sup>	お使いの製品の MAC アドレスを表示します。
	[初期設定に戻す] <sup>1</sup>	製品の無線ネットワーク設定をお買い上げ時の設定に戻します。
	[無線 LAN 有効] <sup>1</sup>	無線インターフェイスをオンまたはオフにします。
	[TCP/IP] <sup>1</sup>	TCP/IP 設定を変更します。

<sup>1</sup> Wi-Fi®接続が設定された後に使用できます。

### [クラウド]

#### [クラウド]

設定項目 2	説明
 [クラウド]	本製品をインターネットサービスに接続します。 本書の発行後、Web サービスが追加されたり、サービス名がプロバイダーによって変更されることがあります。

## [セキュリティ 印刷]



### [セキュリティ 印刷]

設定項目 2	説明
 [セキュリティ 印刷]	4桁のパスワードを入力すると、製品のメモリーまたはUSBフラッシュメモリーに保存されたデータを印刷することができます。 製品またはUSBフラッシュメモリーにセキュリティ印刷データがあるときのみ有効です。



### 関連情報

- [設定と機能一覧](#)

## Web Based Management を使用して製品の設定を変更する

関連モデル: HL-L6310DW

Web Based Management は、ハイパーテキスト転送プロトコル (HTTP) またはセキュアソケットレイヤー (SSL) 上のハイパーテキスト転送プロトコル (HTTPS) を使用して本製品を管理するための標準的なウェブブラウザを使用したユーティリティです。

- [Web Based Management とは](#)
- [Web Based Management にアクセスする](#)
- [Web Based Management へのログインパスワードを設定または変更する](#)

## Web Based Management とは

関連モデル: HL-L6310DW

Web Based Management は、ハイパーテキスト転送プロトコル (HTTP) またはセキュアソケットレイヤー (SSL) 上のハイパーテキスト転送プロトコル (HTTPS) を使用して本製品を管理するための標準的なウェブブラウザを使用するユーティリティです。



- 以下のウェブブラウザの最新バージョンのご使用をお勧めします：
  - Windows の場合：Microsoft Edge、Firefox および Google Chrome™
  - Mac の場合：Safari、Firefox および Google Chrome™
  - Android™ の場合：Google Chrome™
  - iOS の場合：Safari および Google Chrome™
- どのブラウザを使用する場合でも、JavaScript および Cookie が常に有効になっていることを確認してください。
- 本製品がオンになっており、お使いのパソコンと同じネットワークに接続されていること、またネットワークが TCP/IP プロトコルに対応していることを確認してください。

brother

ステータス

デバイスの状態

スリープ

自動 再読み込み

オフ  
 オン

トナー残量

BK

Copyright(C) 2000-2023 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

実際に表示される画面は、上の画面とは異なる場合があります。

### ✓ 関連情報

- [Web Based Management を使用して製品の設定を変更する](#)

## Web Based Management にアクセスする

関連モデル: HL-L6310DW

- 以下のウェブブラウザの最新バージョンのご使用をお勧めします：
  - Windows の場合：Microsoft Edge、Firefox および Google Chrome™
  - Mac の場合：Safari、Firefox および Google Chrome™
  - Android™ の場合：Google Chrome™
  - iOS の場合：Safari および Google Chrome™
- どのブラウザを使用する場合でも、JavaScript および Cookie が常に有効になっていることを確認してください。
- HL-L5210DN/HL-L5210DW/HL-L6310DW：  
Web Based Management で設定を行う場合、HTTPS セキュリティプロトコルを使用することをお勧めします。
- HL-L5210DN/HL-L5210DW/HL-L6310DW：  
Web Based Management 設定に HTTPS を使用すると、ブラウザに警告ダイアログボックスが表示されます。警告ダイアログボックスが表示されないようにするには、自己署名証明書をインストールして SSL/TLS 通信を使用します。詳細については、「関連情報」をご覧ください。
- 本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「PwD」と表示されています。本製品への不正なアクセスを防ぐために、お買い上げ時のパスワードをすぐに変更することをお勧めします。  
お買い上げ時のパスワードは、ネットワーク設定リストでも確認できます。

>> [ウェブブラウザから Web Based Management にアクセスする](#)

>> [Brother iPrint&Scan から Web Based Management にアクセスする \(Windows/Mac\)](#)

>> [Brother ユーティリティから Web Based Management にアクセスする](#)

### ウェブブラウザから Web Based Management にアクセスする

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

例：https://brn123456abcdef

- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「PwD」と表示されています。

4. 画面左側のナビゲーションメニューを固定するには、☰をクリックしてからをクリックします。

これで本製品の設定の変更を行うことができます。

## Brother iPrint&Scan から Web Based Management にアクセスする (Windows/Mac)

1. Brother iPrint&Scan を起動します。

- Windows



(Brother iPrint&Scan) を起動します。

- Mac

Finder メニューバーで**移動 > アプリケーション**をクリックし、iPrint&Scan アイコンをダブルクリックします。

Brother iPrint&Scan 画面が表示されます。

2. 本製品が選択されていない場合は、**製品を選択**ボタンをクリックし、一覧から本製品のモデル名を選択します。**OK** をクリックします。

3.  (**本体設定**) をクリックします。

4. **すべての設定** をクリックします。

Web Based Management ページが表示されます。

5. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「PwD」と表示されています。

6. 画面左側のナビゲーションメニューを固定するには、をクリックしてからをクリックします。

これで本製品の設定の変更を行うことができます。



モバイル端末の Brother Mobile Connect から Web Based Management にアクセスすることもできます。

## Brother ユーティリティから Web Based Management にアクセスする

1.  (**Brother Utilities**) を起動し、ドロップダウンリストをクリックし、お使いの機器のモデル名を選択します (未選択の場合)。

2. 左ナビゲーションバーの**ツール**をクリックして、**本体設定**をクリックします。

Web Based Management ページが表示されます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「PwD」と表示されています。

4. 画面左側のナビゲーションメニューを固定するには、をクリックしてからをクリックします。

これで本製品の設定の変更を行うことができます。

プロトコル設定を変更する場合、設定を有効にするには、**OK** をクリックした後、本製品を再起動する必要があります。

設定を変更した後、**ログアウト**をクリックします。

### ✓ 関連情報

- [Web Based Management](#) を使用して製品の設定を変更する

#### 関連トピック :

- [ネットワーク設定レポートを印刷する](#)
- [SSL/TLS を使用する](#)
- [自己署名証明書を作成する](#)
- [管理者として Windows ユーザー用の自己署名証明書をインストールする](#)

## Web Based Management へのログインパスワードを設定または変更する

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と表示されています。本製品への不正なアクセスを防ぐために、お買い上げ時のパスワードをすぐに変更することをお勧めします。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

例：https://brn123456abcdef

- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 以下のいずれかを行ってください：
  - 事前にパスワードを設定してある場合は、そのパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。
  - 事前にパスワードを設定していない場合は、初期ログインパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。
4. ナビゲーションメニューに移動して、**管理者設定 > ログインパスワード**をクリックします。



- 本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と表示されています。

- 画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、≡から開始します。

5. パスワードを変更するには、**変更前のパスワードの入力欄**に現在のパスワードを入力します。
6. 画面の**ログインパスワードガイドライン**に従って、**新しいパスワードの入力欄**に新しいパスワードを入力します。
7. **新しいパスワードの確認欄**に、新しいパスワードをもう一度入力します。
8. **OK** をクリックします。



**ログインパスワードメニュー**でロックアウト設定を変更することもできます。



### 関連情報

- [Web Based Management を使用して製品の設定を変更する](#)

## 付録

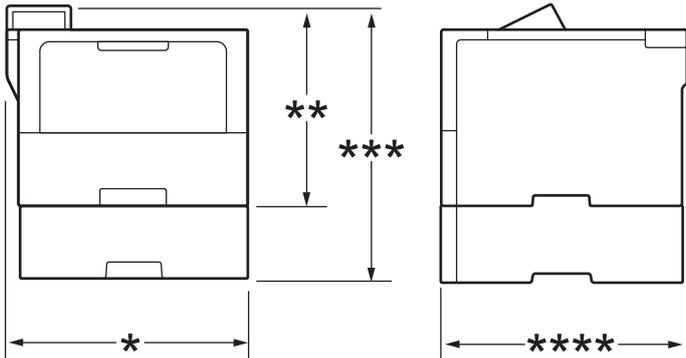
- 仕様
- 消耗品
- アクセサリー
- 消耗品の購入方法
- アフターサービスのご案内

## 仕様

- >> 基本仕様
- >> 印刷用紙
- >> プリンター
- >> インターフェイス
- >> 対応プロトコルおよびセキュリティ機能
- >> パソコン使用環境

### 基本仕様

プリントタイプ		レーザー
プリント方式		電子写真方式レーザープリンター
メモリー容量	標準	<ul style="list-style-type: none"> <li>• (HL-L5210DN/HL-L5210DW) 256 MB</li> <li>• (HL-L6310DW) 1 GB</li> </ul>
製品ディスプレイ		<ul style="list-style-type: none"> <li>• (HL-L5210DN/HL-L5210DW) 10 文字 (2 バイト) x 1 行/20 文字 (1 バイト) x 1 行</li> <li>• (HL-L6310DW) 3.5 インチ型 TFT カラー液晶ディスプレイ (LCD) <sup>1</sup> タッチパネル 72.5 x 68.7 mm</li> </ul>
電源		AC 100 V 50/60 Hz
ウォームアップタイム <sup>2</sup>		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 6.5 秒以下 (スリープモードから)</li> <li>• 25 秒以下 (電源投入から)</li> </ul>
消費電力 (平均)	最大	約 1,130 W
	印刷 <sup>3 4</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• (HL-L5210DN/HL-L5210DW) 約 670 W (25°C)</li> <li>• (HL-L6310DW) 約 700 W (25°C)</li> </ul>
	印刷 (静音モード) <sup>3 4</sup>	約 430 W (25°C)
	待機時 <sup>3 4</sup>	約 31 W (25°C)
	スリープモード <sup>3 4</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• (HL-L5210DN/HL-L5210DW) 約 5.2 W</li> <li>• (HL-L6310DW) 約 5.7 W</li> </ul>
	ディープスリープモード <sup>3 4</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• (HL-L5210DN/HL-L5210DW) 約 0.5 W</li> <li>• (HL-L6310DW) 約 0.6 W</li> </ul>
	電源オフ時 <sup>5 6</sup>	約 0.03 W
エネルギー消費効率 <sup>7</sup>		<ul style="list-style-type: none"> <li>• (HL-L5210DN/HL-L5210DW) 111 kWh/年 (区分: プリンター C)</li> <li>• (HL-L6310DW) 122 kWh/年 (区分: プリンター D)</li> </ul>

<b>外形寸法</b> (代表的な外形図) 		単位 : mm • (HL-L5210DN/HL-L5210DW) * : 373 ** : 257 *** : 388 • (HL-L6310DW) * : 402 ** : 319 *** : 396	
<b>本体質量 (消耗品を含む)</b>		• (HL-L5210DN/HL-L5210DW) 11.0 kg • (HL-L6310DW) 13.1 kg	
<b>稼働音</b>	<b>音圧レベル<sup>8</sup></b>	<b>印刷</b>	LpAm = 54 dB (A)
		<b>印刷 (静音モード)</b>	LpAm = 50 dB (A)
		<b>待機時</b>	LpAm = 最大 35 dB (A)
	<b>音響レベル</b>	<b>印刷<sup>8</sup></b>	(HL-L5210DN/HL-L5210DW) LWAc = 7.06 B (A) (HL-L6310DW) LWAc = 7.07 B (A)
		<b>印刷 (静音モード)</b>	LWAc = 6.54 B (A)
		<b>待機時</b>	LWAc = 最大 4.9 B (A)
<b>温度</b>	<b>動作時</b>	10～32.5°C	
	<b>保管時</b>	0°C ~ 40°C	
<b>湿度</b>	<b>動作時</b>	20%～80% (結露なし)	
	<b>保管時</b>	35%～85% (結露なし)	

1 四つ角を対角線上に測定

2 温度 23 °C、湿度 50% で測定した値です。

3 全モード USB 接続時。

4 ENERGY STAR Ver.3.1 試験方法と同じネットワーク接続で本製品を接続した場合の測定値です。

5 「IEC 62301 Edition 2.0」による測定値。

6 消費電力値は使用環境などにより若干異なることがあります。

7 省エネ法(平成 25 年 3 月 1 日付)で定められた複合機・ページプリンター別の測定方法による数値

8 ISO 7779 に記載の方法に準拠して測定。

## 印刷用紙

<b>給紙</b>	<b>用紙トレイ (標準)</b>	<b>用紙タイプ</b>	普通紙、レターヘッド、色紙、薄紙、再生紙、厚紙、はがき
		<b>用紙サイズ</b>	A4、レター、B5 (JIS)、A5、A5 (長辺)、A6、はがき
		<b>用紙坪量</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 60～163 g/m<sup>2</sup> <sup>1</sup></li> <li>• はがき : 185 g/m<sup>2</sup> <sup>1</sup></li> </ul>
		<b>最大用紙容量</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• (HL-L5210DN/HL-L5210DW) 80 g/m<sup>2</sup> 普通紙最大 250 枚まで</li> <li>• (HL-L6310DW)</li> </ul>

給紙	用紙トレイ (標準)		80 g/m <sup>2</sup> 普通紙最大 520 枚まで <ul style="list-style-type: none"> <li>はがき : 30 枚 (185g/m<sup>2</sup>)</li> </ul>
	多目的トレイ	用紙タイプ	普通紙、レターヘッド、色紙、薄紙、厚紙、中厚口、再生紙、ラベル紙、封筒、薄紙封筒、厚紙封筒、はがき
		用紙サイズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅 : 69.8~215.9 mm</li> <li>長さ : 127~355.6 mm</li> <li>封筒 : Com-10、DL、C5、モナーク、封筒長形 3 号、封筒長形 4 号、封筒洋形 4 号</li> </ul>
		用紙坪量	<ul style="list-style-type: none"> <li>60~230 g/m<sup>2</sup> <sup>1</sup></li> <li>はがき : 185 g/m<sup>2</sup> <sup>1</sup></li> </ul>
		最大用紙容量	<ul style="list-style-type: none"> <li>80 g/m<sup>2</sup> 普通紙最大 100 枚まで</li> <li>封筒 : 厚さ 11 mm まで</li> <li>はがき : 10 枚 (185g/m<sup>2</sup>)</li> </ul>
	用紙トレイ 2、3、4 (オプション) <sup>2</sup>	用紙タイプ	普通紙、レターヘッド、色紙、薄紙、再生紙、厚紙
		用紙サイズ	A4、レター、B5 (JIS)、A5
		用紙坪量	60~120 g/m <sup>2</sup> <sup>1</sup>
		最大用紙容量	<ul style="list-style-type: none"> <li>LT-5505 80 g/m<sup>2</sup> 普通紙最大 250 枚まで</li> <li>LT-6505 80 g/m<sup>2</sup> 普通紙最大 520 枚まで</li> </ul>
	排紙 <sup>3</sup>	上面排紙トレイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>(HL-L5210DN/HL-L5210DW) 80 g/m<sup>2</sup> 普通紙最大 150 枚まで (上面排紙トレイへ下向きに排紙)</li> <li>(HL-L6310DW) 80 g/m<sup>2</sup> 普通紙最大 250 枚まで (上面排紙トレイへ下向きに排紙)</li> </ul>
背面排紙トレイ		<ul style="list-style-type: none"> <li>(HL-L5210DN/HL-L5210DW) 1 枚 (背面排紙トレイへ上向きに排紙) 185 g/m<sup>2</sup> はがき最大 15 枚まで (背面排紙トレイへ上向きに排紙)</li> <li>(HL-L6310DW) 最大 10 枚 (背面排紙トレイへ上向きに排紙) 185 g/m<sup>2</sup> はがき最大 15 枚まで (背面排紙トレイへ上向きに排紙)</li> </ul>	
メールボックス (オプション)		HL-L6310DW 100 枚 x 4 段 (80 g/m <sup>2</sup> ) 400 枚 x 2 段 (80 g/m <sup>2</sup> )	
両面	自動両面印刷	用紙タイプ	普通紙、レターヘッド、色紙、薄紙、再生紙
		用紙サイズ	A4
		用紙坪量	60~105 g/m <sup>2</sup>

<sup>1</sup> 105 g/m<sup>2</sup> 以上の用紙の場合は、バックカバーを開き、背面排紙トレイを使用してください。

<sup>2</sup> HL-L5210DN/HL-L5210DW 下トレイの最大数 : 任意の組み合わせで下トレイ最大 2 個。

HL-L6310DW 下トレイの最大数 : LT-5505 下トレイ最大 3 個または任意の組み合わせで下トレイ最大 2 個。

<sup>3</sup> ラベルの場合、にじみを防ぐため、本製品から印刷済みのシートが出てきたらすぐに排紙トレイから取り除くことを推奨します。

## プリンター

自動両面印刷	あり
--------	----

<b>エミュレーション</b>		PCL6、BR-Script3（日本語）、Epson FX-850、PDF version1.7、XPS version 1.0
<b>解像度</b>		最高 1200 dpi x 1200 dpi
<b>印刷速度</b> <sup>1</sup>	<b>片面印刷時</b> <sup>2 3</sup> 本製品のデフォルトの印刷設定が「両面」の場合は、こうした結果を得るために「片面」に変更します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• (HL-L5210DN/HL-L5210DW) 最大 50 ページ/分 (レターサイズ) 最大 48 ページ/分 (A4 サイズ)</li> <li>• (HL-L6310DW) 最大 52 ページ/分 (レターサイズ) 最大 50 ページ/分 (A4 サイズ)</li> </ul>
	<b>両面印刷時</b>	最大 24 面/分 (最大 12 枚/分) (レターサイズ) 最大 24 面/分 (最大 12 枚/分) (A4 サイズ)
<b>1 枚目印刷時間</b> <sup>4 5 6</sup>		6.7 秒以下 (23°C/100 V)

- 1 無線 LAN 使用時は、印刷速度が多少遅くなる場合があります。
- 2 「片面印刷時」の印刷速度は、ISO/IEC 24734 に準拠して測定されました。
- 3 この速度は片面印刷に基づいています。
- 4 待機モードで標準給紙トレイから印刷した場合。
- 5 本製品が起動し用紙出力が完了するまでの時間の長さ（製品の電源を入れたとき、またはエラーが修正されたときを除く）
- 6 これは、標準給紙トレイから A4 またはレターサイズの用紙に印刷する場合に当てはまります。しかし、用紙サイズや印刷データ量によって、さらに長くなる場合があります。

## インターフェイス

<b>USB</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• タイプ：USB Type-B レセプタクル バージョン：ハイスピード USB 2.0<sup>1 2</sup> 2メートル以下の長さの USB 2.0 インターフェイスケーブルを使用してください。</li> <li>• (HL-L6310DW) タイプ：USB Type-A レセプタクル<sup>3</sup> バージョン：ハイスピード USB 2.0 USB ストレージプリントを行うには、USB フラッシュメモリーを接続します。</li> </ul>
<b>LAN</b>	10Base-T/100Base-TX/1000Base-T <sup>4</sup>
<b>無線 LAN</b>	(HL-L5210DW/HL-L6310DW) IEEE 802.11a/b/g/n (インフラストラクチャモード) IEEE 802.11a/g/n (Wi-Fi Direct®)
<b>NFC</b> <sup>5</sup>	(HL-L6310DW) 対応

- 1 USB2.0 ハイスピードインターフェイスが使用できます。USB1.1 インターフェイスに対応したパソコンにも接続可能です。
- 2 サードパーティ製の USB ハブ機器には対応していません。
- 3 USB ホストポート
- 4 カテゴリー 5e 以上のネットワークケーブルを使用してください。
- 5 外部 IC カードリーダーに接続する場合、HID クラスドライバー対応機器を使用してください。

## 対応プロトコルおよびセキュリティ機能

対応するプロトコルおよびセキュリティ機能はモデルにより異なります。

### イーサネット

10Base-T/100Base-TX/1000Base-T

### プロトコル (IP v 4)

ARP、RARP、BOOTP、DHCP、APIPA (Auto IP)、WINS/NetBIOS name resolution、DNS Resolver、mDNS、LLMNR responder、LPR/LPD、Custom Raw Port/Port9100、IPP/IPPS、FTP Server、TELNET

Server、HTTP/HTTPS server、TFTP client and server、SMTP Client、SNMPv1/v2c/v3、ICMP、Web Services (Print)、CIFS client、SNTP client、Syslog

### プロトコル (IP v 6)

NDP、RA、DNS resolver、mDNS、LLMNR responder、LPR/LPD、Custom Raw Port/Port9100、IPP/IPPS、FTP Server、TELNET Server、HTTP/HTTPS server、TFTP client and server、SMTP Client、SNMPv1/v2c/v3、ICMPv6、Web Services (Print)、CIFS Client、SNTP Client、Syslog

### ネットワークセキュリティ (有線)

SMTP-AUTH、SSL/TLS (IPP、HTTP、SMTP)、SNMP v3、802.1x (EAP-MD5、EAP-FAST、PEAP、EAP-TLS、EAP-TTLS)、Kerberos、IPsec

### ネットワークセキュリティ (無線)

SMTP-AUTH、SSL/TLS (IPP、HTTP、SMTP)、SNMP v3、802.1x (EAP-FAST、PEAP、EAP-TLS、EAP-TTLS)、Kerberos、IPsec

### 無線 LAN セキュリティ

WEP 64/128 bit、WPA-PSK (TKIP/AES)、WPA2-PSK (TKIP/AES) (Wi-Fi Direct は、WPA2-PSK (AES) のみをサポートしています)、WPA3-SAE (AES)

### 無線 LAN 認証

Wi-Fi Certification Mark License (WPA3™ - Enterprise、Personal)、Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) Identifier Mark License、Wi-Fi CERTIFIED™ Wi-Fi Direct

## パソコン使用環境

対応している OS とソフトウェア機能

OS		コンピューターインターフェイス			プロセッサ	必要なディスク容量 <sup>1</sup>	
		USB <sup>2</sup>	有線 LAN	無線		ドライバー	その他のソフトウェア (ドライバーを含む)
Windows	Windows 10 Home / 10 Pro / 10 Education / 10 Enterprise	印刷			32 ビット (x86)、もしくは 64 ビット (x64) プロセッサ	50 MB	1.6 GB
	Windows 11 Home / 11 Pro / 11 Education / 11 Enterprise				64 ビット (x64) プロセッサ		
	Windows Server 2012				64 ビット (x64) プロセッサ		
	Windows Server 2012 R2						
	Windows Server 2016						
	Windows Server 2019						

	Windows Server 2022				
Mac <sup>3</sup>	macOS v11	印刷	64 ビットプロセッサ	-	500 MB
	macOS v12				
	macOS v13				
Chrome OS		印刷	-	-	-

1 本製品に CD-ROM が付属していない場合、ソフトウェアをインストールするにはインターネット接続が必要です。

2 サードパーティ製の USB ポートには対応していません。

3 macOS の免責事項

AirPrint 対応 : macOS 経由の印刷には、AirPrint の使用が必要です。本製品には Mac 用ドライバーは付属されていません。

最新のドライバーアップデートについては、[support.brother.com/downloads](https://support.brother.com/downloads) にアクセスし、お使いのモデルのソフトウェアダウンロードページを参照してください。

最新の対応 OS 一覧については、お使いのモデルの対応 OS の [support.brother.com/os](https://support.brother.com/os) ページを参照してください。

記載の商標及び、ブランド名、製品名の所有権は各社にあります。



## 関連情報

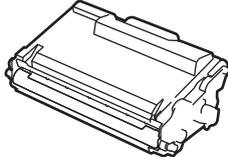
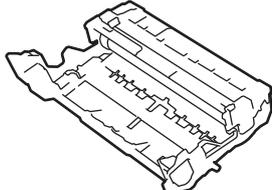
- [付録](#)

## 消耗品

トナーカートリッジやドラムユニットなどの消耗品が交換時期になると、本製品の操作パネルまたはステータスモニターにエラーメッセージが表示されます。本製品の消耗品について、詳しくは [www.brother.com/original](http://www.brother.com/original) を参照するか、お近くの販売店へお問い合わせください。



- トナーカートリッジとドラムユニットは、それぞれ別の部品となります。
- 消耗品の型番は国や地域により異なります。

消耗品	消耗品の型番	おおよその寿命 (印字可能枚数)	対象となるモデル
<b>トナーカートリッジ</b> 	標準トナーカートリッジ： TN70J	約 3,000 枚 <sup>1 2</sup>	HL-L5210DN/HL-L5210DW/ HL-L6310DW
	大容量トナーカートリッジ： TN70JXL	約 6,000 枚 <sup>1 2</sup>	HL-L5210DN/HL-L5210DW/ HL-L6310DW
	超大容量トナーカートリッジ： TN70JXXL	約 11,000 枚 <sup>1 2</sup>	HL-L5210DN/HL-L5210DW/ HL-L6310DW
	最大容量トナーカートリッジ： TN71JXL	約 25,000 枚 <sup>1 2</sup>	HL-L6310DW
	スタータートナーカートリッジ： (本製品に付属)	約 3,000 枚 <sup>1 2</sup>	HL-L5210DN/HL-L5210DW
		約 6,000 枚 <sup>1 2</sup>	HL-L6310DW
<b>ドラムユニット</b> 	DR70J	約 75,000 枚 <sup>3</sup>	HL-L5210DN/HL-L5210DW/ HL-L6310DW

<sup>1</sup> レターまたは A4 の片面ページを印刷した場合の枚数です。

<sup>2</sup> カートリッジのおおよその印刷可能枚数は ISO/IEC 19752 規格に基づく公表値を満たしています。

<sup>3</sup> 1 回に 3 ページ印刷する場合：約 75,000 ページ、1 回に 1 ページ印刷する場合：約 45,000 ページ (A4 またはレターの片面ページ)。印刷可能枚数は、使用環境や用紙の種類、連続印刷枚数などによって異なります。

### ✓ 関連情報

- 付録

## アクセサリ

アクセサリの在庫状況は、国または地域によって異なります。お使いの製品のアクセサリに関する詳細については、[www.brother.com/original](http://www.brother.com/original) でご確認ください。販売店またはブラザーコールセンターまでお問い合わせください。

型番	品目	対象となるモデル
LT-5505	ローワートレイ (下トレイ) (250枚)	• HL-L5210DN/HL-L5210DW <sup>1</sup> • HL-L6310DW <sup>2</sup>
LT-6505	ローワートレイ (下トレイ) (520枚)	• HL-L5210DN/HL-L5210DW <sup>1</sup> • HL-L6310DW <sup>2</sup>
MX-4000	メールボックス	HL-L6310DW
SF-4000 (特定の国のみ対応)	ステープラーフィニッシャー	HL-L6310DW
TT-4000	タワートレイ <sup>3</sup>	HL-L6310DW
CH-1000	カードリーダーホルダー	HL-L6310DW

1 下トレイの最大数：任意の組み合わせで下トレイ最大 2 個。

2 下トレイの最大数：LT-5505 下トレイ最大 3 個または任意の組み合わせで下トレイ最大 2 個。

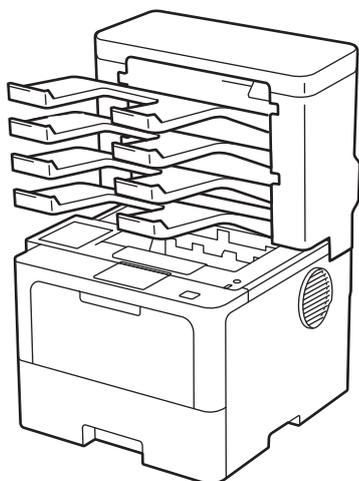
3 下トレイユニットが本製品に取り付けられていない場合のみ対応。

### ✓ 関連情報

- 付録
  - メールボックスユニット

## メールボックスユニット

関連モデル: HL-L6310DW



オプションのメールボックス (MX) ユニットにより、本製品の印刷出力をより細かく制御できます。ユニットの4つの出力ビン特定のユーザーに割り当て、より効率的に特定の印刷ジョブを計画し、本製品の印刷出力能力を拡張できます。

メールボックスユニットは次のように使用します。

- **メールボックス**：各ビン特定のユーザーまたはグループに割り当て、各受信者のビンに直接印刷ジョブを送信します。
- **スタッカー**：大きな文書を印刷する場合は、ビンを使用して本製品の排紙トレイ容量を増やします。本製品の排紙トレイが満杯の場合、メールボックスビンに用紙が排出されます。  
本製品の排紙トレイ容量を最大 1,050 枚（標準排紙トレイ含む）に増やすには、ビン 2 と 4 を取り外します。
- **ソーター**：複数の部数を印刷する場合、プリンタードライバーを設定して各部ごとに別のビンに排出します。

プリンタードライバーまたは本製品の画面で、スタッカー（**スタッカモード**）とソーター（**ソーターモード**）の環境設定を行います。



本製品の設定については、「関連情報」をご覧ください。

### プリンタードライバーで MX スタッカーまたは MX ソーターを設定するには（Windows 用）

プリンタードライバーで、**拡張機能**タブをクリックし、**排紙トレイ設定**ドロップダウンメニューをクリックして、**スタッカモード**または**ソーターモード**を選択します。**OK**をクリックします。

### プリンタードライバーで MX スタッカーまたは MX ソーターを設定するには（Mac 用）

プリンタードライバーで、**印刷設定**タブを選択し、**排紙トレイ設定**ポップアップメニューをクリックして、**スタッカモード**または**ソーターモード**を選択します。



プリンタードライバーの設定の詳細については、「関連情報」をご覧ください。

## ✓ 関連情報

- **アクセサリー**
  - 製品の画面を使用し **MX スタッカー**または **MX ソーター**を設定する
  - 満杯時に標準給紙トレイを使用する
  - **メールボックス継続機能**を設定する
  - **メールボックスビン**をユーザーまたはグループに割り当てる

---

**関連トピック：**

- [印刷設定 \(Windows\)](#)
-

▲ホーム > 付録 > アクセサリー > メールボックスユニット > 製品の画面を使用し MX スタッカーまたは MX ソーターを設定する

## 製品の画面を使用し MX スタッカーまたは MX ソーターを設定する

関連モデル: HL-L6310DW

メールボックスユニットを使用する場合は、製品の画面からスタッカーとソーターの環境設定を行います。

 [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [用紙トレイ設定] > [排紙トレイ設定] > [スタッカモード] または [ソーターモード] を押します。

### 関連情報

- [メールボックスユニット](#)

## 満杯時に標準給紙トレイを使用する

関連モデル: HL-L6310DW

**標準排紙トレイ使用（指定ビンの満載時）** 機能により、メールボックスビンが満杯の場合でも、大きな印刷ジョブを継続して印刷できます。プリンタードライバーでこのオプションを選択すると、本製品は印刷ジョブを続行し、メールボックスビンが満杯の場合は、本製品の排紙トレイに残りのページを排出します。



この設定の名称は Windows 用で、Mac 用の名称は国により異なります。



### 関連情報

- メールボックスユニット

## メールボックス継続機能を設定する

関連モデル: HL-L6310DW

すべてのビンが満杯のために印刷ジョブが停止した場合、いずれかの印刷位置から印刷済みページを取り除くと、MX（メールボックス）継続機能により、本製品で印刷ジョブを再開できます。

設定	詳細
[オン]	本製品は、最初の空の排紙トレイまたはメールボックスビンを使用し、印刷ジョブを再開します。
[オフ]	印刷ジョブを再開するには、排紙トレイまたはすべてのメールボックスビンから印刷済みページを取り除く必要があります。

デフォルトでは、MX 継続はオフになっています。MX 継続をオンにする手順：

 [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [用紙トレイ設定] > [空ビン優先排紙] > [オン] を押します。

### 関連情報

- [メールボックスユニット](#)

## メールボックスピンをユーザーまたはグループに割り当てる

関連モデル: HL-L6310DW

印刷ジョブを特定の受信者に送信して印刷ジョブを計画するには、各メールボックスピンを個人またはグループに割り当てます。



- この機能は、セキュリティ機能ロック 3.0 がオンの場合にのみ利用できます。
- 印刷ジョブを送信する場合は、プリンタードライバーの**排紙トレイ設定**から**自動検知**（デフォルト設定）を選択していることを確認します。
- この設定の名称は Windows 用で、Mac 用の名称は国により異なります。

本製品を使用するユーザーは誰でも特定のピンに印刷ジョブを送信できますが、管理者が最初にピンをユーザーまたはグループに割り当てる必要があります。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「PwD」と表示されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**管理者設定 > 制限機能**または**制限管理**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰から開始します。

5. **セキュリティ機能ロック**を選択します。
6. **OK** をクリックします。
7. **機能制限メニュー**をクリックします。
8. **ユーザーリスト/機能制限** 欄にグループ名またはユーザー名を入力します。
9. **排紙トレイ設定** ドロップダウンリストをクリックして、各ユーザーの排紙トレイを選択します。
10. **OK** をクリックします。
11. ナビゲーションメニューに移動して、**印刷 > トレイ**をクリックします。
12. **排紙トレイ設定** ドロップダウンリストをクリックし、**SFL 設定**を選択します。
13. **OK** をクリックします。



### 関連情報

- [メールボックスユニット](#)

## 消耗品の購入方法

お近くの家電量販店で取り扱っておりますが、弊社直販サイトのダイレクトクラブでもご購入できます。インターネット、電話またはご注文シートの FAX にてご注文いただくことができます。

### インターネットからのご注文

ブラザーダイレクトクラブ

[direct.brother.co.jp](http://direct.brother.co.jp)

ブラザーダイレクトクラブ

検索



### お電話でのご注文

フリーダイヤル： 0120-118-825

(土・日・祝日、弊社指定休日を除く 9 時～12 時、13 時～17 時)

### FAX でのご注文

ご注文シートをダイレクトクラブまで FAX してください。

FAX 番号：052-825-0311

## ✓ 関連情報

- ・ 付録

## アフターサービスのご案内

- >> 製品登録
- >> 各種サポート情報
- >> ブラザーコールセンター
- >> 安心と信頼の修理サービス

### 製品登録

## Brother Online マイ製品サポート

ご登録いただくと、お持ちの製品をより便利に、安心にご利用いただけるようになります。

オンラインユーザー登録 ▶ <https://online.brother.co.jp>

### 各種サポート情報

#### サポートサイト (ブラザーソリューションセンター)

よくあるご質問 (Q&A) や、最新のソフトウェアおよび製品マニュアル (電子版) のダウンロードなど、各種サポート情報を提供しています。

[support.brother.co.jp](https://support.brother.co.jp)

### ブラザーコールセンター

**0570-061020**

受付時間：月～土 9:00～18:00 日曜日・祝日・弊社指定休日を除きます。

※ブラザーコールセンターは、ブラザー販売株式会社が運営しています。

※ユーザーズガイドに乱丁、落丁があったときは、ブラザーコールセンターにご連絡ください。

※受付時間、電話番号については事前予告なく変更になる場合がございます。最新の情報はサポートサイトでご確認ください。

### 安心と信頼の修理サービス

#### メーカー保証修理

メーカー保証期間中に故障した場合には、保証書の記載内容に基づき修理いたします。

保証事項については、保証書をご覧ください。

#### 修理サービス (有料)

メーカー保証期間後も、「お手軽引き取りサービス」と「出張修理サービス」でサポートいたします。

※ご利用の機種により、修理サービスの内容は異なります。詳しくはブラザーホームページをご覧ください。

[https://www.brother.co.jp/product/support\\_info/repair\\_serv/index.htm](https://www.brother.co.jp/product/support_info/repair_serv/index.htm)

#### ブラザーサービスパック (定額保守サービス)

ブラザーが提供する複数年の定額保守サービスです。

サービスパックをご購入いただくことで、お客様のニーズにあわせた充実したサポートを提供いたします。

※ご利用の機種により保守期間は異なります。



定額料金だから安心  
何度でも修理対応



専用フリーダイヤルで  
優先的に  
受付いたします



定期的に交換が必要な  
部品費用も全て無償  
(契約内容によって異なります)

各定額保守サービスの内容、該当機種、保守料金などの詳細は下記窓口へお問い合わせ  
ください。

TEL : 052-824-3253

ブラザー サービスパック

検索



[https://www.brother.co.jp/product/support\\_info/s-pack/index.htm](https://www.brother.co.jp/product/support_info/s-pack/index.htm)

## ✓ 関連情報

- 付録

brother



JPN  
Version 0